昭和24年3月19日　第3種郵物認可　昭和39年3月20日印刷　昭和39年3月25日発行　第45輯第3号（毎月1回25日発行）

# 建築と社会

3 '64

外部空間



日本建築協会

15日間の
テストの答えは
秀
床材Pタイルです



300時間・紫外線にさらす老化試験＋120時間・4～8％の飽和吸水量の石の上におく耐湿試験＋24時間・皮や固いブラシで摩擦を続ける耐摩耗試験＋90kgの重量をハイヒールの踵の面積に長時間押し圧するへこみ試験＋シーグラー式滑り試験etc…365日の変化を人工的につくりだし　Pタイル一枚にたえずテストを続けています。日本独特の〔湿気の多い〕気候にも適応した製品で　さらに米国連邦規格をはるかにりょうがしています。「Pタイルなら安心」とその道のベテランがいう言葉にはこのような連続したテストの成績と世界的水準を上まわる品質とで裏付けされています。床材は**プラスタイルP！**床材の代名詞としてつかわれています。

三星プラスタイルP

田島応用化工KK

東　京／東京都千代田区神田岩本町13　TEL(866)代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL(441)代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL(57)2732
広　島／広島市鉄砲町108　TEL(2)2281
博　多／福岡市万行寺前町14　TEL(2)2807

# MATICO



世界のタイルが
日本で誕生！

■世界に名が通るマチコ
米国ルベロイド社と技術提携！
アメリカ　ドイツ　イタリヤでも作られている国際品です。

■常識を破った高品質！！
衝撃による凹みの小さいものは固いという常識を破ったすぐれた柔軟性。米国の規格に合格した高品質がじまんです。

■ユニークな美しさをマスプロいついかなるご注文にもＯＫ！

《特長》
1　彩度をおとした美しい色がら20種
2　５色までの多色模様に成功！
3　耐薬品性　耐衝撃性は特に良好
4　柔軟性にとみソフトな足ざわり
5　施工がきわめて簡単

■床材のハイファッション
マチコV®
ビニールアスベストスタイル

東洋リノリユーム株式会社
床材の総合メーカー
大阪市南区順慶町通４の25　三和ビル　TEL大 (252)－2921代
東京都中央区銀座４の１　三和ビル　TEL東 京567－8341代
名古屋市中区菅原町２の11　名古屋センタービル　TEL名古屋 23－5380
福岡市今泉町４丁目126の２　TEL福 岡 75－0425
広島市東観音町１の2067　TEL広 島 31－6139

近代企業としてたくましく躍進！



大阪瓦斯株式會社

取締役社長　藤阪修美
本社　大阪市東区平野町５の１
ＴＥＬ(202) 2221〈大代表〉

…ボイラひとすじに…

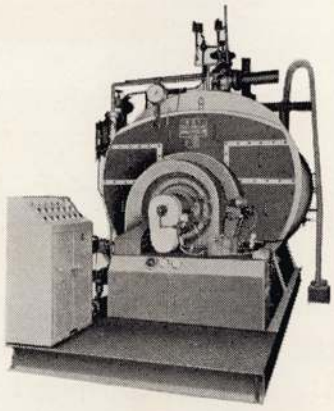
…豊かな実績…

斯界に誇る！

低燃焼20%でも
効率85%

MPボイラ

ＭＰ－３Ｔバーナ



株式会社　平川鐵工所

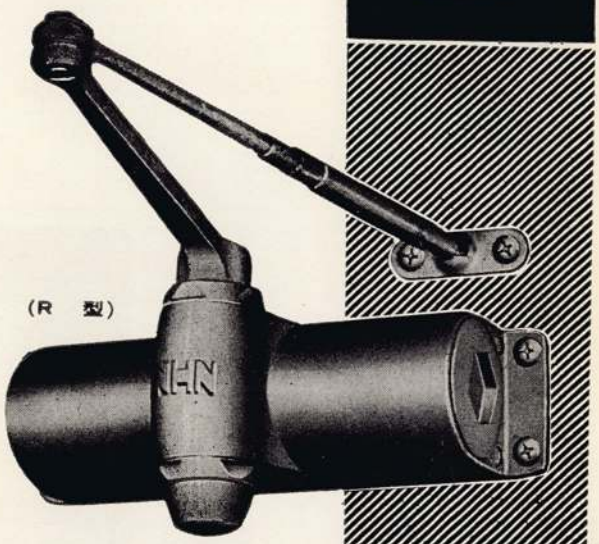
| | | |
|---|---|---|
| 本社・工場 | 大阪市大淀区大仁西２－１ | ＴＥＬ(458)3631代 |
| 東京営業所 | 東京都中央区八重洲６－７ | ＴＥＬ(272)2721代 |
| 名古屋出張所 | 名古屋市中区矢場町１－３７ | ＴＥＬ(25) 3992代 |
| 九州出張所 | 北九州市小倉区富野５４５ | ＴＥＬ(52) 4862 |
| 滋賀工場 | 滋賀県野洲郡野洲町大字三上 | ＴＥＬ野洲局 405 |

● あなたの忠実な…

ドアーボーイ！

＊紫綬褒章に輝く＊

# ニッカナ ドアーチエック




NHN

株式会社 ニッカナ

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無

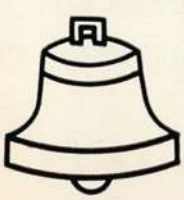
# ボニーシーラー

最高級のシール材
24時間でゴム状になる

コーキング材に グレインコート

ソフトパテ

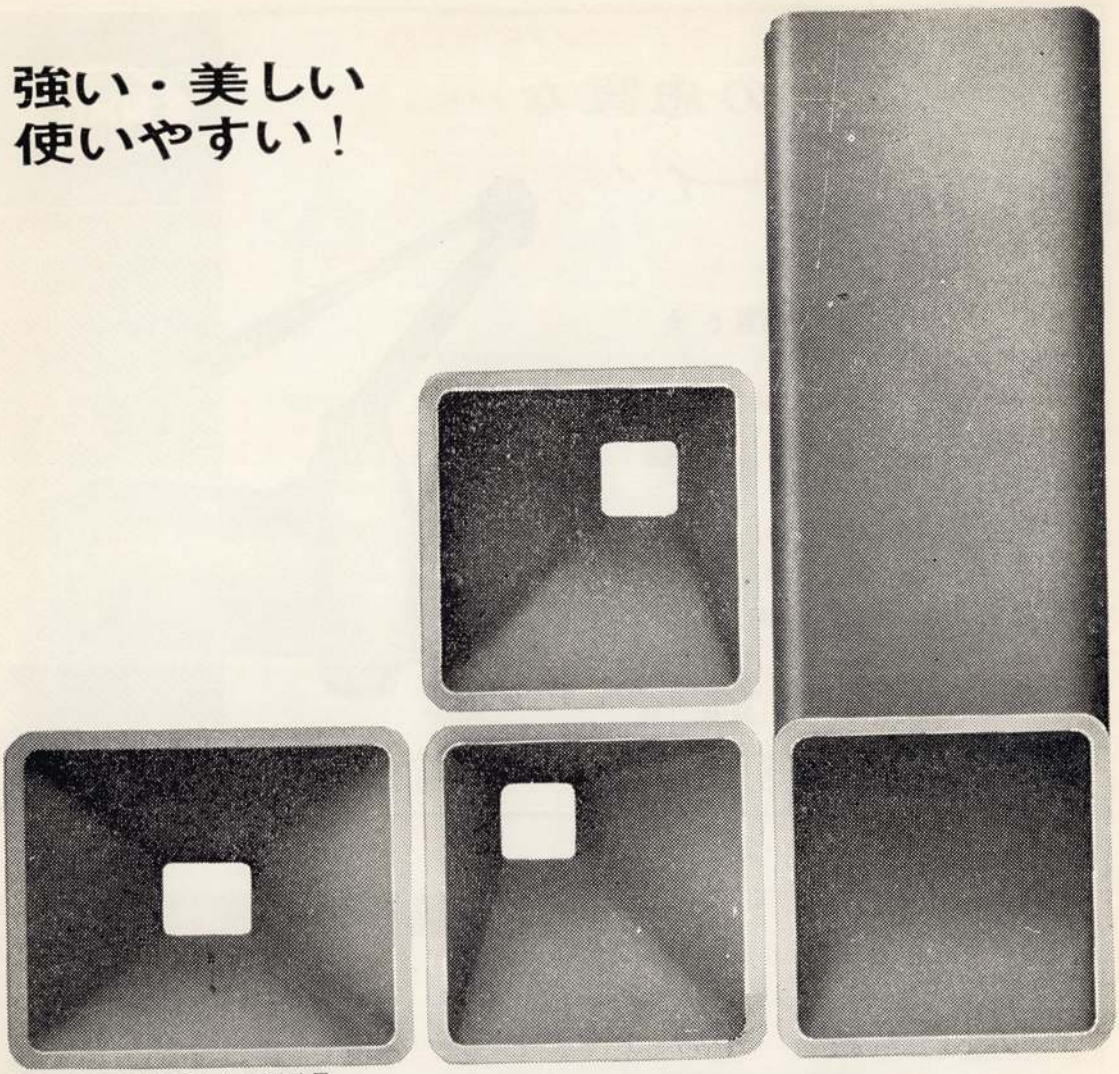
アルミサッシュ
ガラス工事に



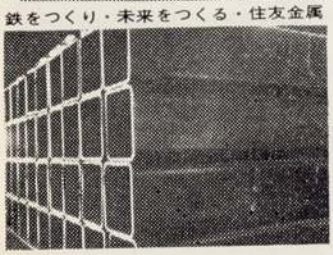
**テイパ化工株式會社**

大阪市東淀川区下新庄町2の263
電話（381）1118、5509

# 強い・美しい
# 使いやすい！



鉄をつくり・未来をつくる・住友金属



## 住友の 角形鋼管

## 住友金属

住友金属工業株式会社
本社／大阪市東区北浜5の15（新住友ビル）
支社／東京／営業所／福岡・広島・名古屋・仙台・札幌

燃えない都市づくりのため
角形鋼管が　注目をあびてきました。欧米諸国では　角形鋼管のシャープなもち味が早くから買われ　学校やビルを初め住宅などにもどしどし使われています。

■すぐれた断面性能　■パイプの強さに角形の使いやすさをプラス

■両端を閉鎖すれば　内面からの腐食度はゼロ。耐久力は抜群。

■仕上材とよく調和し加工・組立も簡単。

"強く　美しく　使いやすく"
現代感覚を生かすのに最適です。

# 日本アスファルト防水工業協同組合

## 防水工事のコンサルタント！

年限保証と責任施工の日アス防水工業協組の組合員は全国に配置されております。
信頼される施工技術と、たゆまぬ研究と努力でお客様方の御要望にお応へしたいと念じております。防水工事の事なら　下記の日アス組合員に、御相談下さい。

建設省認可　東計第240号
資本金　820万円

## 組合員名簿

**近畿地区**

| | | |
|---|---|---|
| 日新工材株式会社 | 大阪 | (541) 3785 |
| マルエス工業株式会社 | 大阪 | (451) 2360 |
| 株式会社新光商店 | 大阪 | (371) 3220 |
| 清水興業株式会社 | 大阪 | (371) 0251 |
| 中村瀝青工業株式会社 | 神戸 | (4) 5884 |
| 棚田建材有限会社 | 神戸 | (22) 0674 |
| 石橋建材株式会社 | 福井 | (3) 0775 |

**東海地区**

| | | |
|---|---|---|
| 中央建材工業株式会社 | 名古屋 | (25) 3541 |
| 日本建材興業株式会社 | 名古屋 | (57) 5541 |
| 宮崎建材店 | 名古屋 | (32) 1311 |

**中国地区**

| | | |
|---|---|---|
| 豊永建材株式会社 | 広島 | (6) 6371 |
| 東中国防水工業有限会社 | 岡山 | (3) 2211 |

**四国地区**

| | | |
|---|---|---|
| 株式会社山本商会 | 松山 | (2) 2717 |
| 大三工業株式会社 | 高松 | (2) 8697 |
| 株式会社高知アスファルト工業 | 高知 | (2) 3244 |
| 大三工業所 | 徳島 | (2) 9243 |

**九州地区**

| | | |
|---|---|---|
| 日新興業株式会社 | 延岡 | 4305 |
| 株式会社工材社 | 北九州 | (38) 1468 |
| 株式会社大二商会 | 宮崎 | 5001 |
| 株式会社北原建材商会 | 鹿児島 | (2) 8859 |

**関東地区**

| | | |
|---|---|---|
| 伊藤建材株式会社 | 東京 | (811) 5311 |
| 北条瀝青工業株式会社 | 東京 | (551) 2670 |
| 有限会社金岡興業 | 東京 | (361) 5947 |
| 瀝青建材株式会社 | 東京 | (511) 6947 |
| 大和工業株式会社 | 東京 | (801) 6368 |
| マサル瀝青工業株式会社 | 東京 | (811) 8501 |
| 藤井工業株式会社 | 東京 | (911) 0271 |
| 株式会社金港商店 | 横浜 | (44) 8476 |
| 鶺田工業株式会社 | 東京 | (331) 3468 |
| 木下工業株式会社 | 東京 | (633) 4231 |
| 日新建工株式会社 | 東京 | (891) 1144 |
| 野口工業株式会社 | 東京 | (411) 3751 |
| 株式会社奈良屋商店 | 水戸 | (3) 0171 |
| 石田建材工業株式会社 | 高崎 | (2) 3301 |
| 同和建業株式会社 | 新潟 | (4) 0901 |
| 合名会社島屋建設 | 金沢 | (2) 0085 |
| 有限会社折橋政次郎商店 | 富山 | (2) 0999 |
| 株式会社三井工業所 | 静岡 | (85) 5718 |
| 協和建材工業株式会社 | 清水 | (2) 5665 |

**東北地区**

| | | |
|---|---|---|
| 日新建工株式会社仙台出張所 | 仙台 | (3) 7790 |

**北海道地区**

| | | |
|---|---|---|
| 日本スレート株式会社 | 札幌 | (2) 3458 |
| 日新建工株式会社札幌出張所 | 札幌 | (2) 5015 |


本　部　東京都足立区千住東町93(日新工業内)　電話 (888) 2101～9
関西支部　大阪市西区新町北通1～40(日新工業内)　電話 (531) 5281～3
九州支部　福岡市大工町4 8(日新工業内)　電話 (75) 7484

# NS-85

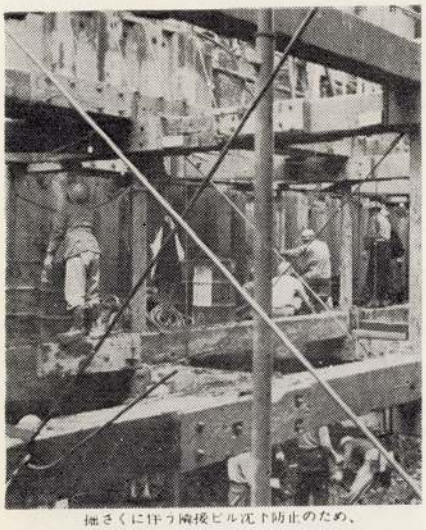
●WIIを自由に変えられるハーフメイドサツシ
●無理のない合理的な設計
●設計から取付まで一貫したサービス
●安直　廉価

## スピンドルのハーフメイドサッシ

●オーダーメイド：アルミ、スチール、ステンレスサッシドア各式

**日本スピンドル製造株式会社**　　金属成型事業部

| | | |
|---|---|---|
| 大阪営業所 | 大阪市東区備後町(綿業会館内) | 電大阪 (202) 7991(代) |
| 茨木第一工場 | 大阪府茨木市太田新田60 | 電茨木 (07262) 4741(代) |
| 茨木第二工場 | 大阪府茨木市太田上野 | 電茨木(07262)5065・5066 |
| 本社 | 兵庫県尼崎市潮江(国鉄尼崎駅北) | 電大阪 (401) 5551(代) |
| 東京事務所 | 東京都千代田区(丸ビル403号) | 電東京 (201) 0875・3605 |
| 京都事務所 | 京都市中京区西洞院四条上ル(ウオジビル) | 電京都 (23) 5051 |



掘さくに伴う隣接ビル沈下防止のため、
シートパイル背面への薬液注入現場

薬液注入……

# M·I並びにL·W工法

ケ・ミイ・ゼクト（東大生研、丸安・今岡博士特許）

特徴
- 浸透性が良く低圧で注入出来る
- 両液の反応成生物であるゲルは水に不溶性で短時分で固結し収縮性がない。
- ゲルで固結した砂層は5～10kg/cm²の圧縮強度を有する。
- Y管より注入するので土質に応じ無駄なく注入出来る。

不安定水ガラス　（樋口博士特許）
- M·Iに次ぐ浸透性を有し強度大で工費低廉である。要すればセメント注入への切替が容易である。
- グラウトの凝固時間の調節が容易で止水効果大である。
- 土質によってはM·I工法或はセメントベントナイト工法と併用して最も経済的に目的を達成出来る。

用途
- 軟弱地盤、破砕帯の固結強化
- ずい道掘さく、押込式及びシールド工法の地盤固結
- 隣接建造物の沈下防止
- あらゆる種類の漏湧水の止水

完全な防水に……

**レオパールBA**

詳細に関しては弊社営業部にお問合せ下さい。

**日本綜合防水株式会社**

取締役社長　山崎慎二

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 東京都千代田区神田猿楽町1の9(大平舎ビル2階) | 電話 (201)代表 7691 |
| 大阪営業所 | 大阪市東区道修町1－4(松井ビル) | 電話 (202) 6884 |
| 工事々務所 | 東京都板橋区板橋町6の3356 | 電話 (962) 2581 |

規格化と量産による安くて安全な

# クマリフト

## 押釦全自動式小型昇降機



**つねに新しいアイデアで業界をリードする**
**クマリフトは生産量でも断然業界第一位です**

**◆工場生産される配線工事**

業界初のコンセント方式を採用しましたので、機械据付工事が終ると同時に運転が出来ます。従って工期が30%方短縮されました。

**◆コンベヤーラインに乗る完全塗装**

パーカー処理装置およびコンベヤー式赤外線焼付炉等、一連の最新式塗装工場が完成しましたので、製品は一層優美完全になりました。

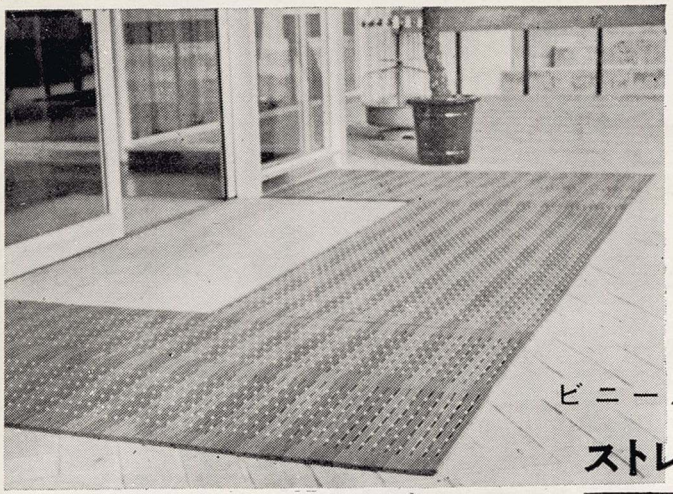
クマリフトは一貫メーカーとしてすぐれたるアイデアと量産により、機構価格、納期などすべてに御満足いただける様、日夜努力いたしております。人手不足の折柄、料理・小荷物・書類等の運搬用として、あらゆる職場に御採用下さい。

| 機　種 | 積載量 | 毎分速度 | カゴ寸法　間口×奥行×高 |
|---|---|---|---|
| J－30 | 25kg | 20m | 500×　500×　600 |
| M－50 | 50〃 | 30〃 | 600×　600×　750 |
| M－100 | 100〃 | 30〃 | 750×　750×　900 |
| M－200 | 200〃 | 30〃 | 900×　900×1.050 |
| M－300 | 300〃 | 30〃 | 1.000×1.000×1.200 |

電源はJ－30B・M－50Bは交流100V
J－30A・M－50Aを含むその他は交流200Vです

KUMA **クマガイ工業株式会社**

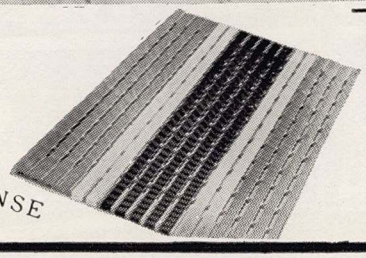
大阪市西区京町堀2－30　電話　大阪（443）3421～5／東京都北区岸町1－9　電話　東京（913）3146～8
名古屋市中区東陽町7－2　電話名古屋(24)0372／京都市上京区智恵光院通丸太町上　電話京都(84)3404・5986／福岡市清川町3－26　電話福岡(2)4777



JEWELRY COLORS
IN

グッドセンスを
敷こう
ストレートで
行こう

ビニール
ストレート ライン マット



WAKE A GOOD SENSE
PAT. PENDING

ミツシマ
近代おそうじ百貨
ミツシマ工業株式会社
京都工場／大阪工場／(久世工場)
営業所・東京都中央区日本橋芳町一の5・(671) 4714
・京都市中京区蛸薬師通烏丸西入・(22)5 3 6 3
・大阪市西区北堀江上通一丁目・(531) 3514
・福岡市下対馬小路一二八・(3)2 7 0 6

アルミパールタイル
ヤハズラス
新
木モセメント板
カラーベストス

ボード
建
スロール

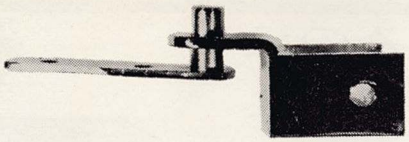
ビニール加工板
メラミン加工板
材
ビニ床タイル
プリント合板

四ツ橋
カモイ
生きる近代建築に
魂ある文化材

30メーカー代理店

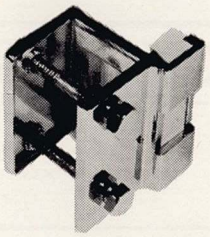
モデルハウスと展示
すまいの用材店
西区立花通2電(531)2843

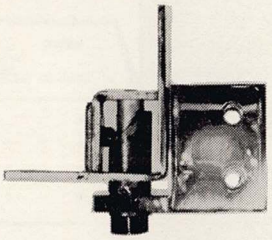
大　阪・四ツ橋
株式会社 山本建材
TEL (541) 1861～5・2131・2233・7060・7170



# グレビティヒンジ

● すばらしくスムーズに回転します　B 型





**材質**／真中引抜
**仕上**／クロームメッキ
**特長**／ラバトリヒンジはスプリングの力を応用して開閉するが、グレビティヒンジはパイプの傾斜を利用して扉の自重でスムースに開閉する
**用途**／トイレ及びカウンター入口などに最適。テラゾー用

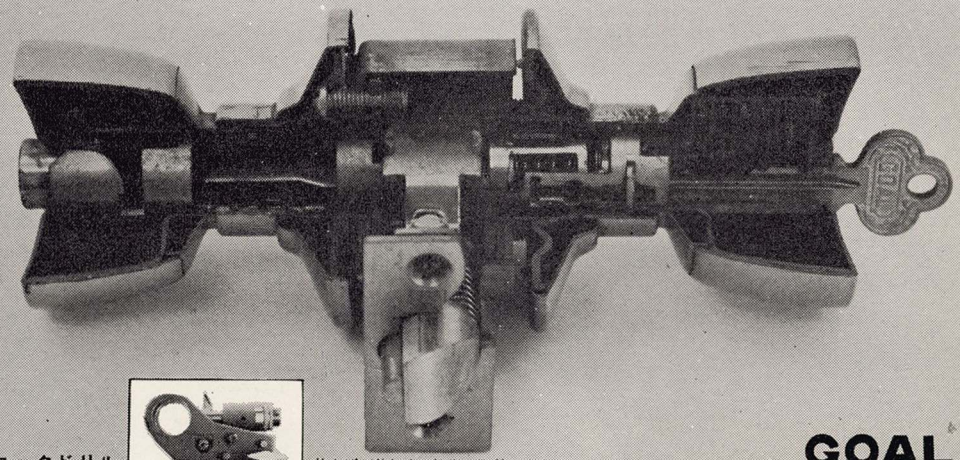
この他に、木製用**A型**、アンカー用**C型**を製作しております。

## 渋谷金属 産業株式会社

本　社・大阪市南区鍛冶屋町5 2 番地
PHONE・大阪代表・211・7 3 3 3
東京支社・東京都渋谷区千駄ケ谷5丁目1番地
PHONE・東京代表・341・6 7 7 1

---

部品は全て、精密・堅牢な加工と組立てを行っています。ゴール高級6本ピンシリンダーの性能は絶体で正確安全です





ゴールロックドリル

仕上げが美しく、簡単に取付が出来る

GOAL

---

鍵を作って50年…

## 株式会社 谷 山 製 作 所

本社・工場　大阪市東淀川区三津屋北通4―44　電話㊤代1771
東京営業所　東京都港区芝汐留1 3 ― 5　電話㊿ 7344

名古屋営業所　名古屋市中区大池町3 ― 6　電話㉔代9281
福岡営業所　福岡市中堅町3 5 ― 1　電話③ 0796
広島営業所　広島市上流町 8 4　電話㉘ 2406
仙台営業所　仙台市名掛丁 9 1　電話㉒代9503
札幌営業所　札幌市南三条西6 ― 3　電話④ 7747

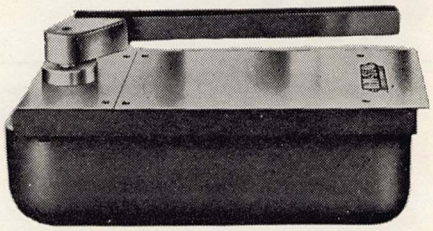
# ゴール〈ユニ〉ロック

# ドア　を閉めるのは
# ボクの役目です

NEW★STAR

●建築様式の著しい発達に伴いフロア　ヒンヂも、これに適応したものを要求されます。
創立40余年を誇る最古の経験と、最新の特殊専用機設備から次々と生れるニュースター・フロア　ヒンヂは、取扱いが簡単で、耐久力があり、建築設計業者の皆様から信頼ある理想的な製品として広範囲にご使用いただいています。



## ニュースター製品

| | |
|---|---|
| ●フロア　ヒンジ | ●ピボット　ヒンジ |
| ●ドア　チェック横型 | ●ラバトリ　ヒンジ |
| ●　〃　壺型 | ●押　板　メラミン樹脂 |
| ●　〃　隠蔽式 | ●押　板クリスタル硝子 |

**日本ドアーチェック製造K・K**

本社工場　大阪市生野区巽矢柄町222　電話(716)2231～6
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話(291)1920・4920
福岡出張所　福岡市船津町1番地　電話(74)3312・2372
名古屋出張所　名古屋市東区高岳町1丁目11　電話(94)4627～8

世界に誇る驚異的建材！
ガスにも熱にもビクともしない！
40年の厂史と最新技術の産物

特許----耐酸.耐アルカリひふく鉄板
**オリエンタルメタル**

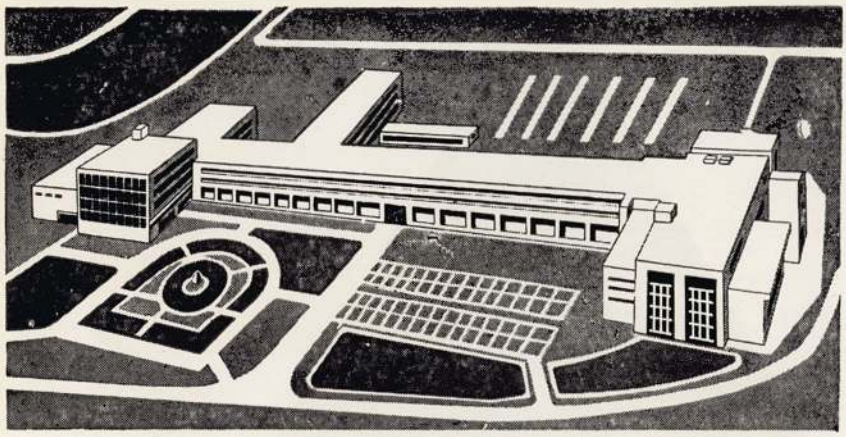
永久建材・超ひふく鉄板
**スーパーオリエンタルメタル**

新時代にマッチした
各種のカラー製品が有ります
美しいアルミ箔ひふく鉄板
**オリエンタル　アルシート**

型錄送呈
責任施工

**オリエンタルメタル製造株式会社**

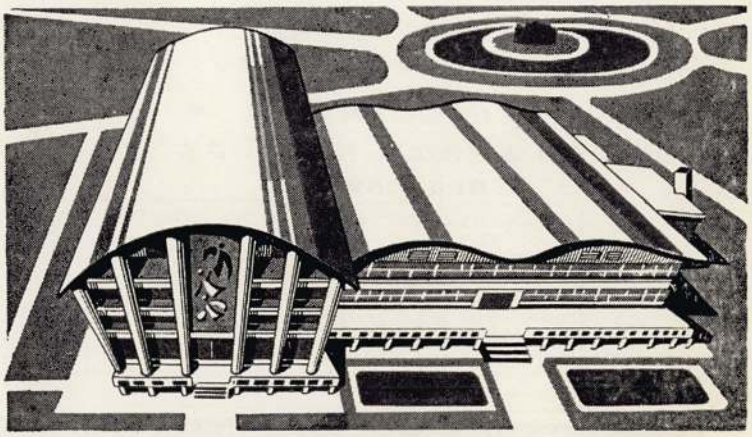
本社工場　尼崎市大物北口　電話　大阪(481)4947～9
大阪支店　尼崎市北新町4-41(古川ビル)　電話大阪(401)9745～6
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話　蕨(32)3115～7
支店・出張所　都山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山



軽量.緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

# 日泝スーパーアルソイド
# 日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　サッシール

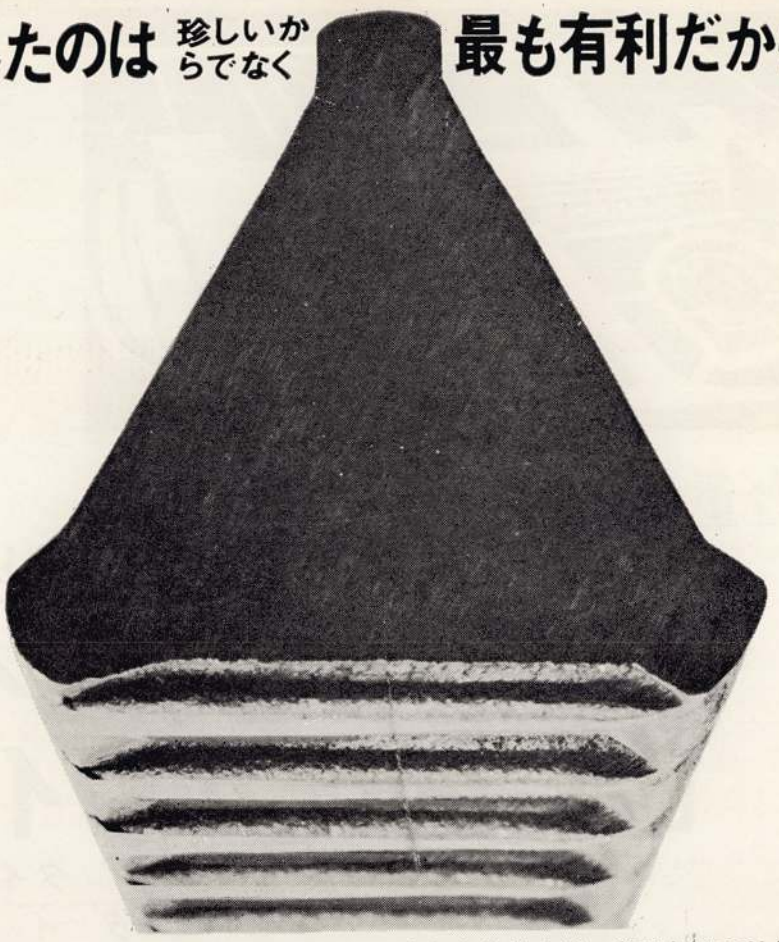


## 日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL (271) 7000・5463～5
名古屋営業所　名古屋市港区南十一番町2—6
　　TEL (66) 8 2 5 1 ～ 5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り3—39
TEL (392) 0 0 5 1 ～ 6

# 三角にしたのは 珍しいからでなく 最も有利だからです



トリコンは三角鉄筋。三角だから、同じ断面積の異形丸鋼より、周長が20%以上長くなり、それだけコンクリート付着力が増加——形のめずらしさが狙いではありません

トリコンはすぐれた高張力鋼を使用し、疲労強度・靱性・耐寒性など、性能の高い鉄筋

大きな付着力が、高張力鋼の利点を最大限に生かし、使用鋼材量がぐっと少くてすむ——それが高張力異形三角鉄筋トリコン。

〈大幅に工費を節減〉〈建造物の自重を軽く〉〈積載荷重を多く〉〈スパンを広く柱を少く〉そんな設計をお望みなら鉄筋はトリコン！

■許容応力度■

| 記号 | 長期応力に対する許容応力度 (kg/cm²) | | | 短期応力に対する許容応力度 (kg/cm²) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | せん断補強に使用する場合 | 前項以外の箇所に使用する場合 | | せん断補強に使用する場合 | 前項以外の箇所に使用する場合 | |
| | | 圧縮 | 引張り | | 圧縮 | 引張り |
| TRICON55 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 3,000 | 3,300 | 3,300 |
| TRICON60 | 2,000 | 2,200 | 2,200 | 3,000 | 3,600 | 3,600 |

■許容付着応力度■

| 材料＼応力種別 | | 長期応力に対する許容応力度 (kg/cm²) | | | 短期応力に対する許容応力度 (kg/cm²) |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 曲げ材上端 | 曲げ材一般 | 定着継手 | |
| TRICON | 公称直径が28㍉以上 | 7/100FC | 10/100FC | 7/100FC | 長期の2倍 |
| TRICON | 公称直径が25㍉以下 | 8.4/100FC | 12/100FC | 8.4/100FC | 上欄の数値と同じ |

建設大臣の特別認定　トリコンはその高性能を認められ、建築基準法に基づく特別認定を得ました。

新しい鉄筋

TRICON

トリコン

神戸製鋼所

## 本会出版図書のアンケートについて

本会の出版図書は戦後より数えても昨年までに20余冊も刊行されております。本年より新しい企画と内容による本会独自な出版事業を活発に推進していきたいと存じます。そのためには会員各位の卒直なご批判と懇切なご意見などを基礎にした企画を樹てて一層実務に直結した図書の刊行を図りたいと存じます。

何卒別紙アンケート用紙により出版事業にご協力下さるようお願い申しあげます。

追記　アンケートの郵券は本会で負担いたしますので要項ご記入の上　4月15日までにご送附願います。

出版委員会

郵便料金
受取人払
大阪東局
承認213号

<切手不要>
差出有効期間
昭和39年4月
15日まで

郵便はがき

(受取人)
大阪東局区内
北浜3—37

日本建築協会出版委員会
御中

## 『本会出版図書』のアンケート

**1**　本会出版図書の中ご購読になられた書名に○印を、その内で参考になつた図書には◎印を付して下さい。　( )内数字は発行年

実際に役立つ鋼構造の計算法 (24)
伸びる家と住まい (25)
アスファルト防水工事とセメント防水工事 (27)
これからの住宅図集 (27)
建設資料便覧 (29)
漏電とビルのダクト火災とその対策 (30)
左官工法指針 (31・34・35)
建築技術者のための空気調和と電気設備 (33)
鉄骨構造計算と実例 (34)
鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集 (36)
建築基準法及関係法規早見一覧表 (38)
地震とその対策の常識 (24)
プラスチックスとビニロン (27)
建築衛生設備 (27)
大阪附近地質図表 (28)
鉄筋コンクリート施工指針 (29・31)
建物及び設備の保全 (29・31・35)
建築塗料 (32)
床の仕上 (34)
工高生デザインコンクール入選作品図集 (35)
ふるさとのすまい (37)
新住宅設計コンクール優秀作品図集 (38)

**2** 出版を希望される図書の種類に○印を付して下さい。また題名を（ ）内にご記入下さい。

(1) 材　料（　　）

(2) 施工法（　　）

(3) 法　規（　　）

(4) 構　造（　　）

(5) 設　備（　　）

(6) 設　計（　　）

(7) その他（　　）

**3** 希望された図書題名の具体的な内容と（できれば執筆者名）出版する場合のご意見・ご希望をご記入下さい。

**4** 本会以外の図書および雑誌で実務の参考になつた書名を2・3ご記入下さい。

氏　名　　年令

勤務先　　職名

## 出版図書案内

□新住宅設計コンクール優秀作品図集　250円

□建築基準法及関係法規早見一覧表　300円

□ふるさとのすまい（日本民家集）　800円

□鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集　3,500円

□工高生デザインコンクール入選作品図集　200円

□床の仕上　200円

□左官工法指針　150円

□建物及び設備の保全　130円

■定価は会員特価を記載いたしました。■送料は別になつております。■電話(大阪㈹9648番)でご注文下さればご送附いたします。

千里丘陵ニュータウン
見　学　会

## 千里丘陵ニュータウン見学会　大阪府建築士会・共催

標記見学会は，37年12月に第1回を催し，こん回はその後の建設状況を，大阪府企業局の斡旋で下記により開催いたします。

記

日　　時　3月24日（火）午後1時（出発）→5時（解散）
集 合 所　大阪駅西口バス駐車場・京阪観光バス・目標会旗
申　　込　電話で21日までに願います。定員70名に達した時は先着順で締切ります。

### 見学する建物工事概要

◇南地区センタービル
設計　村野森建築事務所
施工　株式会社　奥村組
所在地　吹田市津雲台1丁目
工期　38年5月→39年3月
構造・規模　RC造
地下1階・地上3階
延建築面積　6,798m²

◇佐竹台小学校
設計　渡辺建築事務所
施工　大洋建設工業株式会社
所在地　吹田市佐竹台3丁目
工期　38年9月→39年3月
構造・規模　RC造・地上2階
延建築面積　2,846m²

◇F,G,H住区（古江・蓮間・藤白）
敷地面積　約220万m²
建築中の建物　古江小学校(仮称)，古江近隣センター（仮称），蓮間中学校（仮称），府営住宅1,088戸

セントラル硝子堺工場
見　学　会

## 第6回工場見学会
## セントラル硝子株式会社堺工場見学会

1．日　　時　3月27日（金）午後1時（出発）～5時（解散）
1．集 合 所　大阪駅西口バス駐車場・国際興業観光バス・目標会旗
1．申　　込　20日まで消印の往復ハガキで願います。定し定員50名を越えた際は抽せんの上参加証をご送附いたします。
1．お 願 い　同業種関係者の申込はお断りいたします。

■セントラル硝子株式会社はソーダ灰から板硝子まで一貫して生産し，かつソーダ部門，肥料部門をかね具えた綜合化学メーカーであります。硝子部門は昭和33年8月大阪府堺市に堺工場の建設に着手，翌年5月第1期工事を完成するとともに，引きつづき昭和37年10月には型板窯，透板窯の増設を完成して優秀な普通板，型板，網入硝子を豊富に生産しております。また一方，三重県松阪市にベルギー，サンブル社と技術提携による世界最新の画期的な duplex 方式（両面同時研磨方式）を採用したみがき板硝子と，米国パーマ・グラス社との技術提携による安全硝子の製造を行なう松阪工場を昨年末完成，現在試験操業中で近く発売の予定であります。

第6回
若い会員の集い

## 第6回若い会員の集い　統一テーマ"建築からの起点"
## 「計画上からみた神戸ポートタワーについて」

日　時　3月25日（水）午後6時→8時
会　場　本会4階集会室
ゲスト　日建設計工務㈱計画部　**広瀬二郎**氏
申　込　22日までに電話で願います。**定員**　30名

このタワーは神戸市の外郭団体である社団法人神戸港振興協会が建設したものであります。

神戸市は開港90周年を迎え，その記念事業の一環として，港湾施設の拡充整備を決定し，特に瀬戸内海航路の玄関口である中突堤の美化整備を計画し，船客待合所および国際港湾博物館等の計画と一体としてタワーが計画されたわけであります。

当日は『建設の基盤および建設の目的』『設計の概要』『建設経過の概要』などについて，8㎜記録映画およびスライドを中心として話していきたいと思います。

□建築概要□

設計監理　日建設計工務株式会社
本体工事　株式会社　大林組
鉄骨工事　新三菱重工業株式会社
　　川崎重工業株式会社

A．展望室

(1) 面積，収容人員

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 展望1階 | 床面積 | 40.25m² | 収容人員 | 120人 | 展望室 |
| 〃 2階 | 〃 | 54.7 m² | 〃 | 70人 | 展望室厨房 |
| 〃 3階 | 〃 | 70.7 m² | 〃 | 80人 | 回転式食堂 |
| 〃 4階 | 〃 | 92.9 m² | 〃 | 160人 | 展望室 |
| 屋上展望台 | 〃 | 113.8 m² | 〃 | 180人 | 展望台 |

(2) 高　さ　最高部高　SGL＋103,000m

(3) 構　造
地　業　遠心力鉄筋コンクリート杭
基　礎　鉄筋コンクリート造
軸　組　鉄　骨　造（一部鋼管使用）
床　組　鉄　骨　造

(4) 外　装
屋　根　鉄板葺
外　壁　鉄板，クリンプ金網　合成樹脂ペンキ仕上
外廻り建具　鋼製　合成樹脂ペンキ仕上

B．下部建物　（ホール・ロビー・食堂・売店）

(1) 床面積　1階　400.2 m²　2階　302.8m²
3階　273.25m²　4階　231.6m²

(2) 構　造
地　業　遠心力鉄筋コンクリート杭
基　礎　鉄筋コンクリート造
軸　組　鉄筋コンクリート造
床　組　鉄筋コンクリート造

(3) 外　装
屋　根　アスファルト防水　豆砂利洗出し仕上
外　壁　カラコンモザイツクタイル，セラスキン吹付
外廻り建具　鋼製，合成樹脂塗料



本会創立記念日の集い

# 本　会　創　立　記　念　日　の　集　い

## （記念講演と映画会・記念ビールパーティ）

本会が大正6年に創立されてより来る3月30日をもって満47年の記念日を迎えることになります。それを記念して3月28日に創立記念日の集いを，作家の今東光氏の講演および建設記録映画の内容で開催いたします。会員各位多数のご出席を得まして，有意義な記念の集いといたしたく存じます。なお当日引続き，自祝のビールパーティを催しますので，これにもご出席下さるよう，併せてご案内申しあげます。

記

**創立記念日の集い**　3月28日（土）

◇講演と映画会◇（午後1時30分開場・2時開演・5時閉会）

会　場　ガスビル・ホール（大阪・平野町）

講　演　『建築雑感』　作家　今　東光氏

映　画　『ビルディング―その生成―』（日本生命日比谷ビルに取材して）

イーストマン・カラー　5巻（50分）

提供・株式会社　大林組

『若戸大橋』（建設記録）

イーストマン・カラー・ワイド　4巻（40分）

提供・日本道路公団

◇記念ビールパーティ（午後5時30分→6時30分）

会　場　ガスビル8階食堂（大阪・平野町）

会　費　300円（別に補助があります）

申　込　25日までに電話で願います。

定　員　100名

---

## 図書寄贈：国立国際会館設計競技応募作品集

先般，注目のうちに行なわれました標記コンペの応募作が一冊にまとめられ，今回，日本建築学会より発行されました。本会にも一部寄贈をうけましたことを厚くお礼申します。最優秀作品（大谷幸夫），優秀案（芦原義信，大高正人，菊竹清訓）をはじめ応募案180点が紹介されている。監修：建設省，編集：営繕協会，発行：日本建築学会，定価：3,000円，送料：200円

【お知らせ】

3月30日（月）は，本会の創立記念日に当りますので，事務局は休日といたします。何卒ご了知下さい。

第6回実務に直結した新企画の各種説明会

# 『新しい金属建材と熔接工法説明会』

日　時　4月7日（火）午後2時→5時
会　場　千代田生命ビル9階ホール（大阪・平野町・御堂筋）
定　員　230名（お誘い合せご出席下さい）

説明題名と説明者

『建材としてのホーロー製品について』
川鉄金属工業株式会社　取締役社長　福留　富治氏

鋼製型枠のニューフェイス『スミフォーム』と強さに使いやすさをプラスした『バンノー』鋼板について
住友金属工業株式会社製品開発部　技師　土堅　秀氏

『アークスタッド溶接の建築界における役割について』
大阪変圧器株式会社熔接機事業部スタッド部　課長　姫野秀次郎氏

■建材としてホーロー製品について

川鉄のリバーウオルは，鋼板の表面にガラスコーティングしたといえるもので，このホーロー被覆は鋼板との密着性，耐候性，耐蝕性，色彩の自由等の特長があります。

母板は川鉄の良質鋼板であり，強度はもちろん，熱に対しても他の金属材料よりすぐれています。

建築物の内，外装材としてスパンドレル式，または耐火遮音，軽量化等それぞれの目的に応じた芯材を用いて，サンドイッチパネルを製作すればカーテンオール工法に特に便利であります。

壁厚を薄くすることができるので建物の有効面積の増大がはかれ，構造物の軽量化にも役立ちます。

このほかホーロー波鉄板，チョークボード，交通標識，浴槽，流し，冷蔵庫部品，各種厨房器具，その他耐蝕用各種器具も生産しております。

■鋼製型枠のニューフェイス『スミフォームの特長』

1．クリップがパネルに内蔵されている……使いよい
2．サン材がすべて形鋼になっている……強い
3．支持材の当りがすべて平面になる……精度が高い

■強さに使いやすさをプラスした『バンノー鋼板の特長』

1．優れた断面形で使いよい。
2．強い，そして木材と比べても安価。
3．いろいろの用途に向く種類がある。

■アークスタッド溶接の建築界における役割

アークスタッド溶接とは，鉄鋼構造物に孔あけ，タップたて等の作業を行なわず，スタッドをその構造物に対して直接にアーク溶接法によって植付ける方法であります。

ダイヘンアークスタッド溶接機の研究と製造の実績は古く昭和12年に始まり，昭和31年には英国クロンプトンパーキンソン社および米国グレゴリインダストリーズ社との間に技術提携を結びました。この溶接装置は直流溶接電源，溶接銃および制御装置の三つから成立っています。その用途としては造船，電機，鉄道車輌，自動車，化工機，ボイラー，原子炉，一般機器，橋梁，建築等極めて広範囲に亘って利用されていますが，とくに欧米における建築界の新工法を紹介する一方，わが国の現状についても御話いたしたいと思います。御関係各位の御忌憚のない御意見を拝承できれば幸いに存じます。

第6回
実務に直結した新企画の各種説明会

## キール構造による体育会館見学会

### 大阪府立大学体育館建築概要

設　計　株式会社大阪建築事務所
施　工　株式会社　浅沼組
所在地　堺市百舌鳥町
工　期　38年6月→39年2月
建築面積　2,108.183m²
床面積　3F　503.195m²
　　2F　1,975.300m²
　　1F　1,728.000m²
　　計　4,206.496m²
軒　高　GL+14.650m
最高高サ　GL+23.100
構　造　鉄筋コンクリート造2階建
　　（一部中3階）
屋　根　鉄骨造　アスファルト防水
外　壁　モルタル刷毛引セラスキン吹付
　　コンクリート化粧打放シ
建　具　アルミ製

## キール（Keel）構造による体育館見学会

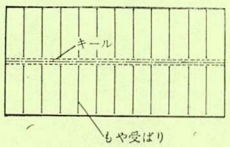
（大阪府立大学体育館・講堂）

日　時　4月8日（水）午後1時30分（出発）→5時（解散）
集合所　大阪駅西口バス駐車場・京阪観光バス・目標会旗
申　込　3月31日までに到着する往復ハガキで願います。
定　員　70名を超えた場合は抽せんの上参加証をご送附いたします。

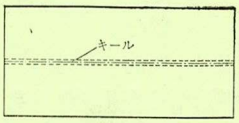
### キール構造について

従来の平面架構のやり方の手法と思想的に180°転換したものである。

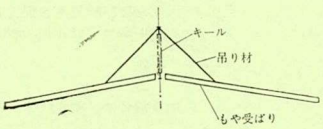
1. トラスを棟の位置に1本だけかける。キール（Keel）このためトランスのスパンが長くなるがトラスのせいは充分にとれる



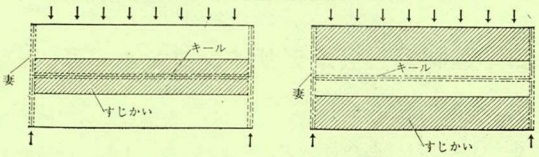

2. トラスの下弦材に向つてもやを受ける。はりを両側からかけ渡すーもや受ばり

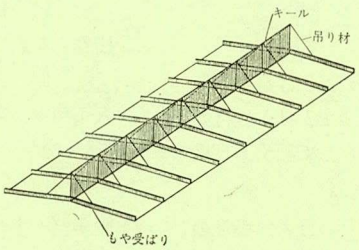



3. 棟トラスの下弦材からもや受ばりを左右に吊る。




4. 地震とか風の水平力は屋根面内に剛性を保持させて両妻に伝える。




## 財団法人日本建築総合試験所の設立について

昨年来，大阪府知事，大阪市長，大阪商工会議所会頭，在阪建築関係6団体会長、支部長並に近畿5府県の各建築士会、建設業協会の各会長が設立発起人となり，本会がこれの世話役として設立計画中であった財団法人日本建築総合試験所は，旧臘国庫補助金の交付も内定したので，2月7日，大阪科学技術センターにおいて，設立発起人会議を開催して設立に関する諸般の事項を議決し，いよいよ発足をいたしましたので茲に会告申し上げます。

## 建築基準法改正講習会開催

今回の建築基準法令の改正は，建築物の高さ制限緩和に伴う規制措置を中心に，防火規定をはじめ一般建築物にもおよぼす，相当大巾な改正であることは，すでにご承知のとおりですが，法令運用上規定された特定街区指定基準，新構造基準，その他の新たな告示についても新しく説明されます。

1．主　催：日本建築士会連合会，日本建築学会，建築行政協会

2．実施体：都道府県建築士会，同上支部，同上支部

3．後　援：建設省，開催地都道府県，日本建築家協会，全日本建築士会，日本建築協会，全国建設業協会

4．開催地，期日

| 開催地 | 期日 月 | 日 | 時間 |
|---|---|---|---|
| 札幌 | 4. | 23（木） | |
| 仙台 | 4. | 20（月） | |
| 新潟 | 4. | 28（火） | |
| 東京 | 4. | 3（金） | |
| 横浜 | 4. | 20（月） | 各会場とも |
| 名古屋 | 4. | 6（月） | 9時30分 |
| 京都 | 4. | 8（水） | ～17.00 |
| 大阪 | 4. | 9（木） | |
| 神戸 | 4. | 10（金） | |
| 広島 | 4. | 24（金） | |
| 高松 | 4. | 22（水） | |
| 北九州 | 4. | 15（水） | |
| 福岡 | 4. | 14（火） | |

5．会場（東京を除き未定）

6．科目，時間割

| | 時 分 | 時 分 |
|---|---|---|
| 挨拶 | | 9.30～9.35 |
| 基準法改正の趣旨 | | 9.35～10.00 |
| 防火関係 | | 10.00～12.00 |
| （昼休） | | 12.00～13.00 |
| 構造関係 | | 13.00～14.00 |
| 都市計画および総則関係 | | 14.00～15.00 |
| 特定街区の制度 | | 15.30～16.30 |
| 総括質問 | | 16.30～17.00 |

7．講師　（敬称略）

三宅俊治　　朽座正信　　原次雄
松谷蒼一郎　　北島照仁　　尾崎堯則
山東和朗　　立石真　　養原敬

8．聴講料下記テキスト代として700円

（1）改正法令（註付）告示，容積地区関係規準および解説A5判約300頁
（2）同上解説　B6判約380頁

9．お申込

参加希望者は，主催団体か本会までご連絡下さい。

---

## （社）日本建材協会会章デザインコンクール（本会後援）

1．デザイン課題

社団法人　日本建材協会会章のデザイン

2．デザイン要件

A　表　現　作図表現は自由であるが，社団法人日本建材協会の象徴として品位あり格調高いもの。

B　用　紙　官制ハガキに墨書の上，応募者名は表書きのこと。なお，できるだけ作品の意図を簡単に記入すること。

C　利用範囲　会旗・バッチ・その他印刷物に使用します。

3．審査委員（敬称略・50音順）

浦辺鎮太郎　（株）倉敷建築研究所所長
岡村　実　日建設計工務（株）インテリヤ部長
村尾　栄　（株）竹中工務店設計課長
山本純孝　（株）安井建築設計事務所第二設計部次長
ほかに建材協会役員　4～5名

4．入選数ならびに賞

入選　1点　賞状および賞金3万円（税抜キ）ほかに副賞
佳作　5点　〃　5千円（税抜キ）ほかに副賞

入選図案の版権は主催者に帰属する。

5．締切期日

昭和39年4月末日附消印のあるものをもって締切る。

6．入選者発表

審査の結果は本人に通知するほか，主要建築雑誌（5月号およびその近刊）に発表する。

7．応募手続

A　応募資格ならびに応募点数は制限しない

B　応募図案の提出先

大阪市西区京町堀1丁目170番地
社団法人　日本建材協会　会章デザインコンクール委員会宛

C　問合せ先

社団法人　日本建材協会　総務係
電話大阪（443）代0345番

---

## 〝かなりやの歌〟歌碑設計競技募集

主催　近畿建築士会協議会

1．建設位置

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町浪煙山地先

2．趣　旨

明るい南国の海を展望する絶勝の地先にふさわしく，また歌詞に盛られたイメージをも象徴するものにして，その地を旅する人々の旅情を，さらに豊かにするに足る造形を求めんとするものである。

（参考）かなりやの歌4項

「うたをわすれたかなりやは
　ざうげのふねにきんのかい
つきよのうみにうかぶれば
　わすれたうたをおもいだす」　西条八十

3．応　募　者　特に限定せず

4．期　限

昭和39年4月30日（木）

5．応募図書

（1）平面図　1/50（青図1/4の用紙）
（2）立面図　1/50（同　上）
（3）透視図　（着色自由）（ケント紙1/4）
（4）設計説明　普通便箋大縦使い横書き
（5）名称，面積等は番号を用いず直接記入のこと
（6）すべて図面には右下に暗号を記入する。別に住所，氏名，勤務先，年令，暗号を記入した用紙在中の封筒を添えたうえ外装のこと。

6．審　査　員

足立　孝，浦木清十郎，西条八十，島村佐次郎，福永　薫

7．入賞発表

期日　昭和39年5月31日

8．賞　金

入選　10万円
佳作（3名）各2万円

9．実施設計および監理

建築三会制定の「建築設計競技規準」により，入選者は顧問として設計監理に関与せしめる。ただし実施設計・監理は富松建築設計事務所が担当する。

10．設計条件

（1）工事予算　約100万円
（2）かなりやの歌　歌詞（西条八十氏直筆のもの）の原寸大（タテ90×ヨコ60cm）を彫刻すること。

11．お問合せ

大阪市東区博労町3－3　大阪府建築士会内
近畿建築士会協議会

美しくゆたかな暮しを作る

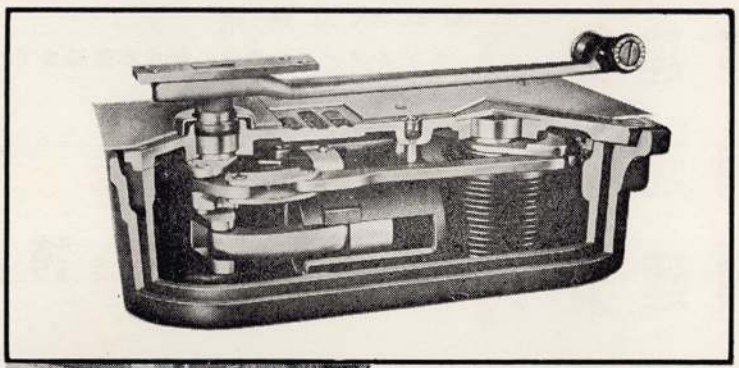
# ダイキン タイル

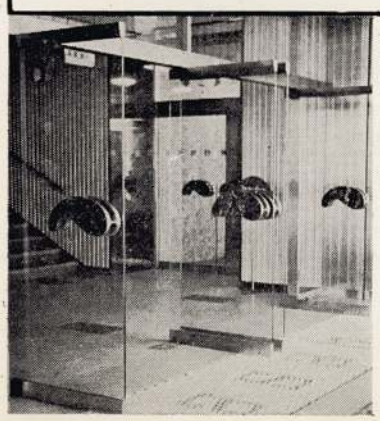
■タイル施工の第一条件は下地に馴じみ易く耐久性のあることです　ダイキンタイルは厳密な材質の選定と徹底した品質管理のもとにつくられております
■「桂」は優れた製品として皆様に御満足願える様に　最高の施工技術と責任施工システムを持って新しい時代の建築に御奉仕申上げております　床材のことなら「桂」を御利用ください

ダイキン工業株式会社代理店

**株式会社桂商会**

本　　社　大阪市大淀区国分寺町一の一
TEL大阪(351)6625.7728～9.8677～9





## 専門家が推奨する

金属製扉、木製扉、強化硝子扉
合成樹脂扉、何れの扉にも使用出来ます。

諸官庁御指定品　旭硝子御採用品

製造元
**敷島金物株式會社**
大阪府布施市横沼町1の46
電話　布施(721)7713～4
東京都千代田区神田三崎町2の26
電話　東京(332)5310(301)0403

# ユートピア印 ピボットヒンジ フロアヒンジ

S.K UTOPIA

あなたのセンスがそのまゝ生きる！

伝統と技術にはぐくまれた美しい3つのデザイン



●ダイナミックタッチ

ジュピター　L1305

陶器・金具セット

1級・¥15,400　並級 ¥13,900



●やわらかい甘いムード

ヴィナス　L1223

陶器・金具セット

1級 ¥15,000　並級 ¥13,560



●端正な感触・・・・

アポロ　L1306

陶器・金具セット

1級 ¥14,200　並級 ¥12,700

Toyotoki 東洋陶器株式会社

本社／小倉　工場／小倉、茅ヶ崎、滋賀

大阪営業所／大阪市東区高麗橋Tel (231) 4518～9 1424



鋼管構造建築

重量型鋼建築

軽量型鋼建築

広瀬式組立建築

インスタントハウス　から本建築まで!!

最新の設備と

優秀な技術を誇る

工場

倉庫

ガレーヂ

事務所

労務宿舎

体育館

移動教室

その他

綜合建設業

建設大臣登録　(チ)第4133号

設計・製作・施工・販売

広瀬ハウス工業株式會社

本社　大阪市西区西長堀北通3丁目2の3　TEL (531) 9351代表 (541) 7721代表

東京支店　東京都墨田区江東橋1－4　昌山ビル3・4階　TEL (633) 2910・2911

工場　大阪（福崎）・千葉（酒々井）・名古屋（大山）

# 建築と社会

1964年・第45集・3月号・目次

ARCHITECTURE & COMMUNITY ©

外部空間特集 **3**


作品作風　池萬ビルディング……設計施工　株式会社 大林組……11
東洋ベアリング本社ビル……設計施工　大成建設株式会社……16
国民宿舎しんぐ荘……設計　光安義光と協同研究室……22
施工　株式会社 池藤組

建築の眼　担当50音順：足立 孝一・服部卓爾・牧原 敬典・溝淵 俊文……26

本文

[1]外部空間とは　「外部空間の構成」……28
対談：芦原 義信・神代雄一郎
編集側：大久保昌一・松井 昭光
都市空間の歌……写真選択と文：西沢 文隆……39
物自身のもつ空間・大地の空間化・囲うこと・空間の有機化・都市景観

[2]座談会　みんなの外部空間……54
出席者：槇木 茂・宮島 久七・西沢 文隆・浦辺鎮太郎・
大久保昌一（司会）

[3]小論随想　外部空間雑感……紙野 桂人……66
広場あれこれ……宮島 久七……68
コミュニティ・センター……富安 秀雄……70
屋外附帯工事費——住宅団地の原価要素として——……今井単之助……72

会員の頁……74

近代建築調査委員会報告 51
山形県田川地方事務所庁舎・荘内文化会館……近藤 豊……77

職人シリーズ　第15回・ガラス工（小林千之亟さん）……藪内 幸雄……80

技術の頁　19. 構造部門：土質と基礎の形式——基礎の設計の考え方——…小泉 昇……81

会報　1月分……83


表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷 淳


昭和39年3月20日印刷　昭和39年3月25日発行
定価　1部180円・送料共
編集人　松井 昭光
発行所　社団法人 日本建築協会　大阪市東区北兵3丁目37
電話大阪㊇9648・9649・9640番　振替口座大阪39975番
発行人　手島 政男
印刷所　株式会社 研文社　大阪市北区堂山町66　電話㊇2091～3番
印刷者　嶋野 栄

# 建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

## 美素工業所（株）
## 美素建物管理（株）

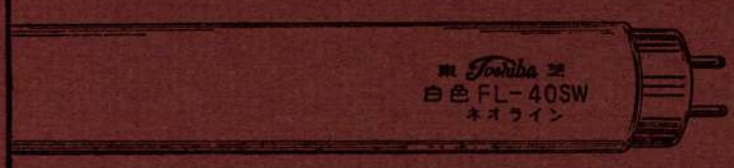
本　社　大阪市東区瓦町　三和ビル
電話（231）5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話（261）4070・4079・617

東芝技術の成果！　新製品誕生

明るさ3,200ルーメンを超えたスマートな32㎜管

従来の安定器および灯具がそのまま使用できる

東芝蛍光ランプ　ネオライン




定価も従来品と変りません

現金定価

FL-40SW　480円

FL-40SD　480円

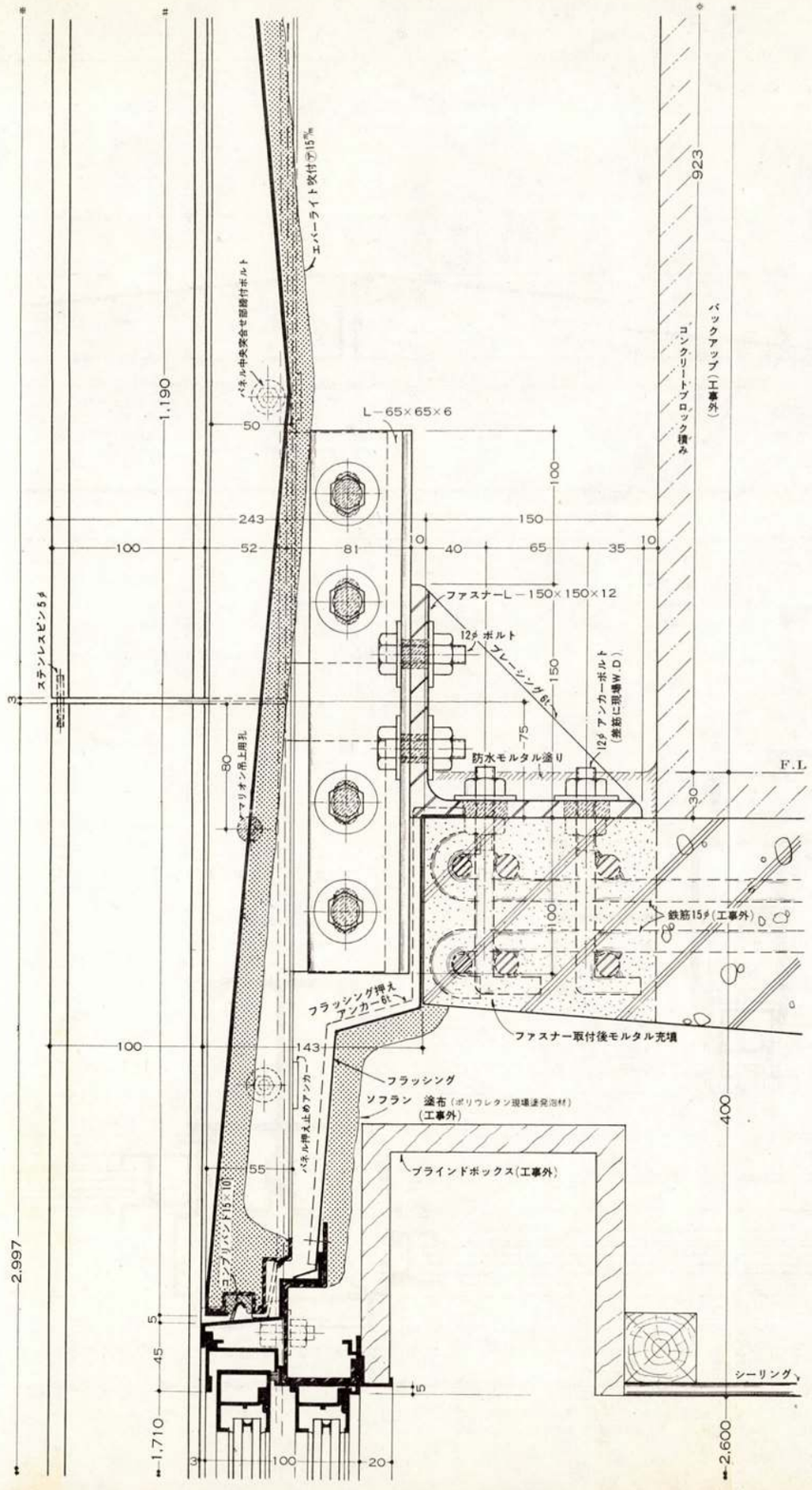


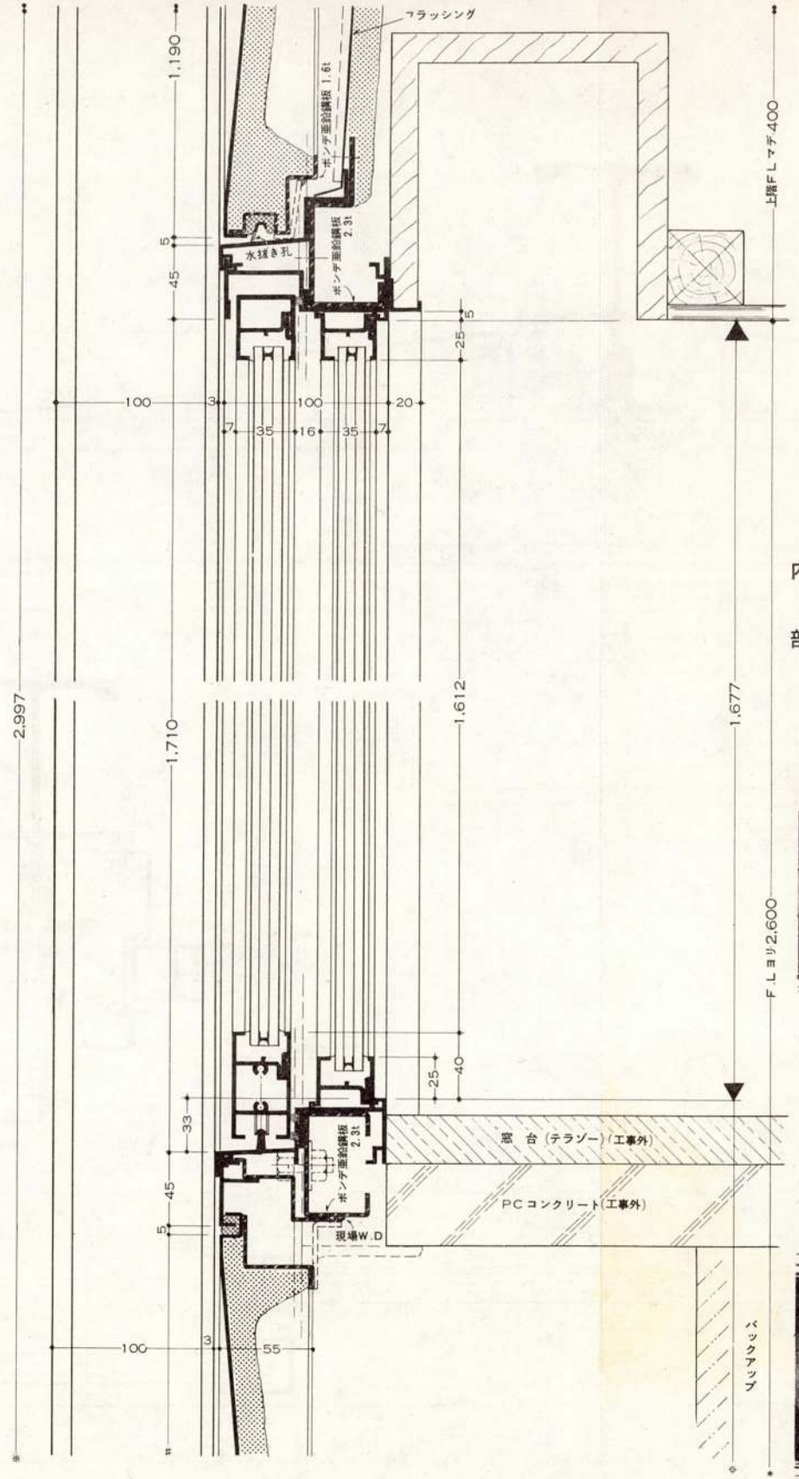
設計施工　株式会社 大林組

# 池萬ビルディング



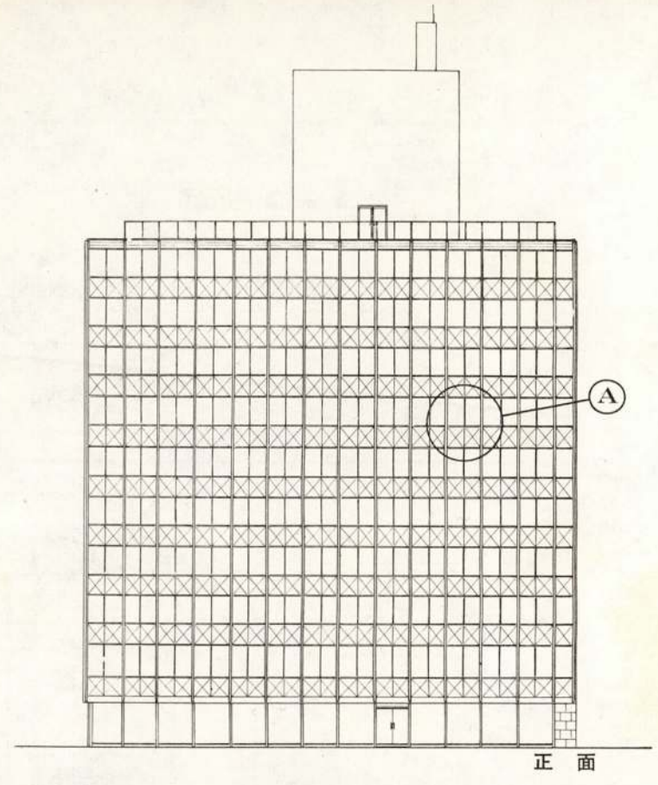
外部



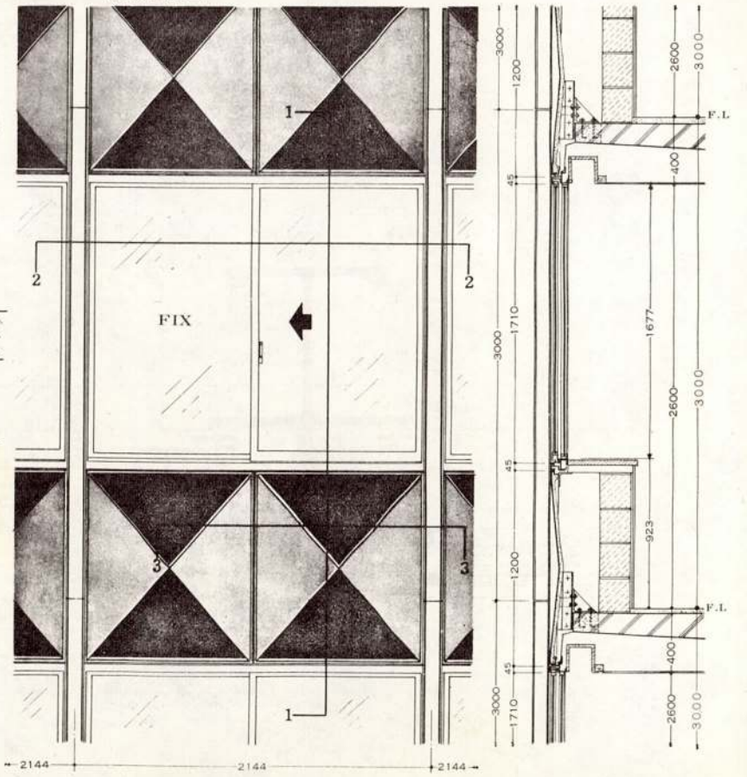

1 — 1 断面

内部



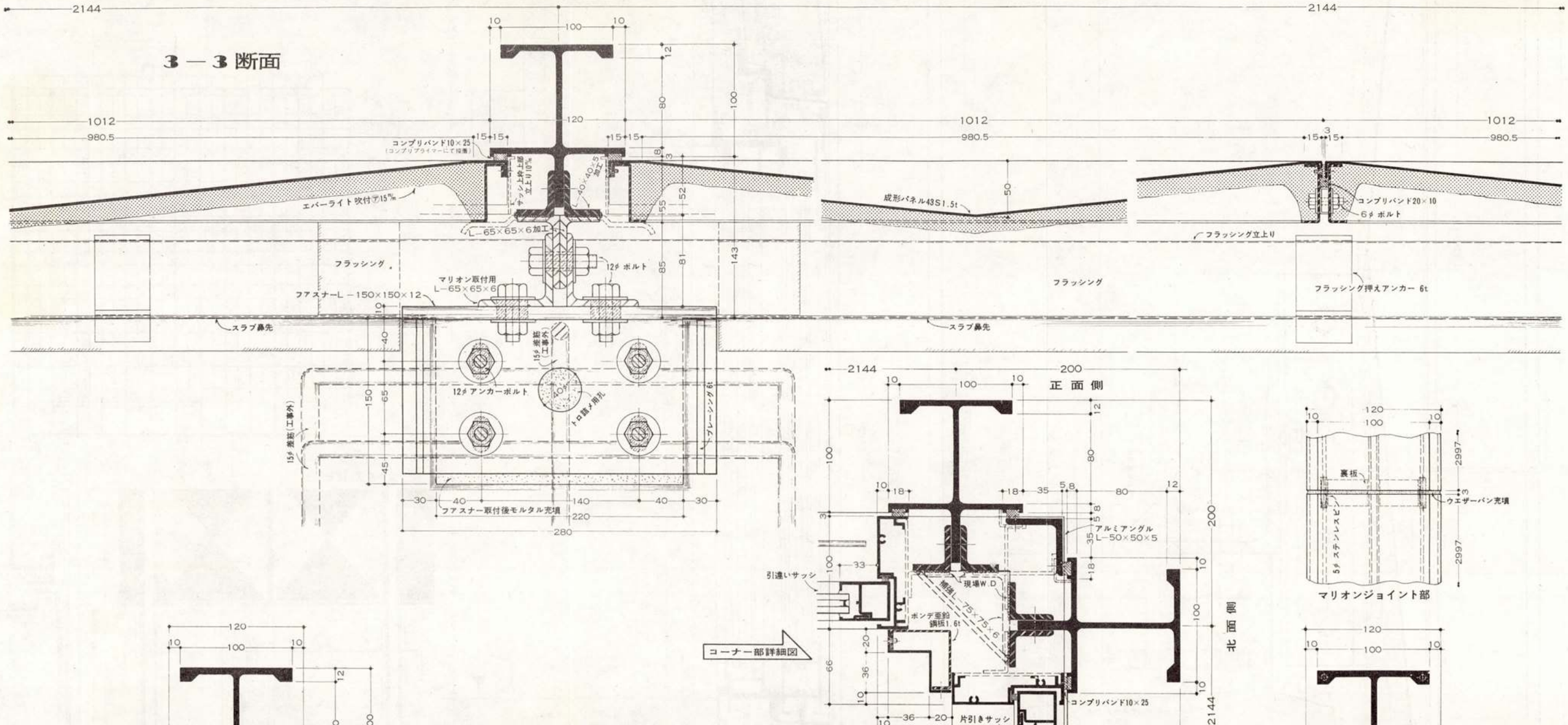

正面

A 部詳細図



外　部

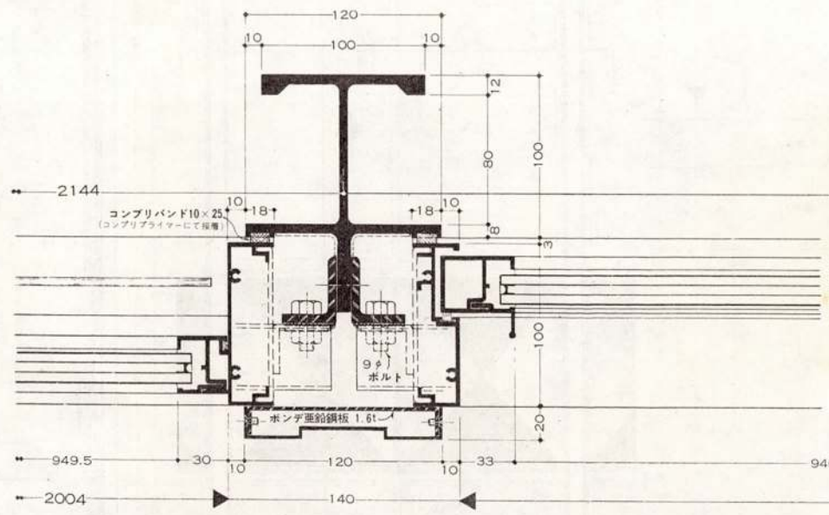
## 3 — 3 断面



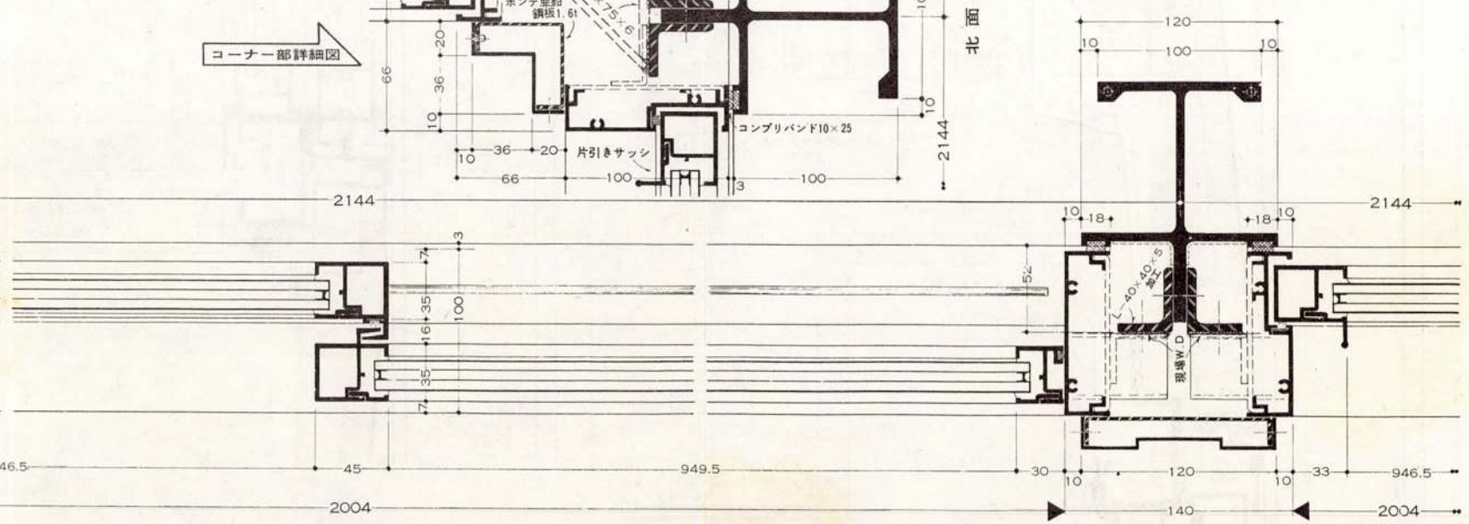







## 2 — 2 断面

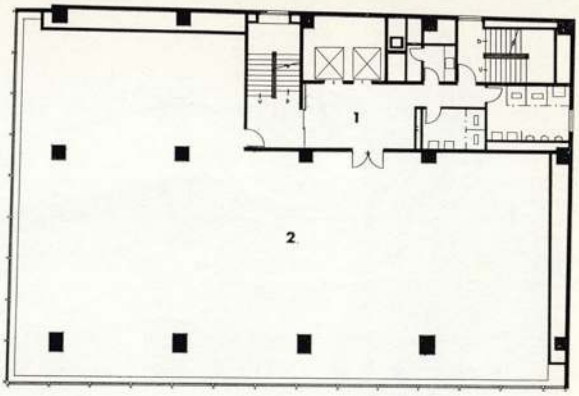



内　部

# 池萬ビルディング

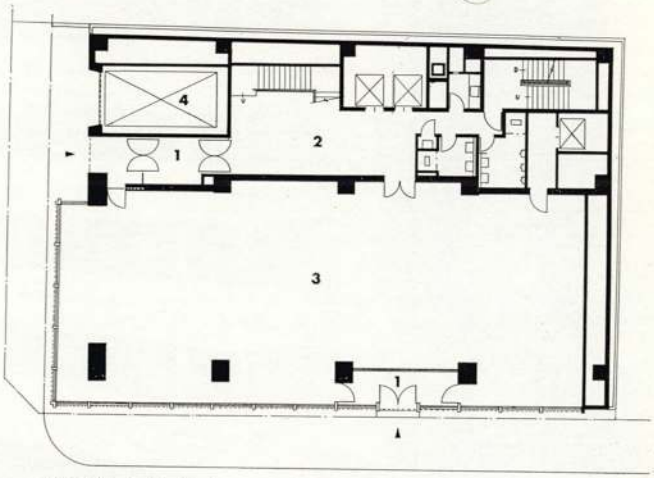
設計施工　株式会社 大　林　組

| | |
|---|---|
| 建築位置 | 大阪市東区備後町2丁目11 |
| 構　造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 階　数 | 地下2階 地上10階 塔屋2階 |
| 面　積 | |
| 地下2階 | 583.78m² |
| 地下1階 | 583.78m² |
| 1　階 | 525.84m² |
| 2　階 | 381.30m² |
| 3～10階 | 558.19m² |
| 塔屋1階 | 69.58m² |
| 塔屋2階 | 69.58m² |
| 延面積 | 6,679.38m² |
| 工　期 | 昭和37年6月～昭和39年2月 |




基準階平面図　1. エレベータ　2. 貸　室

1：400




1階平面図　1. 風　除　2. エレベータホール　3. 貸　室　4. カーリフト

■ 池萬ビルディング設計者のことば

吉岡吉雄

この建物は事務所建築でありますが，土地の利用度を高めるため，地上31Mの制限高さ一ぱいに10階として計画されたものであります。外装はアルミニウムサッシとダイヤモンドパネルを使用したプレハブ方式によるカーテンウオールであります。とくに当ビルの外壁カーテンウオールは完全無足場で計画しましたが，これはわが国においてはおそらく最初の実施例であろうと思われます。

その他地下外壁に無音無振動の工法を採用するなど，設計と施工の両者の協力により，技術の向上を計るため種々新しい方法を試みました。これらのことに関して建築主の深いご理解を頂きましたことを感謝しています。

■ 池萬ビルディング施工者のことば

大崎憲一

池萬ビルは大阪の都心部，終日車の列で混雑する堺筋と備後町通りの交差する角地に，建築主のご希望によって，敷地面積を最大限に利用，約20M×30Mの敷地一ぱいに建築された地下2階，10階の建物である。

東南面隣接部には野村証券ビルの株式速報板やＩＢＭ等が設置されており，道路埋設物などの諸条件から判断していわゆる「公害」を発生する恐れがあるので，在来の鉄矢打土留工法を採らず，当社の新工法である「ＯＷＳ土留工法」を採用した。この土留壁は地下掘削後地下の主体壁としても使用出来る利点を有し，作業は無音無振動で行われる。

建物の完成後行われた各種の沈下検査においても道路埋設物が沈下しないとの結論が出され，道路復旧工事も免除されるほど公害はなかった。

西北面の外壁部分は本格的なカーテンウオール工法で主体工事中はもちろんカーテンウオール工事も無足場で施工した。

今や超高層建築も許可され，20階，30階といった本格的なカーテンウオールでは足場を使用することはほとんど考えられず，この点からも無足場によって施工したことは今後の問題として重大な意義があると思う。

当工事において施工した「ＯＷＳ土留工法」「無足場施工」自体にもまだ研究課題は残されているが，在来の工法に比べて市街地に建築される工法として，将来大いに利用されることは言をまたない画期的なものである。




## 東洋ベアリング本社ビル

設計施工　大成建設株式会社

■ 設計者としてのことば

大阪駅から南北線を通り肥後橋を渡ると，それから南には高層ビルがありません。戦前から四ツ橋の電気科学館だけなのです。当ビルは小規模な自家用事務所建築ですが，南北線沿いにはじめて建つので，将来周囲にどんなビルが建つか想定すべくもなく，思いきって大胆に設計してみました。

すなわち基本的には，敷地が平行四辺形なので両側に核をもっていき，中央の矩計部分を有効に平面計画しました。またこの程度の敷地では，地下に駐車場をとることは不利なので，1階を駐車場とし有効に利用しております。

外観上特に苦心したのが，北側の大壁面です。当敷地は地盤が悪いので，構造的にも色々苦心が払われているのですが，南北両側面に配置された大耐震壁，これの処理には全く苦労しました。チョコレート色のタイルに，ステインレスの商標を配置してみたのですが，結果的には趣のある外観になったと思っています。

ビルの内容としては，近代ビルとして必要なものは総べて装備してありますが，特に意を用いたのが空調方式です。全館ペアグラスを用い，フアンコイルユニット方式と，ダクト方式の併用によりビルの維持費の低減を計っております。その他一般事務室をオープン化して，事務をとる人たちも，またこのビルを訪れる人々にも，明るい雰囲気にひたってもらえるよう努力した心算です。



| | |
|---|---|
| 建築位置 | 大阪市西区京町堀1丁目25番地 |
| 敷地面積 | 969.36m²（293.23坪） |
| 建築面積 | 851.89m²（257.70坪） |
| 建築延面積 | 7145.82m²（2161.6坪） |
| 階層 | 地下1階，地上8階，塔屋2階 |
| 高さ | 軒高 GL＋29.13M |
| | パラペット天端 GL＋36.45M |
| | 基礎底面 GL－ 6.73M |
| 構造 | 基礎 鉄筋コンクリート杭打 |
| | 主体 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 工期 | 昭和37年11月1日着工 |
| | 昭和39年1月31日竣工 |

**◀外観**

正面柱型：外国産花崗岩
壁面：小口タイル白
窓：アルミサッシ
側面：タイル（3寸×5寸）
裏面：リシンかき落し

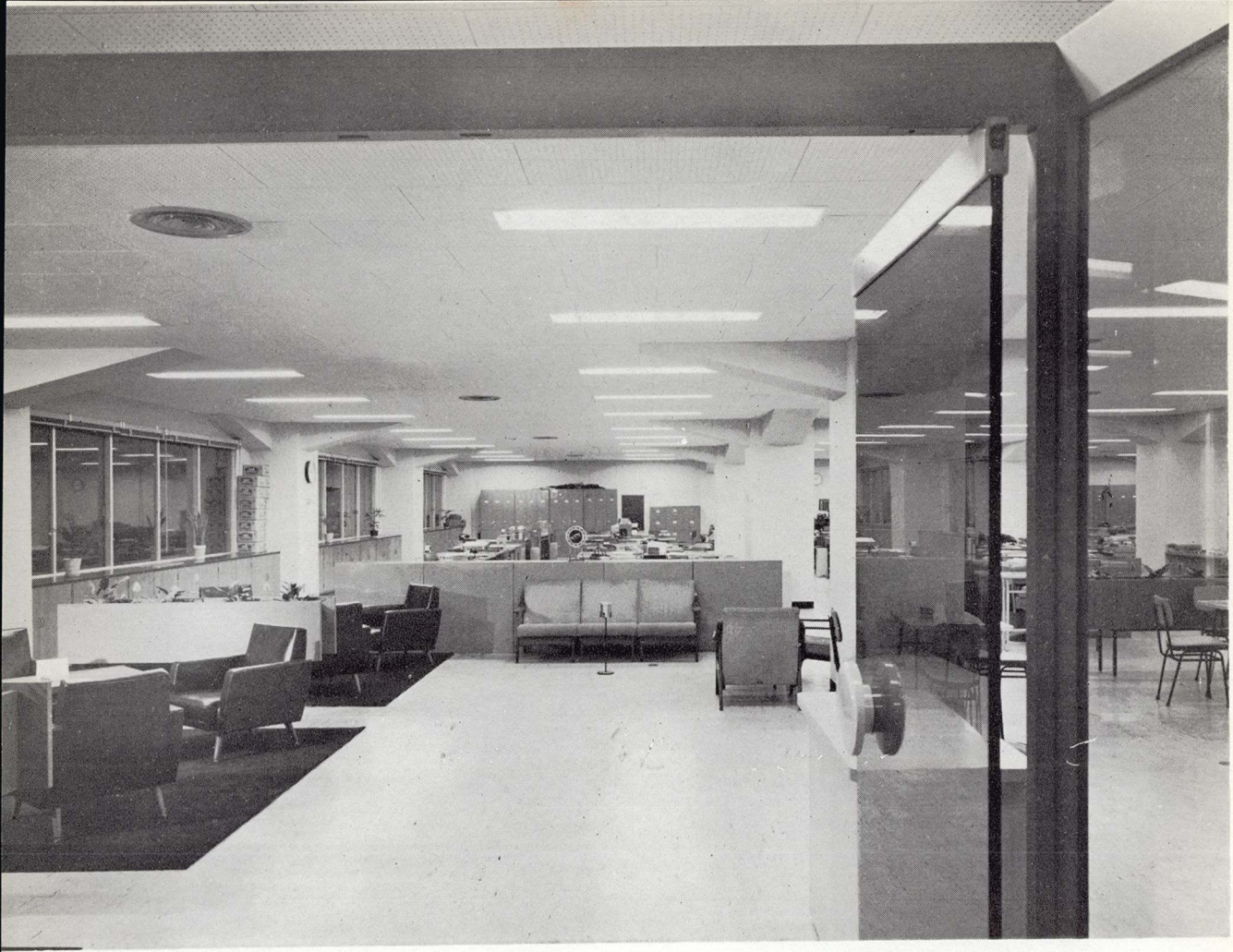
**▲玄関ホール**

壁：外国産大理石
天井：アルミスパンドレル
床：花崗岩

**▼展示ホール**

天井：カンレイシャペンキ
壁：布貼り
床：リノタイル



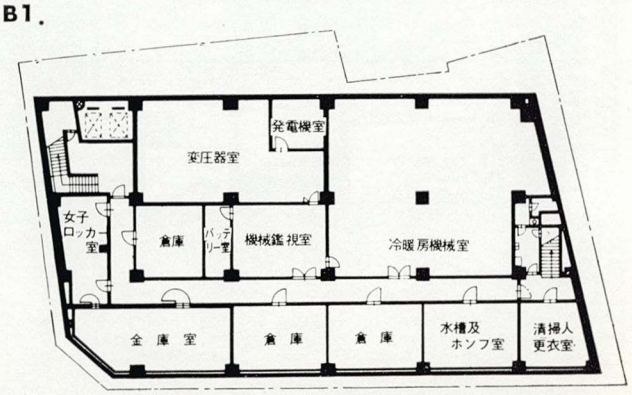


▲一般事務室
天井：タイガートーン
壁　：モルタルペンキ
床　：塩ビタイル

■ 施工者としてのことば—

ご承知のごとく大阪市の地盤は御堂筋から大阪湾へかけて急激に悪くなります。当初このビルが計画されたとき，施工者として最も苦心して色々検討したのが，基礎工事をいかにすべきかという点でした。結論としては地下20Mまでコンクリートの群杭によって支持することにしたのですが，この敷地の半分は地下1階，地上4階のビルであり，残りの半分は昔の堀だったので大変な基礎工事になってしまいました。すなわち地下室を撤去し，昔の杭を抜き，堀の堤防を取り去り，川底を深え，しかる後に14Mのコンクリート杭を1.2M間隔に打ち込んだのです。色々と施工法を工夫した結果，近隣の苦情もなく無事に確実に施工を終えることが出来ました。施工上特筆すべき点もありませんが，上記の長尺杭打の施工法の工夫と，地下室解体から鉄骨の建方完了に至るまでガイデリッキを最も有効に活用したこと，あるいは近来の交通難から生コンの使用を断念し，地上部分のコンクリートは地下室に骨材を貯蔵して現場練りとしたことなど，施工法を昔に戻したようなことで施工しましたが，結果的にはすべて最良の方法だったと思っております。工事途中，地下鉄3号線の着工に伴い，資材の搬入に苦労を重ねましたが，全員の一致協力により，全工期無災害にて，予定工期を2カ月も短縮して無事竣工引渡しすることが出来たことを喜んでおります。

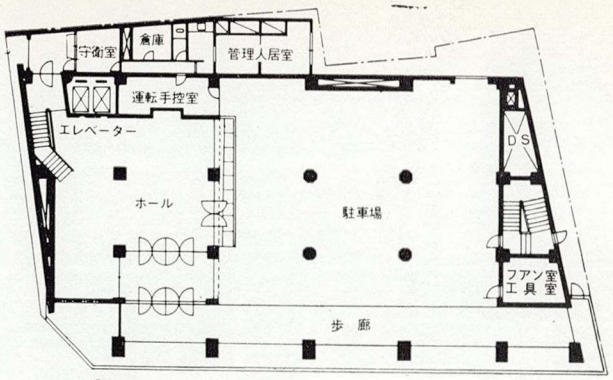
B1.




地下1階平面図

# 東洋ベアリング本社ビル

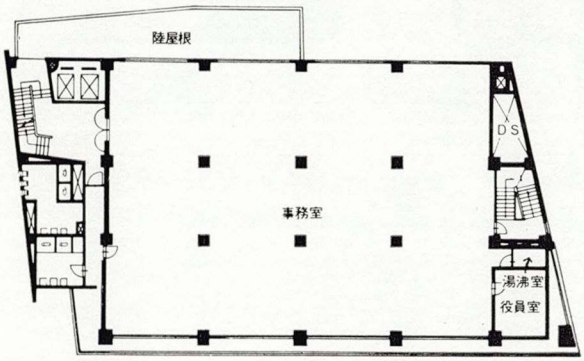
設計施工　大成建設株式会社




1階平面図

1.

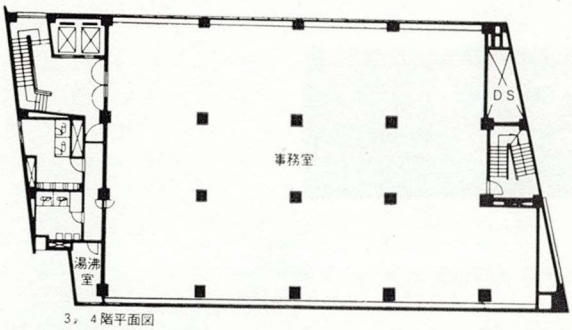
2.




2階平面図

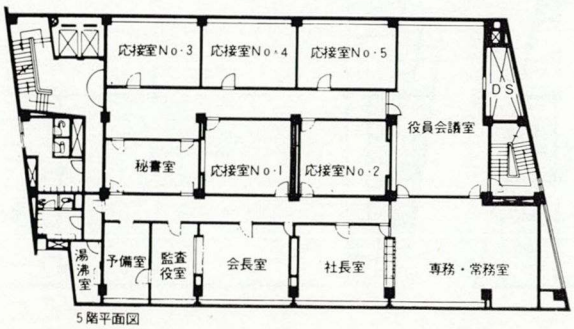
3.

4.




3，4階平面図

5.




5階平面図

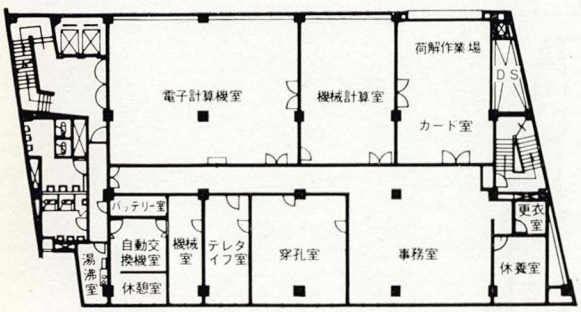


▲食　堂
天井：クロス貼り
壁　：細目板貼り
床　：塩ビタイル

# 東洋ベアリング本社ビル

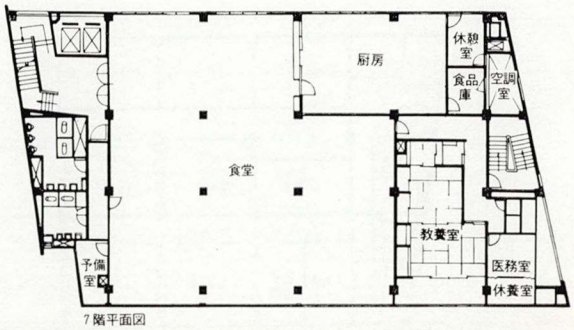
設計施工　大成建設株式会社

6.

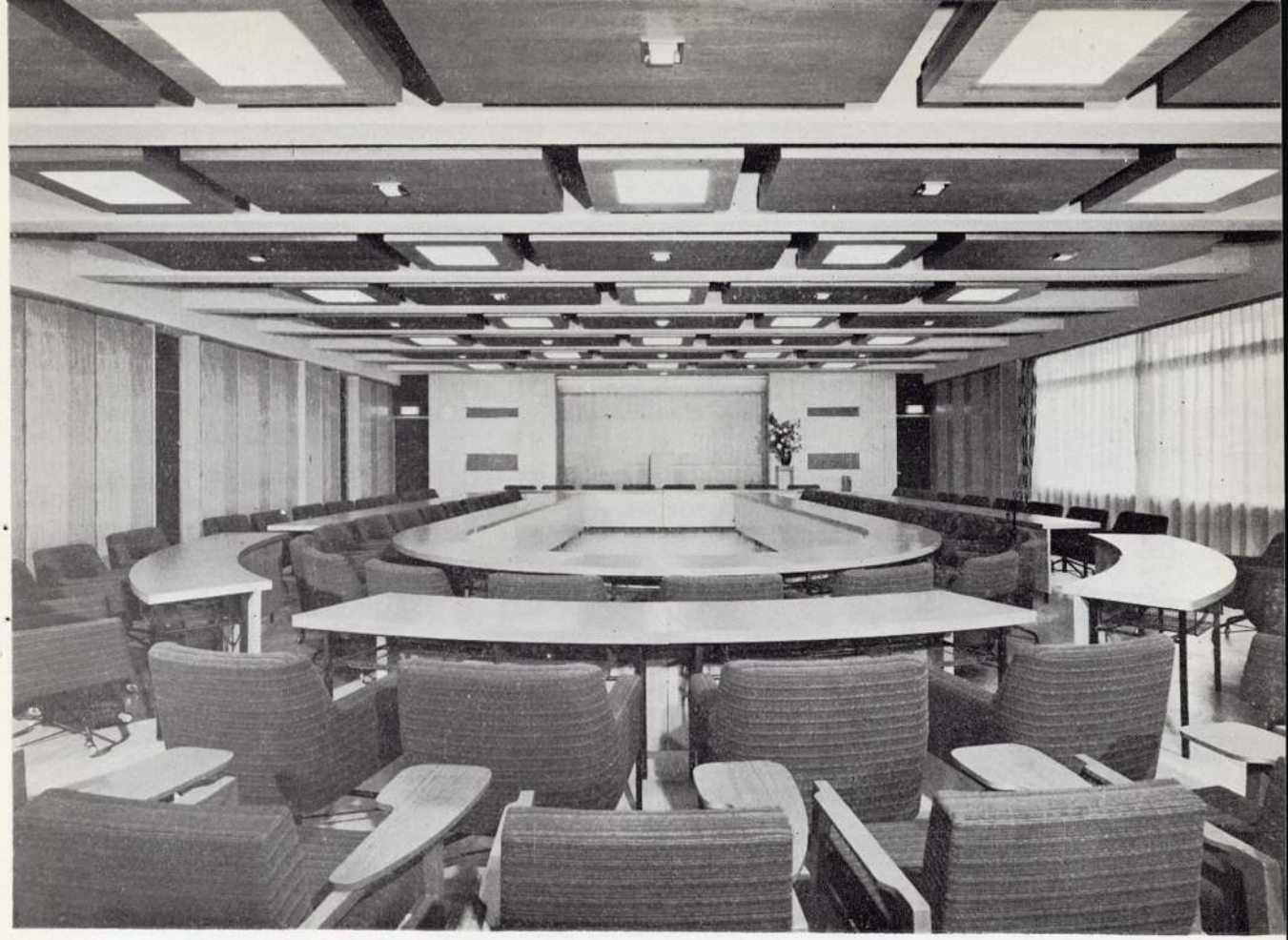



6階平面図

7.




7階平面図

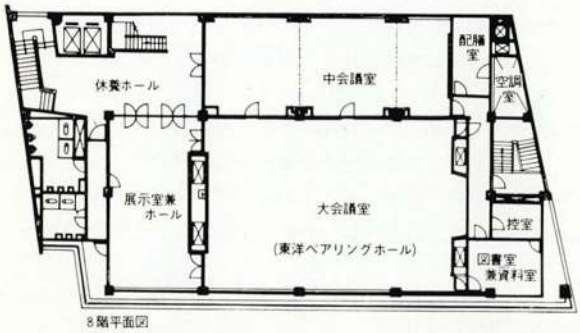


▲大 会 議 室
天井：ゾノライト
照明器具棟ベニヤ
壁 ：棟 ベ ニ ヤ
床 ：リノタイル

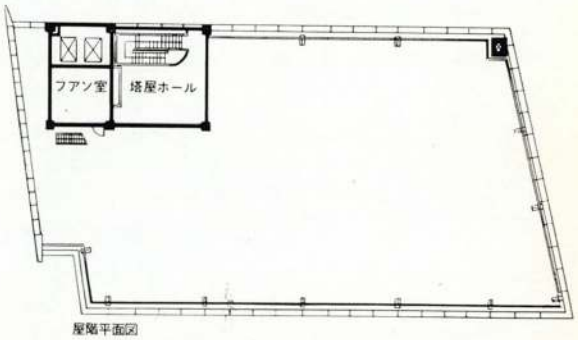
**設 備 概 要**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 電気設備 | 受変電設備 | 動力 | 450 KVA |
| | | 電灯 | 125 KVA |
| | 予備発電設備 | | 30 KVA発電機 |
| 電話設備 | クロスバー自動交換機 | | 内線50/200 |
| 昇降設備 | 客用エレベーター | | 2基 |
| | 積載量 900kg | 速度 | 150M/min |
| | 直流ギャーレス，シグナルコレクチブ コントロール | | |
| 空気調和設備 | | | |
| 1～6階 | ペリメーターゾーン―ファンコイルユニット方式 | | |
| | インテリアゾーン―ダクト方式 | | |
| 7～8階 | パッケージ方式 | | |

8. R.



8階平面図



屋階平面図



個室棟と管理棟

# 国民宿舎 しんぐ荘

設計：光安義光と協同研究室
監理：谷　本　重　信
施工：KK　進　藤　組

■ 設計者のことば

姫新線が清流，揖保川に沿って北上すると，新宮町に出る。静かな深い緑の山に囲まれ，鮎の獲れる川に臨み建築を進めた。この国民宿舎は，隣接300 mの山腹に，開発される，青少年林間健康センターとともになりたっている。川は水泳，ボートを愉しめる上に，山は野趣に富んでいる。ここに，できるだけ，山肌は現在あるままを存置し，地形の高低に合せて，3棟はその高さを変化させ，山のコンターラインに沿い少しづつ，後退させた。

地面の岩も景観の一つに取入れ，柱脚はその部分まで下して固定したのである。

個室，個人用浴室，団体浴場，宴会場，食堂，娯楽室，ボイラー室を含んでいる。

会議室の利用は会社幹部の教育に4日間宿泊し行なうなど，静寂な地域として大きな効果をあげていることも，国民宿舎の使命であるようだ。

3ブロックは，静粛を旨とする個室棟，管理と4，5人のパーティ棟，20人以上の集団の宿泊，宴会，会議棟と音で区分をした事は動線計画としては，良かったと思う。

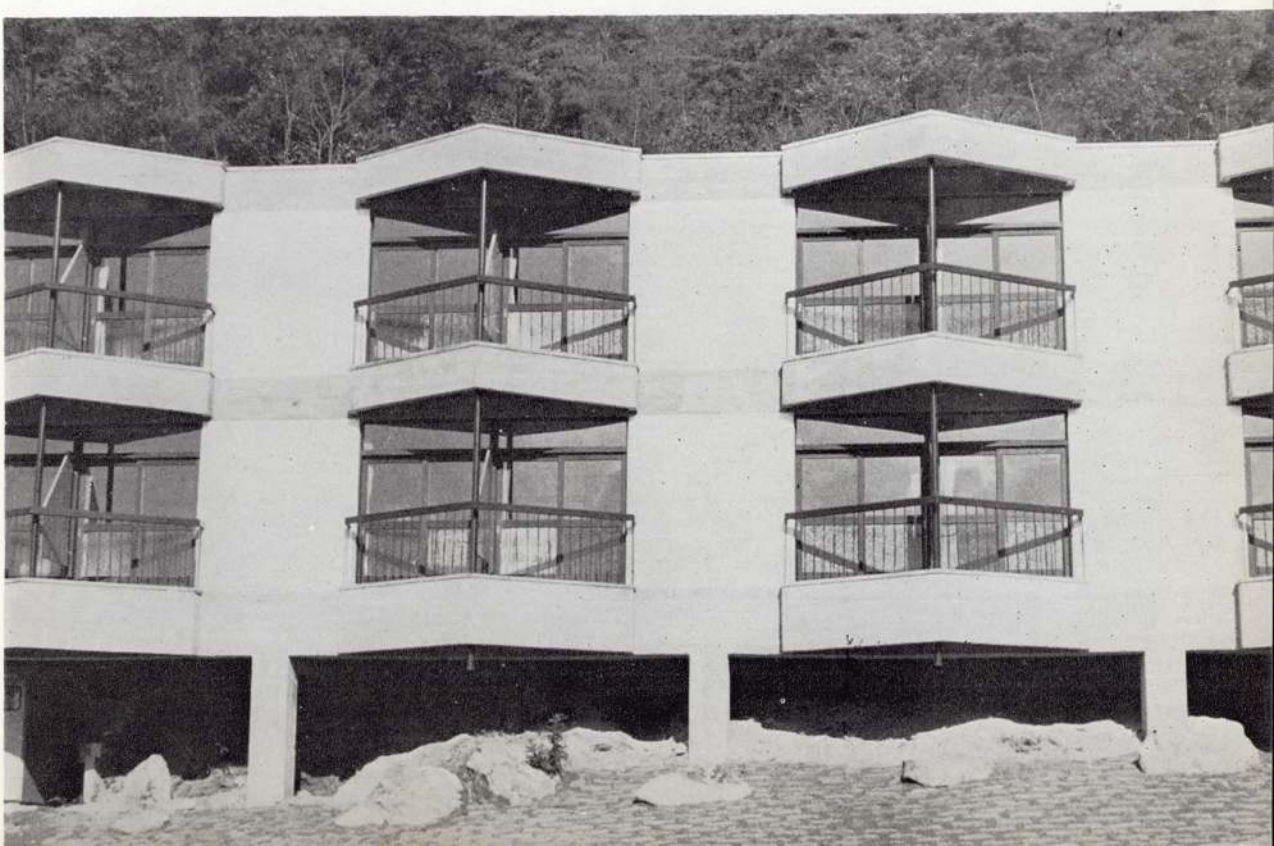
施工者も，5カ月で竣功させるという突貫工事をやってくれたが，設計の意図を十分達してくれた事を喜んでいる。

（光安義光記）

| | | |
|---|---|---|
| 建築位置 | 兵庫県新宮町 | |
| 構造規模 | 鋼筋コンクリート造4階建 | |
| 建築面積 | 地階 | 243.00m² |
| | 1階 | 619.15m² |
| | 2階 | 619.15m² |
| | 3階 | 239.40m² |
| | PH | 37.00m² |
| | 計 | 1,757.70m² |
| 工期 | 昭和38年2月 ～ 38年10月 | |
| 仕上 | 梁形：打放しコンクリート | |
| | 壁　：白色モルタル掻落し | |

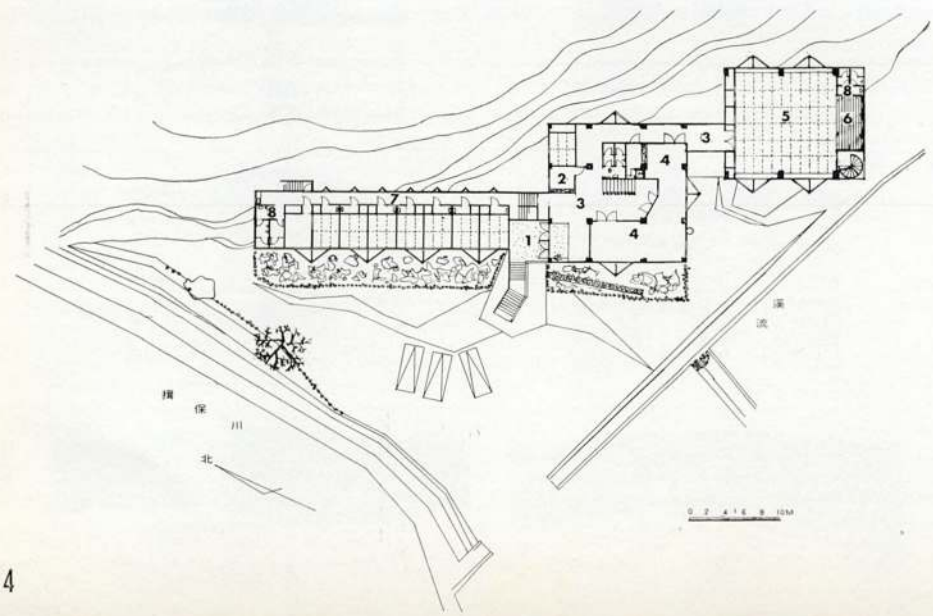


上：揖保川より〝しんぐ荘〟を望む
下：個室棟と管理棟



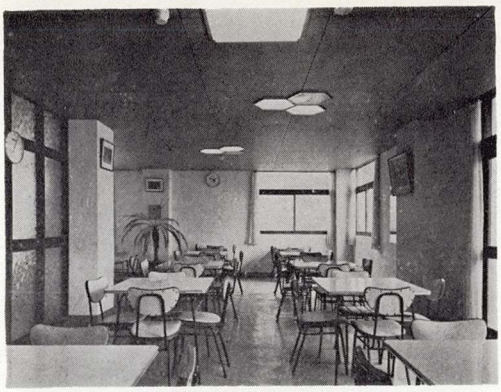


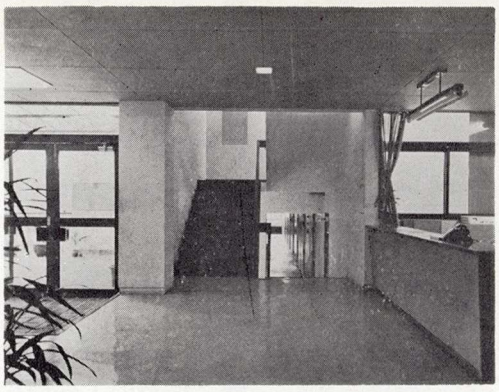
個室棟




1階平面図

1. 玄関
2. フロント
3. ホール
4. 食堂
5. 大集会室
6. 舞台
7. 個室棟
8. 洗面WC

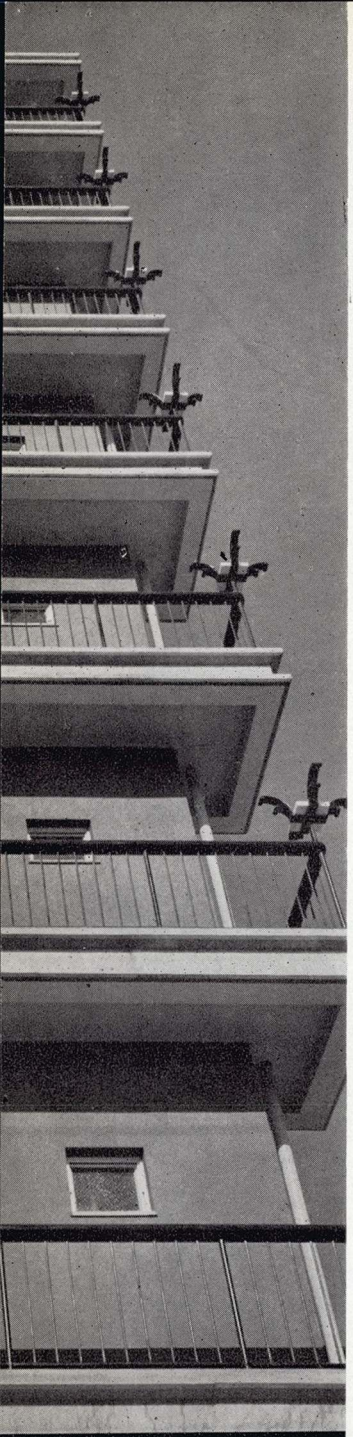




# 国民宿舎
# しんぐ荘

上右：玄関受付より個室棟を望む
上左：食堂
下：北側（背面）を望む





# 建築の眼

担当 足立幸一
服部卓爾
牧原敬典
溝淵俊文

## ■ 計画と現実

梅田地下街が竣工して阪急，阪神前の路面横断が禁止され，歩行者は好むと好まざるとにかかわらず地下道を通らなければならなくなった。ところが曽根崎署北側の地下道への連絡口の混雑はひどく，時には満員ラッシュなみのこみようである。それに反し同じ時刻でわずか30m程のところにある署の西側にある連絡口はかなりすいているという場合がある。地下街の連絡口，巾員などの決定はO—D調査により20年後の容量を基準として計画されたというが，竣工間もないのにこのような状態を呈するということにはいろいろな要因が考えられる。その中には調査の不備—たとえば少し先にすいた入口があるのに手近かな入口からはいろうとする心理—によるものがないだろうか。このことをみてもすべての計画の基礎になる調査がいかに重要であるかということが推察できる。調査する場合においてはその目的を正確に把握することが必要であろう。 (AK)

## ■ 都市の人間回復を

地下街へのダストシュートのような狭い階段で，お婆さんが押されてころんだ。息を切らして登るデッキプレートの高架橋の上で娘さんが帽子を飛ばした。約束通り手をあげて横断歩道を渡ろうとした小学生が車にはねられた。毎日そこここで目に写る悲しい戯画の数々。地上は，新鮮な空気まで，人間のものでなくなった。一体，都市は一番大切な人間をどう扱おうとしているのだろう。都市の人間疎外。非人間的建設。誰もが問題を感じていることなのだが……。大は国の政治経済体制から，小は役所仕事と市民の要求とのギャップに至るまで，原因は幾多あるのだが，われわれ民間の一技師の射程距離外のことが多い。しかし，十数年前，戦争責任者が受けた国土破壊の非難と同種の非難を，われわれが次代の人々から受けることのないように，具体案を提示しながら「本当の街づくり」「都市の人間回復」を声を大にして叫ばねばならないと，痛感するのだ。 (HT)

## ■ ムスコの心は暗い

朝日ジャーナルの誌上に「おやじ」が連載されて，もう20回を超えた。それらの語るひと，語られる「おやじ」は，いずれも著名な人びとである。だがそのうち「おやじ」と同じ職業に就いたり，その仕事を継いでいるムスコは意外に少ない。

わたしの学校（工高・建築科）へは，毎年，建築屋の息子が何人か入学してくる。その「おやじ」の多くは，息子に夢を託して家業を継がそうと考え，息子もまたその気でいるらしい。それも，卒業してすぐには家業を手伝わずに，「しばらく他人のメシを食わせてから」というのが「おやじ」の気持なのだが，求人側の建設会社は，建築屋の息子を敬遠する。「学校でたてで実務のわからぬものに，相当の給料を払いやっと間に合うころに『おやじ』にひきぬかれてはたまらん」というのが，会社側のハラだろう。

ともに，ゴモットモだが，同業なるがゆえに息子を敬遠される「おやじ」の心は暗い。また，殊勝にも他人のメシを食ってまで「おやじ」のあとを継ごうという息子の心はさらに暗い。これらの「おやじ」の願いが，スラスラかなえられないものか。それは，宿命的ともいえる『建築』の業態のもつ前近代性が，そうさせるのだろうか。 (MK)

## ■ 土建業というイメージ

土建業，土建屋，この言葉を新聞の活字に見いだしたとき，またテレビ，ラジオにて聞かされたとき，私は言いしれぬ不愉快な思いをさせられる。昔いまだニキビはなやかなりしころ，一かどの文学青年ぶっていた私が建築家を志ざしていることを知った友人に，〝君にハンチング帽子をかぶせニッカズボンをはかして街中を歩かせたら，さぞかし似合うことだろう〟と笑われたことが忘れられない。これは十年余りも前の話ではあるが，いまだ一般の大部分の人々は建築家といえば友人の言葉のような人物をまず想像するのではないだろうか。なるほど日本中いたるところ建設業者イコール町のボス，そのボスもいい意味でのボスなら喜ぶべきことではあるが，イコール暴力団のボスという組合せの多い事にはがっかりさせられる。その他現在の段階では，色メガネで見られるような要素を多く包含している企業であることを認めざるを得ないが，これらを一挙に改革することは難しいとしても，せめて建設業者イコール暴力団のボス，またはパトロンというケースはいますぐにでも，無くしたいものである。さすれば一般の人々が抱いている土建業，という企業に対するイメージも変ってくるのではないだろうか。 (MT)

本号と次号は左記の執筆者が担当します。

# 特別広告掲載業者目次

昭和39年3月号

（順不同）


◀東洋ベアリング本社ビル

大成建設KK……作品頁
旭硝子KK……I
日東紡績KK……I
そごう大阪店……II
内外木材工業KK……II
本田工業KK……II
田島応用化工KK……III

◀最近竣工した新建築

灘金盃四季醸造工場
　設計施工　鹿島建設KK……IV
KK近宣ビル
　設　　計　遠藤建築設計事務所……V
新神戸ビル
　有田タイルKK……VI

新建材紹介欄……色頁
日本ユニロンKK
田辺工業KK


2月号訂正お詫び

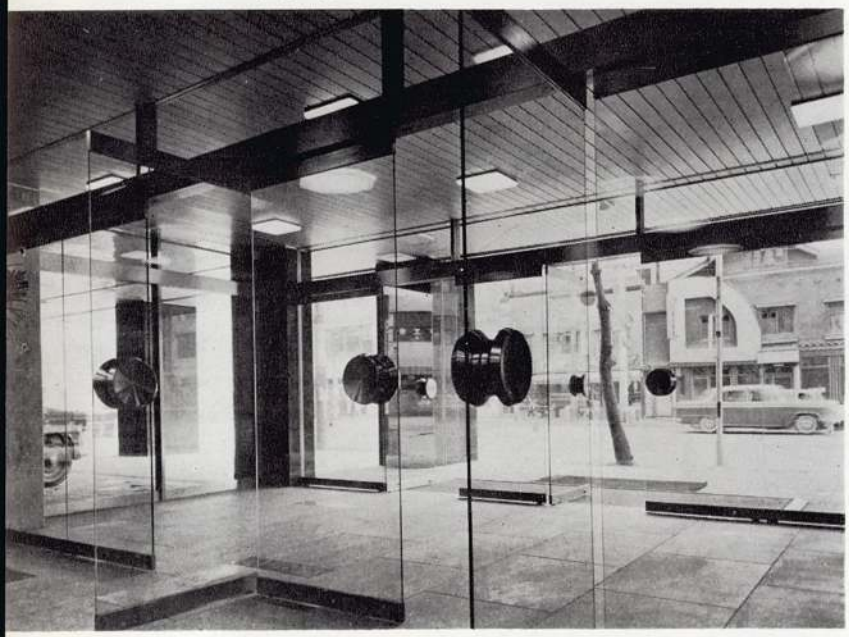
●京阪淀屋橋ビル関係特別広告II頁　ダイケンサッシ株式会社（旧社名大阪建材工業株式会社）　の写真説明はアルミサッシその他工事に訂正。

●プレハブ特別記事広告（色頁）の第4頁目　ニチモプレハブ株式会社　の見出語はH型鋼＋シリカリチートに訂正。

東洋ベアリング
本社ビル

旭硝子株式会社

テンパライト・ドア





ヒシクール・グレー＜ペヤグラス＞

日東紡績株式会社

不燃性岩綿吸音板

「ミネラートン」



6階天井



食　堂

家具造作　そごう大阪店室内装飾部

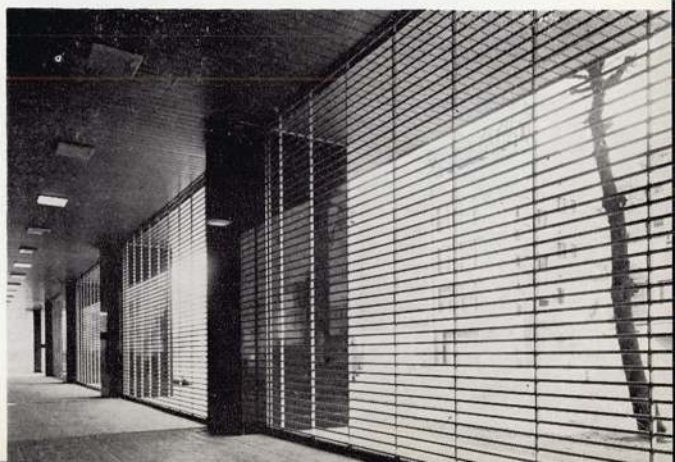
東洋ベアリング
本社ビル



役員室

家具造作
内外木材工業株式会社

特許 鈴木式　リンググリル・シャタア
本田工業株式会社

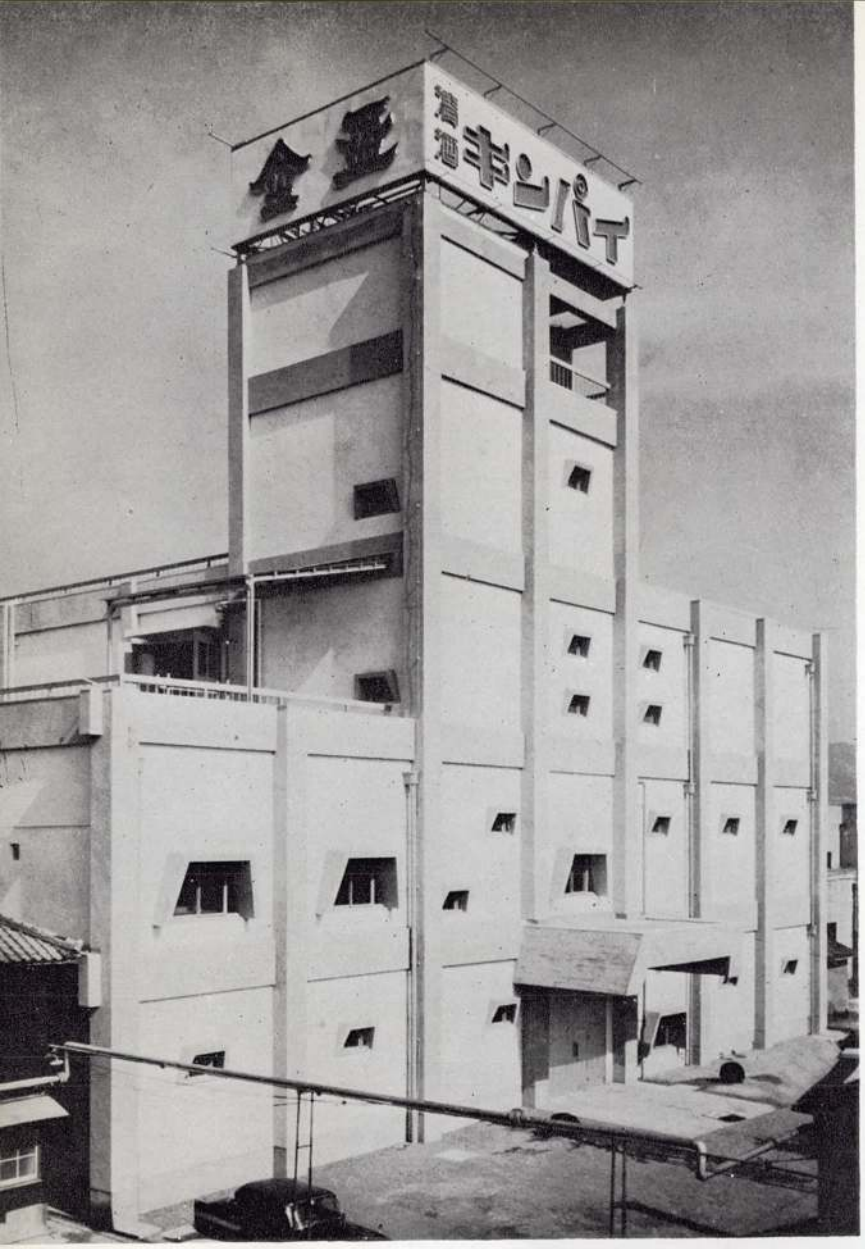




東洋ベアリング本社ビル

三星 プラスタイルP

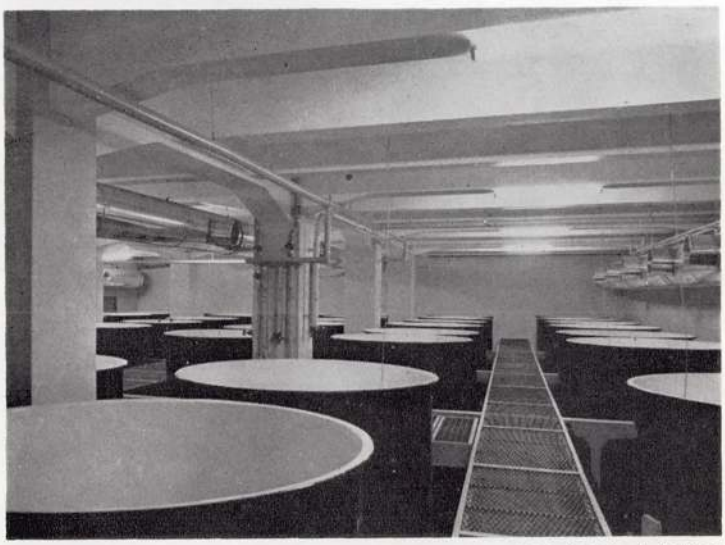
田島応用化工株式会社




灘 金 盃
四 季 醸 造 工 場

設 計・施 工
鹿 島 建 設 株 式 会 社
大 阪 支 店

| | |
|---|---|
| 所 在 地 | 神戸市灘区大石東町 6 — 28 |
| 敷地面積 | 7, 6 2 0 m² |
| 建築面積 | 1, 1 6 2 m² |
| 延 面 積 | 3, 2 1 5 m² |
| 構造規模 | RC　地上 4 階　塔屋 1 階 |
| 竣 工 日 | 昭 和 3 8 年 1 0 月 3 1 日 |

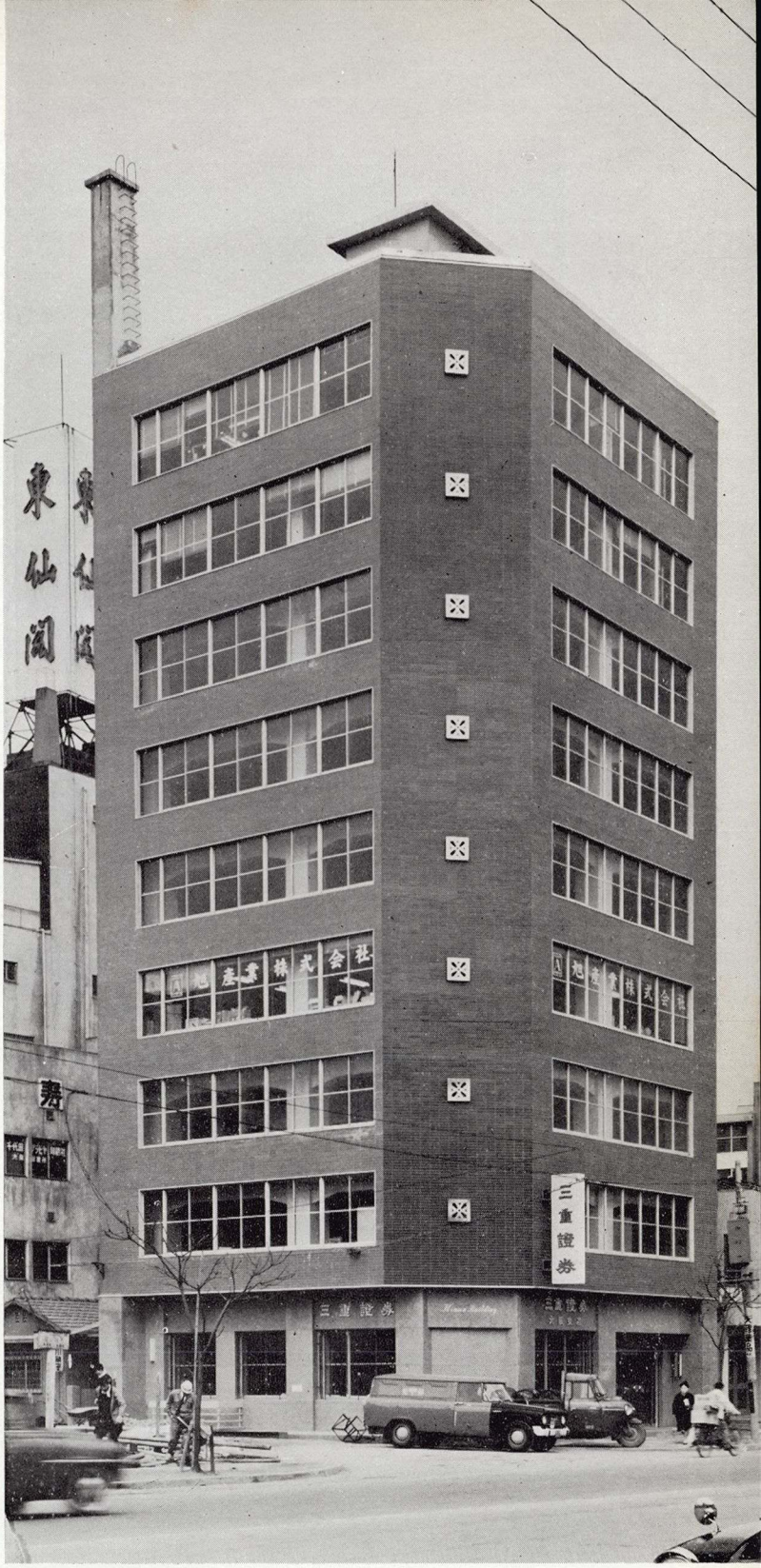


仕 込 室

最近竣工した新建築

株式会社

# 近宣ビル




| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪市北区梅ヶ枝町104番地 |
| 敷地面積 | 167,970m² |
| 建築面積 | 144,839m² |
| 延面積 | 1,494.181m² |
| 構造規模 | 鉄骨，鉄筋コンクリート造<br>地下1階 地上9階 塔屋2階建 |
| 竣工日 | 昭和38年10月19日 |

設計　丸紅飯田株式会社 大阪建設部

遠藤建築設計事務所

施工　株式会社 浅沼組

最近竣工した新建築




## 新神戸ビル

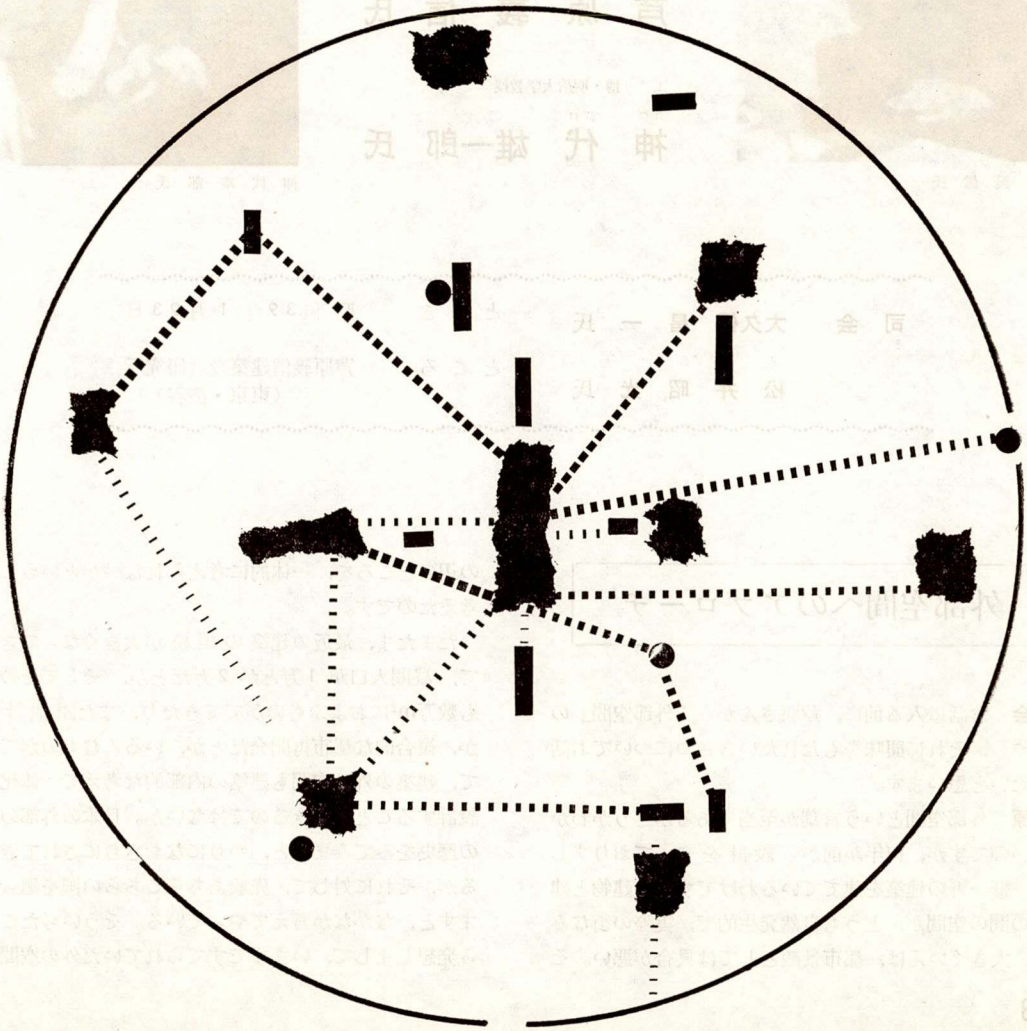
外　　装　磁　器　窯　変　小　口　平
設計・施行　株式会社　竹　中　工　務　店

## 有田タイル株式会社



# 1 外部空間の構成

(対談) 芦原　義信
神代雄一郎



# 外部空間の構成


芦原義信氏

## 対談会


神代雄一郎氏


工　博・法政大学教授
芦原義信建築設計研究所
**芦原義信氏**

工　博・明治大学教授
**神代（コウジロ）雄一郎氏**

司会　大久保昌一氏
松井昭光氏


とき　昭和39年1月23日
ところ　芦原義信建築設計研究所（東京・渋谷）

## 外部空間へのアプローチ

**司会**　お話に入る前に，芦原さんから「外部空間」の概念やら，それに興味をもたれたいきさつについてお話願いたいと思います。

**芦原**　外部空間という言葉が至当であるかどうかわからないのですが，何年か前から設計をやっておりまして，一軒一軒の建築を建てているわけですが，建物と建物との間の空間が，どうも自然発生的で，実際の街なみとか，大きくいえば，都市景観としては具合が悪い。その辺のところを，一体的に考えられないかということを考えたのです。

たまたま，最近の建築の規模が大きくなってきまして，昼間人口が1万とか2万だとか，そしてその敷地も数万m²におよぶものがでてきたり，また団地計画とか，複合的な都市再開発だとか，いろんなものがでてきて，建築の外の空間も建築の内部的な考えで一体化して設計することができるのではないか。日本の外部の空間の歴史をみてみますと，わりになおざりにされてきているが，それに対して，先般あちらこちらの国を廻ってみますと，なかなか考えてやっている。そういったことから発想しまして，いままですてられていた外の空間——

# 会員の頁用

## 会員の頁へどしどしお便りを！

毎号，「会員の頁」欄に会員の皆さんの声をのせており好評をえております。
協会に対する注文，掲載文に対する感想，ご意見，建築界のいろいろな問題に対するご感想，会員間の通信その他何でもよいですから，どしどしお便りをおよせ下さい。「会員の頁」欄に集録していきます。字数はハガキに書ける程度でよいと思います。このハガキをご利用下されば幸いです。

**掲載の分には粗品呈上**

日本建築協会編集委員会

郵便はがき

5円切手をお貼り下さい

大阪市東区北浜三―三七

日本建築協会

「建築と社会」会員の頁欄 行

## 会員の頁原稿

住　所

役　職　　氏　名

## 会員の頁へどしどしお便りを！

このハガキをご利用下さい。

1. 字　数　600字以内（原則として）長くなる場合は別に手紙でお送り下さい。
1. 期　日　自　由
1. 内　容　内容も自由です。
1. 掲　載　掲載号を一冊呈上いたします。
1. 粗品進呈　掲載の分には粗品呈上します。
1. とく名　とく名希望の場合はその旨明記のこと。

僕は残部空間といっているのですが，あまりよい表現ではないというので批判されていますが——とにかく残った空間じゃなくて，もっと積極的な意義のある空間，しかしいままでの建築からいえば，外の空間だから，それをまあ「外部空間」と名づけたらどうかということです。まあいいだしっぺなわけです。

**神代**　そうですね。話をはさませてもらうと，古い建築の美学で「外部空間」といいますのは，一つの建築のことを考えて，そこで内部空間と外部空間という言葉がでてきたと思うんです。ところが，そういうものとのちがいといいますか，いままでのように一つの建築の外部空間だけを問題にしたのではどうにもならない事態がでてきていると思うんです。だけれども，理論的にはいまお話があったように，建築の規模が大きくなったとか，街としてみていくときの外部空間というものが，古い理論にでてきた外部空間と質的にちがったものだということを，まずはっきりさせておく必要があると思うんです。質的にちがってきているということは，具体的には，いまの都市をみればはっきりつかめるわけだけど，新しい理論がそれにまだおいついていないと思うんです。

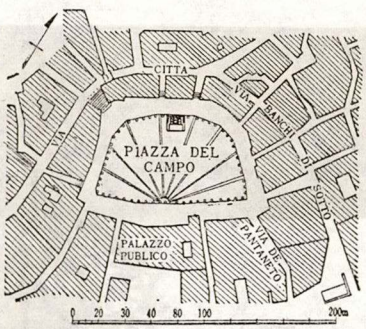
その中で，芦原さんが「外部空間の構成」ということについて，おそらく日本では真先ではないかと思うんですが，本ができた。僕は，この本がどれだけ読まれているか知りませんが，読んで大変感心したわけですが——もっと沢山の人に読まれないといけないと思うんです。一般には，いままで，たとえばゼルゲルのいう建物の実体というものがあって，それに対して空間があって，その空間を，建築の中側の内部空間と，それから外側の建築の実体にともなってみられる外部空間というふうに考えられていた。そういうものといま問題にしている外部空間とは連続的には理解してゆけないし，また連続的に理解していったのでは，今後の問題がでてこない，ということをかなりはっきり前提として考えないと，外部空間といっても，古い一個の建物の外部空間として受取られてしまう可能性がありますね。

**芦原**　外部空間の言葉自身にもいろいろニューアンスがあると思われます。ごく単純に建築の外の空間は外部空間だということですが，街になるとまたちがうニューアンスがあり，その使い分けがなかなかむつかしい。私たちの立場からいうと，一つの建物を設計するという実践の立場から方法論的にいうと「外部空間の構成」の本の中でちょっとふれたように，一軒の建物とか，群の建築とか，その所有権とか，そんなことは問題でなくて，一つの技術としてかたずけることができます。

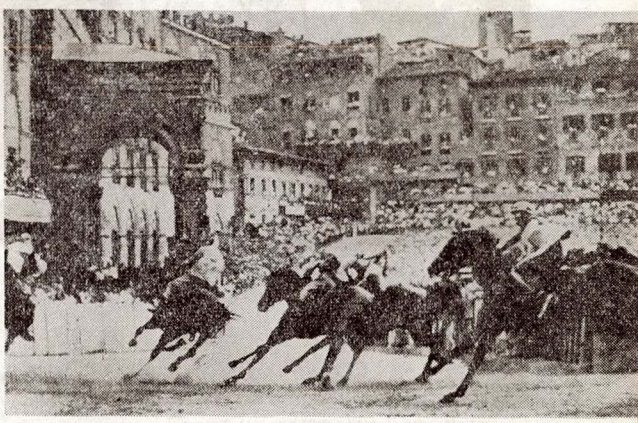
**神代**　まあ建築そのものを作ってゆかないと逆に空間もできてこない。いままでのデザインの傾向は建築物の方をデザインすることがとても強かった。いま芦原さんがだされた空間という問題は，むしろその建築が一つではなくて，群として連っていくときに，外部空間というものは，以前のように建築に附随したものではなくて，物よりも空間の方に主体が移っていく感じですね。

## 空間の互換性

**芦原**　それで，はじめ外部と思っていたものも，つぎの段階では，内部化されて内部となるということがあるわけですね。だから何か冗談みたいにいうんですが，外に人間がいてそれが鯨にぱくりと食べられて，鯨のお腹の中に入った状態というものがありうるわけです。だから一番問題になるのは，内外の境界領域で，どういうところに線を引くかということが，意識の問題として大きな問題になるんじゃないかとも考えるんですがね。それはどういうことかというと，中世イタリアの都市の広場にいましてね，そこでぼんやり座ったりしていますと，広場は石で舗装されていますね，それで建物の中に入っていくと，そこも大体似たような仕上げがしてあるのですが，屋根がずっと移動してゆきます。するといままでの広場の方が内になって，家の中が広場になるような非常な互換性があるんですね。それに対して，わが国の木造住宅なんかの場合は，内の中は非常にきれいにタタミなんか敷いてあって，トギすましたような感じで，外は自然のままになっていて，目を細くして屋根を庭の方へ移しても，内外が入



シエナのカンポ広場（イタリア）

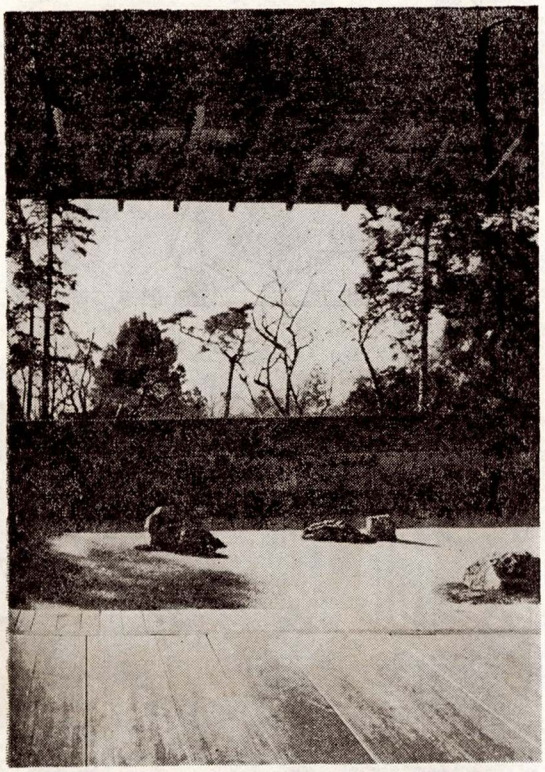

シエナ・カンポ広場（イタリア）—広場がパリオの競馬にも使われている—

れ変わらないようなはっきりとした質的な差がある。だから，イタリアなんかの広場から考えると，敷地全体を一つの建物と考えている。日本の場合は，建物で自然と浸透してつながろうとするところがあるんじゃないか……。というようなことが，私自身の一つのヒントになったと思うんです。外はほったらかしているのではなくて，一つのかちっとした境がある。やはりちゃんとした空間であるという意識のある空間だと思うんです……。なんだかうまくいえないけれど……。

**神代**　いま，おっしゃったことは，なにか空間の中に方向性とか——浸透という言葉もいわれましたが——力の方向みたいなものをとりあげておられるわけでしょう。

## 日本と外国の空間のちがい

**司会**　日本では，そういった外部空間は，歴史的には非常に貧弱であったということは，生活の仕方に基本的な原因があるのでしょうか。外で生活する生活の仕方というか，ヨーロッパ風な生活の仕方と，日本的な生活の仕方との相違，それに建物自身，木や紙でできていて，はっきり空間を区切るにふさわしくない材料でやっていたり……。



竜安寺——軒線と空間の枠づけ——

**芦原**　よく神代さんともお話しているんですが，内の中へ靴をぬいで入るというような生活と，ほかの国のように内の中でも内の外でも靴をはいているような生活の差，そういったものから，それは私なりに内的秩序だとか，外的秩序だとかいって考えているわけですが，そういう面があると思うんです。

**神代**　そうですね。そういう面がありますね。芦原さんが，中央公論に書かれていた「白足袋」論ね。あれは日本の傾向をうまくとらえていて，面白いと思うんです。

**司会**　そうすると，結局外部空間の質が，日本とヨーロッパとちがうということは，言葉を逆に返していうと，内部空間の質がもうちがっているということになるわけですね。

**芦原**　そう思いますねえ。

**神代**　ある意味では，日本の場合は，その建築をつくっていくことで外部空間をつくっていくということは，やりにくかったわけですね。だから，日本の場合で外部空間を考えてみると，むしろ自然の地勢なんかが壁のような役目をしていると思う。たとえば，京都はまわりが山でかこまれている。それから日光や室生なんか自然の山の壁みたいなものが空間を形づくっているようで，建築だけでは，ヨーロッパにくらべると随分力になりにくかったのではないでしょうか。

## 閉ざされた空間

**芦原**　日本では自然に向ってばあっと浸透していくようにやってますからね。だから迫力がない。もちろんあの石庭みたいに，なにかかこまれた閉鎖空間的な要素をもった庭の設計は多い。とくに，関西方面には竜安寺の庭園のようなものが多いでしょう。だけどそういうものは非常に私的な空間で，ある特定の人しか入れないものが多い。そこへ人々が集まって，そこで市民社会のようなのが形成されるというコミュニティ的な意味をもった空間でなくて，非常に美しくトギすまされた芸術的なプライベートな空間という意味では，随分あると思うのです。

やっぱり，われわれなんかが実際にやっていく場合，一つの境というものがないと設計できないと思うんです。どこまでも無限にずっと設計していくということはできない。まあ，禅の精神かなんかで設計して，無の空間へ連なるなんていうのはいいでしょうがね。（笑声）

実際の立場として線を引いて設計する場合にはなかなかできない。だから一つの境をする。それじゃあ足りないから，借景するという場合はある。

**司会**　ただこんなことはどうですか？たとえば，さき



法　隆　寺――囲うという空間限定はあるが，民衆はない――

ほどのイタリアの広場を形づくっている周囲の家，これを内部空間としてみると，個々の家は非常に厚い壁で，空間の限定性は非常に強いと思うんです。ところが，近代建築といいますか，一種のモダニズムみたいなものでは，内部空間は限定性の弱い，無限定な空間としてできています。ギージョンがいっているように，インタペネトレーション，内部空間が外へ浸透していく形と，外部空間の方で攻め込んで内部空間を浸透していくというような現象はどうなんでしょうか。

**芦原**　もちろん，いつまでも薄暗い中世の石の建築のようなことはないので，ガラスや金属のものがでてきて，内外の浸透というようなことは当然あるんですが，その場合でも，さらにつぎの段階では，それをもし屋根のないままで外部と考えてきたものをむしろ浸透して内部と考えるならば，またその外に外部というものが当然できてくるようなわけで……。

まったく鯨を飲み込んでしまうようなやつがでてくるみたいで……。（笑声）

**司会**　仏教の伽藍なんか回廊でかこんでありますね。ああいうふうなものが支那から輸入されてきたけれど，なにか日本の建築としては，断絶があったのでしょうかね？　その外部空間が歴史としては日本は貧弱だということを考えてみますと原因というのは……。

**芦原**　歴史的に，神代さん，どうなんですか？　たとえば，その法隆寺なんかの回廊でかこまれた……。

**神代**　僕はね，たしかにいまお話にでていた外部空間的なものを感じないわけではないのですが，実際問題となると，法隆寺ができて，ああいう形をとって，寺としてあったときには一般の人は回廊の中へは入れなかった。坊主しか入れないし，坊主も金堂の中へは入れない。いろいろのお祭りをするときは，金堂の前の灯籠の両側にいろいろなものを敷いてやるわけですよ。だから造型的には外部空間というものが感じられても，一番問題になっている市民の空間にはぜんぜんなっていない。

**司会**　市民の立場からいえば，外は外だが，坊主の内部空間だということですね。

**神代**　そうですね。

## 市　民　意　識

**芦原**　先刻，ちょっとでたイタリアの小さな広場なんか，自分の一軒の家からいうと，それは外部空間です。けれど街全体が一軒の建築みたいに城壁で廻らされて，真中の道というのは，廊下みたいですね。広場はちょうど居間みたいな立場ですからね。街全体で考えると，これは内部空間になっている。その城壁の外が外部空間になってほかの街と対立して戦争するときの空間ですからね。たしかに内部は外部に通じ，外部は内部に通じる。だから，やっぱり自由にできるというのは，公共的といいますか，あの現象的な外部空間，屋根のない建築みたいな，ごく簡単なものから始まるのではないかと思います。

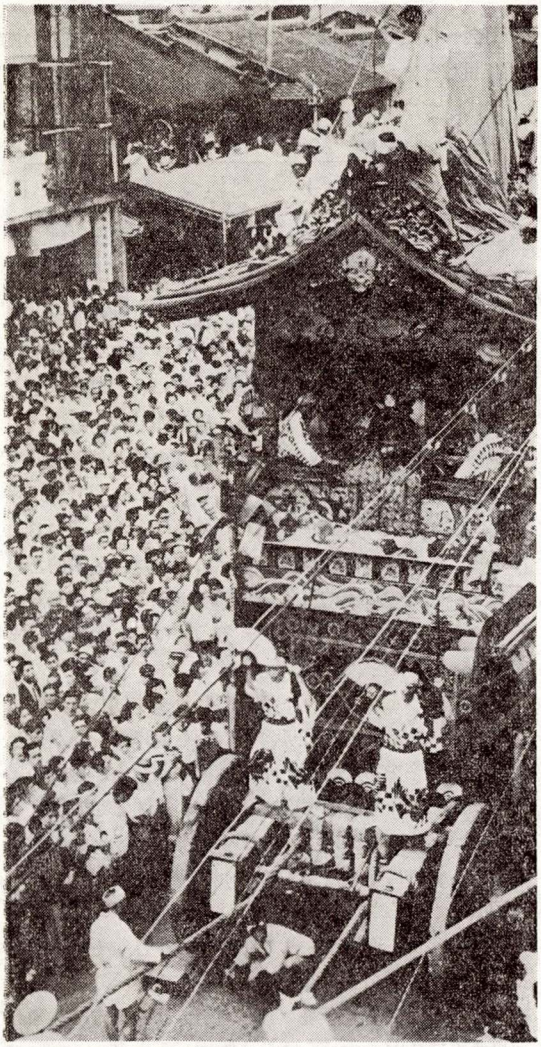
**司会**　日本とヨーロッパにこだわりますけれど，神代先生がおっしゃったように，日本でも後に山をかかえたところに邸宅を営んだり，たとえば金閣なんか意識的にクローズして，立地選定をやって外部空間として密度をあげようとする意識があったようですね。

**神代**　それはあったですね。

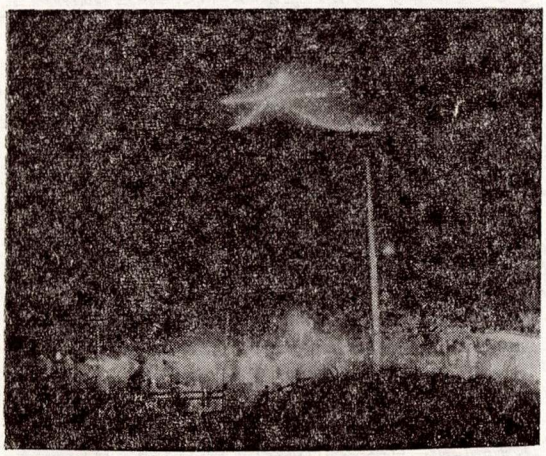
**司会**　ところが，日本人はそれを人工でやらないで，自然でやった。逆にイタリアの場合は，自然を排除することで，人工ばかりで埋めつくしていく，その辺りがやはりちがうんでしょうが，意識はやっぱり両方にあったと思うんですが……。

**神代**　そうですね。坊さんが寺をつくるにあたってよく地を朴するというけれども，一生懸命その辺りを歩き廻って，ここは修業にいいということで，立地条件をさがしているわけですが，結果的にはさきほどお話のあったように，たしかに自然を空間的につかまえていると思うんですよ。

**芦原**　なんていうか，そういう屋根のない空間なんですね。市民の前に開けたような空間と，閉ざされた空間と，形は似たようなものなんですが，神代さんのおっしゃったように，最初に市民意識があったかどうかということで，かなり問題があると思うんです。外国の大学をみるとキャンパスの中を公道がちゃんと通っている。青葉通りとか，昭和通りとか名前のついた道が通っている。だから大学のアドレスも，たとえば建築科は何通りの何番地とかいうんですよ。一つの大きなキャンパスはあるけれど，その中は自由で市民の方に開いている感じです。だが，日本の場合は逆に門をして柵をして，ここは東大だとか，明治大学だとか，早稲田大学だとかいう



京都祇園祭の鉾と大衆――市民意識を引きつける――



京都の大文字焼き

ことで，いまの空間の話でいくと，日本の学校は閉鎖的であり，外国の大学には最初から市民意識があって開放的です。すなわち，市民の中に大学がある感じです。

### ―京都と外部空間―

**神代**　京都の場合，都をつくるときは，そういう市民意識というものはなかったけれど，たまたま周囲に山があって，そこを越せないような感じで，都ができてからはその山をつかって「大文字焼き」とか，祇園祭りのように街なみを鉾が通っていくと，民衆の気持がそこへ集まるとか，民衆の意識をつくるのに，実にうまいスケールでまわりに山がある。

**芦原**　大文字山なんて実に面白い。そこへ市民の意識が集中するっていうのか，山とか川とが非常に有効適切に用いられている。たとえば，ストックホルムの街はいくつかの島の上にできている。それ以上，アーバンスプロールを起こそうものなら海の中におっこちてしまう。また京都のように山でかこまれているのもいいですね。先刻からいっているように，無限に広がらない力があって，それを阻止すると，そこに一つのなにか包まれて市民意識なり，連帯意識がでてくる。そこにやっぱり外部空間の発生がありうるのではないでしょうか。

**司会**　そういわれてみると，エジプトにはピラミッドなんかあるが，外部空間がないという感じがしますね。

**芦原**　ええ，だからエジプトのピラミッドは，僕はなにか記念碑的で，唯一的，なんというか，唯我独尊という感じがしますね。そういう意味では……。

**神代**　だからゼルゲルなんか，外部空間の規定のときにピラミッドの例をだしています。ピラミッドの上に点線で弧を描いて，これがピラミッドの外部空間だというように説明していますね。

**司会**　それが，芦原先生のいわれるネガティブ・スペースというわけですね。

**芦原**　まあ，単的にいえば，そういうことですね。（笑声）

## 空間の枠づけ

### ―視覚と空間―

**芦原**　だから，いつかだれかに聞いたいんですが，ドイツの建築家ですか，ピラミッドをもっと効果的にみせる提案があったんでしょう。ピラミッドからそばへいくまでみえない。下の方に道が通っていて，あるところへいくと，ばあーと大きな水の前に，ピラミッドがさかさ

にうつっているのがみえる。そして，ピラミッドと大きさを比較するような軒線だとかそんなものがあって，ピラミッドを下から眺めるとそこで感銘する。そのようにエジプト政府へ提案したんじゃないですか。僕は，それをたしかめるべくピラミッドをみにいこうとしたのですが，いきそこなってしまってみられなかったんですが。

なにか一つの巨大なものは，一つだけぱあーとあってもなにも迫力にならない。富士山を写真のファインダーからのぞいたり，股の下からみると，視覚的にひきしまってなかなかいい。そんなことがあるから，空間の視覚構造のようなものを研究してもう少し枠の中に入れてもよいと思います。たとえば鳥居の中を通っていくというのは，景色をひきしめる意味でも精神をひきしめる意味でもいいのではないか，と思うんです。枠づけみたいなものが必要じゃないかという気がしているんですが…。

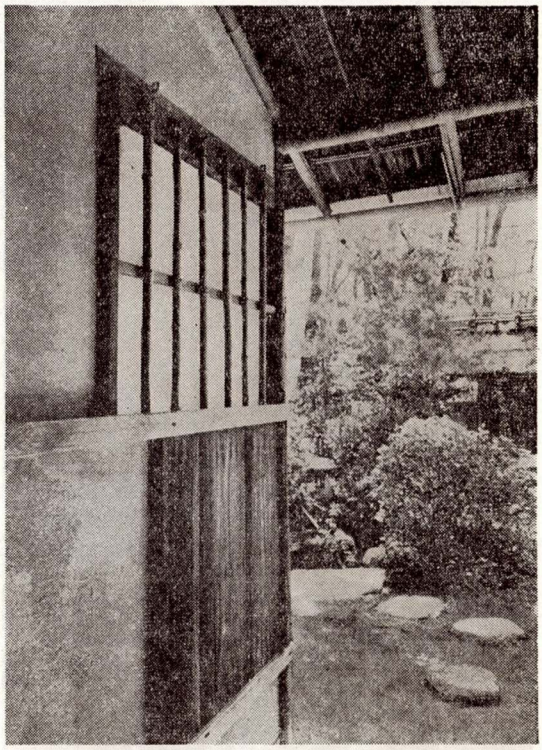
**司会**　空間認知の感覚としては，視覚がトップになるわけですが，その意味では茶室のにじり口なんか，視覚を限定するだけでなく，体自体で空間を感じるとすれば，そういう限定効果を非常にもっていると思いますね。

**神代**　そうですね。茶室の場合はどうなりますかね……。ごく一般的な生活空間があって，その中に，露地で茶室に附随した空間を区切っておいて——二重露地，三重露地といった完備した場合もあろうけれど——そして，中くぐりなど通っていくうちに，なにか精神的な移り変わりになっていって，最後ににじり口になるのですね。

僕は，外部空間ではないけれど，空間に注目して日本の建築をみていくと，一番内部空間を意識してデザインしたのは茶室だと思うんですよ。だから，茶室の場合，デザインの意識としては，まず内部空間の方にあって，にじり口なんか，その内部空間とデザインとの関係にむしろ問題のウエイトが多いのではないか。

## 空間のリズム

**芦原**　そうですね。日本の建築には，空間のリズムというか，節(ふし)みたいなのがあって非常に上手ですね。たとえば，一の鳥居，二の鳥居といったように。こうして，直角に曲って入っていくうちに，家になったりする。茶室でもにじり口を入って内がなんとなく，うすぐらいような構成なんていうのは，まあ別の宇宙に通じたりとかね。そういった空間構成は非常にうまいし，これがいま日本の建築空間が世界的に注目されている一つのリズムではないかと思われる。ただ一つ，外(ほか)の国とちがう異質的なものは，やっぱり先刻の市民社会の意識みたいなものです。日本ではこれは大抵の場合，プライベートな空間であるということで，これをもっと公共的な空間にリズム化したら，非常に面白いのではないかと思われる。



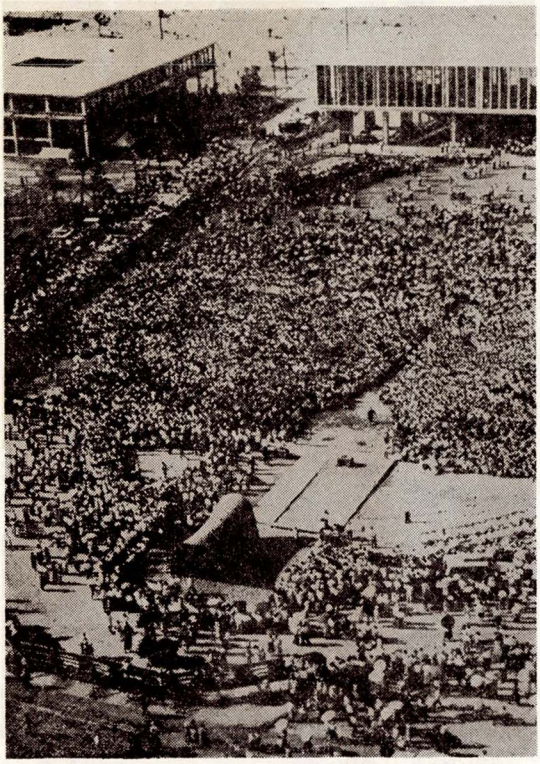
茶室のにじり口と露路

たとえば，パリの街ですね。凱旋門があるとシャンゼリゼーが坂になって下りてきて，こっちにも小さい凱旋門があって相対している。エッフェル塔のところをセーヌ川がこうあって，シャイヨー宮がみえたり……というふうで，ビスタだとか，そういった空間のリズムが，19世紀的には非常によくやっている。まあ日本の空間構成を都市で大がかりにやったという古典的な都市計画技術だろうと思いますけれど，感銘はうけますね。これをさらに乗り越えて，やっぱり公共的な場で，19世紀的なものから脱して，なにか外部空間の技術というものが確立できたら，われわれの時代としていいのではないかと思う。

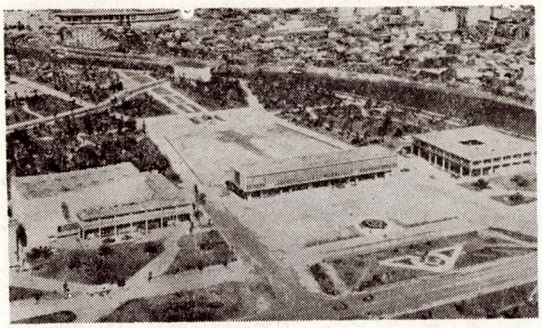
**司会**　さっき，お話にでました，日本人は内部空間をつくるとき，適当に節(ふし)をつくってうまいことやっているという話は，外部空間をつくる手法としてもアプライできるわけですね。

## 人間的なスケール

**司会**　ただ広いかこまれた空間というだけでは意味がないので，たとえば，密度のあるピアッツアをそのままの形で倍十に拡大してしまうと，もうナンセンスになっ



広島ピースセンター——広場と群衆との対応——



広島のピースセンター（人がいないとき）

てしまう……。

**芦原**　そりゃあ，やっぱり人間が中心だからですよ。19世紀の建築家で，メルテンスという男が，いろいろな研究をして，20～25m ぐらい離れると人の顔は識別できるが，そんな古典的な話ですが——1,200m離れると人はみえなくなる。そういった条件があるから，1マイル，まあ1,600m離れた外部の構成というものは成功しないという。紫禁城のコースは約1マイルなんですが，途中にいろいろな節があるでしょう。だからだんだん近よっていくとみえてくる。どんな巨大な都市空間でも1マイル以上になったらダメだということが書いてあるんですが。

ジェイン・ジェーコブスは，最近の団地計画を批判している。彼女はなにかスケールを間違えた巨大な巨人が大股に歩くときのスケールでアパートを設計しているのではないかと書いています。やっぱりどれぐらい離れれば声が聞こえないとか，どのぐらい離れればみえなくなるとか，そういった人間の基本的条件というのはあるのではないですか。

## 広場と群衆との対応

**司会**　神代先生の「現代建築と芸術」という本で教えていただいたんですが，丹下健三さんの広島平和記念館ですね。あれなんか建築なり外部空間なりと，個人との対応関係をみると，50～100mぐらいのスケールですが，非常にインティメートというか，つながりがでてくるけれども，群衆といいますか，大勢の人との対応を考えると，またニューアンスがちがってくるんでしょうね。

**芦原**　そうでしょうね。

**司会**　モスコーの広場で，観光旅行でいったら，非常にさくばくとした広場だけど，祭典をやると非常に密度がでてくるというような……。

**芦原**　20世紀で集まりうる人間の数というのはあるんじゃないですか。7万とか12万ぐらいですか。よく知りませんけど，それ以上になるともうどうにも動きがとれないということでしょう。人間同志が集まれば10万ぐらい。それじゃ車で集まるとしたら，5千台といったらこれはすごいね。もうはるか向うまで車が……とにかく駐車してそのセンターにゆくまでの距離が 100m 以上になりますか。まあ乗ってくる交通機関なんかにもよるけれど，10万としてもこれは相当の数ですね。

## 空　間　の　分　節

**司会**　さきほどのだだっ広い空間，広場なんかをヒューマンスケールで分節しまして，フロアレベルをかえるとか，サンク・ガーデンを導入するとかいう方法で区切っていくやり方は，再開発の方法としては，非常に具体的な提案だと思います。

**芦原**　僕はね，花見にいくときに，自然の空間へちょっと毛せんを敷くというのは，意識上非常にうまいと思うんですよ。ここへ自分の空間をつくる，そして花を借景にして酒を飲むなんていうのは——もちろん汚れては困るという意味もあるでしょうが——面白い。そういったものを，実際の都市開発なんかにも応用して，あちらに赤い毛せん，もう少し高いところに青い毛せんとかいう技術は使えるのではないでしょうか。あんまりあっち

へ廻るといい景色じゃないというところは池なんかにして，そっちへゆけなくする。もう少し高いところからみていいところは，もう少し高い毛せんみたいな段にするとかね。道路でも同じですよ。この間名神高速道路を走ってみると，どこを走っているのか，そのうちわからなくなってしまう。もう少し節をおいてね。こういうものがみえてくればこの辺だとか，こういう色の橋があればこういうことだというように。律動感を与えろという意見も風致工学的にでている話を聞きましたが，とにかく道路というものは，AとBの二点を結べばいいというのではなくなってきたようですね。

**神代**　今後ますますそれは大切になってゆく問題と思いますね。いままでAとBを結んで，古墳があればそれをこわしていっちゃったでしょう。そういうこわしたものがわれわれの意識とつながっているのだから，逆にそれを道路からの眺めにいかさねばいかんと思いますが…。

## 現実の障害

**神代**　せっかく，芦原さんから外部空間というものを考えていかなくてはいけないという主張がでていながら，それを実際にうまくつくっていく場を建築家の方も与えられていないし，実際につくろうということになると，いろいろの障害がある。それをどういうふうに打破していったらいいのか。その障害自体が一体どういうところに根があるのか，ということが一番問題じゃないですか。

具体的な仕事になると，二つならんだ敷地でさえグランドラインの高さのとり方からちがってきてしまう場合があるし，一つ一つの建物が，人間のむれを相手にデザインされるというよりも，個人個人の古い考えでつくられていくから，そういう建物がならんでしまうと，非常にゴチャゴチャしてしまうのですね。しかしこの問題は結局は社会体制というか，社会問題にゆきついてしまうと思うんですが……。

### —市民のエネルギーを—

**松井**　言葉をはさんでなんですが……。それに関連して，僕は，都市計画とか再開発とかについて，コオウ計画というものを考えているんですよ。短かい文章を書いたことがありますが。

**司会**　コオウ計画ってどんな字ですか？

**松井**　呼びかけに応じると書くんですよ。これはまあ，マスタープランをつくるのは建設技師でないとつくれないのですけど，そのマスタープランをつくるときに，それを市民の中に一定期間提示して，それによって修正をうけたものを実践のマスタープランとする。そういった段階を考える必要がある。その段階の中で，市民エネルギーをそのマスタープランの中に汲み入れていくようにする。もっと具体的にいえば，都市計画とその再開の手法に，その地域の社会集団のエネルギーを汲みとる必要があるんじゃないかということです。封建社会からいまの資本主義——資本主義といっても，いろんな経済組織があるわけですが——それから社会主義へ向うかも知れないこの社会には，いろいろの社会集団が生れ，それぞれの地域で活動しているわけです。こういう集団が今日の都市を活動させている一つの力だと思うんですけど。

**司会**　だけどね，地域における社会集団というものはなくなりかけているのでしょう？皆サラリーマン化してしまってね。もう地域社会に足がついてないでしょう。

**松井**　そうじゃなくて，社会状態にはやはりいろいろな考え方をもつ層があるわけですよ。

**司会**　ええ，たとえば，大阪の丼池の問屋なんかの再開発の問題では，社会集団としてのエネルギーを反映して，それをうまく吸収する方向でプランを描くということはできると思うんですがね。団地なんかの場合はなんにもないんですよ。だからいまの団地は空漠として砂漠のようなどと攻撃されるわけで……。

**松井**　いや，結局，僕のいう社会集団は問屋のような商業的な社会集団もあるが，それだけでない。たとえば，主婦の会のような集団もあるし，団地の場合でもそのようなサンプルがたくさんあると思うんですが。主婦が用うべき託児所とか，集会所とかいうものが団地ではもっと考慮されるわけで，このように集団の声というものをもっと計画の中にとり入れていく必要があるのではないか。集団には，経営者，企業者の集団もあるし，組合の集団もある。芸術家，彫刻家の集団もあるわけです。将来性のある集団，将来の社会を背おうことのできる集団もあるわけで，そういった意味で組合というものはどんどん発言していく必要があると思う。

**司会**　アメリカの再開発の場合，まあ，いまおっしゃったような手続きはとっているようですよ。最初プレタミナリプランがあって，それに対して，テンタティブなプランをだすというように，そして最後にプロゼクトをきめていくという。手順としてはね。

**松井**　まあ，いまいったことは，市民エネルギーないし社会集団の意見というものをとり入れるような社会体制にまだなっていない。が，その芽はある。そういう社会体制をつくる道にわれわれの開発の手法もつながっているということです。現在の障害というのも，そんなことに若干関係してくるのではないかと思って，ちょっと……。

### —土地所有の問題—

**芦原**　私は実践的な立場での障害というのは，土地所有の問題，土地のもたれ方にあると思うんです。いま都心部で，12坪とか15坪とか非常に零細にわけれている。それに対して，大資本がそれを買収にくるけれど，なかなかそれに応じられない。そうかといってそのままにすれば，その12坪なり15坪の土地を高度に利用できない……。というような江戸の街なみのままの近代化したような面がありますね。設計する実践の立場からのぞむとすれば，土地が一つにまとまって，一つの複合的な目的をもった秩序ある建物にできれば非常にいいものができるのではないかと思っているんです。

その点，公団の立場でいけば非常にうまくできるんじゃないですか。僕たちのいっている外部空間の技術なんか，大いにいろいろな意味に応用されてね。最近新しい団地へいくとぐっと変わってきましたね。外部に対する意識が非常に強くなった。ああいうものに予算をかけるなればいかんという一般的な与論になってきているのではないか。その意味で着々と成果を収められている。

それから，われわれがやる場合で，少しまとまった敷地なら必ずこの外部空間の問題がでてきましてね。そもそも日本人は庭なんか好きですからね。予算があれば，かなりかけますよ。それに道路をどろんこにしておれば家もよごれますからね。外部の舗装にも，道路にも力がみえてきた。だから土地が大きくなるということはなによりものぞましい。いままで土地が小さかったということが，ある意味では外部空間の構成に対して邪魔になっていたという気がする。

**神代**　それは，根本問題ですね。

**芦原**　公団の場合なんか，外部空間の技術的なことをやらなきゃものにならんですね。土地が大きいから。

**司会**　公団の場合，設計作業というたらなんですか，それしかないんです。ほとんどが基準ディテール・シートで処理しないと，建設面の合理化ができない。したがって住宅が膳立てされてから団地ができるのですから，外部空間をつくることが設計の主要テーマになるわけです。

**芦原**　たとえば，一軒のビルを設計しますときに，トントンと二段ぐらい階段を下りて向うへいって，こういくというようないろいろな技術でやっているわけですよ。それを10万坪なら10万坪の敷地の中で，10万坪の建物を建てるんだと，ここだけは屋根がついているんだ，ここは屋根がないんだ，そのかわり屋根のないところは上ったり，下ったり，水があったり，川があったり，丘やいろいろなことがあるのだから，10万坪の間取りをやっていると思えば，外部空間ができるんじゃないかと思うんですよ。

**神代**　外部空間に技術的にアプローチしていくという努力はいま意外と少ないと思うんですよ。芦原さんの本はその意味でまれな仕事をされたということになる。

僕もさっき話しかけましたが，概念的にすぐ社会体制の問題にくっついたり，土地の問題が解決したような図を描いたりすることは，かなり多いんだけど，むしろそういう条件がだんだんでてくるのに，それにいつでも対応できるように技術的な蓄積をしておくことが意外とされていないようですね。

## 外部空間と地域社会

**芦原**　こういう問題はかえって関西あたりの非常に実践的な立場から生れるのではないか。僕は生粋の江戸っ子で関西には弱いが，関西にはどうもそういう地域性というか，それが強く残っているのではないでしょうか。

**神代**　そうですねえ。

**司会**　まあ東京といえば，植民地みたいなものですからね。表現が悪いけど。

**神代**　大阪なんかでも，ちょっと堺の方へいけば随分様子がちがってきますね。社交的なものなんて東京近辺はないでしょう。川越あたりかな。大阪の方がその点いいんじゃないか。

**芦原**　たとえば，車の大型車乗入禁止とかね。ああいうのは，どちらかといえば，都市の連帯性というか，先刻の京都の大文字山なんかと関連して一つの市民意識の現われだと思う。

**神代**　残っているんですよね。

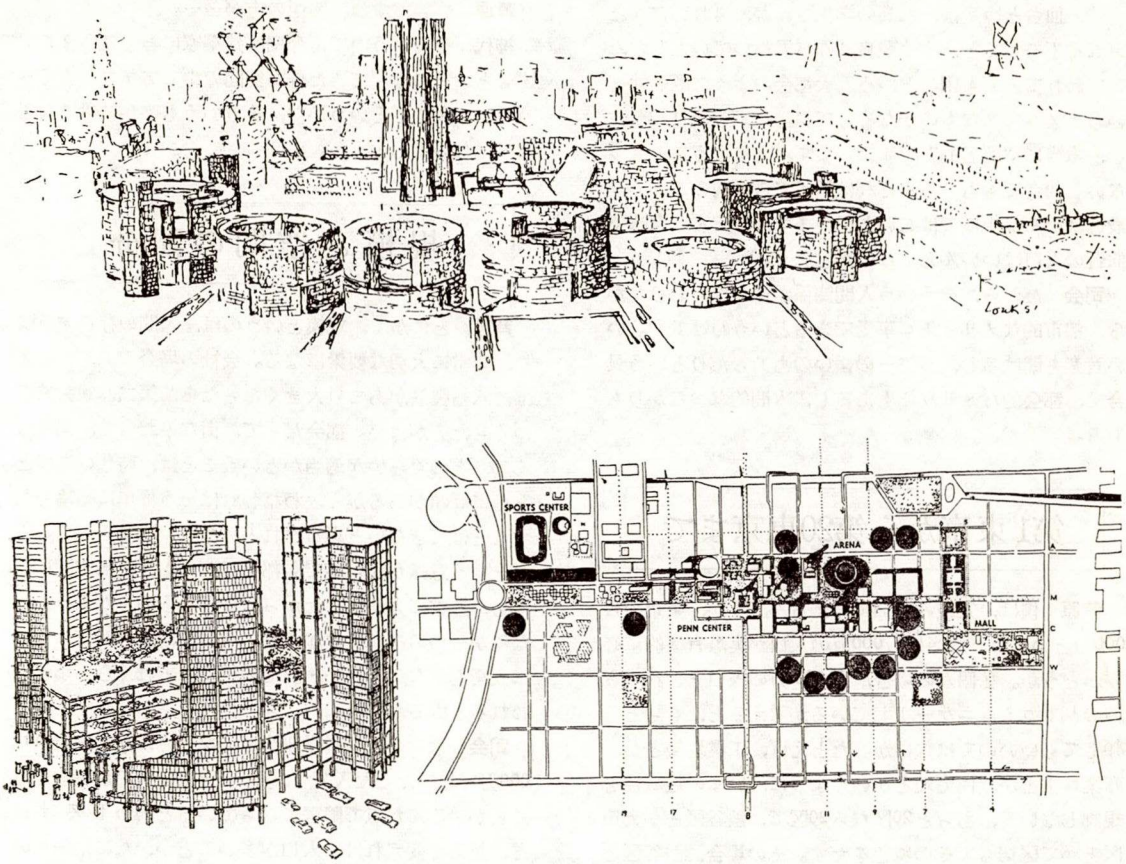
**芦原**　もちろん，そうしないとやっていけないということもありますがね。それをプラクティカルに解決しようというところはなかなか……。

## 標準語の罪悪

**神代**　東京の方が標準語が発達しちゃってね。関西方面は東京となんの違いもないぐらい都会化しているでしょう。にもかかわらず，あれだけ大阪弁とか関西弁が残っていますしね。


芦原義信氏


神代雄一郎氏




ルイス・カーンのフイラデルフイア計画　(1957)

一度，空間の問題を言語で考えたことがあるが——話が変な方へいってしまうが——方言の範囲と空間の人間的スケールとは関連があるように思われてね。日本の中で言語を統一しようなんて，案外アンヒューマンなことなのかも知れないんだね。なにか市民意識というある大きさの一つのまとまった気持を高めていこうとしたら，言葉も関連してくる……。

**芦原**　大久保さん（司会），関西ですか？

**司会**　はあ，そうですけど。

**芦原**　関西人の立場から一つ……。

**司会**　いや，くすぐったいですよ。のつけから，大阪はよいところだという結論をだされたのでは……。

**芦原**　なんか市民意識のようなのがあるような気がしますね。京都にしても，大阪にしても。

**司会**　たしかに，大阪といいましても，旧大阪市内には，そういうものがあると思いますね。しかし，いまの大阪を構成している豊中とか住宅地が沢山，スプロールしてのびておりますが，そこはダメですね。地域社会と人間のつながりというものはないようです。

**神代**　そういうことはあると思うんです。広島がそうなんですよ。広島は非常に植民地的ですよ。周囲が山でかこまれていて，市民意識が育ちそうなんですが，原爆でやられちゃったでしょう。もう生え抜きの広島人はいないわけです。それと広島という街は，中国地方の出店のより集まりみたいなもので，大阪，東京に本店があって，中国支店を広島に出す。だから他地方からの社宅で構成されている街になって，あそこに市民的な気持を復活させていくのはむつかしい。

**司会**　仙台ぐらいの規模といいますか，人間関係のアッパーリミットといいますか，そういうスケールで考えられる都市だと聞きましたがね。

**芦原**　いま仙台はどれぐらいですか。広島と同じぐら

いですかな。40万人ぐらいですか。

昔，仙台といえば，二高の学生さんが，きれいな人と東五番丁を歩くと，すぐ翌日“昨日君歩いていた”なんていわれてとても困るという。大都会のような匿名性というアノニマスなものがなくってね。東京みたいですと，本当に“匿名的”ですよ。まず，人に会うことは少ない。仙台でももちろんそれは20年ぐらい前のことで，最近はそんな規模ではないと思いますが，そんな意味で仙台の人口はいいんじゃないかと思う。

**司会**　だから，そういう人間関係が保たれておりながら，都市的なメリットも享受できるというわけです。いい音楽も聞けるし，バアーのよいのもあったりという具合で，都会的なメリットもあるし，人間的なつながりもある。

## 第1東京から第20東京まで

**芦原**　僕は，冗談みたいに考えるんですが，東京の1,000万というか，本当に1,000万の人口が実際有機的に必要かどうか。私個人の場合，1,000万の人口とどれぐらいの割でコミュニケートしているか考えると，もっと分類してもいいのではないか。たとえば，工業地帯とか，商業地帯とか，住宅地とかいうように，いまの地域性を規制しないで，もっと20区なら20区で，渋谷区とか大田区とかで区切ってその特色をだす。その場合，渋谷区というのでなく，第1東京から第20東京というように，城壁かなんかで区切る。道を渋谷から大田区へなんて結ばないで，センターからセンターへ地下鉄で結ぶ。そこへいくときは100円ぐらい通行税をとってね。

あるいは第1東京にはオペラがあり，第2東京には野球場があるというように，その中に住んで通っていくということをもっと徹底すれば，たとえば，渋谷の区役所でも，世田谷区役所でも，もっと役に立つ。僕は渋谷に住んでいて，渋谷にいくより銀座にいく方が早いというんでは交通系統をそのままにして，区なんてのをやっても意味がない。大阪でもこう思うんで，だから——この座談会と関係ないんだけど——いま一つの人口をもう少し有機的に組織化する方法が，アッパーリミットという考え方があるんじゃないかと思う。

**司会**　大阪なんか，たとえば，メトロポリタンリージョンという考え方でみますと，大阪，京都，神戸という都市群があって，それぞれ独自性をもちながら，一つの阪神都市を形づくっているわけです。たとえば，さきほど芦原さんがおっしゃったように，渋谷の第n東京にはオペラがあるように，大阪は商業や産業の中心，神戸は港町としての特色をもち，京都は美術関係の中心で，といった具合に連想しながら，分節が行なわれているように思われます。

**芦原**　いいですね。関西の方が……。

**神代**　そういう中で，今度は建築家にとっていままでずっとお話になってきた外部空間の中でアプローチできうるある大きさというかな，そういうものが結論になるんではないでしょうか。

## 規模と空間の配分

**芦原**　とにかく，規模というのは，人間の存在する限り，非常に大切な要素になる。会社の場合でも，たとえば，八幡製鉄があまり大きくなったら，第二八幡製鉄をつくった方がよい。都会だって，街なみだって，同様なんで，どのぐらいが適当かということは，時代の進歩とともに問題があるから，われわれはそう簡単に結論をだすことはできないと思うけれど，そういうものがあるんだという意識が街なみでも都市にしても，外部空間にしても，非常に大切だ。だから，最初からいったように，なにか一つの枠づくりが空間の意識を向上させていくのに大切じゃないかと……。その規模はどれぐらいかといわれると困るが……。

**司会**　京大の人文科学研究所の桑原さんが——東京1,000万で思いだした人ですが——東京は人口が多すぎることがいろんな点で障害になっているといわれるけれど，見方を変えれば，人口が多いことが，なにか一つのメリットではないだろうかということを申していたように思いますが，そういうことをうまく解決することで，ヨーロッパ的な広場とか都市スケールとはまたニューアンスの異なった日本独自の手法が必要じゃないかという気がするんですが。

**神代**　僕なんかも異なった日本的手法がでてくるんじゃないかと思うんですがね。だけど，それが現在のあまりにゴチャゴチャしている現状に対して，ゴチャゴチャ肯定論みたいになってでてきてしまうのは困りますがね。

**司会**　そりゃそうですね。

**芦原**　僕は，盛り場はゴチャゴチャするのはいいし，東京全部がゴチャゴチャするのでなく，ある部分がゴチャゴチャして，ある部分はすっとすくとか，そういう密度的にバラエティがあるのがのぞましいと思う。都心から5分ぐらいに湖があったり，木の生えた公園があるのもいいし，そのわきに，ものすごい繁華街があるのもいいし，人間はやはり，都会生活をしていて選べないというのでは困りますがね。

**司会**　今日はどうもありがとうございました。この辺で……。

# 都　市　空　間　の　歌

文・写真選択：西沢文隆

## Ⅰ．物自身のもつ空間

ペレ・ロワイヤール前の並木



木はそれ自身立つているだけでも美事な空間を拡げる。イギリス式風景庭園における独立樹の発明は，そのことをはっきりと私たちに示してくれる。それらが相寄り相集るとき，また異った空間が展開する，陽光ととそのたわむれる影と，葉の色と風のさやぎそして青い空。

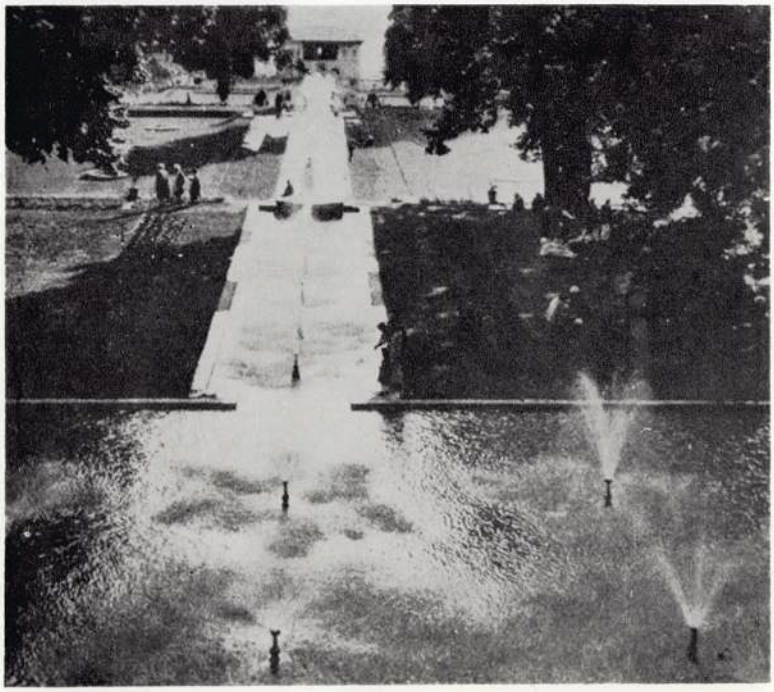


ヴィラ・デステ（チボリー・イタリー）のジェット
—絲杉や建物の立体ともよく呼応し合っている

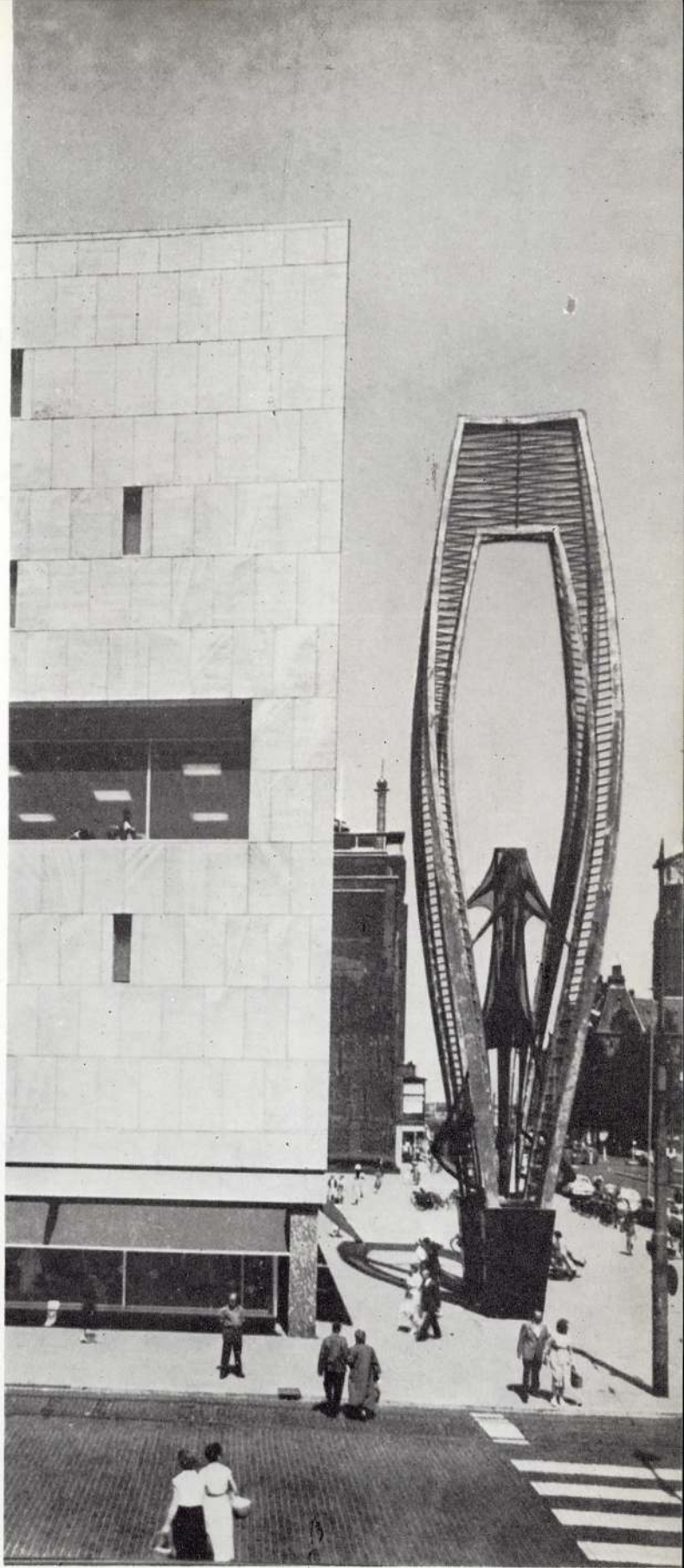
水もまた同様である。勢よく吹き上げるジエット，周辺より静かに落ちるヘネラリーフェのサイプレスの庭の噴水，小さな噴水に小波を打って光る池面，チャンデイガール高等裁判所入口を飾る細い静かな噴水。

大きさは異り手法は違っても，それぞれの位置において占める空間の広さがあり，その空間の磁場も太陽の輝き工合により質的に変化をみせる。

泉の庭（ダール湖畔・印度）

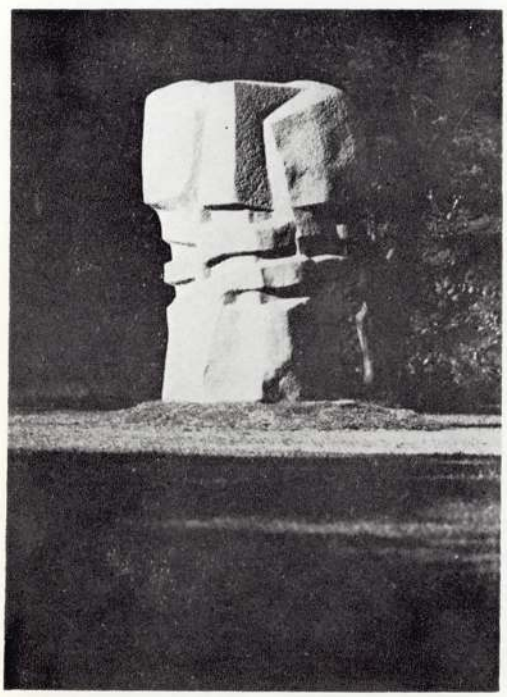


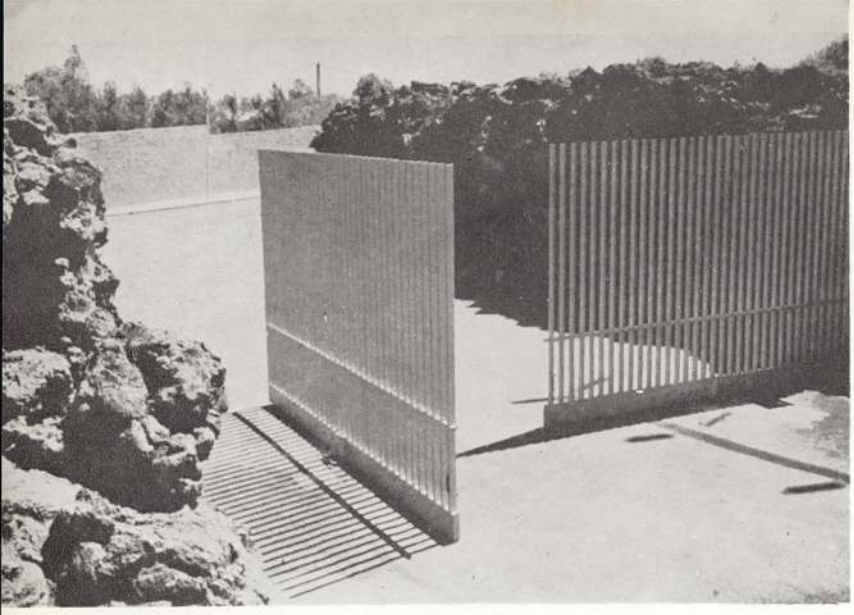
ビシエンコルフ百貨店（ロッテルダム）の前に立つガボの彫刻



彫刻であれ，絵画であれ，外光の中で自然に対抗すべく造られたものは太陽の下，光り輝き，それが静かな広場に置かれるか，雑踏の中にあるか，木のさやぐ静かな公園にあるか，高速道路を走る車窓より眺めるかにより，その占める空間も変質し，変貌するだろう。これらはそれぞれその占める空間勢力の均衡の中に，互に従属関係でなく，一対一でバランスある調和にある時，最も美くしい空間の構成材となり光り輝くであろう。

日本シンポジウムの野外展（新宿御苑）
現代彫刻―永井康雄作「無道'63」





**サン・アンジエル　　ルイヌ・バラガン作**

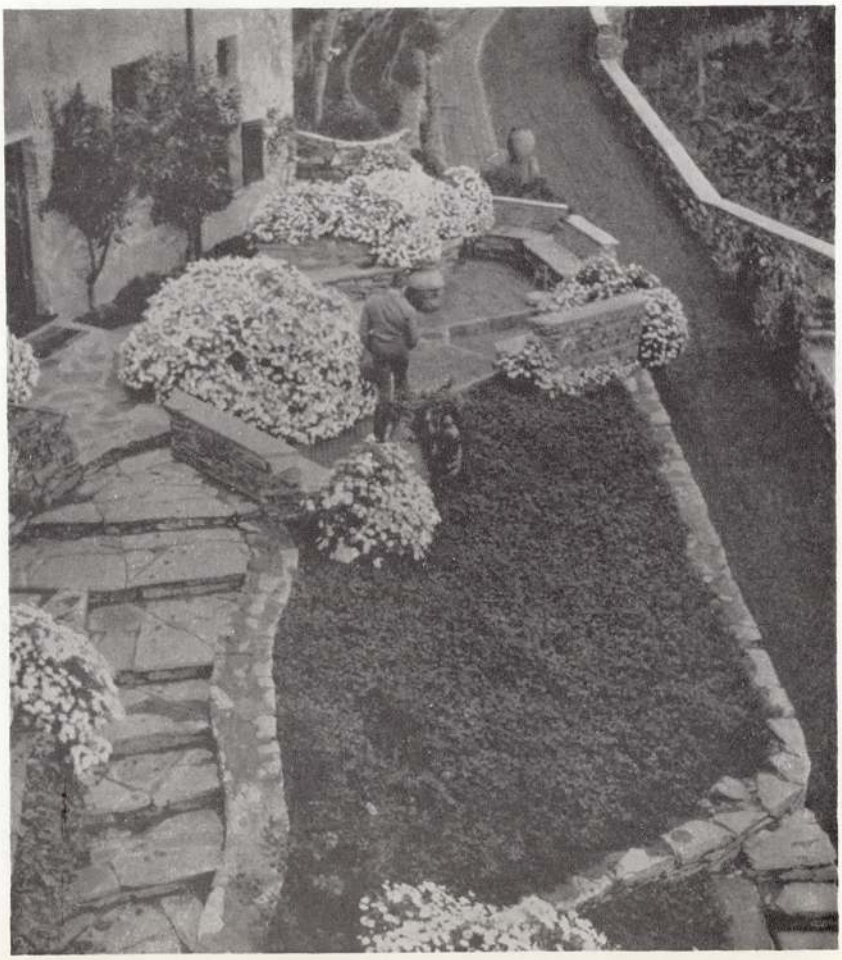
一人工によって平にされた台地と若々しい熔岩と赤い扉，これらは互に相呼応して美事な空間を造り出している。殊に平な台地の美くしさ。

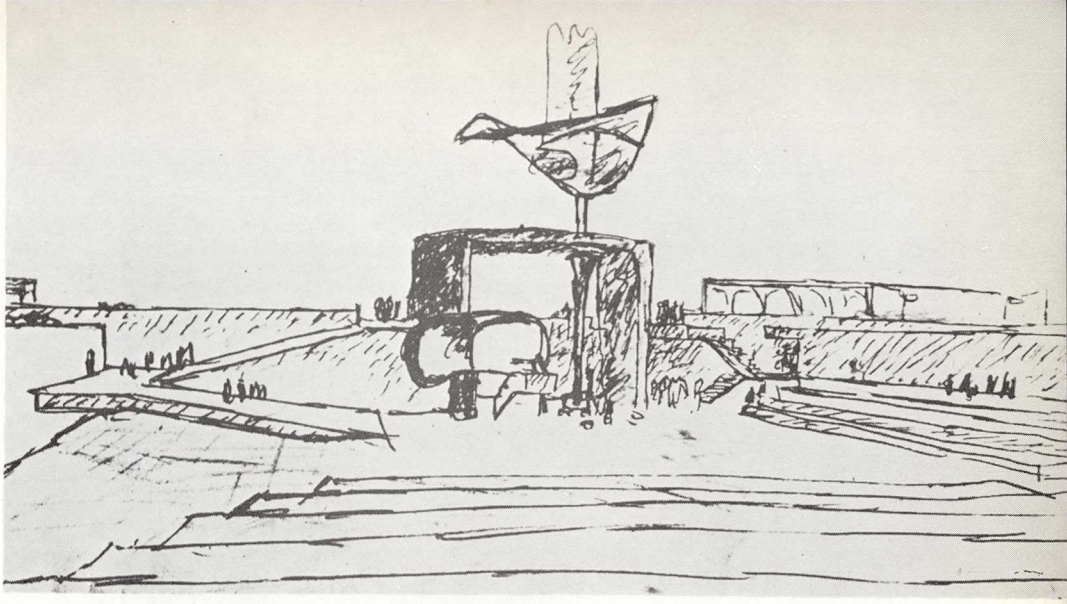
## II. 大地の空間化

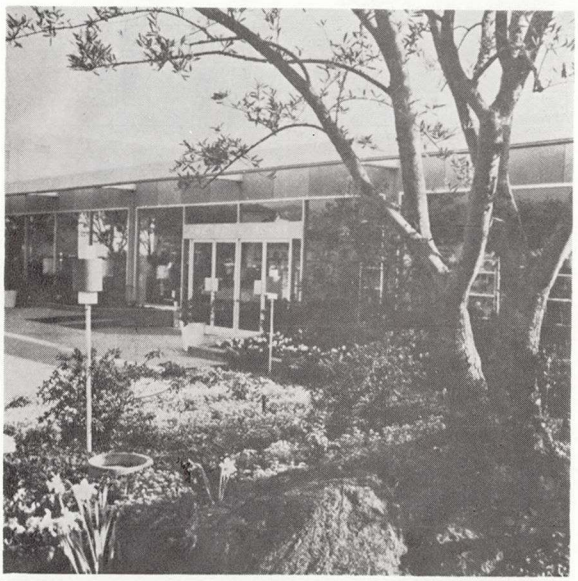
凹凸のある自然の中に平坦な台地を切り込むだけでも，美事な空間は生れる。マヤのピラミッド群に見る層状テラス——現代メキシコの建築家たちは美事にその空間感覚を伝承した。メキシコ現代建築のルネッサンスたる所以は，彫刻と壁画と建築の綜合にあるのではなく，大地の匂ひを鋭く把み取った空間感覚の確さにあるのではなかろうか。大地——それはずっしりと重く母のごとく暖い。そこに伸び伸びと生育する植物と屋上庭園に育つ馴化された樹木では同じ植物といえども，まつたく質の異ったものである。近年バーミキュライトのような軽い便利なものが出来てきたとはいえ，荷重の問題があり土の深さに限度がある。底の浅い木は底の浅い文化にも等しい。しかし好むと好まざるとにかかわらず，都市の立体化にともない層状＊

**リヴィエラの休暇の家**
**ロドヴィコ B.ペルヂオジョリー作**

一地形を破壊することの最も少く隅々までおよんだ人間の愛情，人の目は下へ下へとはるか谷の下まで伸びて行く。







上：〝思索の淵〟と呼ばれる民衆広場
ル・コルビュジエ作

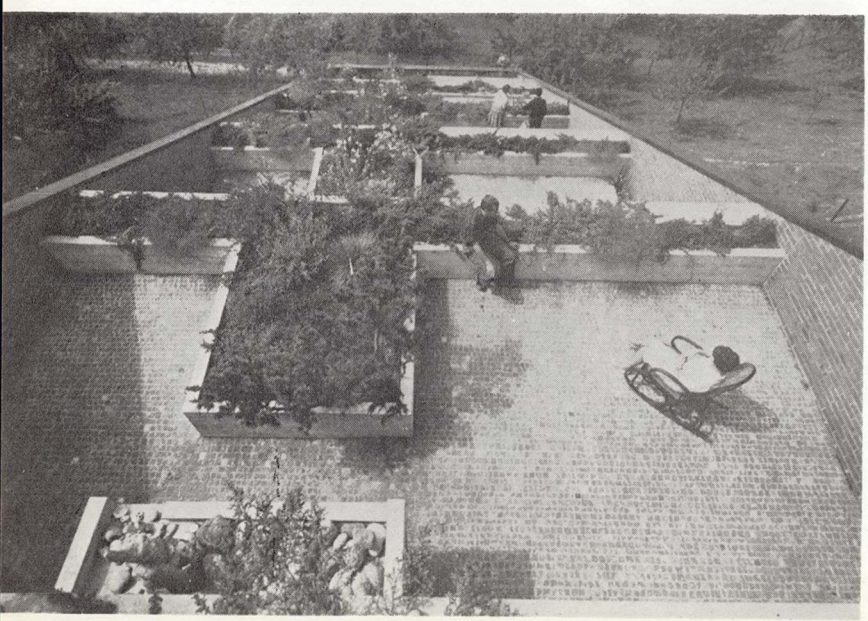
―サンク・ガーデンとなったこの広場は周囲の擁壁によりチャンデイガールのカピトールの諸築物を適当に遮り，ヒマラヤの連峰をバックに悠やかに風章となって廻転する〝開いた手〟を青空の中に浮ばせる。空へ空へと拡がるこの外部空間は慈悲の象徴そのものとなるであろう。大地への愛情がこのようにはっきりした形で現われるようになったのはコルビュジェではチャンディガールからであろう。

中：テラス・ハウス（1959―60）チューリッヒ
クロード・ペヤール及びペーター・レーマン作

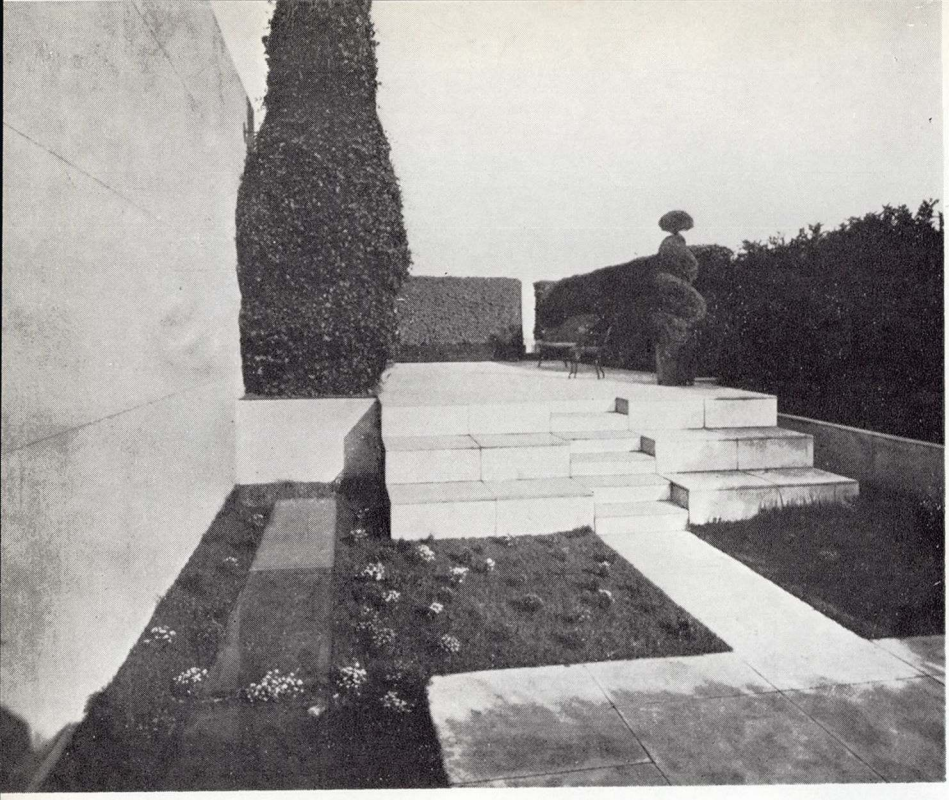
―底の浅い土，馴化された自然

下：カイザー・センター　オークランドUSA

―底の浅い土，柱の部分に5尺ばかり軽土を入れ込んで繁らせた自然，これが人工台地の上での自然の最大限度であろう。



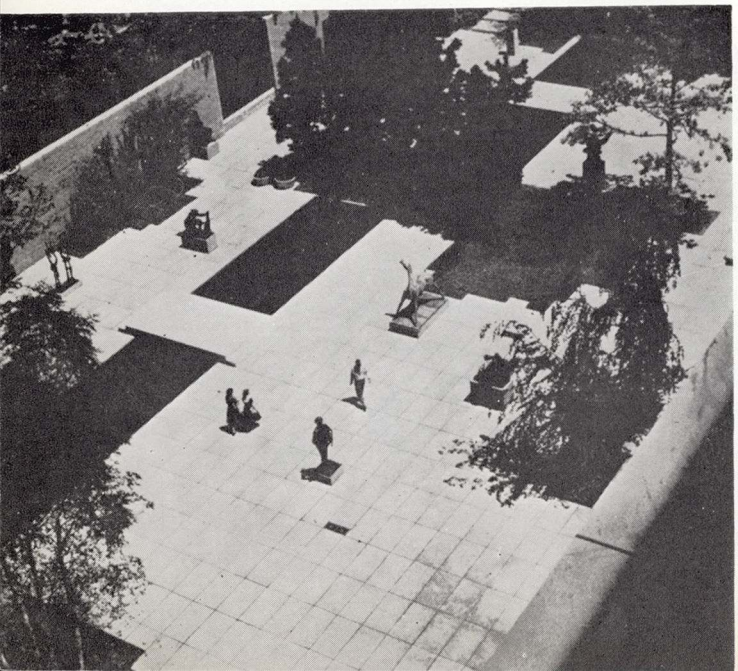
＊テラスは都市に緑を護持するためにはやむを得ず必要であり，それが都市景観の緑を支配する大部分となってくることは必須である。このとき大地に根ざした樹木が非常に貴重なものとなるだろう。都市の下が全部地下街となったとしたら，そこに残し得る緑はなんと色褪せた淋しいものとなることか。この意味からたとえ少しでも深いサンク・ガーデンであっても，人間が本当にすむためには大地を護持する必要がある。人工台地がいかに新らしい都市造りに有効な手段であろうと，自然の台地とは質の異ることを認識した上で駆使する必要がある。



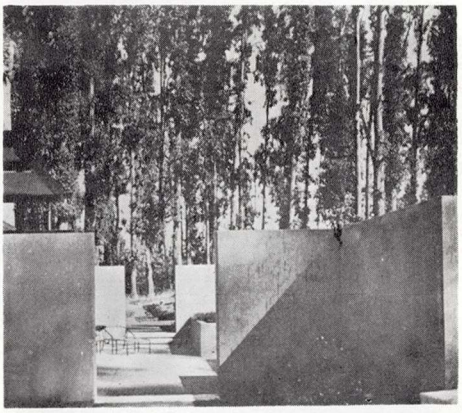
# Ⅲ. 囲うこと

アパートの屋上庭園（1930—31）
ル・コルビュジェ
—囲うことにより生まれた空間

囲うこと。それは最も単純明快な空間限定法である。エジプトにおいて，貴族の別荘では，厚い塀で囲うことにより，熱砂の猛威から保護された緑したたる別天地を造り出した。パラダイス——それは囲まれた敷地を意味した。中世において僧院の廻廊に囲まれた花園もパラデイソと呼ばれ，ここで僧達は神の国を論じ合った。中世やルネッサンスの諸都市は教会や市庁舎の前に建物が互に呼応し合う美くしい限定空間を造った。囲まれた空間それは人々の真の憩いの場を造る。それをいかなる形で現代の都市に生かし得るか。



ニューヨーク近代美術館野外展示場　フイリップ・ジョンソン
囲まれることによりニューヨークの真只中に 静かな人だけの憩いの場が生まれた。



壁とユーカリ樹に囲まれた空間　ローレンス・ハルプリン

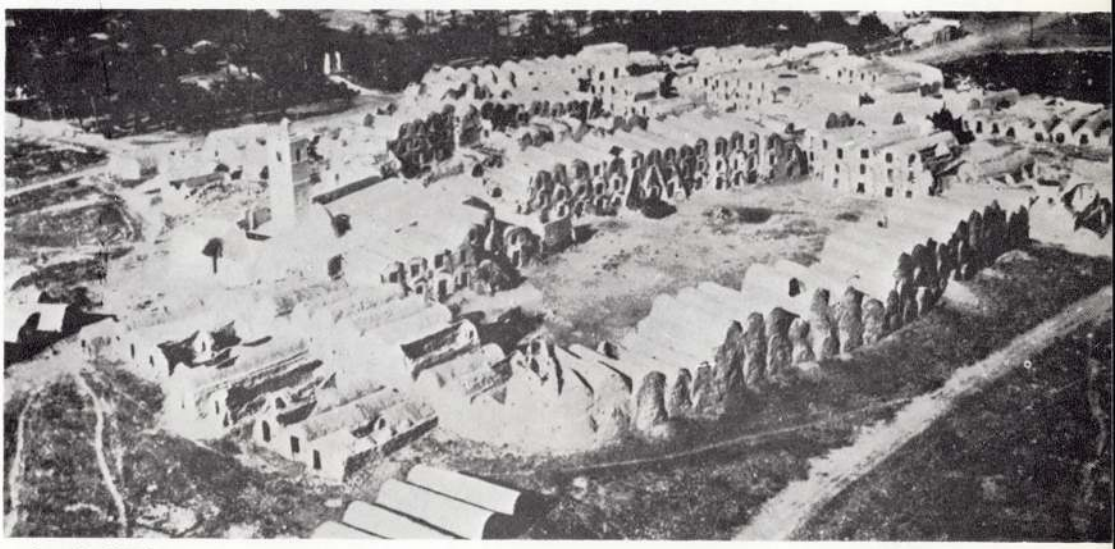


大ブリテン博
囲まれた空間による憩いの場

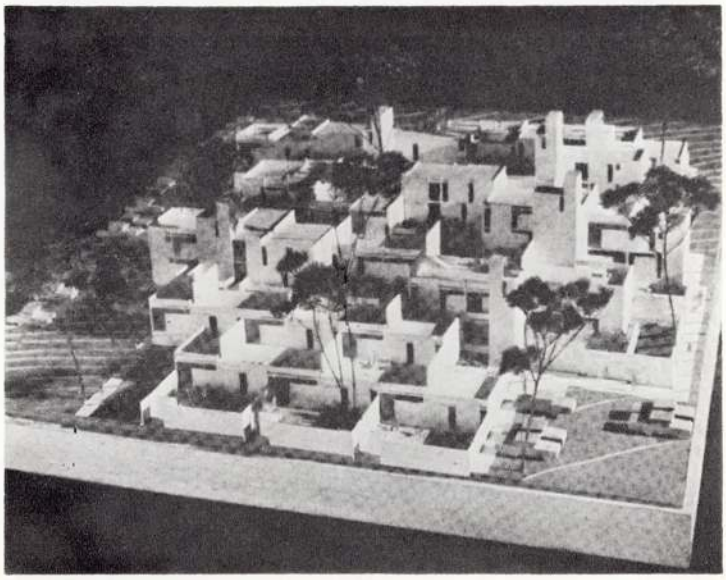
# Ⅳ. 空間の有機化



穴居住居村
マトマタス　南チュニジア
一つのシステムの中で群の美くしさを示す。



マトッマタの住居群
中央に共通の野外居室をもつ。周囲を取巻く単位住居

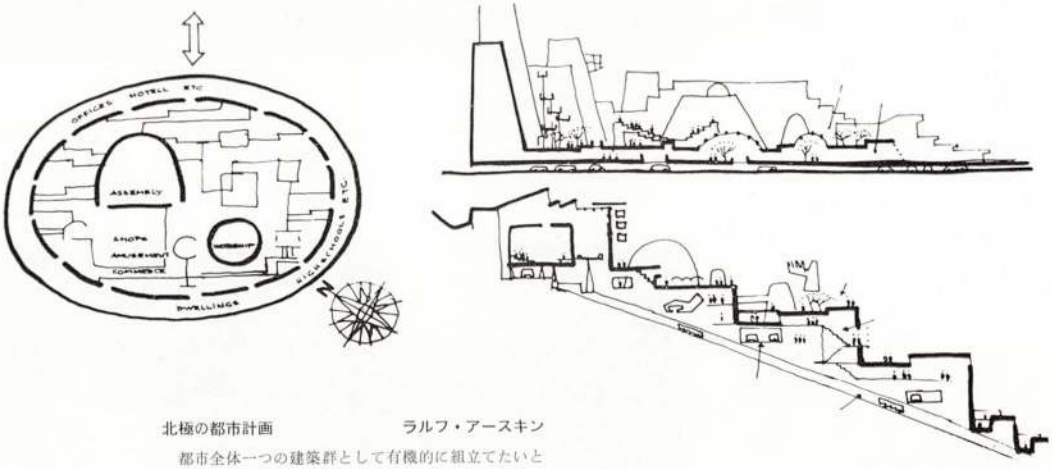


エール大学既婚学生宿舎
ルドルフ
システムの中に混沌の美を画き出そうとする



エール大学　　エーロ・サーリネン

秩序ある中に人間性の混沌の美をねらった空間




北極の都市計画　　ラルフ・アースキン

都市全体一つの建築群として有機的に組立てたいという志が明瞭に現われている。

都市に建つ建築であるかぎり，それ自体独立した建築としてでなく，また互に相呼応し合うというだけでなく，建築自体をも互に有機的な繋りのある建築群として都市全体の空間に繋る建築という観点から，建築を把えて行きたいという願いが澎湃として起ってきている。インターナショナル建築の生みの親であるグロピウスさえ有機建築を云々する時代となってきた。インターナショナル建築が胎蔵する空間があまりにもホモヂニアスであり，非人間的な空間の把握の仕方をして来たのではないかという反省である。中世都市に見るような美くしい人間的な空間を交通と雑踏の中から再獲得したいという願望がある。しかしそれはもちろん過去への逆行であってはならない。最も今日的な意味での混沌としたヘテロヂニアスな人間性の上に立脚したものでなければならない。



中世の都市　　ノルドリンゲン

いくつかの小さい吹溜りのような広場と放射状につながれた街並と――中心から城門の所まで10分もかからない距離であり，歩行者の住む町としては最も適当な大きさのようである。城壁の周辺は広々とした線が展開するそれはもう過去の美くしい遺産でしかない。



# V. 都　市　景　観

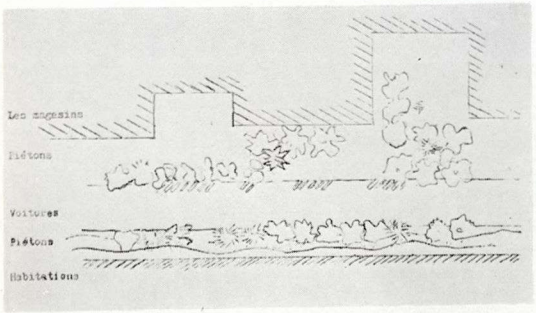
エトワール広場

凱旋門を中心に放射状に走るバロックのブールバード，これらの美くしい道に囲まれたブロック内は，光庭という名の小さな呼吸口のみで生活するスラム街にも等しい町であるとはいい過ぎであろうか。



**輝ける都市**　　**ル・コルビュジエ**

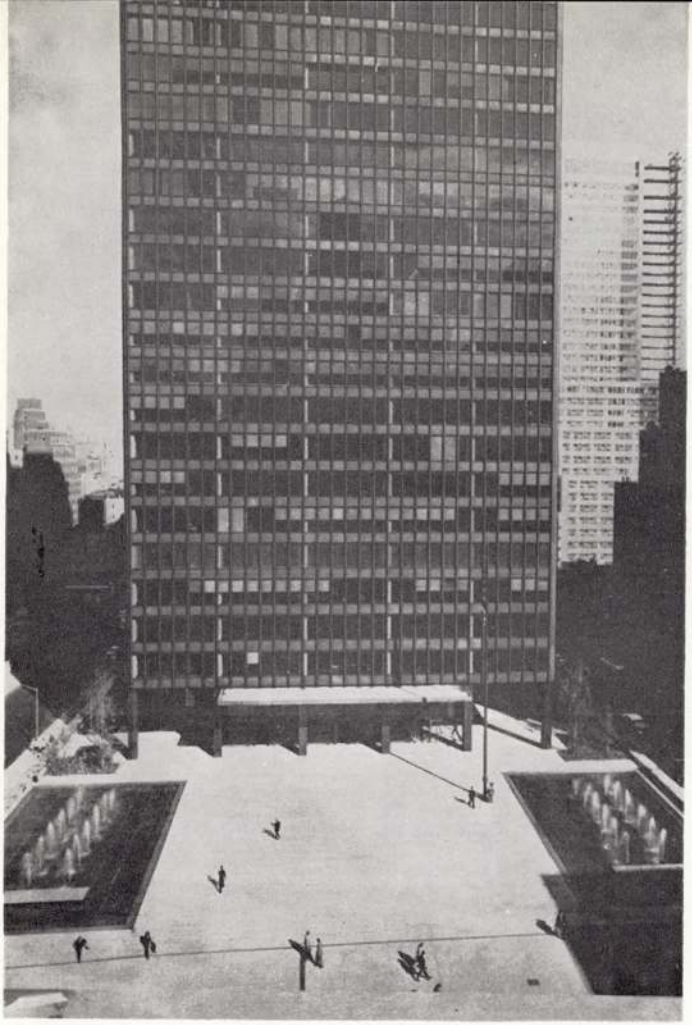
人道と車道の分離　立体化する道路，建物との好ましい結合。『太陽，緑，空間』が実現してもそれは果して都市であろうか。混沌が都市の魅力であることも忘れるわけにはいかない。




**チャンデイガールのブールバード**　　**ル・コルビュジエ**

なんとかバロック的ブールバードの無慈悲さから脱脚せんとしてコルビュジエの造ったプロミナードの吹溜り，未来へも通用する人間的な心遣いが嬉しい。

古代西南アジアの都市は，夜の戸外居室であり，サロンである中庭を中心にもつ住居が自然発生的，不整形に櫛比し，家と家の間にできる隙間が道路であり，不整形な結果として，出来る道路の広狭が，道となり，広場となってそれなりに面白い人間的なタウン・スケープを形成していた。西欧中世においても，寺院や市庁舎の前に広場が設けられていたが，われわれにとってとくに魅力的なのはこの広場ではなく，ジグザグ道の間に適宜生れ出た吹溜りのような小広場の空間である。バロックでは広場がもつとはっきりと意識され，広場と広場を繋ぐヴイスタの利く直線道路が特徴となる。中でもオースマンのパリーのブールバードは壮大で，ル・ノートル式に緑，並木がヴイスタを強調する壁となって美しい都市景観を造った。都市計画とは美しい直線のブールバードをつけることと誤信する人々さえ現われたこの道路は，道路を壮大にするために行儀がよく両側に建並べられた同じ



シーグラムビル　　ミース・ファン・デル・ローエ

ブロックの道路を造る建築の壁を破壊して新しい都市空間を持ち込もうという努力。それを広告価値という金銭とのにらみ合いにおいて遂行して行こうとする試みに敬意を表する。ただし街全体がこのようになった図を想像するとき余程巧妙な技術で全体をにらんで行く人がない限り散漫空間が現われて来ることになるのではなかろうか。



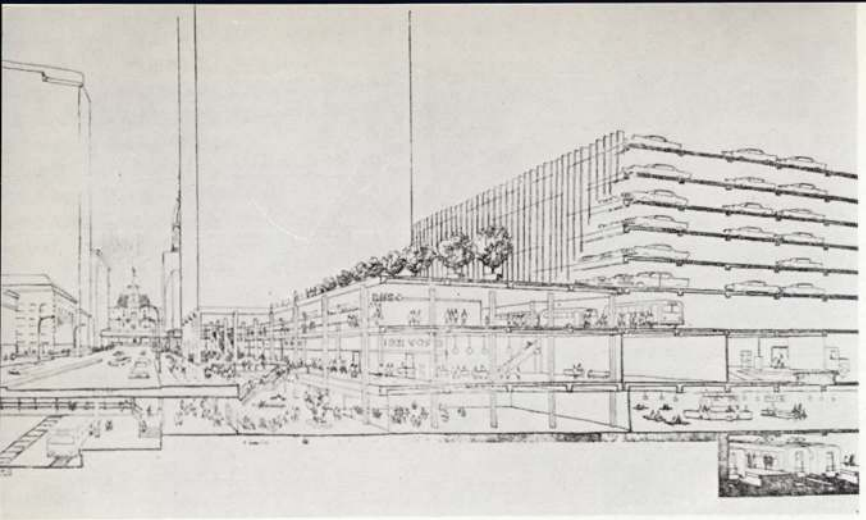
ベルリン計画　　A&P　スミッソン

『動く車』と『歩く人』の完全な二重構造として都市を再構成しようとする試み。巨大なスケールのプラットフォームを既存の路線沿いに網のようにかけて歩行者専用とし，このプラットフォームの中に既存の路線上へ諸施設を入れる。

様式の建物によつて，ヴイスタという一方向の限定空間を生んだが，建物自身は道路を壮大にするための壁に過ぎない。ここに道路で囲まれたブロックの中を小さい光庭といふ僅かな呼吸口を残して，ほとんどスラムと呼ぶにふさわしい建物で埋めつくすという悪い習慣がしつかりと根を下したのである。人間の生活は犠牲にされ窒息した。この窒息を打開しようとして叫びを上げたのが，ル・コルビュジエの『輝ける都市』であった。太陽，緑，空間を標榜した彼の明日への住い得る都市への叫びは美しかった。しかし，そこに描かれたものは都市と呼ばれるにはあまりにもホモジニアスな散漫な空間であったと今にして思う。アーバニティはもっと密度の高い人間的でヘテロ・ジニアスな混沌の中にこそ，その魅力がひそんでいるのではあるまいか。

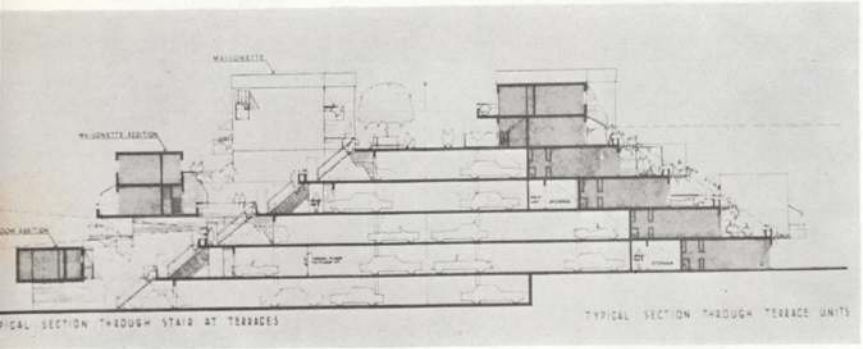
都市空間が自動車の発達により立体化されて行き人の視点が次第に上へ上へと伸びて行き、そこに『得も言われぬ』新らしい空間が生まれてくるとするコルビュジエの予言も正しかった。それらは歩く人間と車で走る人間の視点の時間的変化の中で，それぞれに対応するふさわしい二つの質の空間が交錯し合って次元の高い都市空間へと高められるに違いない。

サンテリアが描いた未来の都市のイメージはかなり密度の高いアーバニティをもっているが，そこでは人間は機械に押し流されていくように思われる。（一本も木のないことに注意しょう）。ここでは建物と交通が直結していて現代の都市的感覚はあるが，道路があくまで内部空間に迄侵入して来ているではないか。どこで道路をシヤットするか。交通機関に対する恐怖から遙かかなたでシヤットしてその中に中世的な都市空間を再現しようとするのも何か時代錯誤のように思われる。そのバランスの程よい調和を見出したとき，本当にこれからに生きる外部空間が生み出されるのではなかろうか。



フィラデルフィア都心計画
（マーケット通り東側計画断面）
エドモンド・ベーコン

一都心へも車を入れながら秩序よく歩行者の世界とスピードの世界を分離しようとする。全体としてバロック風デザインを踏襲しながらもそこに今日的な解決を見出そうとする努力が読みとれる。樹木はかわいそうに箱の中に入れられて寒々と屋上に立っていることに注意。

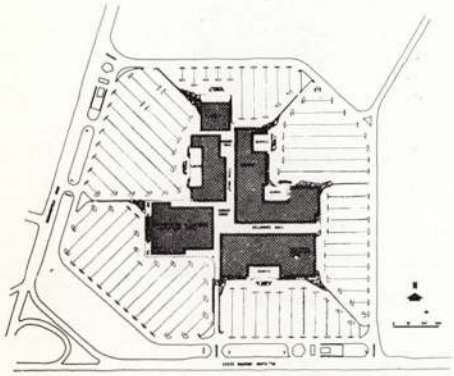



サンタ・モニカ再開発計画案
デマール & レーイ

バビロンのジグラッドのように積み重ねられて各戸はテレスをもち懸垂庭園のようである。ただしそこに生育しうるのは馴化された自然である。これはもちろん近隣計画であるから，上にのべてきたような都市ではもちろんない。

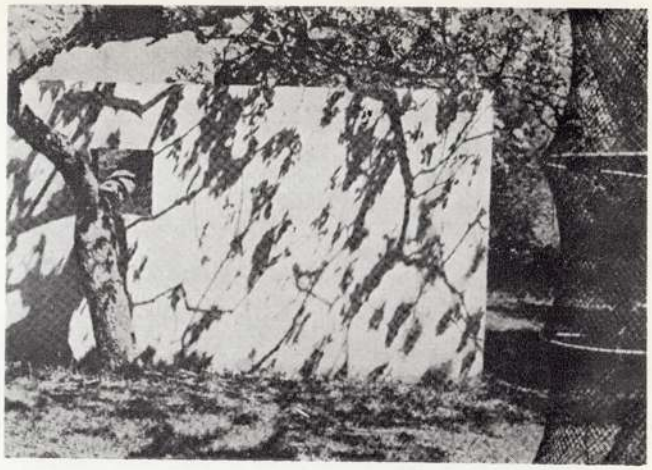
チェリー・ヒル・ショッピングセンター
ニュージャーシー
ジヨージ　M・エヴイング

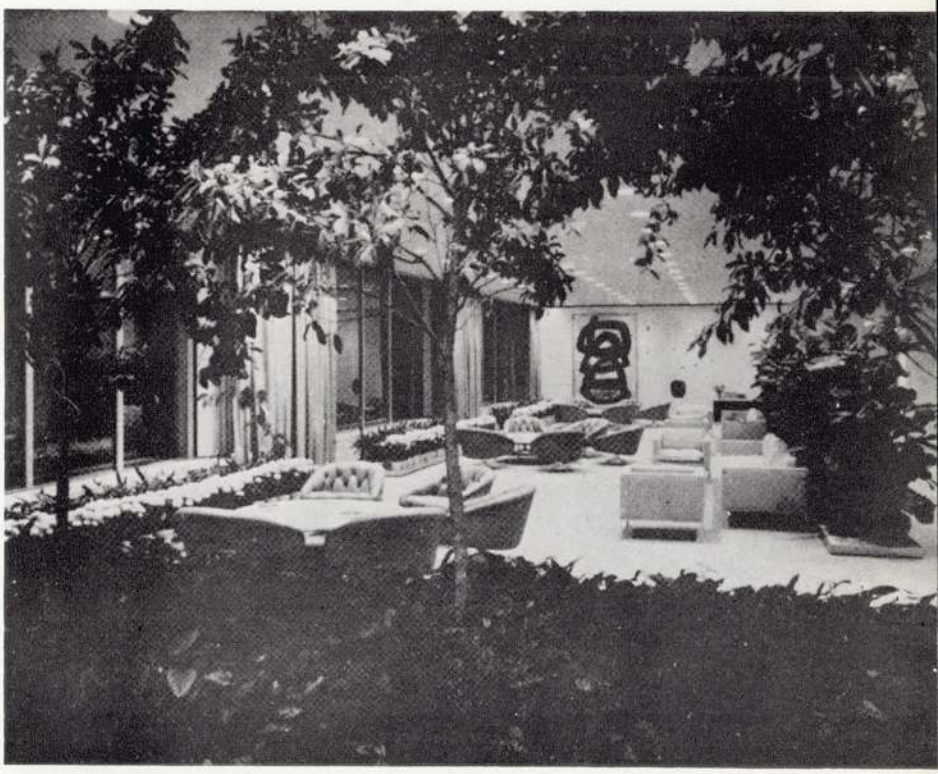
ショッピングセンター内のリクリエーション広場，室内に青々と緑があふれている。これからの広場はこのようにして商業ベース的にもペイする形で人間の憩いの場を造ることがもっとも実現可能性を含んでいそうである。曾てのごとく威厳を示す広場はなくなるだろう。集会の広場も曾てのような意味はもたなくなるだろう。ショッピングやオフイス勤めのかたわらちょっと憩えるような人間的な空間が真に必要なのではなかろうか。そして本当に大地に根ざした樹木が自然のままに緑をしたたらせるような自然公園が切望されるだろう。





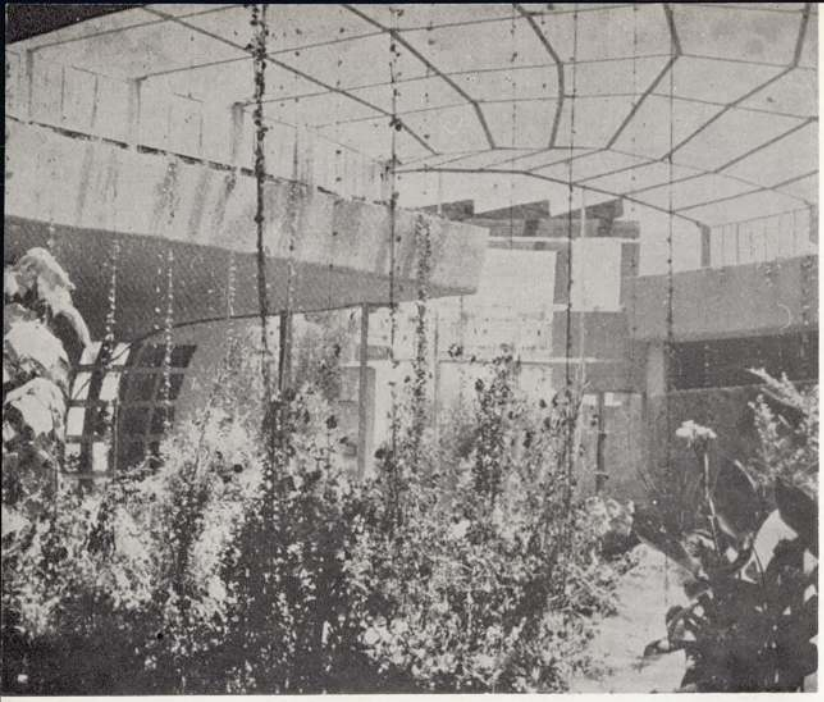
ロングアイランドの週末住宅
ベルナルド・ルドフスキー
—外部の室内





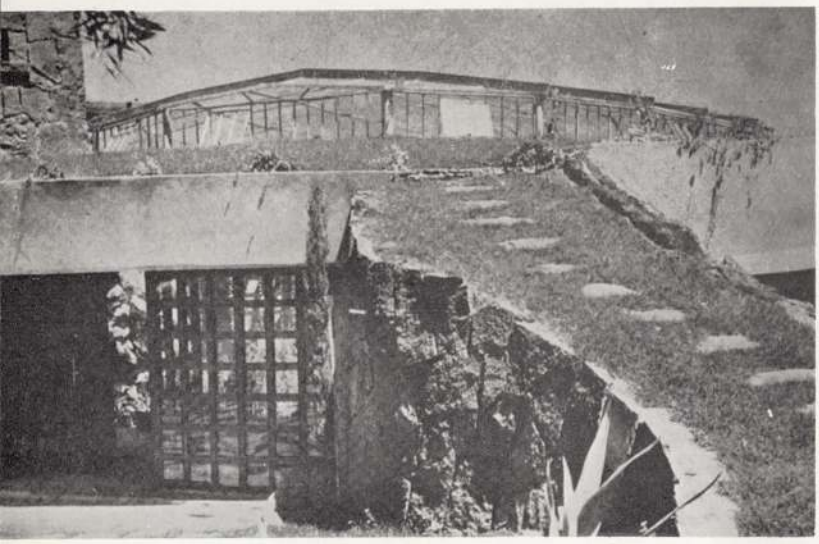
チエース・マンハッタン・バンク大サロン
スキッドモアー・オーイングス・メリル
—内部の庭園





メキシコ近郊の住宅　　カルロス・ラゾー

内庭を取りまく部屋，内庭と外部との連り，外部と屋上庭園の連がり，さらに屋上と中庭の連がり——あくまでも内外の空間をからませて楽しみたいという切望，こうした空間の入り組みが都市空間の中で行なわれるとき今日的に美しい空間が生まれるだろう。われわれがバロック建築に魅力を感じるのは絵画彫刻建築の綜合にあるのではなく空間自身の多元化への方向にある。



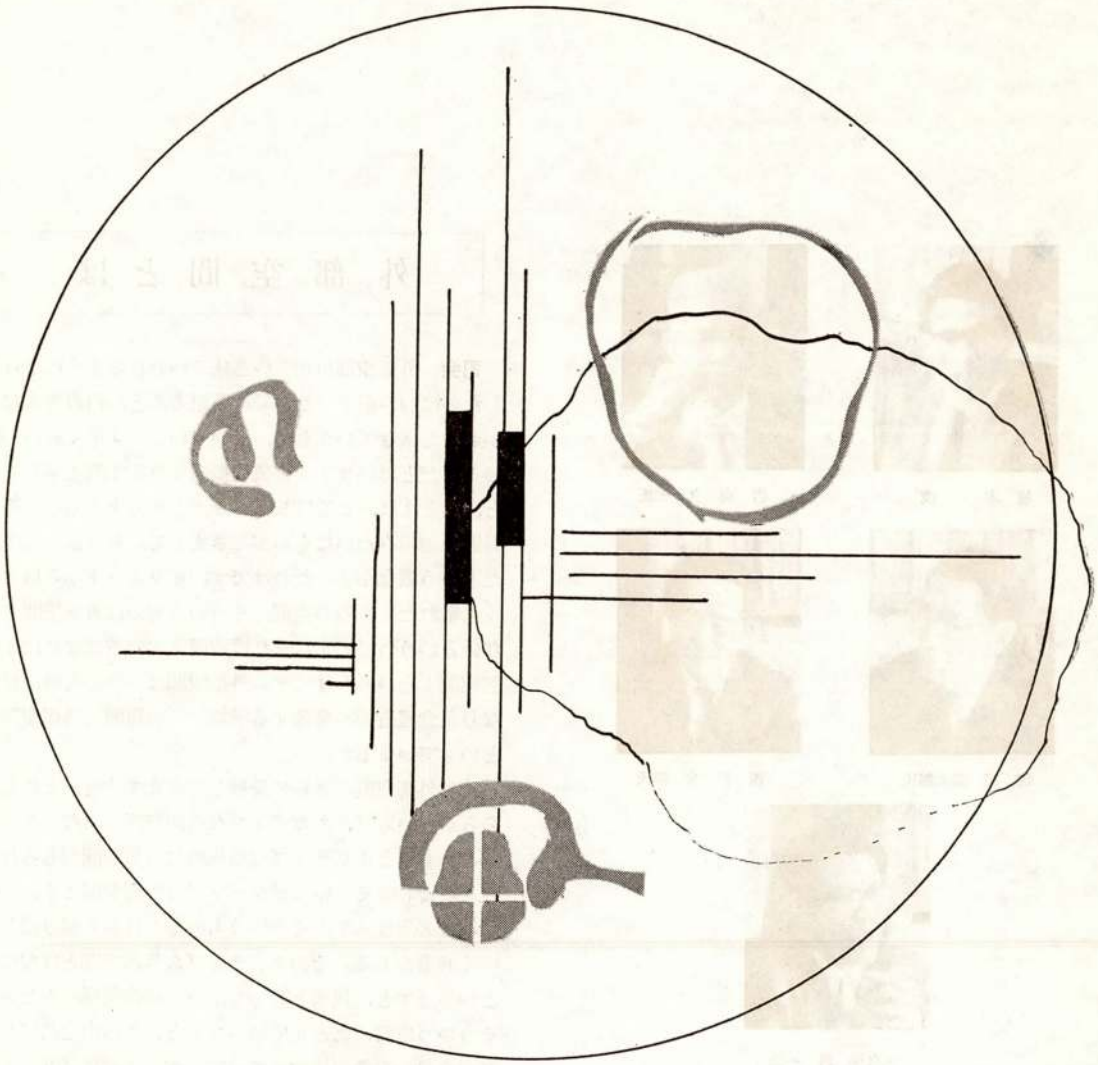
メキシコ近郊の住宅　　カルロス・ラゾー



路地にあふれる緑

それは人間の営みの美くしいにじみ出しである。そのような暖い人間性が高度な都市生活の中に，にじみ出ることをねがってやまない。

# 都市空間の歌



## 2 座談会

# みんなの外部空間
## —建築・都市・広場・彫刻の空間—

植木　茂
宮島久七
浦辺鎮太郎
西沢文隆

# 座談会：みんなの外部空間

## ――建築・都市・広場・彫刻の空間――



植木　茂



宮島久七氏



浦辺鎮太郎氏



西沢文隆氏



大久保昌一氏

---

と　き　昭和39年1月27日
ところ　日本建築協会々議室
出席者　（順不同）

植木　茂　氏　（彫刻家）
宮島久七　氏　（I. D.）
西沢文隆　氏　（建築家）
浦辺鎮太郎　氏　（建築家）

（司会）大久保昌一　氏

---

### 外部空間とは

**司会**　外部空間が新しい意味でいわれるようになりましたのはつい最近のことで，芦原さんとか西沢さんなどがおっしゃっていまして，せいぜいここ5年ぐらいの間のことだと思います。古典的概念で外部空間と申しますと，たとえば，ここにピラミッドがあるとすると，その周囲に磁場みたいなものができまして，それが外部空間だという概念があったわけです。ピラミッドから何マイルも離れたところの空間，そういうものは外部空間じゃないというわけです。それは芦原さんの言によれば「残部空間」というわけです。外部空間は一つのもの，建築なり記念建造物が発散する磁場，その範囲を外部空間だといっていました。

その外部空間をさらに分析して考えますと，それもどちらかといえば，ネガティブな外部空間じゃないだろうかと。もっとポジティブな積極的な外部空間があるはずだと。それでそういうポジティブな外部空間こそ，これからは必要なんで，そういうものをこれから掘り出してゆく必要がある。そのポジティブな外部空間とはなにかといいますと，民衆とのつながり，結合関係をもたらすそういう空間，たとえていいますと，この中之島にレンガのきれいな色の建物があって，ベルト状にグリーンがありまして，そこを水量のある川が流れているという，特徴的な外部空間があるわけです。少なくとも大阪では一番立派な外部空間の一つだといわれておりますけれども，これは個々の建築家，それぞれの建築家が個々の建築と one by one の関係で処理してきた結果であって，最初から総合的に空間創造を意途していたわけではありません。したがって，これとても欲をいえば，そういうところに弱さがあるんじゃないだろうか。

とまあそういうことで，外部空間という言葉の意味を規定していると思うんですが，たとえば，イタリアにはいろいろな広場がありますけれども，マッシブな建築でかこまれた空間があって，それが市民の民衆生活に密接に結びついている。そのスケールは人間と空間を結びつ

る密度のある空間になっております。もしそれがその10倍ぐらいの広さになれば，外部空間としては弱いものになります。アメリカにもたくさんそういう広場はあると思いますが，人間的なスケールを考慮せねばなりません。

外部空間とはそういうものだと思います。したがって，本質的に考えますと，エジプトには外部空間はなかった。外部空間らしいものがでてきたのはギリシャ以降だと思います。これは民主社会の誕生と軌を一つにしているわけです。それでは日本には外部空間があったかどうかと申しますと，自然のくぼ地を利用するとか，京都などは盆地で非常に適切な外部空間的なものが自然の山でつくられていて，その中に伽藍や宮殿があるという具合で，外部空間的なものが存在するわけですが，なにか外部空間の造成を自然に依存しているというきらいがあります。人為的につくられたものとしては伽藍なんかがありますけれども，民衆的なつながりがない。

回廊の中にある金堂や塔なんかのかもしだしている外部空間というものはあったが，いま問題にしている外部空間という概念でゆくと特定のお坊さんだけのもので，民衆の側からいえば，内部空間にすぎないというわけです。

概念としてはそういうところだと思います。それで個々の建築家という立場では，外部空間をつくる条件にとぼしいわけで，現在おかれている事務所の建築家という枠をはずして，なんとかその外部空間をつくる道はないものか。またその外にそういう外部空間をはばんでいる現実の条件はなにか。そういう条件はどこに根差しているのか，それを一つ掘り出してみようというのがネライであったわけです。それで具体的なお話まで，できたらお願いしたいと思います。

今日はほかの建築以外の方もお招きをして共通の財産，みんなのための外部空間をつくるための創造上の手法とでもいいますか，具体的なお話までお願いできたらと思います。

## 空間の概念規定

**西沢**　空間に対する考え方は建築家と彫刻家では，かっては少なくとも異なっているのではないかと思います。彫刻家と建築家が話合う場合，少なくとも最初に空間の概念規定をしておいた方がよかろうと思います。

近代以前は彫刻は少なくとも中の充満した立体であったのに対し，建築の場合は中が空な立体であったと思うのです。彫刻の場合は少なくとも中のスペースは精神が充満していたのに対し，建築の場合は中のスペースを充満させてしまっては人が住めない。したがって，精神的にも物質的にも，その中で人が動けるだけの「空」を残していたと思うのです。それが近代になると建築と彫刻の空洞感が近づいてきて，彫刻でも立体をえぐりとって建築的空間を構成していくとともに，建築の方でも逆に彫刻的な空間への欲求が湧いてきているように思うのですが。

**宮島**　ロダンあたりまでは充実した空間として岩のようなのをつくるのがねらいでした。中の凝結したようなものです。それが終って外の方に飛びだして内部ははうわたというような形が近代建築ではないかと思います。そういう傾向と同じ立場にあるんじゃないか。建築家の方と。そこに近代彫刻なんかの性格があるんじゃないかと思います。

**植木**　いまのお話は興味深く承りました。宮島さんのロダンのお話，ボリュームがシンからある。普通にいう常識的なボリューム，これは事実ですが，これを全般的にいって，ただロダンのときに現代のような彫刻があったら，あの当時の建築に果たして彫刻がピッタリゆくかどうか。あの時代は建築自体もそういうネガティブだが，ボリュームがある。コンクリート以前の石というもの，いわゆる産業革命の発達にしたがって材料の進化，軽量化が発達して，自然ちがった面がでてきたんじゃないかと私は考えます。これは必然性の問題であって，むしろ建築的とか，彫刻的とかというよりも，地球の回転と同時にお互いに接近しつつあると思います。

**司会**　いま植木さんのおっしゃったこと，建築の分野では，ギーディオンがいっております。絵画とか，彫刻とか，物理学とか，建築とかのちがった世界で行なわれている現象を外側からみれば結局はそういうことだと。ソシアルなバックグランドが共通のところへ選んでゆくと説明をしています。ちょっとそこに引っかかるのはロダンが生まれてきたのは，ロダンの一つの社会的な背景があるわけなんですが，19世紀まではそうだっただろうか，建築がいわゆるモダン建築に突入した1920年か，10年のそういう時期にいろんなジャンルの芸術がそれぞれ純粋化作用というものを進めていった。建築は建築でやると。彫刻でも物語り性とか，文学性とか，そういう彫刻以外の要素を全部ぬぎとってゆきましたね。

ところがいま総合化への動きがでてきて，なにか個々の純粋化作用とつながらないような気がしますが。

**植木**　そこはむずかしい問題です。最初の出発には彫刻も建築もない。一種の像，造形から出発した。おそらく人間が手でつくった一番はじめのものは彫刻，絵画ですわね。それが大久保さんの説のように分裂して彫刻は純粋化する。その純粋化するということは，彫刻というものをあくまでも守るために，純粋的なことをやりだしてきているわけです。結果において，つくるということ

は，それをつくる以上はどっかにならべなければいけない。送らなければいけないというときに，そこになんらかの制約をうける。当然ね。そこでやはり離れているようでも，離れてはいない。私はそう思う。

**司会**　絵画などはサロン的な雰囲気でやっておったが，いまは大衆的な場ということが大切になってきましたね。

**植木**　大衆となると，絵画とか，そういうものは大衆のためにそういうものをつくられたかどうかは。

**司会**　もちろん結果論ですが。制作の意図は大衆的ではなくても，そういうものが。

**植木**　ごく近年じゃないですか。一部の人からいわれだしたのは。

## 空　間　論

**浦辺**　僕は以前からいっていたのは，建築の本質はなにか。本質（エッセンス）はスペースだと。そのスペースはちょうど，水の本質はなにか，$H_2O$だというのに匹敵するということです。その水でも人間のために飲める水，浴びる水，美しく感ずる水，工業のためになる水とかということになれば，これはいくらいっても，そこからは本質は生まれてはこないですよ。本質は物理学者のいうことであって，ただわれわれ建築あるいは彫刻，絵画をやっておる立場からは，水の本質論をいうておっては，おそらくそこからなにも生まれてはこないんですよ。冷たい水，暖かい水というのは飲んでみてわかるのであって，自分の体験あるいは感覚にとり入れてはじめて水というものはわかる。冷たい水を飲めば冷たいな。わるい水を飲むと腹をこわすので，わるい水だなと，そういうのがわれわれの立場なんです。作家としては…。だから概念規定をいくらやっても正体はつかめないんですよ。正体をつかんだ人間は$H_2O$だと，その通りだが，そうじゃなくて，作家は自分でつかんでいるものでなくちゃいかんと思いますよ。これが第一。

**司会**　建築家の側からいえば造形性よりも空間性の方が優位な立場にあると思えるんですが……。彫刻家の方からいえばどうなんですかね。

**植木**　空間性の優位というのは，ちとおかしい。

**浦辺**　造形性と空間性はイコールですよ。

**西沢**　本当をいえば彫刻家にもスペースといえるものがありますよ。

**司会**　造形性よりも空間性が優位するということは最近の意識の仕方で，彫刻家の側からいえば，植木さんのおっしゃったロダンの時代にはあまりいわれなかったんじゃないかと思います。

**植木**　いう必要もない。

**浦辺**　建築の本質が空間だといったのは比較的新しいことです。しかしこれは。老子がいってますね。老子といえば紀元前の人じゃないかな。その老子のいっていますのは“室の室たる原因は空に在り”と。“空”とは，その場合スペースだと思います。うつわがあれば，うつわの本質は空にあり，カベじゃないとは老子の言葉にありますからね。これは東洋的な感覚で本質というものを案外にちゃんとつかまれているんじゃないか。

**植木**　彫刻のわれわれの側の解釈は，彫刻はつくる。空間をつかむためのものがなければ，空間というものはわれわれの判断ではできない。空間をつかむために一つのものをつくる。そういうよりいいようがない。

**浦辺**　空間をつかまえているんだ。モノで。彫刻でつかまえようが，建築でつかまえようが，空間の人間をつかまえているんだ。

**司会**　話が同じになっては面白くはない。

**植木**　つい最近大阪駅にどこのか知らんがオリンピックの宣伝ポスターの上に彫刻がある。あれを私はみて，ああいうボサーツとした，いわゆる本当の軽快さがない。ああいうものを平気でつけるということは考えねばならんと思います。私のいいたいことは，いま大久保さんのおっしゃった造形がさきか，空間がさきかという問題はあながち否定すべきではなくて，造形がさき，空間がさき，そういう問題は非常に疑義があると思います。

**浦辺**　建築の人が内部，外部空間とわけているが，これは私にはすこしおかしい。空間の内外は自分のスタンドポイントでは，ここは外部でも人からみれば内部で，自分では内部，外部といっているが，その内外にわけると空間というものは死にますよ。内外にわけず空間でいい。外部空間という言葉を使っているのはおそらく一つの気持ちでは，都市建築の構成している都市の外部空間だという気持ちが暗黙のうちにあって内部空間，外部空間という。

**宮島**　こちらのモノとのはねかえり，そのある状態をいっています。

**浦辺**　そのはねかえりがないと空間は構成されない。人間が感じないから。

## 都　市　空　間

**宮島**　例をいいますと，関電ビルそのものはわるくありませんが，左右の建物との空間がアンバランスの状態にある。右の空間が大きくて，左の空間が小さく，した

がってあの建物は正面からみると右へ倒れかかってみえます。外部空間をいろいろとりあげていながら，建築家は案外イージーなところがあるのではないでしょうか。

**西沢**　おっしゃる通りでしょうが，巧い下手は別の問題として，あれはむしろ外部空間を少しでも造ろうとして努力しているのです。

**浦辺**　内部空間，外部空間とわけることはヘリクツになって実感から離れてしまうから，都市空間というのならわかります。

**司会**　空間の互換性を考えれば内外とわけても実感から離れることはない。

**植木**　彫刻はわけられないが，建築はデカイからわけてもはずれることはないでしょう。

## ヒューマンタッチ

**浦辺**　宇宙もスペースなら，小さいところ，たとえば灰皿の中もスペースです。そういったときに，われわれが身近かに感じるには，やはりヒューマンスケール，ヒューマンタッチがいると思う。これでスペースを感じています。人間の感じる手段はこれしかないと思う。しかしヒューマンタッチ，スケールは，自動車で100キロ走ったときと，歩いてのうけ方，これは当然ちがってきます。

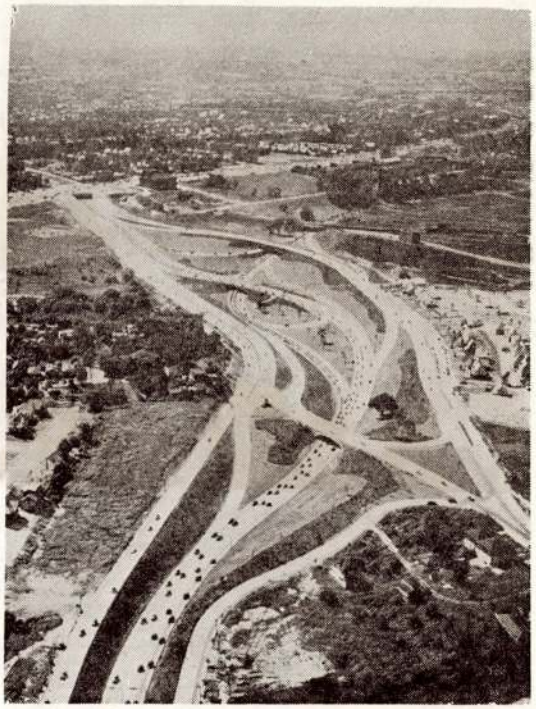
**司会**　そのタッチの中には非常に複合的ニューアンスがあると思います。

**浦辺**　100キロに眼を移したときの空間がわれわれの視界に入りだした。それがうまく解決しているかどうかということは，こりゃあハッキリとはいえない。現実に100キロのスピードで走っていること，そういうものに合ったスペースになっているかはこれからの問題です。その点すこし矛盾がきたから，とくに外部空間といわなければならなくなった。すこしとまどっているのですよ。人間の立場からいえばね。仮りに僕は大阪から山陽線で倉敷へいくときあそこにある低い山を70，80キロの速度でみればあたかも庭の感じです，距離感ではね。

**植木**　下部からみれば，山の全体がみえて築山のようでキレイだなと思うが，登りきってみれば一部しかみえん。それと同じで距離があるから，空間というもののスケールがピッタリくるんですよ。

**浦辺**　彫刻は走り回ってはみない。固定してジッとみて眼の位置も急にはかえないでしょう。だいたいスケールは絶対のものではなくて，自分の立場からみるものです。

**西沢**　都市の空間を考える場合は，当然そのスピードの問題と，スピードにわずらわされないで歩く場合との



グランド・セントラル・パークウエイ——立通網は立体化していく。スピードによつてまた新しい空間が生れる——

両方をうまく立体的に構成してゆく必要があります。

**植木**　AとBの都市の中間に1時間．2時間を費やしてつぎの都市にはいる。そうしてはいったら全然別のスタイルになります。

**西沢**　高速道路があります。

**植木**　高速道路があってもそれにゆくまでは。宮島さんのいわれた関電ビル，あれは周囲を考えずにやっているが，もし考えてやったらば果たしていかなるものができるか。むしろいまは宮島さんのおっしゃる通りですが，今度は逆に両脇がなにか考えるでしょう。これはつまりモノの進歩の常識ですよ。

**宮島**　だんだん都市の空間はなくなります。

**西沢**　新しい都市空間をつくる必要が生れてきているのです。

**宮島**　都市に人口が集中してくるばかりですから，新しい空間ができるとは思えないが，それができるということが前提として，きょうの座談会が展開するわけなのですね。

**西沢**　そのできるという前提をつくらなければいけない。他人がつくってくれるのではなく，われわれでつくってゆくべき問題と考えた方がよいのではないですか。人間が住む以上は地下街が上へあがったようなものでは困る。



赤い広場（モスクワ）

## 三種の広場

**浦辺**　僕は概念論は苦手なんです。実感がこない。自分の理解できる範囲でいうと，モスクワの赤い広場をみた。ご承知のように片方はクレムリン，片方は国営の百貨店，いまの眼でみればそのスケールは決して大きいもんじゃない。がそれは，どうしてあれだけ大きく感じるか。堂々たる感じです。これは周囲のものは既存のものばかりです。自動車以前の。だからここには自動車ははいらない。自動車でみてはつまらない広場になります。

みんな歩いてみます。バスとか，自動車でたくさんきているのはみんなモスクワ川のところで降ります。反対の方はちょうどボリショイ劇場の広場，交通の広場になっています。そこで車はいっさい降りて数百メートルほどのところを歩いてはいります。車ははいれない。ああいう空間，広場に対して非常に関心をもった。

**西沢**　われわれの考えている話題の広場は，やっぱし徒歩でゆくところですね。

**植木**　制限されないと維持ができない。

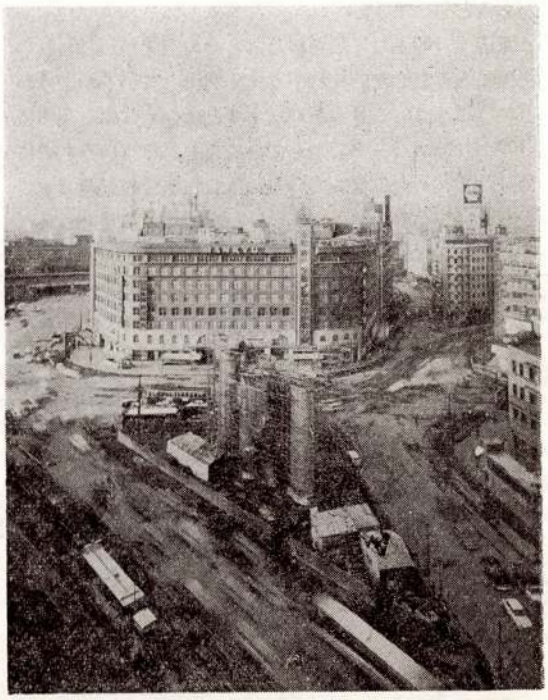
**浦辺**　これが現実だと思う。ゴッチャに交通の広場，休息の広場，式典の広場の三つの要素があります。これをうまく離しておかんと効果も性能もでない。そのためには交通の広場はいまはやや狭くなっています。地下鉄もバスもそこへゆくから狭い。昔のままじゃない。その近くに2ヵ所ほど休息の広場，グリーンのいっぱいある，ベンチをおいて交通にわずらわされないところを2ヵ所ほどつくります。途中にね。これなんかもいままでの家をぶちこわしてつくる。そのコンビネーションはうまくできています。式典の広場，休息の広場，交通の広場の三つの広場を意識的につくる。これが都市をつくるためには肝要だと思います。

**宮島**　いまの政治のやり方，自民党のモノの考え方ではそういうものはできるとは思えない。（笑い）

## 梅田地下街と広場

**植木**　きょう（1月27日）の朝日新聞に梅田の地下街の駐車，モノを仕入れた車をとめて，その材料を中へ入れる場所がないと書いてあつた。そりゃあできる以前からガヤガヤいっていた。その担当の方のいわく“5年さきには，こういう状態になるとは思わなかった”とああいうことをよくもヌケヌケいうと感心をした。そんなことは常識ですよ（笑い）。わかっているはずです。

**宮島**　あの換気塔もそうです。あれは便所の汲みとりがスムースにいかなくて，市民から苦情がでたとしますね，それをごまかすために一戸一戸ナフタリンをくばって，これでくさいのをガマンしてくれといっているのと同じです。あれはせっかくできた新しい空間で，中央の大切なところですよ。あんなところに建てなくても，建物の一角を削って街なみの中に入れるのが当然ですよ。それをやらなくてさ，人間を地下に押し込んで，道のど真中に巨大なものをおくめんもなく，ああいうものをおったてる。



大阪駅前（阪急前広場）——中央が給排気塔——

こんなくさい蓋式のものに建築家は協力をするのはいけないと思う。そんなものにいいものができるはずがないですよ。こういうふうに，一方では都市空間の破壊が行なわれているのをほっといて，ここでは理想論を討議している。実際ムダですね。こういうことは未然に防げたんですよ。それができちゃってからガヤガヤいったってはじまらない，もっと根本の問題をつかんと都市の空間の問題は解決できない。

**植木**　私もあれは，あまり好きやないんですね。

建築の方々がほとんどあれについていわない。そりゃあ芸術院会員がデザインをされたんで，だまっているのかなと思っていますが，その辺はよくはわからない。あれはああいう限られたスペースなんです。ああいうところにああいうものを，むしろ小さいスペースですが，まわりの状態を考えずにやるということはどうかと思う。あれはあれなりにもっと適切な方法があるはずです。あれができたときに若い建築家にどう思うかといわれたことがあります。あれは朝日新聞かなにかが岬公園に子供博かなにかをやる，その広告塔だろうかといった。もちろん私は知っていますよ。なんのために建てたかは。そういう動物博とか，そういうものの広告をされたんならよいといったわけで，場所を考えんといかんですね。

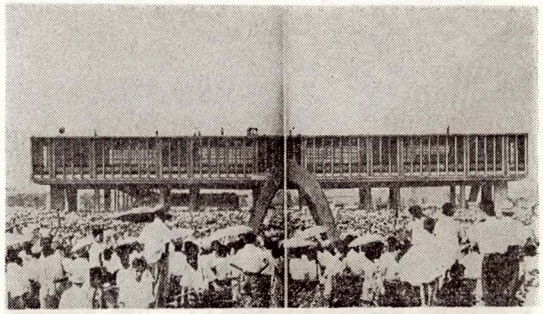
## 広場を生かす

**司会**　赤の広場で，三種の広場がそれぞれ機能分担されているというところに意味があるわけですね。ところで，スピードについて，車などメカニックなものと，歩くという生理的な速度の立場でみるのとでは相違があり，こういうものに対応した広場でないといかんということと，もう一つは赤の広場に関係して個人と広場との対応関係，群衆の中の個人と広場との対応関係を手法としてわきまえておかなければいけないと思います。広島の平和会館など一人でいくと非常に荒れた感じですが，原爆の祭典などで人がたくさんでてくると，そういう密度にもたえるような感じがするといわれていますが。

**浦辺**　密度が足らんね。

**植木**　一人でいけばさむざむとして，一つのものが集まったらよくみえる。関連がありますね。

**浦辺**　スケールをあやまっていると思う。こちらからでたものがはねかえってくるものでないといかんが，その電波がはねかえらない。いったきりですから，さみしいよ。外部空間ということでいえば底抜けの外部空間です。残部空間だ。密度が足りず，ヒューマンタッチがないんだ。ヒューマンタッチが足りんというのは，これは建築家だけに責を負わすのはいけない。



広島平和会館前

これは都市計画の問題だ。あれだけ立派な建築でありながらなおかつ残部空間になっているのは建築家だけに責任を負わすべき問題ではなくて，第一番の都市計画の問題ですよ。サンマルクの広場とか，こういうものは，まだ機能分化が進んでいないとみている。ただ自動車以前のものです。ところが人間があの中へ一人ではいっていっても，群衆ではいっていっても，密度は高いんですよ。現代にあれがずっと生き残って同じ感銘を与えていこうということになれば，あれにもうすこしプラスアルファがつかないといかん。ということは交通の広場とか……。

**司会**　実際多くの広場が自動車でパーキングされたりしてつぶされています。われわれはそれを排除しようと思っても，現実に負けております。

**浦辺**　フルに広場を生かそうと思えば，自動車をいれちゃあダメ。交通の機能をぶちこむとイノチとりになる。人間が立ちどまったり，歩いたりして中にはいらんと，車でサーッとはいって車から降りて，サーッとみては意味がない。これは一考を要する問題だと思う。都市の盛り場なんかをみればだいたい1キロメートル以内です。シャンジェリエが1キロ，だいたい1キロを歩いて一番適当な距離だと思う。車は入れない。そのまわりには車がある。そういうのが，これからの都市の機能となると思います。

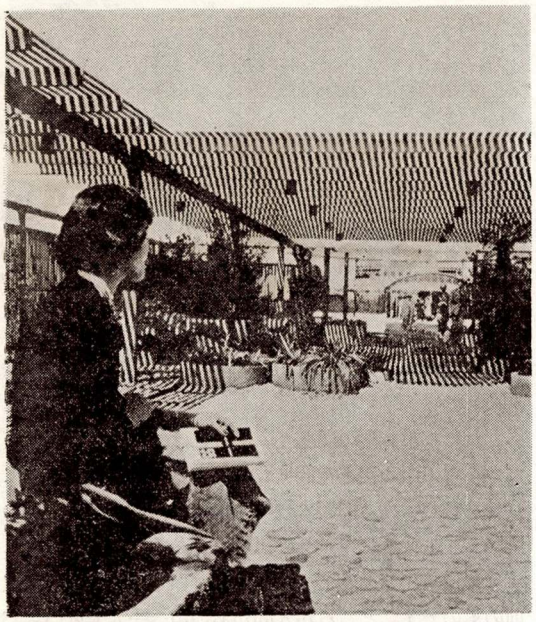
**宮島**　それが本当です。が，日本の現実で，そういうものがとり入れられるんですが，どうも破壊されて減るばかりですね。声を大にして防波堤をつくるべきですが，そういうことが近く期待し得るのですか。

**西沢**　期待できないから，こちらで世論を呼ぶんです。

**宮島**　声を大にして，その非を鳴らすんですか。

**西沢**　そうです。宮島さんあたり一つ……。

**宮島**　大阪駅前の新阪神ビル前から駅へ渡るブリッチはどっかの鉄骨会社の寄付と聞いていますが，あれは本当に設計屋さんが会社の机の上で全部自分とこの都合のよいようにパイプやアングルをひっつけてできた感じで



ヘルシンキ農業博――パーゴラと塀による屋外の室内空間――

すね。新阪神ビルと中央郵便局を背景にしてうまくいったと皆さんは思いますか。あすこには流れるような曲線が必要なのです。あっちにはタダのギグシャクしたものがあり，こっちには曲線の大オブシェができる。たださえ小さな空間がイージーゴーイングに破壊されっぱなしです。

## 住める都会

**司会**　いまおっしゃった現象は，たとえば，昔の大阪というものはよくは知らないが，市民意識が商業を中心にしてでてきた歴史をもっていると思います。ところが現在はだんだんサラリーマン化して，地域社会と結びつかないような社会がでてきておるわけです。

地域社会に対する無責任さは，そういうところに根差しているんでしょうがね。

**宮島**　根本的にいえばそういうことになります。

**浦辺**　むずかしくいえば大久保さんのおっしゃる通りだが，僕はもっとやさしくいうと，都会から，船場から住居がなくなったということなんだ。船場がもう住むにたえんところになった。スモッグと自動車で人間が住めなくなった。それが一つの混乱の原因だ。

私もモスクワやレニングラードで感じたのは，1階はずっと店ですが，上はもう全部アパートですね。とくにキエフの街へゆくとメーンストリートは立派ですが，車も通っています。下は二重に歩道がついています。二重というのはダンダンがあって，その間に緑があって広場につながり，8階程度の建物がならんで，上はみんなアパートです。だから夜になっても人の子一人おらん，さびしいという感じはしない。上にはいつも人が住んでいる。夜間人口の締め出される都市というものは人間の住めんところになります。船場なんかは人間の住む一番よいところだったので，人間の住める空間をつくって休みには外へでる，晩はそこにいる。この姿がもっとも望ましい。スモッグの征伐をやって，一番よい住宅は都会にあるのだというのが本当の姿である。人間中心を離れては都市は死滅する。その日，その日はすごせるが，長い年を経れば都市はほろびますよ。

**司会**　近畿圏整備でも大阪に人の住める人間的な大阪にしようというのではなくて，まず埋め立て何千万坪をやり産業がどのくらいきて，それに対する関連産業が続き，後背地としての住宅地がはじめて附属的にでてくるようなやり方ですね。これは考えようによっては逆になっている。

**宮島**　池田さんには，人間の住居なんかは本当はまともに考えちゃいない。

**植木**　それだったら都心から離れたところに新しい都市計画が必要だが，現在はバラバラです。

**浦辺**　都市に職場をつくるといった場合はそれに見合うだけの住宅を都市につくらなければいけない。これは都市をつくる原則だと思います。いまはオフィスビルだけつくって家のことは知らんという。それではオフィスビル自身もやってはゆけません。

**植木**　いわゆる貸ビルは別として，単独でオフィスビルを建てたとき，なぜ8階なら8階で4階まではオフィスとして，上の方はそこの社員の住居とそういうものにしないのはどこに原因があるか。

**司会**　ご存知のように，公団では市街地住宅という混合形式で，下に店舗や事務所のあるものをやっているわけですが，現在では問題がいろいろあります。浦辺先生のは望ましい姿をいっているのであって，いまはその条件にはなってない。それはあくまで原則論であって，それをつくればスラムをつくるだけですよ。市街地に。それで原則論としては浦辺先生に賛成しますが。

**浦辺**　私も現実論です。これやらなくちゃ人間は生きていけんのじゃないか。生きるか，死ぬるかの問題ですよ。池田さんであろうが，だれであろうが，責任のある人はこれを考えなくちゃあ自分がもちません。そうなるのが当然です。

## 人間のために

**宮島**　工業デザインの場合，マスプロによる商品の氾濫が社会に混乱を与えたんではないかという反省が起っております。私は昨秋，仲間とチームをつくって欧米の工業デザイナーとあって，この問題を討議してきました。ICSID という略字をつかっていますが，工業デザイン国際協議会というものがあり，24ヵ国がこれに参加していますが。この ICSID から昨年質問書が各国にだされまして，私たちの活動によって世の中になにかユニティを欠いたものにしているのではないか。そうだとすれば，その原因はなにか，その原因をとりのぞくにはどうしたらよいかということをたづねてまいりました。これの回答がボツボツ伝わってきていますが，スェーデンやスペインは混乱はないと答え，ベルギーやドイツは混乱は嘆くほどのことはない，イギリスと日本は嘆かわしいことである，やり方によってさけられたかも知れない。

フランスとアメリカは混乱は強くさけるよう努力しなければならない。といったように国によっては多少のちがいがありました。いままで販売促進にばかりはしっていたことの反省として人間的要素の追求という面に注意を向けてきたわけです。人間工学ということもこの面に沿ってでてきたのです。結局は人間性でモノをつくらなければいかんということです。

**浦辺**　いまの都市の問題とまったく同じです。

**植木**　工業デザイン根本の問題以前で，害毒を流す方が多いという意味で。

**宮島**　組織でやっています。個人の力ではそういうことはできないので。われわれ心構えとして会社によっては安く売れたらいいじゃないかと。たとえ1年たったらこわれても売りやすい値段でものをつくれというような考えがありますが，それに対して，デザイナーの良心として会社に反省をもとめにゃいかんということをやっています。

**浦辺**　建築家，デザイナー，役所と職種はちがっても，現代文化の共通の問題でしょう。人間中心の話でしょう。人間を離れて解決できない問題なんだから。

## 生活と関連して

**宮島**　社会全体の文化があがらないとすべてのものは解決できないと思います。いかにしてその文化をあげるかというと政治ですね。それに経済ですね。

**植木**　経済はどういう立場にあるかというとこれは問題にならない。“思想の経済”ですね。人間的な経済じゃない。

**宮島**　スタイリンクデザインより人間的なしっくりした商品が売れ出しました。いつまでもダマされてはいないぞという選択の目が感じられてきました。われわれはこの目を大切にしようじゃないか，この声を拡大して会社を説得する役目をもとうじゃないかという考え方になっています。

**浦辺**　デンマークの家具，フィンランドの照明器具ああいうのは人間的ですね。イタリアのも。雪国のあかりは単に何ルックスのもんじゃない。生活に関係するものは螢光灯の何ルックスだけじゃなしにあかりのもっているムードがほしい。

**植木**　日本のローソクは停電のためのローソクで，向うはちがう。（笑い）

**浦辺**　最高の雰囲気です。

**宮島**　そういうものにだし得るカネがあるのです。日本より向うは5割増から倍ぐらいサラリーが上です。

フィンランドは小さな国ですが，我々の生活よりよほど立派です。日本も生活がだんだんよくなってきたでしょうが，まだ5～6年さきでしょうが。

**植木**　日本の場合は売れるのは自分の生活のためか，生活のウワベをかざるので買うのか，そこの限界がわからない。向うは自分の生活に応じて生活を楽しむということをしていますが，こちらは楽しむのじゃなくて，そういう経済力をみせるためのものの方が優先でしょう。

**浦辺**　いまの植木さんのシンボルオブステータス（地位の象徴）この中には真理があります。シンボルオブステータスはだんだん変わって三種の神器，新三種の神器というものから，その流れをみていると，人間の求めているものがわかります。建築家としても都市計画家としてもシンボルオブステータスというものを一人でもっているからおかしいのであって，みんながもてるようにすることはわるいことではない。

**植木**　いいことではあるが，実際にそのものを必要と



フオートワース都心計画（ビイクター・グリウエン）——右側が四層ガレーヂー

しているかというと，おそらく国民の大衆のほとんどはそういうものを心から要求してはおらない。人間の心理としてはわかる。が，いまの経済状態でそういうものをシマツして貯金をしカネをためて，なにかしようという場合に，果たして一応100万円なら100万円のカネをためようという場合に何年かかってためるという場合に，その何年かたったときには今日の情勢ではその 100万円は 100万円の価値があるのか。おそらくたまったときは，今日の状態では，少なくとも50万円の価値しかない。その場合にはそのカネをコチコチためるより，モノにして楽しんだ方が利巧だというのが，いまの一般のアレなんです。生活はウワついています。

**司会**　生活の実質的な要求によって消費する仕方ではなくて，ベブレンの言葉ですが，コンスピキュアス・コンサンプション，衒示的消費の傾向は大なり小なりどこの民族ももっているようですね。

**植木**　向うの人間は誇りはもっているが，日本人は人間としての誇りはもっていない，一部の人は別として。むしろ非常に他人に脅威を感じて生活をしている現状なんです。他人によって生活がある。たとえば5万円，3万円の給料でやるのではなくて，3万円の給料で5万円の生活をしようとしている。今日はそういう状態，ムードになっています。これが消費文化です。

**浦辺**　これは話がはずれるから，植木さんの人生哲学としておきましょう。シンボルオブステータスは個人的にも，また都市としてもっていますが，国としてももっています。名神高速道路あれも近代社会のシンボルオブステータス。

**植木**　僕は車を運転して京都へよくいくが，トンネルの中は排気ガスでカベは黒くなっている。ああいうものをきれいにする方法を構じないと，いくら外部空間がどうのといっても，現状はこういう状態では……。

**浦辺**　初めての経験ですから，いろいろのチエもでましょう。

**植木**　ハイウェーに車がどのぐらい通って排気量とトンネルの長さを考えどうして流すか計算できるはず。

**浦辺**　やったが計算が狂った。ということはとりあげる方が“また失敗したか”といってはキリがない。結果はどうしたらよいかの問題を主にせんと，いちいち計算のちがいを追求すると際限がない。

## 水　と　都　会

**浦辺**　話を元に戻そう。

**植木**　外部空間のテーマとなるものがまだ。

**浦辺**　あればお集まり願う必要はない。この混乱期に都市が住めなくなる。国土が荒廃する。秩序をつけようじゃないか。お互いに被害者として，これからの建設者として秩序をつけてゆくというテーマじゃないか？自分でつくってゆくテーマです。

**植木**　この機会に大阪市をぶちこわして新しくやり直せ。

**浦辺**　こわす必要はない。これだけの遺産は大きなものです。

**植木**　百貨店の屋上から眺めて京都は立派だと思ったが，広告塔や宣伝で美観を破壊している。そこで高いものはいかん。もし建てるときは形，色彩で破壊を防ぎ，ある一角は不可。その他は制約を加える。

**西沢**　その区域の人は災難ですね，生きてゆくうえに。

**浦辺**　ここの大川から横堀川にかけての水は70年前までは飲んでおった。それでもう一ぺんせめて飲めないまでもキレイにするにはどうしたらいいか，この問題は大切だと思います。きたなくしているのは90%までは寝屋川からの水ですよ。そこをとめればキレイになります。飲めんまでも。それからここ4年から5年来橋ケタがさがって船が通らなくなったので，油が流れずややキレイにはなりました。川なんかは大阪の外部空間の動脈ですよ。水をキレイにすることとスモッグが消えれば，人間の住める街になります。ほかの点は非常にいいところです。

**宮島**　終戦のときは，大阪の川では水が底まですきとおっていて，魚の泳いでいるのがみえてキレイだと思いました。

**浦辺**　大阪の道路は10%というのは，どこで救われたかというと川で救われていた。そう住みにくい都会ではなかったんですよね。

**司会**　いまの大阪では川をどんどん潰していますが，以前の大阪と同様な意味で，ドイツのベニスと称されておりますハノーバーの都市計画図をたまたまみたんですが，都市施設や公園などと同様に水面（ワッサー・フレッヘ）何%ということがちゃんとでていて，これを大切にしています。大阪でいまやっている方法はどうも水に対して残虐すぎるようですね。

## 建築と彫刻の空間

**西沢**　時間も経ったので，空間の問題をすこしやったらどうですか。

**植木**　いわゆる建築個々の外部空間というものに限られた場合ですね。一つのカタマリになってみればほかの問題も起きるでしょう。外部空間というものをしぼってゆけば今日の建築家の方々がいたずらな建築はしてはいない。一つの方針をもってやっていられるというこ

とは，いまの建築をみればハッキリわかります。人間の生きる道，機能性というものを生かすということは事実なんです。それが外部空間の解釈になるかは別ですけれど……。しかしなにか彫刻的な造形と結びつけようとなさっていられることはおかしいと思う。

**西沢**　もちろんです。いまさら建築，彫刻，絵画が分離する以前の——バロック時代——総合芸術へ逆行する手もありません。私が問題にしているのは果たして永遠に平行線でよいかどうか，新しい協同の場をそろそろみつけだすべきではなかろうかという問題です。建築の造型力の貧しさを絵画や彫刻で補なうというのなら時代逆行です。

**植木**　レリーフをつける場合でも，それは彫刻の主体性じゃなくて建築の主体性をもっとも効果的に生かすためになんらかの凸凹をつけるため要求されてきたものと思う。常識的にいえば。建築の場合つけるということは建築の空間量をもっともゆたかにするために私はレリーフをつけるべきものだと解釈します。そうでなければつける必要はない。（写真帳を眺めて）日本にはこういうものをしてくれるところはない。

**西沢**　建築と彫刻は連絡を密にして，建築の事前に相談し，できてからの注文は防ぐべきです。

**植木**　建築に彫刻を押しつけることは彫刻とは別なもんです。ということは，彫刻の方の主体性でもって扱っておれば，それは建築がダメになるか，彫刻がダメになるかで，その場合にはまず彫刻が建築というものを主体性に考えてやるかの，その精神ですわ。いままでの彫刻家は一つの自律性をもち，それがハッキリとしている，自分の芸術をきたえてやろうという意欲が多うすぎるので，そのために建築の方から，批判をうけます。心ある建築家はそういうものなら自分でやった方がいいということになります。またエライ彫刻家がいて，こういうものはダメだといわれたら建築家の方は非常に優秀なゼントルマンの方が多いので（笑い），そういうことをいわれたら失礼にあたる，結構ですといって，内心はモヤモヤしている場合があります。これは建築家がわるいのではない。彫刻家がわるい。そういう教育をうけているからです。これからの彫刻家は一歩退いて造形というものを考えなければならん。

## 対決か調和か

**西沢**　内部から建築を援けるのじゃなしに，むしろ相互に空間を理解した上で，お互いに一対一の対決を図ってこそ，素晴しい空間も生れてくるのじゃないかと思うのです。

**植木**　対決しているんじゃない。日本の庭園で石をおく。石自体は建築と対立している。対立しているが，調和というものがある。



ヴエノス・アイレス計画案（ル・コルビユジエ）——「太陽・緑・空間」の理想は画かれているが，都市空間としての密実さにやや乏しい——

**西沢**　それが対決ですね。それでなければたたきあい。（笑い）

**植木**　そこになにか，心と心の通う第三者がみる人間の知覚がですね，考え方というのが，両方のウミのごとくでるものを調和させるわけです。

**西沢**　その調和させるのは，極端にいうと対立ということになり……（笑い）。

**植木**　対決ということも一つの空間距離とか，そういうものを全部計算してはじめてでてくるので，ポーンとやれば対決なんてどうにも手のつけようもない。対決という言葉には誤解がでる。そういう精神を指定していっているので，ウカツに対決という言葉を使ってはならない。

**西沢**　一身同体。なれあい……。

**植木**　一身同体といわれた方がむずかしい。

**宮島**　同床異夢……。

**浦辺**　善意でいったら対決の方が本当でしょう。いままでのルネッサンスの広場の中には，かならずといっていいほど彫刻があるでしょう。

**植木**　わるいものも随分あるでしょう。

**浦辺**　それとしてみるからいかんので，彫刻にも彫刻の占めている空間というものがある。

**植木**　それはありますよ。

**浦辺**　大きな広場があると，そこには彫刻がかならずあります。それは一つあるか，五つあるかは別として，その場合にそいつがないと……。人間でいうとヘソがないような。交通広場はそこには彫刻はない方がいい。標識だけでいいんだ。休息の広場どうしても緑がいります。でないとアタマが休まらない。式典の広場は彫刻がいります。

## 広場の彫刻

**植木**　私の考え方はいわば向うの広場の彫刻はあまり好きじゃない。ということは，一生に一度はやってみたいという願いは，田舎の道にはお地蔵さんがありますわね。道のわかれるところの角に。ほかにはなんにもない。あってもなくてもいいようなもんだが，あってここを通る村の人たちが朝夕なにか心をなぐさめる。そういう状態がボーッとあるようなものをやりたいと思っています。

**浦辺**　人間の足跡の残っているようなものですね。お地蔵さんがあると。

**植木**　彫刻があるぞというようなものではなくて，カベのタイルと同じでハッキリとは眼にみあたらないもの。

**浦辺**　なんにもないと人間の通る道はあまりにも荒涼としていますが，お地蔵さんがあると人間のにおいがします。

**植木**　広場の方におくものもそうです。

**宮島**　広場自体もそういう性格でなければならん。

**植木**　そうです。

**司会**　行事や祭典なんかはムッソリーニなんかやっています。

**植木**　ああいうものは権力の象徴だからダメなんです。

**司会**　ところが休息の広場や交通の広場がつながっておりますから，式典の広場も意味があり，それだけ引き離せば意味がない。

**浦辺**　広場，広場と一緒くたにすれば，どこもかしこもパーキングスペースになりますよ。機能分化がハッキリして結合の仕方もハッキリしたもんでないといかん。

**宮島**　都市の中で広場をつくれば当然地下2階にして，一番下は全部いままでのものとして，地下1階は食堂だとかお化粧をしたりするようなところで，上部はなだらかな起伏がほしい。起伏は緑色のもので高い木はさけたい。低い木の方がよい。（本をみて桂離宮の話）

**植木**　それと団地なんかの子供の遊び場，あれはさむざむとして早急になにかやらんといかん。

**司会**　それはスペースと予算の問題です。いまの坪400円ではなり立ちません。

## 青写真と世論づくり

**浦辺**　いまお話を承ると摘発する勢力が強大でよいものをだす方は弱い。わるいものの，のさばるのを防ぐ混乱時代です。じゃそれを防いで，あとどんなものをといえば，それはこれからの話で，ちょっと待ってくれ，というのが現状で，われわれはいまそのあとのことを考えています。

**植木**　御堂筋に地下鉄にと遠大な計画を実現した関さんを思いだす。ああいう方がおられたら，いまどんなに救われているか。いま市内の家をぶっこわしてビルが立つ。それはその事務所単独にやらせないで，都市建設委員会かなにかで何年計画によってさきはどうなるという条件で許可するとすれば，この方はある程度防げると思いますがね。

**西沢**　その委員にだれをだすかですね。

**植木**　むろん建築の方々が参画します。

**浦辺**　その土地にいる人でないと，自分の身に感じる人でないといけません。大阪はよいですよ。

**宮島**　大阪には緑がないから，少しでも緑をと青いペンキを塗るようではね。〔中の島にできた盛土後の擁壁のシートパイルの色をさして〕（笑い）湘南型の電車はミカン畑を走るから下の青いのは葉っぱ，上のダイダイ色は実です。運輸省の案です。大阪では地下鉄と御堂筋をつくった関さんはエライな。

**浦辺**　ああいう人がでればいいが。

**植木**　これからの新しい人はみな小さい。大阪にいやしくもおられて大阪で仕事をやっておられる方々は，やはり自分たちの手でなにか一つのものを共同でつくるというのでなければいけない。

**浦辺**　河野建設大臣が公けの席でいいました。われわれにはブリュープリントはない。ブリュープリントはみなさんが引いてくれ。実行するのはわれわれだ。そこはエライなと思った。ブリュープリントを自分でつくるからへんなものになる。ブリュープリントは権威のある人が引いて，実行するのは政治家だ。それがないといかんと思う。いままでの建設大臣の中で，こういうことをいえたのは一人もいない。青写真も官僚，実行も官僚では自分のやりよい方になりますからね。

**植木**　第三者側では建築が声をださんのは怪しからんといっています。

**浦辺**　声はでています。

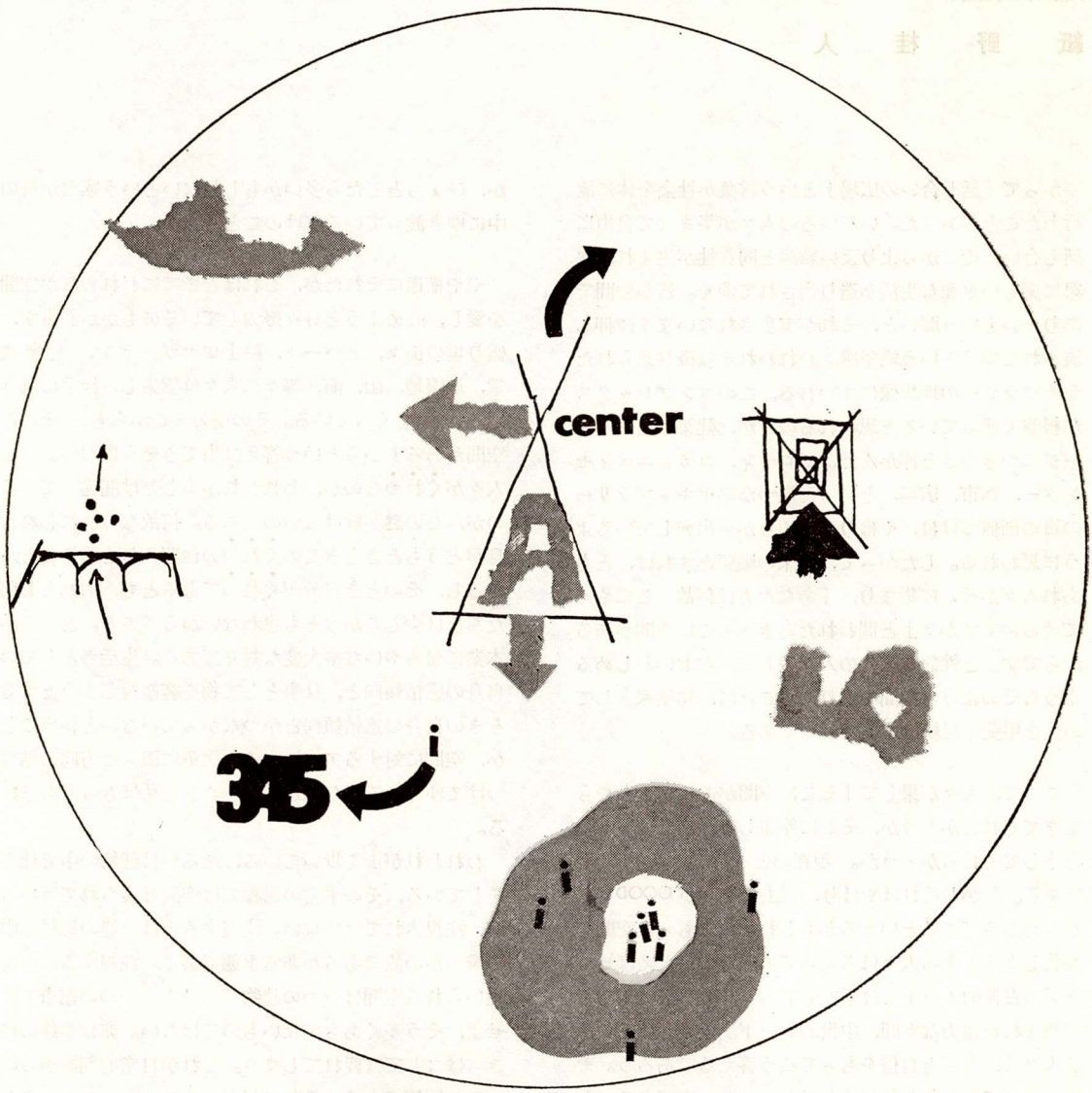
**植木**　公けの場でなくとも，あるものができれば，その人たちのプランとこっちとの対決ですね。個々にいっていたんでは。

**司会**　世論としてリードしてゆく，そういうものが足りないですね。

**植木**　内部でガヤガヤいってたのではしょうがない。

**浦辺**　世論がでていない。今日なんかは，その世論をつくる手順ですね。

**司会**　ではこのへんで。いろいろありがとうございました。




## 3 小論随想

1．外部空間雑感／紙野桂人
2．広場あれこれ／宮島久七
3．コミュニティ・センター／富安秀雄
4．屋外附帯工事費／今井準之助

# 外部空間雑感

大阪大学工学部助手
紙野桂人

かって「話し合いの広場」という言葉が社会全体に流行したことがあった。いろいろの人々が集まって自由に話し合い，そこからよりよい結論と同質性が生まれ，次第に楽しい平和な生活が造り出されてゆく。皆が仲間でありたいという願いと，それが実現されないままに押し流されてゆくという絶望感。われわれが戦後与えられたデモクラシーの理想像にまつわる，このコンプレックスが根強く残っていると思われるのだが，建築家連のイメージにつぎつぎと浮かんだ，ピロティ，コミュニティセンター，都市，広場，といった幾つかのボキャブラリーの真の価値づけは，やはりその辺りから出発しているように思われる。したがって，本来の願望とすれば，ともあれ人々がそこに集まり，「あなた方は何故ここにやってくるのですか？」と問われたとき「そこに空間があるからです」と性急な現代の人々をして，なおいわしめるようなそのような空間を造り出すことに，建築家としての生き甲斐を見続けているわけである。

ここで，人々が果して「そこに空間があるから」やってきてくれるかどうか，そこに停滞して，ゆうゆうと腰を下してくれるかどうか。現在のところでは答えはNOである。しかしそれはやはり，過去の空間がGOODでなかったからであるといえるかもしれない。もっと空間を強化しようとある人々は考えるであろう。たとえばピロティの古典的ムードでは不充分である，壁が必要だ，壁で囲まれた強力な空間，中世的ムードが望ましいと。ある人々は，もっと自信をもってこう答えるであろう。それはすべてをわれわれにまかせなかったからである。われわれは建物をうまくやってきた。都市もまたうまくやりとげられるにちがいない。すべては創造によってこそ克服される。

しかし，ここで間違ってはならない。空間を強化するというのは，ますます原始的な荒々しいものへ，もっていくということだけをいっているのではない。森の中のやわらかなみどりの草地のような，ビロードで包まれたようなやさしさにあふれる空間であって悪いという決定的な理由はなにもない。おおむねそのような空間は住居の中に包み込んでしまって，外部は日々の下に晒すという，砂漠の中のような生活にあこがれている人々の方が，ひょっとしたら多いかもしれないという感じが皆の中にゆき渡っているだけのことである。

やや横道にそれたが，これほどまでにわれわれが空間を愛し，高めようと日々努力しているにもかかわらず，盛り場の街々，デパート，屋上ビヤガーデン，大衆食堂，遊園地，山，海，等々に人々は雲集し，派手に動き廻り，喋りまくっている。その姿のどこからも，「そこに空間がある」からという答えは出てきそうにない。この人々がぐれつなのか，われわれが少しだけ間違っているのか，この謎が解けないのである。何故ならわれわれ自身がどうもときどきこのぐれつの仲間入りをすることがあるし，そのとき自分がぐれつであるとも，おれとお前たちとは少しちがうとも思わないからである。ところが本業に帰るやいなや大変な対立である。生活者としての自身の感情傾向と，仕事として物を客観視しようとするときの自身の感情傾向とがつながっていないということが，空間に対するアプローチを次第に誤った方向に結びつけてゆくのではないかということを私はもっとも恐れる。

われわれが街を歩いている，あるいは建物の中で仕事をしている，その平常の過程では空間はみられてはいるが，注視されてはいない。注視するのは一連の過程の中の幾つかの波であるか非常事態である。注視することを強いられる空間は一つの建物でにせよ，一つの都市でにせよ，そう多くあってよいものではない。非常事態の続きっぱなしでは疲れてしまう。これが日常的判断からの一つの回答である。それに対し，このくらいのことを非常事態と思うような弱々しい人間を現代は求めていない。もっとタフに平然とやっていけるはずだ。そこからもっとねばっこい強い精神が生れてくる。都市のデザインはやはりわれわれにまかせるべきである，という応答がある。ところが現実からのもうひとつの回答がある。それによれば，建築家の述べるところは真実である。人々はきっとそれに耐えていけるにちがいない。何故なら建築家がタフな空間として造り出す空間よりも現実の盛り場の空間の方が生理的には，はるかにタフだからである。たとえば，少なくとも建築家の造り出す空間には，不愉快な臭気は漂っていないだろうが，盛り場にはさま

ざまな臭気が充満している。それでも人々は押し寄せてきて達者に飲み喰いしてゆくではないか。

色彩のはんらん，形のはんらん，これらに比べれば，建築家の仕事は常に貴族的である。ついでにわれわれの都市に広場がないというのは逆に誤りである。現実の盛り場，デパート，コンコース，屋上ビヤガーデン，等々これらは立派な広場である。何故ならまず人々は進んで集まってくる，だれでも自由に出入りできる。何時間でもうろついていられる。立ち停って話すこともできるし腰をすえて話すこともできる。何よりも皆楽しそうではないか。このように実際にはタフな空間もあれば，広場もある。しかしそれらは日常的な意味で存在しているのであって，喰い物と遊び道具と場はあるけれども，空間は意識の外ではないか。われわれは往々にしてとくに意識される空間を造りたくなる。元来「みる」と「注視する」とはまったくちがった心理的体制を意味する。「みる」はみたものをそのとき意識したかどうかは問題でない。そこから「そういわれればみえていたように思う」という表現が生れてくる。「注視する」は意識化の努力を含む。したがって前者はひろがりが大きく粗であり，後者は狭く密である。前者はおおむね形態的，配列的であり，後者は意義的，構築的である。建物の前に立ち停って，ひと足ふた足あとずさり，位置をきめてにらむあの態度が，その代表的な場合である。空間をとくに問題にしようとするならば，これだけではどうにもならない。建築に，空間が称えられ初めたとき，実は「注視」だけでなく，「みる」の問題が加わったと考えてよい。大変なものを背負い込んだわけである。つまり，視覚以前の体制にさかのぼろうとしているわけだから。

これは元来未分化な世界であるから，いろいろな要素に分解してふたたび自由自在に組み立てようというような野望はもたない方がよい。だから，しごく簡単な論理で空間が技術的に解説され得るように思えたときは用心した方がよい。本当に手掛りになるのは，日常的な生活行動の中から，人が何をどのようにみているか，あるいはまったくみていないときにはどうしているか，その型を鋭敏によりわけて，その感情内容を察知してゆくことではないかと思う。だからそれは，むしろ空間的というよりも機能的といった方がよいかもしれない。空間を視覚における特別の事件として問題にしたがるのは，少なくともわれわれ新しい世代にとって正しい方向ではないと私は考える。もちろん空間のあの見事な高まりを無視せよとはいわない。そうではなくて，そのような高まりの基底に大きく広がっている機能的環境の意味を，もっと鋭利で合理的な眼で探り出してゆく方が大切だと考えている。したがってもっとも必要なのは，「現在」に関する知識と，その徹底的な追求であろう。突然，過去に興味がもたれ，また突然，将来の予測や，将来の計画理論，将来のデザイン論が突出してくるのは，FICTION の世界では主流となり得るかもしれないが，実際の環境構成の場で主流となり得るはずはない。私の考えは，もしかすると没デザイン的であるという非難をうけるかもしれないが，少なくとも「現在」に関する蓄積の乏しいデザインなんかは没した方がよいと考えている。

ここで，空間が，視覚的，現象的である以前に，意外に身体的，行動的であるということに若干触れておきたい。これは，われわれの研究室で，小学校児童について現在確かめつつあるもので，未だ確言できる段階ではないが，それによれば，たとえば小学校児童に，突発的に自宅の間取りを想起させ図示させてみると，視覚的に想起するよりも自分の身体行動の方式にしたがって想起する傾向がはるかに強く，身体行動が特徴的なものほど意識される度合が強力で，したがって部屋と部屋の行動上の関連はかなり幼時から正確であるが，部屋の視覚形体は，ほとんど二義的か，むしろ無視されているということが，図示の上手，下手にかかわりなく徴候として示されるということが明らかになってきた。

この事実から，われわれは空間を視覚形態として捉えると同時に，行動形体としてもまた捉える必要を感じている。ただし，これは目的をもった明確な行動動線だけをいっているのではなく，目的，非目的を問わず，身体行動と空間との関係をしる必要をいっているのである。

外部空間と称される都市空間の構成は，人間のための環境としてみるとき，建築の内部よりいろいろな意味でひろがりが大きく，それだけ人間にとって目的性の不明確な存在であるだけに，空間と人間本来の行動方式との関係をもっと深く追求する必要を感じる。

# 広場あれこれ

京都市立美術大学教授
インダストリアル・デザイナー　宮島久七

「フランスやイタリーの広場にある噴水や，彫刻などをみてきたが，思いのほかつまらないものばかりでした」とUさんにしゃべったことから，編集部から“イタリアの広場などをみた目で，インダストリアル・デザイナーとしての広場の造型処理というものについて感想を書け”と命ぜられるハメになった。

ヨーロッパは文明の国であるから，町の一隅の名もない彫像もそれぞれイタについたものであろうし，まして歴史のしみのついた建物の肌などをとっくりみてきたいと思ったのが出発前の私の楽しみであった。建物の肌は思った通りで，日本ではみられない古びた石と深味のあるいろいろの色の煉瓦など，外国にきたなという感じの深いものがあったが，さて彫像とか，記念碑となると，江戸時代の彫りものと同類の煩瑣さで，むしろそれよりも質の落ちるものの累積であって，脂味ばかりのビフテキをたべた感じであって，これから抜けだすためのロダンであり，ブウルデルであったかといまさらに近代彫刻の生れた必然性がはっきりわかったような気がした。

広場の飾りものはつまらなかったが，さて広場はどうであったか，欧州の都市にある広場は5～6階の軒をつらねた建物にかこまれた中にある。多少の飾りのちがいがあるが，一見して一つのタイプとみられる建物の連続で，街全体が一つの壁であるといえる。そうした四つの壁にとりかこまれて，ポカッとあいた空間，それが広場である。したがってそれは平面を意味する広場という語感より，重箱の中をのぞいた虚な空間といった感じのものである。周囲の建物からでた人からみたら天井のないロビーみたいなものであろう。まれに扇形や不整形があるが，一般に矩形で，中央や左右に記念碑や噴水がある。昔はそこで政治上の布告や，行事や，お祭りが行なわれたであろうが，現代の人口の密集した都会になってからは恐らく小さすぎて，群衆を入れるには不適当と思われる。そうした立方形の空間にふさわしく，オベリスクのような尖ってそそりたつような形の記念物が立っていて，谷間の空間の中心をなしていて，それは多分に封建的色彩の濃いシンボルなのである。

1



この記念碑の他に噴水がついている。これは水の不自由な国が多いから，水への渇望をみたす役割で，噴き出す水と，水の神話の彫像とで形成されている。この噴水と記念碑の他は平らな石だたみ――これは見事であった――があるばかりである。いまはこれらはこの街の観光資源として長々といわれ因縁を遊覧客に説明する。遊覧客の中のおえら方は帰ってわが街にも記念碑と噴水と，できれば自分の彫像を建てたいと思ったりする人もあろう。

欧州の広場は過去のもので，いまの自由の庶民のための広場としての意義は消滅し，単にみせるだけの観光物で，造型的にも使用目的にも私たちがいまもちたい広場の参考にはならないと思う。それでは日本の昔によい広場があっただろうか。寺社の境内，本殿に通ずる参道の周囲の空地は広場といってよいだろう。縁日やお祭りのときには店が出て，娯楽場ともなって人が集まるが，それは信仰の行事のためのものであって，他の自由な目的に使うものではなかった。

城の前にも広場があった。それは武人の出入りの威容を示す造型的処理があり，ときには戦場としての立体的考慮があったとしても，庶民のための広場ではない。お国歌舞伎などでにぎわった加茂の河原や，両国の川開きの大衆を集めた隅田河岸も広場といえばいえないことはないにしても，単に多人数が集まり得る河原と河岸にすぎないのであった。

われわれの歴史には庶民の時代がなかった如く，庶民のための広場はもたなかったといえよう。明治時代になって外国の文明を取り入れたなかに公園とその一部をなす広場があったのであるが，その広場も単に中世の広場のなかの目につく小部分の記念碑や，噴水のまねごとをしたにすぎなかった。今度旅行してみて外国でさえ都心

の広場もすでに広場といえないような狭さとなっており，自動車道路の真中にとりのこされた空地でしかない。

そこで新しい住宅地や，そこに住む人々のショッピングセンターのための広場が新しい役目をもったものとして生れた。オスロやアムステルダムやロスアンゼルスの郊外で，その実際をみたのでその写真をお目にかけるが，実のところ広場について意見を述べる機会があるとは夢にも思っていなかったので，広場の例としてはあまりよいものではない。それに都市の広場の写真とをならべて比較するつもりであったが，カラースライドは急いでモノクロ写真になりにくくだめであった。

**写真1** アムステルダム郊外のショッピングセンター。アムステルダム市はまことに古い街で，地盤が悪いから多くの建物は右と左とかにゆがんでおり，道路は暗い路次から路次へゆくような感じで曲がりくねっている。それからのがれるためか，こうした新しい施設は横に横にと横線がかなり強くでている。このショッピングセンターの前の広場には，ポスト，電話，自転車置場，駐車場，広告塔などが適当に配置されていて，全部が新しいデザインのものであって，一つの事務所でデザインされたものではないが，それがなんとなく統一されたスタイルと色彩をもっている。このことはこのセンターばかりでなく各地で感じられたことであったが，大阪御堂筋に道路の柵に波形の線が使われているところに，バロッコ風のコンクリートの花台があり，その前に巨大なペンギンのコンクリートの屑入れがあったりして，既設の周囲と調和するものをと考える文化性をもたない人々によって一日一日混乱を深めていく実情にくらべ，国柄の相違を感じた。

**写真2，3** ストックホルムのショッピングセンター。廉価品を山のように積み上げている日本のスーパーマーケットとちがって，ここは専門店の高級品売場といった感じの店が横にならんで広大な売場面積をもっている。建物の間に写真のような広場があって，たくさんの人がおっとり休んでいて，池があり噴水があり，その間を子供を乗せたお伽列車が走っているといった日本より大分生活程度の高そうなショッピングセンターの広場である。さきほどの，いまは存在の意義を失った都心の広場とくらべ，ここは生々している生活の広場といえる。

それでは日本のこれからの広場はどうあるべきか，都心の広場は休息の広場であるべきだと思うから，造型的には，直線ではないこと，柔らかい曲線でまとめるのがよいのではないだろうか。都市はますます垂直化する。そそりたつ直線はたえず緊張を強いる。その張りをほぐすのは水平線であり，柔らかい横によこたわる曲線，起伏であるほどである。だからこの広場には高い樹木はいらない，一隅は少しの高台があり，流れる水の池があり，ところどころには狭いかこまれた一角があって孤独を楽しめるようにする。また中央の平地はかなり広く，あるときは多人数の行事の集まりや，お祭りや，行進ができるようになっている。床は石や，陶器のモザイク模様で敷きつめられていて，単調を救うようにする，演説や音楽のための台，それも自然にもち上った感じのものも必要である。



2



3

ここを利用する人のための休憩室，食堂，化粧室，会議室などはすべて広場の地下に設ける，地下2階は全部駐車場とする。また広場には記念像的な人間臭いものはおかないこととする。ただ地下室への出入口には，他の出入口と区別し易いように抽象的な造型物をおく。といったところが私の都心広場の構想であって刺激の強い造型上の主張は極力避けたい。

つぎに住宅地の広場，これは子供のための広場としての性格をもたせる，起伏の土地であること，幼児のための自由曲線，直線，幾何学的線のそれぞれの遊び道具，少年のための走り廻ることのできる芝生，冒険のできる施設，それらを眺め楽しむ老人たちの一隅。

つぎに大人の広場，これは政治，労働運動のための広場。

といった充実した広場がここかしこにできるような社会にしたいものである。

# コミュニティ・センター

都市開発コンサルタント　富安秀雄

コミュニティという言葉は，わかっているようでいて，なかなかわからない言葉の一つである。地域社会と訳して，こと足れりとすれば，それまでであるが，われわれのように毎日計画を通じて，住宅地の開発に参加している者にとっては，それではすまされない。

コミュニティという言葉が生れてきている以上，それができたときにそう呼ぶにふさわしい何かがあったことはまちがいないとしても，それがいまどういう形であるのか，また，多くのプランナーが，コミニュティを意識して計画した団地で，一体どんなことが起こっているのか，ヨーロッパや，アメリカで暮らしながら，私はこんなことを始終意識し，また問うてみた。というのは，むこうの計画をみると，団地にはかならずといっていいほど，チャーチがある。コミュニティというのが，精神的な連帯感をともなうものであれば，チャーチというものは，その存在がまことに好都合である。——少なくとも私にはそう思われた。また，何となくそうした計画を図でみると，いかにもコミュニティがそこにある感じがする。早い話がスエーデンで戦後できた代表的団地の一つに，ヴェリングビィがあるが，あそこにも，センターに教会がデンとある。コミュニティ・センターと，ショッピング・センターとの差を，このチャーチはよく示している。と——こんなふうに感じたものだった。しかし，どこでもこの私の期待は裏切られて，最近はチャーチが，その地域の精神的な要点になっていないことがわかったし，コミュニティが崩壊していることは，世界中に共通していることだった。計画のめやすは，小学校でカバーされる地域というのが，共通した分母のようなもので，それなら，日本でわれわれがやってるのと，変わらないではないかと，安心もした。

ただ，家庭生活の中で夫婦が単位として振舞い，広いリビングルームに人を招いて近隣づきあいをする点は，日本とは大分ちがう点だった。日本では，夫は夜おそくまで外にいたり，近隣づきあいも，よく井戸端会議といわれるように奥さんたちだけのものであったりして，夫婦——家族がどうも主役にならず，分解されすぎているようにみられる。第一狭い部屋では，ごく親しい人以外，近所の人々を呼ぶなどという芸当はできない。またアパートの棟の配置も，とにかく何かスペースをかこむ方針のものが多くて，これが近隣づきあいに役立っていると思われた。つまり向う三軒両隣りが，アパートの棟の配置の仕方がちがうので，ぐっと増えることになるわけだ。こうした，コミュニティの基礎になる，ごく狭い区域の近隣関係は大分日本とちがっている。

こんなことも含めて，コミュニティというのが，いまどうなっているのか，都会と郊外ではどうちがうのか，その実態を何らかの形ちで，追求する努力がされねばならない。こうした実態を一方にもって，始めてコミュニティをつくることが可能である。

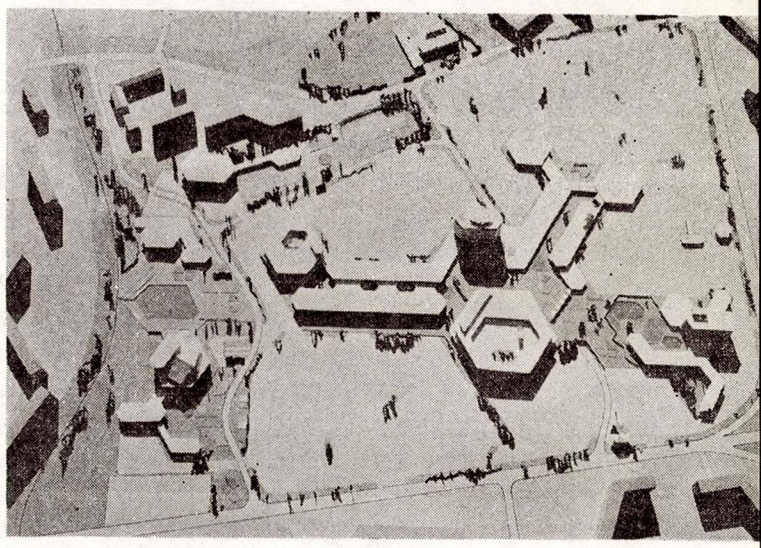
ところが，現在われわれのやっていることは，不甲斐ないことに，こうした事実の追求，把握のないところで，何かコミュニティを技術的に，形の上でとらえ，容器を与えれば，コミュニティが自然にできてしまうといった態度がみられる。これは，コミュニティの意識もなく，ただギチギチと住宅を詰めこんだ一頃に比較すれば，画期的な進歩といえるが，そこで生活し育ってゆく子供たちや，大部分の家庭の主婦たち，こうした人たちにとって，生活の場であり，社会の大部分である団地を考えると，まことにお粗末な計画態度で，大いに反省さるべきである。

まえおきのようなものが，大半を占めそうであるが，私としては，コミュニティ・センターを云々する前に，こうしたわれわれの現状を素直に，述べる必要を痛感した。

さて，コミュニティ・センターであるが，センターの計画に際し，現在われわれがとくに留意すべきことが，二つあるように思われるので，この点に焦点をあわせて述べてみたい。そのいづれもが，よく流通革命とか呼ばれているように，近来の経済成長のもたらした，家庭生活の急激な変化からきているもので，これが，コミュニティ・センターを計画する場合，自動車によるサービス地域拡大の問題と，パーキングスペースとペデストリアンスペースの明確な分離という形で現われてくる。

前者はいわばスペースの容量の問題で，後者は形ちの上での問題ともいえよう。





スペース，容量の問題というのは，在来のコミュニティというのが，歩行する範囲ということが一方にあって，何かと歩行する距離が，計画を制約してきた。現在でも，幼稚園とか，児童遊園とか，学区の考え方は，基本的には人口密度と距離がその要素になっているが，コミュニティ・センターとして，もっとも重大なショッピングを考えると，少なくとも将来，この歩行距離は，自動車で集まれる区域，地域ということにおき変えられよう。このことは，巨大なセンターを可能とする。これは，一方において，大都市のダウンタウンが，自動車の増大，都市施設の社会進歩に対するおくれ等の原因から，以前のような圧倒的吸引力を失ってゆくのと並行して考えられる。また，コミュニティがより大きく，より自立的になることにもなる。

歩行距離を計画原理として，背後人口2～3万人のニュータウンが，戦後続々でてきたのが，現在背後人口を10万とか，それ以上の，いわゆる，リージョナル・センターが生れだしたのも，こうした背景がある。こうしたセンターでは，ダウンタウンのもつ，あらゆる魅力が計画されるだろう。あの古めかしいビルの味や，横丁の雰囲気まで，何とかもち込まれる可能性さえある。こうした傾向がわれわれが日常生活圏の中にもっている，地域内の商店街にどう影響するのか，何か悲しむべきことが，スタートしようとしているのではないか？われわれは形に目を奪われずに，こうしたことのバックに動いている社会，その構造，また個々の家庭内での微妙な変化，こうしたものを捉え，分析してゆかねばならない。

形の上では，われわれは自動車交通の増大にともなう，パーキングスペース，またそれと同時に起こる歩行する人間のためのスペースを，如何にアレンジするかの問題に迫られている。要は，センターに容易に近づけて，容易にパークでき，かつ一度車を降り，また歩いてセンターに近づく場合には，これらの車が一切障害にならず，安全にかつ楽しい雰囲気の中で，買物や，他の用事ができることである。アメリカや，カナダでは，この問題はなかり前から起きて，一つのパターンのようなものができている。よく写真で紹介される，車の洪水の中の島のようなセンターがそれである。あれはつまりセンターの囲りを一面のパーキングスペースにして，どの方向からもセンターにアプローチでき，また充分なパーキングスペースをとる方法である。それと内部のセンターは一切車をシャットアウトして，内部にペデストリアンの広場をもち，パーキング側には，いわば尻を向けている形である。便利ではあるが，まったく無味乾燥で真似したくないものである。しかし，原理はどうもこれしかなくて，ヨーロッパでもデザインはちがっても，分類すれば，この方針になるセンターが最近生れつつある。視覚的にこの自動車の海をどうするか，また離れ島のようになったセンターをどうまわりの地区に結びつけるかが，デザインのポイントであろう。内部のペデストリアン・モールもどう外部と結ぶか，またどうすれば，楽しい雰囲気になるのか……いろいろの試みがなされている。写真はいづれもカナダのトロント附近のコミュニティ・センターで，一つはペデストリアン・モールにスッポリと屋根をかけたもので，この中にショッピングから郵便局など全部のセンター施設が入っている。もう一枚は，大センター計画のモデルで，背後人口10万人，駐車場のスペースは8,000台を予定されている。この場合は枝を生やして，周辺の住宅地へ，視覚的に少しでも近づこうという意図がみられる。

# 屋外附帯工事費

## ―住宅団地の原価要素として―

日本住宅公団大阪支所

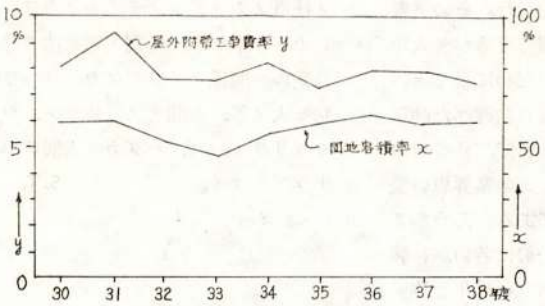
今　井　潤之助

一般に団地開発の初期の段階においては，各種の条件，すなわち敷地の立地条件，規模，あるいはその合理的利用に関して住宅型式，戸数，公共施設，共同施設についての総合的な計画がなされ，配置計画が具体化してくるのと平行して，開発に要する建設費と各要素の原価が検討されるのが常である。土地の有効利用により建設費を軽減するため，土地購入費，土地造成費などの用地費に応じて団地住宅の階数や，収容戸数を増やしたり，または適当な建築密度の選択が行なわれて配置計画がきまってくるのであるが，たとえば階数を増加すれば，建物の構造や，設備などの点で建築費の増加をみなければならず，密度の増加は，当然，生活環境，保健，防火，景観上の効果を害することになったりするのである。近来，団地住宅の量より質への転換が重視され，大規模な宅地造成や，住宅の量産化によるコストダウンがもっとも有効な手段として団地造りの課題となっているが，団地住宅の規模水準の向上とともに，その屋外環境や，機能の整備向上もみのがすことのできない要素と考えられるであろう。実際に，団地の性格を決定づける配置設計においては，住宅居室の日照，採光，通風，防音などの条件とともに，屋外環境条件として道路交通，庭園，公園，遊園地，公共用地処理などが検討，決定されてゆくのであるが，これらの条件が十分に満たされ，適当であるという基準は，団地環境の快適性が定量的にきめられない場合，把握しがたいものであり，だからこそ開発された団地についてもそれぞれ長所，欠点が出てくるともいえるのであろう。しかしながら，団地計画において屋外環境を支配する諸条件が定量的に把握しがたい場合が多いからといって団地建設にあたってわれわれは事前に原価を予定しないわけにゆかないのはもちろんである。

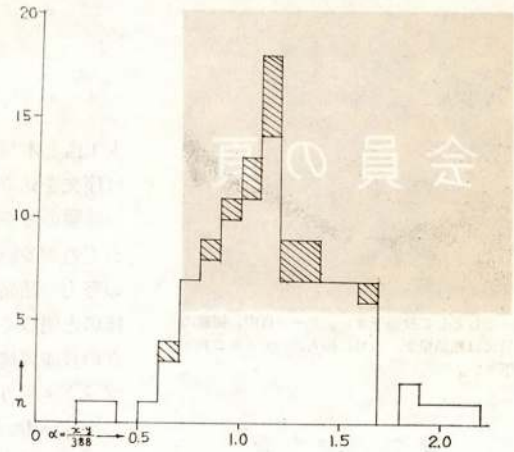
西武庫団地



しばしば計画段階で屋外附帯工事費はその占める割合が少額であるゆえに，土地費，建築費に比べて軽視されがちでありながら，一つの団地が完成して評価されるときには，住宅そのものは平面設計や規模にしても，公共団地の場合はとくに，すでに政策で決定されたものである以上どうにもならないといった自認にも似た気持ちからか，建物以外の設計ほどには云々されず，もっぱら，団地評価の眼は，配置計画や，どれほど屋外に金をかけて整備しているか，といった点にむけられる場合が多い。また，計画段階においては，もしも建設予算の不足をきたしたような場合，まず犠牲を強いられるのも屋外附帯工事費であろう。もちろん，屋外附帯工事には建物を有機的に連絡する各種の設備が含まれていて，目にはみえなくて，機能上外すことのできない要素も多いが，庭園や，公園，遊び場，植栽などはあとまわしにされるような考え方がともすれば優先し，完成した団地の環境を質的に低下さす場合さえみられるのである。




第1図　容積率と屋外附帯工事費率の年度推移




第2図　屋外附帯工事費指数αの分布

このように団地住宅の質的向上の必要と，土地の有効利用との間にあって，団地環境を決定づけるであろう屋外附帯工事の水準を維持してゆくために，たとえ工事費の絶対値は小さくとも屋外附帯工事費を原価的にできる限り把握しておこうとして，われわれは種々の方法を試みているが，ここでは団地建築密度と，屋外附帯工事費の関係についての検討結果を簡単に記すことにする。

資料は，住宅公団大阪支所発足以来38年度までの9年間に建設された賃貸住宅団地延 109例（一団地が多年度にわたって建設された場合は年度毎に一例とした）について集計したもので，**第1図**は総容積率と屋外附帯工事の年度推移を表わしたものである。ここに容積率$x$（%）は，その年度に建設された総住宅床面積の，使用した総敷地面積に対する割合で，土地の高度集約利用の程度を表わしたものであり，屋外附帯 工事費率$y$（%）は，団地総建設費に対する屋外附帯工事費の割合を示したもので，年間建設団地の合計について表わした（団地総建設費＝土地購入費＋土地造成費＋主体工事費＋屋外附帯工事費）。**第1図**によれば，容積率は47～62%を上下しているが，屋外附帯工事費率はわずかづつであるが，年度ごとに下向している傾向がみられる。この傾向は，単純にはいい切れないが，用地費が近年急激に上昇していることと，住宅規模の増加による主体建築費の上昇によるものと推定され，いちがいに屋外附帯工事費の減少，あるいは屋外環境の質的低下を示しているとはいえない。

さきにわれわれは，容積率$x$と住宅1戸当り屋外附帯工事費$Y$（万円/戸）の関係を，経験式として，近似的に

$$Y=6.46\left\{3.05-\sqrt{3.81-(x-3)^2}\right\}$$

と表わして，（この場合の$x$は床面積を㎡，敷地面積を坪で表わしたもので%ではない）予算計画や，事前原価計算のチェックに実用してきたが，全建設費に占める屋外附帯工事費の比重をみるために屋外附帯工事費率$y$をとり上げ，容積率$x$と屋外附帯工事費率$y$が，$Y$と$x$のように反比例に近い関係があるものと仮定して，団地屋外附帯の整備の程度を表わすと考えられる指数$\alpha=x\cdot y$なる値を用いて 109例の資料について度数分布をつくってみた。**第2図**は，$\alpha_0=388$（$x_0=60\%$，$y_0=6.47\%$——ある年度当初における公団住宅の予算査定額にもとづくもの）の値を1.00として $\alpha=\dfrac{x\cdot y}{\alpha_0}$ の分布を表わしたもので，標準値 1.10～1.20 の範囲にみられる 18団地のうちで，$x$の最大，最小値はそれぞれ71.1 %（西武庫3期団地），34.8%（八尾団地）で，それに対応する屋外附帯工事費率 $y$は，西武庫3期6.54%，八尾 12.49%と18団地のうち最小，最大値を示しており，他の16団地はこの範囲内の数値を示していることから，近似的には$x$と$y$は反比例することをしることができる。また**第1図**における年度推移にともなう $y$（%）の減少は，**第2図**のハッチ部分が，最近の37，38年度の団地であって，その分布は屋外附帯工事費の程度が低下したものでないことを示しているといえる。

大ざっぱに屋外附帯工事の程度——屋外環境整備のレベルを団地容積率と結びつけて，定量的把握へ一歩でも近ずくために試みたのであるが，団地開発における原価計算が前述のようにもっと大きい要素である土地，建物を主として行なわれる以上屋外附帯工事は文字通り附帯的な比重しかもたないとはいえ，団地の生活環境を決定する屋外空間処理，屋外機能の質的向上のために，分析検討を要する問題を多分に内容していると考える次第である。

# 会員の頁

どしどしご投稿下さい。テーマ自由。掲載の分には粗品呈上。本号に挿入のハガキをご利用下さい。

☆　☆　☆

## □淀　屋　橋　附　近□

最近，新ビルが続々と出現して，美しいビル街になってきた。特に夜影なぞわ色とりどりのネオンが輝き水面に反映したりして実にたのしい。何時もここで感じることは河川の上に点在する〝カキ舟〟？のような建物のことで（多分建築物であろうと思う），法的には当然自己所有の敷地がなくてはならぬが，位置が河川の上であるという点である。思うにおそらく建築基準法令，各種市条令が実施される以前からの約束，権利が継続されているのであろうが，河川の上に道路を造り自動車が走る現在となってきたが，同じく歩調を合せなくてもまだまだ大阪市内も広いと思う。（豊中市曽根東町6の32公団アパート9の107号・東畑建築事務所勤務

小沢　信嘉）

☆　☆　☆

## □大正以前の建築技術書の著者は老年の技能者の述懐なり，さて現在は□

正月の閑暇を利用して，大正以前の和本の建築技術書をみた。技術書というても大工，左官のものだが，昔は主として，設計関係のもので雛形系のもの，その一例は，左官雛形左官秘密勘定前雛形集とか実用規矩術，座敷構造部雛形とか，指金術，大工術と木割法等でした。その著書は序文を見ると了解できるが，永年の経験の跡を後輩のために書くというものが多い。名成り功遂げた晩年の努力の結晶とみられて，私をほのぼのと明るくした。この業界思い現在の技能界建築界にあるだろうか？ブックメーカーは一般に若い。経験の少ない方の所謂研究の結果と称するものの発表で，その研究結果多年経験されたものは少ない。私は，昔のように今からみればシンプルではあるが，その誠意は見上げたものと思います。老年者の努力を考える時，自然に頭が下がります。現在の技術者，そして技能者に望みたい。老年の最後の御奉仕に技術書メーカーになって欲しいと思います。

（大阪市浪速区元町1丁目762

建築設計事務所自営　鈴木忠五郎）

☆　☆　☆

## □建　築　士　問　題　を□

本題の前後ページに広告のあるのも大変結構ですが……。建築士問題・材料等も少々記載願えればどうでしょうか。本題の内容といたしまして，大変参考になる事柄も多く愛読いたしております。

（滋賀県草津市本町6丁目　田畑　耕造）

☆　☆　☆

## □建設業と労働基準法の関係□

私ハ現場係員，シカモ大手業者中第1位ノ某建設会社社員。12月ノ残業時間 156 H，日曜祭日出勤 3 日，1月ノ残業時間 137 H，日曜祭日出勤 3 日。労働監督ノ皆様モットシッカリシテ下サイ。ワレワレノ力デハドウニモナラナイデスヨ。

得意先ノ皆サン，突貫工事ハ若手ノ社員ノミヲ苦シメテイルコトヲ忘レナイデ下サイ。社則モ労基法モ建設業ニハ関係ナインデスカ。ワレワレモ人ノ子，人間デス。皆サン，ツヨガリヲイハズ，ハダカノ人間デハナシアイタイ。　（S. T.）

☆　☆　☆

## □プレハブ住宅について□

われわれが学校を出る頃には，もっとも私の不勉強だったせいか，住宅のプレハブ化というようなものについてはつゆ知らなかった。

さて学校を卒業すると同時に，勤めていた所をやめて，ある縁から現在の会社に移ったわけだが，今私はプレハブ住宅の積算を担当している。いろいろとまだ未開の分野であるし，毎日の仕事に情熱をかたむけているのだが，いろいろの雑務におわれて常日頃考えているようなことを，おいそれと活かしきれない。もっともこんなことはどんな勤め，仕事においてもいえるのだが，根気よく一歩一歩と進まねばならないし，またそうしてこそ立派な建物ができてくると確信している次第である。

とかく若いときには，すぐ目につくようなものに目をむけたがるのが常だ。だからといってそれをとやかく批判はしたくないが，私の会社の周りを見わたしても，若き有能な Engineer がとっても少ない。

プレハブ住宅の設計というようなものはまだわが国においてはかけ出しだばかりだし，建築体からみればそう大した仕事にみえないだろう。しかし人間の生活にかくことのできぬ衣食住の一つをしめる住生活，それ確保する住宅のプレハブ化というものは，非常に価値ある仕事ではなかろうか。（大阪市住吉区住之江町2の71

山崎　純郎）

☆　☆　☆

## □生きている写真□

1月号の第6回建築写真コンクールは前回までの単なる建築写真でなく，人間の生活のある感情のある作品になっている。1等の富士銀行横はビルの谷間をBG 4人のシルエットで引立てている。都会が匂っている。黒白のコントラストとアングルが良い。シャッター以前の計算が課題に見事に応えている作品だ。阪急前は「これが大阪だ」といった感じ生活している人間像がある。街は課題からちょっと放れた感じだがカメラ雑誌のコンテストに入選可能な地味であるが内容のある作品と思う。今回は前よりも充実している。今後も金属，ガラス，タイルあるいはモルタルだけの冷たい写真よりも，生きている建築，呼吸をしている街等息吹を感じさせるコンクール写真，その他の写真を機会あるごとにのせて下さい。（徳島市中前川町2丁目14番地

天羽　鴻）

☆　☆　☆

## □20世紀の建築□

英語の試験が悪かったので映画を見に行った。北野劇場の「シャレード」だ。囲いだけのエレベーター，天井の高いゴシックの建物，劇場，地下鉄とセーヌを走る観光船，20世紀のフランス人は，20世紀から12世紀まで，あるいはそれ以前の芸術を日常の生活に使って生きている。日本人は名所旧跡，博物館に行かないと見ることもできないし，触れることも出来ない。歴史とともに増えていく大理石の建物と「古くなった，壊して新しく建て直そう」という紙と木の建物の日本では，そこに違いがあったらしい。けれど，今日のようにこんなに大きくなったコンクリートの建物を，あっさり壊すほど馬力のある人は，少なくなるのでないだろうか。日本では，これから建物が残って行き，それが後世の日本人の生活にも使われるのではないだろうか。20世紀の建築家は，「ガメツかったんだナ」といわれないよう奮気しなければならないと思う。建築と社会，いい言葉だ。さあ，明日は哲学の試験だ，がんばろう，それとも建築物は消耗品かナ。（大阪市城東区放出町174アローKK内・近畿大学生

田村　征司）

☆　☆　☆

## □新しい建築を味わうとき—日曜の朝□

テレビやニュース映画でじっと見ていて非常に感心することがある。それはマラソンの時だ。さきの東京国際スポーツ大会や朝日マラソンなどもそうだったが，いつもは車の洪水である甲州街道が無人化，無車化してしまって，音のない車のない実相をみせてくれるときだ。白バイによる警官の取締りや，立札がマラソンという偉大なスポーツのために人間が総力をあげて協力しているのだ。この静かさは得難いものだ。このような静かさが私たちの建築にも欲しい。人，人，人，車，車，車，神経質な人間でなくてもすでに神経は侵されているのであろう。御堂筋に建った新しい建築の完成をみても車にのっていたり，人にもまれていては，その建築を見上げる余裕すらできないのが現状だ。このような時に，私たちは建築を見上げる時間を欲しいと思う。私は日曜日の早朝など，何の用事もないのに，いつもはラッシュにもまれている周辺を歩くことにしている。早朝の御堂筋などは実に詩的な雰気をもっている。さしてくる朝日が高層ビルの窓に映えて，機構の中には人っ子ひとりいないのである。信号の点滅もない。警官のわめくような整理の声も聞かない。パルテノンを見上げるような気持で新しい建築のよさを確かめてみたいのである。それはいまのところ日曜祝日の朝以外にはない。

（滋賀県草津市渋川町　国鉄勤務

久保　和知）

☆　☆　☆

## □アメリカ留学より□

前略。小生，1月の末からエール大学の建築科で勉強しております。今4年（Profetional Course）の第2 Semester ですが，今年の9月からMaster Course に入る予定です。御承知のようにここはポール・ルドルフが主任教授で，割合，世界のあちこちから学生が集っています。

エールの中は，ルドルフ，サーリネン，カーン，ジョンソン，SOM 等現代建築家のお偉方のデザインしたのが随分沢山集ってて，更に古い中世紀風の校舎とともに，建築展みたいなとこです。また「建築と社会」で必要なら，写真はいつでもお送りします。

OSAMU NAKASUJI

（C/O Eli Shapiro.
166 Darenport Ave.
New-Haven. Conn. U.S.A.）

（竹中工務店設計部　中筋　修）

特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
CERAMIC SKIN
建造物の外壁面に〃陶器の壁紙
セラクロス
CERAMIC CLOTH

山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3—176 TEL(322)4851(代)～4
関東地区取扱店・小林窯業株式会社
東京都太田区新井宿2—1500 TEL (771) 6347

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量・鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町六〇番地
電話北(40)四一三一～四

＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
南向式レチスター
特許第一五二三六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-79
田辺工業株式会社
電話土佐堀(44)7437 —9

杭
株式会社 武智工務所
取締役会長 福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話 (202) 3233・3234

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン } 製造
床材(合同リグノイド) マグネシート } 販売
外壁シリコン防水・ゴーレジン樹脂防水 } 責任施工
マリヤール吹付機械代理店
合同特許建材工業株式会社
取締役社長 山下謙治
本社 大阪市東住吉区東之町3—193 電 (621) 9086
営業所 大阪市東住吉区駒川町3—54 電 (791) 7814～6
出張所 広島市比治山本町1180 電 広島 ④7496
東京都新宿区花園通46 電東京(351)5298・5264

ブロックの防水塗料!
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り 常備淡彩12色
安価・速乾・美麗
水谷ペイント

## 小野田 CX

小野田 CX はセメント配合用ゴムラテックスでこれを配合したゴムセメントモルタルはセメントとゴムのそれぞれの長所を生かして普通セメントモルタルには得られない優れた特性を発揮する。

**種類および用途**

① 小野田 CX-B は SBR 系合成ゴムラテックスでこれを配合した CX-B モルタルは乾燥収縮も小さく防水性，耐衝撃性，接着性，耐摩耗性，耐薬品性が特に優れているためタンクやプールの内張，建造物の内外壁，地下，屋上防水に使用し完全な防水効果を発揮する。また工場，事務所，階段，プラットホーム，ガレージ，車輛等の耐摩耗防滑床として最適，また小野田カラーセメントに本品を混入し床仕上げすると非常に美麗耐摩耗防滑的でソフトな感じのカラーモルタルができる。

② 小野田 CX-A は NBR 系の合成ゴムラテックスでこれを配合した小野田 CX-A モルタルは耐油性に優れしかも CX-B モルタルの長所をかね備えているので耐油性工場床材防水材接着材として好適である。

**試験結果**

表1 吸水率と透水比

| ゴムセメント比 % | 吸水試験 | | | 透水試験 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 吸水率 (%) | 指数 (%) | 規格 | 透水量 (g) | 透水比 | 規格 |
| 0 | 11.9 | 100 | | 17 | 1 | |
| 5 | 10.5 | 88 | | 14 | 0.82 | |
| 10 | 8.3 | 70 | 95%以下 | 2 | 0.12 | 0.8以下 |
| 15 | 4.3 | 36 | | 1 | 0.06 | |
| 20 | 1.8 | 15 | | 0 | 0.00 | |

表2 普通セメントモルタルに対する接着力

| ゴムセメント比% | 接着力 (kg/cm²) | 指数 % | 備考 |
|---|---|---|---|
| 0 | 3.8 | 100 | 接着面で破断 |
| 5 | 7.6 | 200 | 〃 |
| 10 | 19.8 | 521 | 普通セメントモルタルが破断 |
| 15 | 19.7 | 518 | 〃 |
| 20 | 22.2 | 584 | 〃 |

表3 耐衝撃性

| ゴムセメント比% | 破壊時の落下高さ (cm) | 指数 |
|---|---|---|
| 0 | 30 | 100 |
| 5 | 35 | 117 |
| 10 | 55 | 183 |
| 15 | 100 | 333 |
| 20 | 210 | 700 |

表4 弾性効率およびショアカタサ

| ゴムセメント比 % | 反ぱつ弾性試験 | | カタサ試験 | |
|---|---|---|---|---|
| | 弾性効率 (%) | 指数 (%) | ショアカタサ | 指数 (%) |
| 0 | 0.5 | 100 | 12 | 100 |
| 5 | 1.0 | 200 | 10 | 83 |
| 10 | 1.0 | 200 | 14 | 117 |
| 15 | 1.5 | 300 | 14 | 117 |
| 20 | 1.5 | 300 | 14 | 117 |

表5 Taber 摩耗指数

| ゴムセメント比 % | Taber 指数 (mg) | Taber 指数比(%) |
|---|---|---|
| 0 | 13437 | 100 |
| 5 | 4694 | 35 |
| 10 | 419 | 3 |
| 15 | 334 | 3 |
| 20 | 454 | 4 |

包装規格　3kg缶，18kg缶

## 合成樹脂防水ユニロン

ユニロンは糸状高分子化合物の強大な接着力を活用した合成樹脂防水防湿材で業界の悩みであった建造物の雨水湿気並に腐蝕の問題を解決した建造物保護剤である。

**特性**

イ）接着力強大
ロ）養生的役割を持ち保水性を有しセメント本来の凝結を順調にする
ハ）水セメント比を減じ作業性がよい
ニ）耐久性に優れかつ長期材冷における防水効果大
ホ）各種構造体に適応する施工法の確立
ヘ）塗厚が適当である
ト）下地から仕上げまで責任施工である
チ）補修工事が簡単である

**種類**

「ユニロンA」は溶剤型「ユニロン$A_2$号」はエマルジョン型ビニール樹脂防水剤でそれ自体で皮膜を形成し初期吸水速度を減じる。施工は下地面清掃後刷毛塗工する

「ユニロン B」は水溶性ビニール樹脂防水剤でそれ自体の保水性，AE 性，接着性により密実な防水モルタル層を作る。水セメント比を減じてもコテのびがよく亀裂が少ない。施工はモルタルに使用する水量の約 6～10% を水に溶かしよく混練する。

「ユニロン $B_2$ 号」は紛末合成樹脂防水剤で主として地下室，タイル下地防水に使用，湿気を急速に除く効果がある。施工はセメント量の約 5% を投入攪拌後ユニロン B 液にてよく混練する。

「ユニロン M」は半流動体の合成ゴム防水剤で被膜工法により防水のほか耐酸耐アルカリ性の効果が大である施工法は本剤を溶剤にて希釈しコテヌは刷毛で塗工する

「ユニロン急結剤」は淡黄緑色の液体でセメントと合理的に化合し数分間で完全に固結し漏水個所を完全に止水し強度の水圧に耐える。

**用途**

1）各種防水工事：屋上，外壁，浴室，便所，水槽，地下室，床，プール等
2）各種亀裂補修および構造上の部分補強
3）ハーライト軽石混入モルタル粘結用
4）その他防水防湿工事全般

**包装規格**

ユニロンA　1kg缶　7.5kg缶　15kg缶
ユニロン溶剤　1kg缶　7.5kg缶　15kg缶
ユニロン$A_2$号　23kg缶　3kg缶
ユニロンB　1kg缶　9kg缶　18kg缶
ユニロン$B_2$号　1Kg缶　3kg缶
ユニロンM　17kg缶
ユニロン急結剤　1kg缶　5kg缶　20kg缶

製造販売　日本ユニロン株式会社
本社　東京都中央区銀座西3—1　建築会館小野田セメント分室　TEL 東京 (567)7075・8571
大阪事務所　大阪市北区梅田町2　第一生命ビル小野田セメント大阪支店内　TEL (261)1261・(312)0809
責任施工店　大阪ユニロン工事株式会社
本社　大阪市福島区亀甲町1の71　TEL 大阪(441)8414・1181・8117

# デラックスカバリング
（ゴムモルタル）

## 1. 特　長

本品はネオプレンラテックスおよびビニール系合成樹脂エマルジョンとセメントおよび骨材とをよく混和し，厚さ3㎜にコテ塗り仕上げした床材であり，セメントの諸性能を著しく改良向上させ，広範な用途に耐え，耐用年数の永い舗床材料とした点に在来の舗床材に見られない特性を持つものであります。

## 2. 特　性

① 上記のごとく本床材は一種の接着剤でもありますから強い接着力を持ち，浮上り剝離等の心配がありません。

② 耐水性，強度，耐熱性，弾性，滑止性，耐油耐薬品性等に優れております。

③ いかなる下地にも施工可能です。

④ 乾燥時間が早く屋外 2～3 時間，屋内 5～6 時間で歩行に耐えうることができます。

## 3. 用　途

一般会社の事務室，劇場，映画館病院，喫茶店，電車，船舶，学校，教室，講堂，各工場等。

## 4. 価　格

坪当り　¥2,800～¥3,000

# リグノイド床

## 1. 特　長

リグノイド床は主原料マグネシヤセメントに炭酸カルシウム，硅石，コルクまたは鋸屑を混合して，塩化マグネシウム溶液で混捏し鏝塗り仕上げした床で普通下塗および上塗の2回塗とし，下塗にコルクまたは鋸屑を入れて弾力性を持たし上塗に色素を入れて着色し，優美な感じを出す床材である。

① 収縮性がなく目地切しなくとも亀裂を生じない。

② 感じが柔かく，防音性である。

③ 着色が鮮明で，褪色がない。

④ 耐熱耐火性である。

⑤ 下地はモルタル，木材，鉄板いずれでも可能である。

⑥ 値段が安く手入れが簡単。

⑦ 床油で拭けば光沢が出て塵が立たず衛生的である。

## 2. 用　途

一般会社の事務室，食堂，劇場，映画館，病院，喫茶店，電車，船舶，防塵を要する軽作業場，学校，教室，講堂等。

## 3. 作業および養生に要する期間

夏期3日，冬期約6日間。

## 4. 最近の主な施工場所

松下電器テレビ工場，日東電機茨木工場，田中千代学園，喫茶プランタン，楠田商店，和歌山歯科会館，大阪造幣局。

## 5. 価　格

坪当り　¥2,000～¥2,500

田　辺　工　業　株　式　会　社
大阪市西区江戸堀2丁目79　電話大阪(44)代表 7437～9

# 山形県田川地方事務所庁舎・荘内文化会館

## はじめに

明治政府成立後は中央から遠く離れた地方においても政府の方針に倣い，官吏や技術者を中央に遣わして着々その実を挙げたのであったが，長年月の経過のため地方におけるそうした有形文化財などの姿は大かた消えてしまった。それでも地方によっては未だ割合に初期の擬洋風建築が見出される土地がある。以下述べる山形県もそうした地方の一つで，山形市・鶴岡市などには10年代の建築幾棟もが見出されるのである。すなわち山形市立病院済生館(11年)，山形県田川地方事務所庁舎(13年)，荘内文化会館(17年)などが現存し，また朝陽小学校(９年)，山形県庁(10年)，東村山郡役所（12年），清川小学校（13年)，山形刑務所（18年）などは現存しないが多少とも資料があって知られるし，遙かに降って国鉄山形駅（34年）も現存している。これらは時間的・地方的に近く，従って一種の地方色といえる共通点をもつ点でも興味あるものである。



第１図　田川地方事務所正面（昭和36.5.24撮）
一階の軒・塔の最上部・車寄などは旧状と違っている。



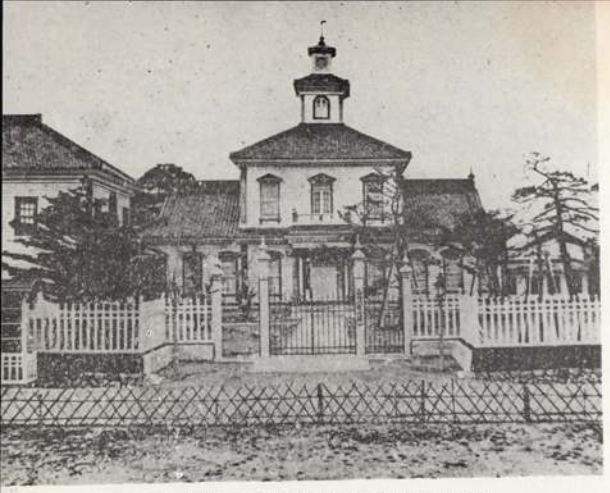
第２図　田川地方事務所側面（昭和36.5.24撮）
入母屋破風は和風其儘，塔屋の窓は半円アーチである。

## I.　鶴岡市　山形県田川地方事務所庁舎

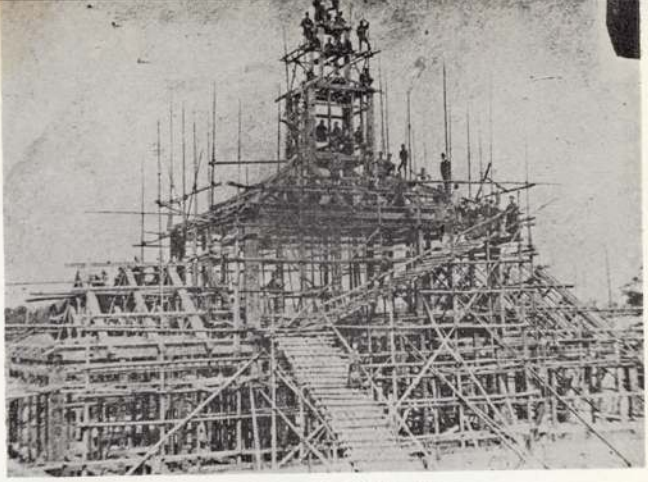
### ①　概　略

現在上記の庁舎であるが，もと「西田川郡役所」として明治13年にできたもので，次に記す荘内文化会館と共に鶴岡市内の10年代擬洋風建築の双璧である。

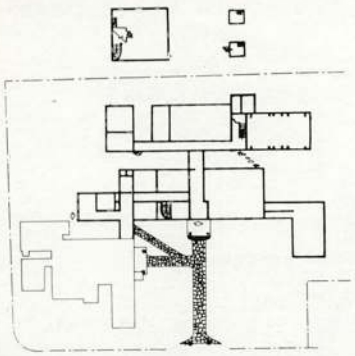
庁舎は同所資料によれば主要部間口14間，奥行５間半，建坪77坪，延坪114.５坪で，木造平家建及び二階建に塔屋を付け，外装下見板張隅に装飾柱を，また正面に方一間の車寄を付ける。竣工は一般に明治天皇東北行幸の際休憩所となったのでその時期，14年９月までにできたといわれるが，鶴岡市立図書館蔵『新築目論見帳』（後出）によれば13年10月には竣工しているらしく，総工費10,232円であった。内部の大改造に拘らず外観は割に旧形を残しており，当初は一階入母屋正面の軒がずっと続いて玄関の屋根を構成していたこと，四階の塔が切り縮められたこと，入母屋屋頂の尖頭ある珠飾を失なったことなどが当初と違う点である。ただし内部は仮設的なものを含めて変改がはなはだしく，階段廻り，出入口の一部の他，旧態を残していない。一階東寄に広間，他は廊



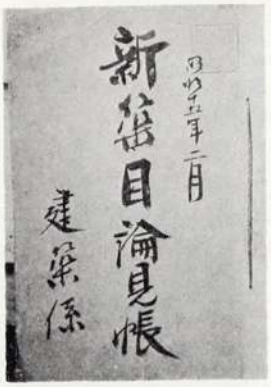
第3図　創建当初の田川地方事務所（旧西田川郡役所）
鶴岡市立図書館蔵写真の復写。



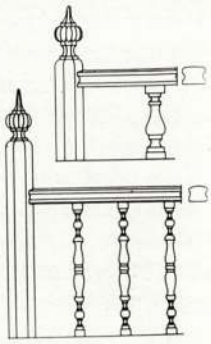
第4図　建築中の同事務所（同上図書館蔵写真復写）
城櫓のような構造，洋風小屋組などに注意。こんな写真が残っているのは珍らしい。



第5図　田川地方事務所現状平面
図のほぼ中央が旧庁舎の部分，其他は後の増築，殊に後方の棟は新らしい。上の図は二階，塔屋の平面。




第6図　田川地方事務所新築書類綴の表紙
（鶴岡市立図書館蔵）　昭和36.5.24撮



第7図　田川地方事務所庁舎手摺　2種

下で小室に区切られ，二階は広間1室，三階は方1.5間で二階屋根懐に当り，四階への階段を設ける。

### ②　構造について

この庁舎も山形市立病院済生館・荘内文化会館などと同じく構造・細部に特異な点を持つがしかも鶴岡では荘内文化会館に先立ちながらそれより優れた作品と認められるものである。全体としての意匠及び構造には本来手法によりながらも新手法を大きく採用している。請負人高橋兼吉・石井竹治郎などはこれをその知識・経験から纏めたものであろう。そしてその基本構造としては城郭の櫓構造が頭の中にあったのではなかろうか。外観上左右に長い入母屋を一階の基本にし，二階に大きく落ちをもたせた正方形に近い室を構成，さらに小屋内から建登せた柱で上層を形成してゆく方式，これは城の天守・櫓の類と同規である。洋風の塔をたてること，しかも仏寺の層塔と違ってはなはだしい落ちをもつことは当時の棟梁としては最も手近な城に範を求めざるを得なかったであろう。初年の擬洋風建築の「城のようだ」という批評は海鼠壁や大壁だけでなく，この全体の構架式にも当て嵌ることである。

しかし他の一面においては新手法が十分に取入れられているのが注目される。入母屋屋根も敷桁上に既に一種のキングポストを組んでいるし，二階の屋根構造にもトラスを採用した所が見られる。（これより2年先にできた山形市立病院済生館も5間半に亘るキングポストを使っている。）ただ各部材は例によって著しく太いものである。

細部意匠では階段廻りが旧状を残すと共に優れている。二階から三階への階段は室内に露出し，天井近くで踊場をもつ。

### ③　『目論見帳』

この庁舎の資料は鶴岡市立図書館に表題の資料のほか，写真が残されている。前者は明治13年の着手から竣工後にいたる頃の諸記録を15年に合本したもので，全部が揃っている訳ではなく，図面は勿論ない。しかし在来手法の中に洋風手法の次第に入り込んでゆく過程が見うけられるだけでも大変興味があり，所要木材が本庁だけで106,216才であることなども知られる。この庁舎請負人の一人，高橋兼吉は当地の堂宮大工で，本庁舎の後で附近の善宝寺五重塔も建築した経験をもち，社寺城郭の構造・細部には通じていた。これが洋風庁舎を纏めるのに大いに役立つたと思われるのである。

## II. 荘内文化会館（旧鶴岡警察署庁舎）

この建物は現在鶴岡市・致道博物館構内に移築され，建設業材料関係の展示場や集会所などに使われているが，もとは鶴岡警察署の庁舎であった。以前危うく取壊しの運命に遭う処であったが，明治建築として価値を認められ，県の建設業関係者の協力により現地に移築保存されることとなったと聞く。現在県指定文化財である。

庁舎は外観木造二階建，屋上に小塔，正面に車寄，ベランダを突き出した大きい感じのする建築である。内部は移築前と後とで間仕切その他に変更があり，現在は一階に広間と小室，二階も同様になっている。

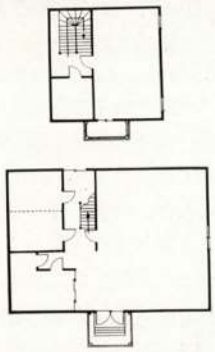
この建築もこの辺の地方色をよくあらわしたもので，下見板張に隅の装飾付柱，軒の繰型下の歯飾り，その下の懸魚を連続させたような幕板状の飾り（これは山形県地方に多いが山梨・静岡・鳥取・島根などにも見出される。）などがそれである。平面は一階が長方形，二階が凡そ正方形で，軸組はやはり城の櫓との共通性を思わしめる。破風の懸魚，階段手摺の親柱などに和臭がひどく，田川事務所よりスッキリしない。

起工は棟札によれば明治17年5月，建築費総額5,346円204であった。設計者は従来高橋兼吉といわれていたが棟札には記されていない。（棟札は先年筆者が行ったとき見なかったが，昨年林野氏が行かれて写して来られたのを示されたのでそれによる。移築前平面も同様。）何れにしても本庁舎も初期擬洋風建築の優作であり，また何となく二代清水喜助の第一国立銀行を思わせる外観をもつと考えるのは私だけであろうか。

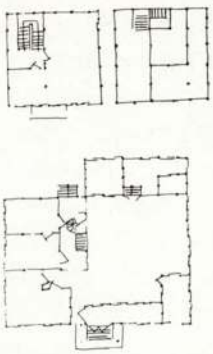
（工博　近藤豊記）



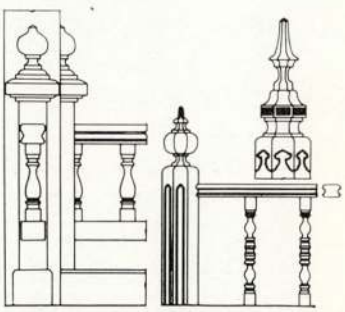
第9図　荘内文化会館階段上部（昭和36.5.22撮）
親柱に在来棟梁の苦心がにじみ出ている。天井は漆喰塗繰型をめぐらし，上に棹縁天井を張る。



第10図　荘内文化会館現状平面見取図
下が一階，上が二階の略平面，この間に中二階がある。



第11図　同上移築前の平面
私はこの原図を見ていないが林野氏が見て来て示されたもの。下が一階，上左が二階同右が中二階の平面。



第12図　荘内文化会館の手摺　3種
何れも邦人の手になる擬洋風初期手摺の典型である。

第8図　荘内文化会館正面　（昭和36.5.22撮）
移築後白ペンキが塗り替えられて美しい。細部は山形地方の地方色をよく示している。



# 第15回・ガラス工



小林千之亟さん

大阪市旭区大宮西之町3の16

ガラス工といっても，ここに紹介するのはガラス製造工場に働く職人ではなく，またガラス製品の加工職人でもない。建築工事現場においてガラスを取り付ける職人さんである。ガラス取付工事はガラス販売店の店員が直接行なう場合もあるし，またガラス店とは別個に独立した職人衆が行なう場合がある。大抵の建築工事ではガラス店が建築工事の元請からガラス工事一式を請負い，その取り付けをこの職人衆に請負わす。この社会には昔ながらの親方組織が残っていてガラス店からの仕事を親方がうけ，職人を使って仕事をするのが普通だが，規模の小さい仕事とか，そう難しくない仕事は，親方衆から子方衆に投げ（請負）る場合もある。親方と子方には，はっきりした雇用関係はなく，子方は単独で仕事を得るようになるまで親方を通じて仕事をさしてもらうが，身分とか生活の保証はない。

小林さんはこのようなガラス職人の親方衆の一人である。子方を12～13人をもち，幾つかのガラス販売店を顧客にもっている。62才。この仕事に入ったのは大正2年，11才のときというから丸51年ずっとガラスと取り組んできたことになる。この人がガラスと縁ができたきっかけは，この人の兄が東京のあるガラス店に働いていたが，たまたまその兄が家庭の事情で国元へ帰らざるを得なくなって，代りにその店へ奉公するようになったことに始まる。ほんのチョットしたことがこの人の一生の職業を定めてしまったといえよう。そこで年期奉公を10年，そして独立した。

しかし，その頃の経済事情の悪さと，小林さんの若さ，もち前の職人気質，そして資本力の不足は，職人を抱えて一軒の店を構えて順調にはやってゆくことを許さなかった。事業は失敗し，東京から北陸方面へと移ったが，そこでもうまくゆかず，昭和9年大阪へくることになった。四ツ橋の「たつみや塗装店」（当時はガラス店も兼営）に落着く。ここで約10年，昭和18年独立したが，その後またも戦災ですべてを失い，その後は技術一本，職人衆の親方として通している。建築の窓ガラスの取り付けを主としているが，特殊なものとして温室をも手がけている。

ガラス工事の技術はまずガラスの定寸を覚えることから始まるという。定寸をいかにうまく利用して割り付け，裁断をやるかによって見積りが大きく変ってくる。普通年期奉公にはまずこいつを頭にたたき込まれる。ちょうど算術の「九九」を丸暗記させられたように。材料を有効に使おうと苦心するのは今も昔も変りはないが，当時は日本製品はまだ半製品といった状態で，気泡が多く，よい建築には使われず，気のきいた建物にはオランダ，ベルギーの輸入品を使ったから，貴重品扱いをして少しでもムダにすまいという気構えであったのだろう。

ガラス嵌込工事といってもそう技術的に難しい工事はないが，最近の建築ではガラス面が多くなり，しかも暖冷房，機械換気をやる関係上，エヤータイトにしたり，スライド，または廻転とはめ殺しの組み合わせなど複雑なものが多くなった。取りはずしのできない大きい建具にガラスを嵌め込むのは相当困難だということである。とくに修理，清掃などを考えると建具の機構などもっと工夫があってしかるべきだという。

小林さんはいまでは取付工事一本に徹し，販売はやらない。したがって仕事そのものに対する態度はなかなかきびしい。少しでもよい仕事をしたい，クライアントに長く喜んでもらえるような仕事をしたいと仕事本位の考え方をしているため，最近の若い職人さんに対しても「技術水準が落ちた。職人気質がなくなって金もうけに走り過ぎる」と批判する。



針止め中

はっきりした組織をもたない不安定なガラス職の社会で「仕事とは金もうけと覚えたり」とジャンジャン稼ぎ，そして生活を楽しむというのは時代感覚とはいえ，よい意味でも職人気質の失われてゆくのは寂しいことだ。

最近の主な仕事
新阪神ビル，天王寺ステーションビル，古川ビル，その他学校，公団住宅など。

（簸内幸雄記）




近代建築の
要求に生まれた

# 伊奈のデヤータイル

大阪神ビルにご採用
デヤータイル二丁掛

IS 伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電(5)2700(代)
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電(551)6371(代)
大阪事務所　大阪市西区新町南通1—23　電(541)5484(代)
九州駐在所　福岡市鍛冶町1橋ロビル4階　電(74)9080(直)(76)1731(交)
札幌駐在所　札幌市大通西7丁目2番地　電(3)3806

マルエス

# 永久防水材
マルエス印
# ルーフィング

信用第一
最高の品質

日新

# メルタン
# ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける投術的困難は殆んど解決されたと云っても過言ではありません

特許
# ビニエスタイル

お部屋のポイントは床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

## 日新工業株式会社

本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪支店　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(531)5281～3
出張所　名古屋TEL 名古屋(54)9996・広島 TEL 中(2)1019
九州 TEL福 岡(5)0768・札幌 TEL (5)6885

# 土質と基礎の形式 —基礎の設計の考え方—

KK竹中工務店　小　泉　昇

## 1. 基礎の対象としての土の性質

土は天然物である。鋼やコンクリートのような人工物とちがい，均質性，等方性がなく，その成分，組成，成因によって種々様々な性質を現わす。土はその地質に特有な層をなして堆積しているから，水平方向と同時に鉛直方向にもその性質が変化する。このように地盤の工学的な性質は複雑で，単純に一つの土質型でいい現わすことはできない。土の工学的な性質を把握するためには，もっとも対蹠的な二つの理想的な土質型を抽象化して考えてみることから出発する。それは砂と粘土という二つの概念である。

**砂**の強度はその締り工合でほとんどきまる。

図-1（a）はゆるく堆積した砂層の模型で，（b）はよく締まったものの模型である。

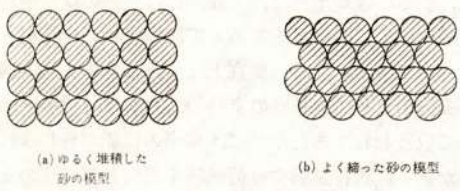



図　-　1

（a）は空隙が多く強度は小さく，（b）はその反対である。砂は振動，注水などによって容易に（a）から（b）の状態に変えることができる。砂層においては基礎の沈下はただちに起こり，沈下の完了も速やかである。砂層の許容耐力はその支持力——破壊するときの耐力——から実用的にきめることができる。特別の場合を除き沈下は問題とならない。砂は水をよく透す。したがって砂層の排水は容易であり，排水によってこれを締め固め支持力をますこともできる。砂層の支持力はその見掛けの内部摩擦角$\phi$によってきまり，現地における$\phi$は標準貫入試験の$N$値で実用的に推定することができる。

**粘土**はその粒子が骨殻をつくって堆積する。

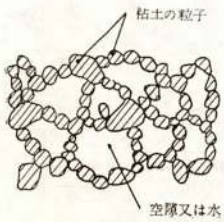



図-2 粘土の模型

図-2はその模型で殻の内部は空隙をつくっているが，沖積地の地下水位下にある粘土では，この空隙は水で飽和されているのが普通である。この水は容易に滲出しないもので，荷重が加わっても骨殻は容易に変形せずきわめて徐々に水が絞り出されて体積が縮少する。これが粘土質地盤特有の圧密現象で，地盤によってはこの沈下は数年，あるいは数十年続く。粘土層の許容耐力は支持力と圧密沈下の二つを考慮してきめなければならない。粘土層の水は容易に排水することができないし，また逆に水を透さないと考えてもよい。粘土層の支持力は内部摩擦角$\phi$が0に近く，粘着力$C$によってきまる。粘着力$C$は，乱さない試料を採取して一軸圧縮試験によってきめるのが実用的である。またこの粘着力は，こね返すと急激に減少し支持力が低下するのが特徴である。粘土層における基礎の施工法がとくに慎重を要する所以である。粘土に対する$N$値を，砂と同じように取扱うことは不確実で，是非とも乱さない試料の試験の結果の$C$によって支持力の検討をする。また圧密沈下のチェッをするときも，この試料採取が必要である。

**シルト**は砂と粘土の中間にあるものということができる。その工学的性質も両者の中間と考えてよい。実際の取扱いは便宜的に，場合に応じて砂または粘土のどちらかに割り切って考えることが多い。

現場における土は大小まさざまの粒径のものが混って成層しているが，一般に呼び慣わされている土質型を，大きな粒径を含む割合の順にならべて表示すると**表-1**のようになる。

左から右へ粒径が小さくなる。括弧はその取扱いの考え方を大雑把に示したもので，点線の部分は不確定な範囲を現わしたつもりである。

以上は無機質の土であるが，動植物の腐食物を含む土は，同じ粒径の組成でも，工学的性質はずっと右の方へづれる。また有機土はガスを含むことが多く，基礎の

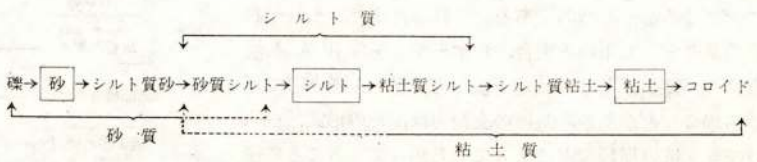



表-1 土質型。左から右へ小さい粒径を含む割合が大となる

表-2 基礎の型式。左から右へ剛性が大となる

対象としては不適当なものが多い。

## 2. 基礎形式選定に関連する事項

基礎形式の選定を地盤の土質から一元的に決定することは難かしい。基礎の設計に土と関連して考えねばならないことをつぎに列記する。

**a. 建物の構造形式** 鉄骨造，鉄筋コンクリート造，鉄骨鉄筋コンクリート造等々。鉄骨造のような靱性の大きなものでは，多少の不等沈下は大して問題とならないが，鉄筋コンクリート造のような靱性の小さい構造物は，ちょっとの不等沈下で亀裂が発生する。

**b. 建物の機能目的** 建物の使用目的によっては，微小の変形が機能上の致命的欠陥となるものがある。

**c. 荷重の種別** 地盤の支持力や変形に，影響をおよぼすような振動を発する荷重。たとえばゆるい砂層は振動によって支持力が低下し基礎が沈下する。

**d. 基礎の施工法** 基礎の施工法には多少とも掘削がともない，これがまた地盤を攪乱するもととなる。とくに粘土層は攪乱によって強度が低下する。また深い掘削では排水の方法によっては地盤をゆるめ支持力をいちじるしく低下することがある。基礎形式の選定には，どういう施工法をとるか，設計の際に考慮しておかねばならない。

**e. 経済性** 基礎の実施設計に当っては，安全性に対する工学的な検討の重要性は論を待たないが，広い視野に立つ経済的なバランスを考えることが重要である。たとえば，杭基礎を採用するときにも杭の実質的な効果，その工法の信頼性，上部構造との関連性などについて，経済的にもバランスのとれたものでなければならない。

以上は基礎の形式を決定する際，土と関連して考えねばならない要素の大要である。

基礎の形式を剛性の小さいものから，すなわち不等沈下に対する抵抗性の小さいものから大きいものへ順にならべると **表-2** のようになる。

**表-2** は**表-1** の土質型の順位と概念的には対応すると考えられるであろう。また工費の点からは左から右へ順に大になることも当然である。これらはまた，それぞれ直接基礎として用いる場合，ピヤーや杭を伴用する場合，浅い基礎，あるいは地下室などの深い基礎として用いる場合などがある。基礎の支持力は，その形式，根入り深さ，杭の種類などによってもちがってくることに注意しなければならない。

## 3. 基礎形式の決定

基礎の安全性は二つの要素，支持力と沈下の検討できまる。しかもこの二つの間には直接に関連性のないことが特徴である。どちらが先行するかは，上部構造と土の工学的性質に関連する問題である。

土の複雑さは上述の通りであるが，実際の地盤は異なった性質の層が幾重にも重さなって堆積して，その取扱いをなお複雑にする。たとえば上部に堅い砂層があっても，その下に軟弱な粘土層が厚くあるといった工合である。下の粘土層を無視して砂層だけを考えて基礎を設計すると，粘土特有の圧密沈下が年を経るにしたがって顕著になる。一般に，基礎の巾の 1.5～2 倍の深さの範囲の土質を考えればよいであろう。基礎の荷重は深さとともに拡がり，この位の深さではずっと小さくなるからである。基礎と基礎のあきが少ない場合や，ベタ基礎では建物の巾の1.5～2.0倍の深さを考える。

杭，あるいはピヤーは，本質的には基礎の荷重を地盤の下層に伝えるのが目的であって，構造物の一部材とみなすべきである。設計の便宜上，または土の工学的理解の不充分のために，基礎の支持物，いわば地盤の一形態として取扱われてきたために，本来の機能が忘れられた感じがある。杭打試験や載荷試験を過信して，杭の支持機構が結局は地盤の耐力に還元されることを忘れられる場合が多い。このことはわが国都市のような，基盤層に岩盤のないところではとくに重要である。粘土層に挟まれた砂層で支持した杭基礎が，長年月に亘って圧密沈下を起こすのもその一例である。

ある地盤の調査の結果が如何に詳細にできていても，一元的にそれにあった最適な基礎形式というものが存在しないことは前に述べた。要約すれば地盤の土質と上部構造物の規模や機能，基礎の施工法の影響などを総合して考え，安全性としかも経済的バランスのとれた技術的な判断こそ基礎形式の決定に必要な条件である。この思考の流れをチャートで現わすと **図-3** のようになるであろう。

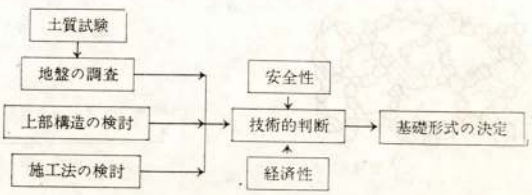



図-3 基礎形式決定の考え方

# 会　報（1月分）

## 理事会

14日　1時――2時　於ガスビル食堂別室
出席者　東畑，塚本両副会長外6理事
　　山内兵庫，井手京都両支部長
議　事　（1）通常総会開催の件
　（2）企画委員会委員委嘱に関する件
　（3）その他
　（イ）第1回日本建築祭に関する件
　（ロ）日本建築総合試験所に関する件
　（4）入退会者承認の件
　（5）報告事項

## 評議員懇談会

（技術部門）
10日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　前川評議員外6評議員
改選39年度評議員候補者19名推薦について協議

## 編集委員会

幹事会
14日　3時――5時　於会館会議室
出席者　宮秋特別幹事外5特別幹事
5月「鋼管構造特集」号企画について協議

委員会
17日　4時――6時　於会館会議室
出席者　林野委員外6委員
議　事　（1）経過報告
　（イ）2月「プレハブ住宅特集」号
　（ロ）3月「外部空間特集」号
　（ハ）4月「ホテル特集」号
　（2）5月「鋼管構造特集」号企画審議
　（3）会員の頁に投稿された掲載希望記事について
　（4）近代建築調査委員会に関する報告
　（5）6月号特集企画について

## 住宅委員会

14日　3時半――5時半　於会館集会室
出席者　海上，福永正副委員長外8委員
議　事　（1）住宅コンクール図集発行収支報告の件
　（2）次年度委員会への申し送り事項について
　（イ）住宅相談に関する件
　（ロ）年度計画の立案について

## 事業委員会

委員会
17日　6時――7時　於新町旅館
出席者　増井委員長外20委員
議　事　（1）2月，3月の事業企画について
　（2）大阪府建築士会との事業協調に関する件
　（3）見学会に関する会員よりの希望事項について
　（4）創立記念日行事に関する件

小委員会（若い会員の集い）
23日　6時――9時　於大阪市議員会館
出席者　岩本，角橋両委員
　　招待者　昨年の若い会員の集いのゲスト3氏
「若い会員の集い」の企画について協議懇談

小委員会（創立記念日行事）
28日　正午――2時　於会館会議室
出席者　政岡主査外3委員
創立記念日行事の企画について協議

## 法規委員会

22日　3時――5時　於会館会議室
出席者　佐野委員長外11委員
議　事　（1）基準法施行令の一部改正について
　（2）基準法の改正について

## 建材委員会

24日　3時――5時　於会館集会室
出席者　委員　政岡副委員長外2委員
　　大阪大学　鷲尾教授
　　使用者　大林組稲岡，高尾両氏
　　メーカー　新日本鍛工K.K.　豊田氏など
　　5社8氏
鋼製足場に関する検討会第4回を開催

## 出版委員会

給排水衛生設備編集幹事会

23日　3時——5時半　於会館会議室

出席者　田中委員長，富吉，谷川両幹事

原稿調整作業と未提出原稿の取扱いについて協議

委　員　会

29日　3時——5時　於会館会議室

出席者　田中委員長外2委員

議　事　（1）編集中の企画圖書に関する報告

（2）図書刊行の企画方針に関する検討

## 近代建築調査委員会

17日　3時半——5時　於会館会議室

出席者　滝沢委員長外10委員

議　事　（1）九州，山口県ならびに山形県における資料の報告紹介

（2）今後の発表予定について

## 日本建築総合試験所設立準備会

募金ならびに実行合同委員会

17日　2時——4時　於大阪科学技術センター

出席者　中村募金，東畑実行両委員長外14氏

議　事　（1）経過報告

（2）大阪府，市の補助金に関し陳情の件

（3）一般寄附金募集目標に関する件

（4）所長候補者に関する件

（5）設立発起人会議開催に関する件

発起人懇談会

27日　正午—1時半　於大阪科学技術センター

出席者　中村，尾崎両発起人外13氏

財団法人の役員候補者推薦について懇談

企画部会，第1，第2合同分科会

21日　2時——5時　於会館集会室

出席者　鷲尾部会長外17委員

分科会の編成再検討ならびに主査幹事の選任および今後の作業について打合せ

企画部会第2分科会

31日　2時——5時　於会館会議室

出席者　鷲尾部会長，田中主査外5委員

資料蒐集に関し協議

## 座　談　会

「外部空間の構成」対談会

23日　2時——4時半　於芦原義信研究所

出席者　芦原義信氏，神代雄一郎氏

「外部空間」座談会

27日　2時——5時　於会館会議室

出席者　植木，宮島，西沢，浦辺4氏

司会　大久保編集委員

両者とも会誌3月「外部空間特集」号企画として開催

## 建築団体合同新年交礼会

4日　1時——2時　於コクサイホテル

大阪府建築士会の当番により開催　出席者400名

## 新年午餐会

14日　11時半——1時　於ガスビル食堂

恒例により旧臘国家褒章をうけられた会員諸氏をお招きして午餐会を開催して祝辞を呈し懇談。

褒章受賞会員4氏を始め出席会員63名

## 6会長懇談会

31日　3時——6時　於京都都ホテル

日本建築学会，日本建築士会連合会，日本建築家協会，全国建設業協会，建築業協会および本会の6会々長懇談会を建築家協会の当番で始めて関西で開催し，種々建築界の問題について協議懇談，各会より会長，副会長，事務局長12名出席

## 編集後記：

「外部空間」特集で，当初企画したもののうち，執筆者の都合で駄目になつたテーマは，論説として，「街自体のまとめ方と外部空間」（岩本博行氏），「都市計画と広場」（西山卯三氏），小論随想として Visual sign（早川良雄氏），インテリアデザインとエキステリアデザイン（村尾栄），題未定（増田友也）である。

そこで，急きよ，西沢文隆氏にお願いして写真で外部空間を歌つてみてもらつた。芦原，神代両氏対談の「外部空間の構成」は，最初外部空間の理論づけをされた芦原氏に原稿をお願いしたが，お忙しいとのことそこでこれも神代氏にもご出席ねがつていろいろお話をきいたもの。

企画にご協力いただいた幹事は，大久保昌一，西沢文隆，植木茂，村尾栄の各氏。誌して感謝申しあげます。

次号は「ホテル建築特集」の予定。

前号の座談会「明日のプレハブをさぐる」の訂正

- 57頁　右段　下より16行目
  トレーラに入れ組立て→組立治具に入れ組立て
- 63頁　右段　上より2行目
  山陽線用とまち→客車用などとまち
- 66頁　左段　下より1行目
  棒に対する防ぎより→車棒に対する防ぎよ，
- 66頁　右段　上より1行目
  泥であることを→であることを

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

**耐酸スタンダードメタル**

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

**大島応用化学工業株式会社**

本 社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931)7071—3
支 店 新居浜・東 京・名古屋・四日市・広 島・富 山

**田中式**
スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2—89

TEL 大阪 ㈱6341(代表)・㈱6342

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1—25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4—122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3—43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株)
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区桜木町308
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2—93・吉田工務店

TEL 東京(623)代表0106—0108・(622)0790
TEL 東京(611)2118—9
TEL 小倉(52) 2833・2834
TEL 川崎 ② 7594—5
TEL 札幌 ③ 6762・0515
TEL 盛岡 ② 7642
TEL 名古屋 (57) 7641
TEL 米子 ② 4683

信用ある技術と伝統の

**アスファルト工事**

専業大店

大阪市北区真砂町五番地
電話 大阪(三四一)二〇七~八・四八三六~七

**株式会社久保商店**

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役 城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸4局 5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 大阪電気商会
会社 大阪暖房商会

取締役社長 菅谷三郎

本店 大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話 大阪㊾大代表8231番
支店 東京・名古屋・福岡
出張所 京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話 大阪(443)5041～5番
本店 東京都中央区新富町3丁目5番地(菊栄ビル)
電話(551)7450～9番

金沢営業所 金沢市高岡町三五 電話金沢②2074
福井出張所 福井市城之橋下町一〇 電話福井②2426
高松出張所 高松市二番丁九 電話高松②5195
岡山出張所 岡山市大供松ノ木三八〇ノ一 電話岡山③7047

創業 大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 斎藤省三商店

東京店 東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店 大阪市西区土佐堀通 大同ビル714号
電話大阪(443)3361～5
札幌店 札幌市北四条西16丁目1番地 高田屋ビル二階
電話札幌②0010・0956・③4661
名古屋店 名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号
電話中局㉔1766 ㉕3042

建築設備・金属製建具
荷役運搬機械・環境衛生施設
化学・鉱山機械

三機工業株式会社 大阪支店

取締役社長 山田熊男
取締役支店長 樋口勝栄

大阪市東区北浜2—33(三井信託ビル) 電話大阪(202)代表3071
本店 東京都千代田区有楽町1丁目10番
支店・出張所 名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・富山・金沢・静岡・高松
工場 相模・鶴見・六郷・中山・高槻

須賀工業株式会社

空気調和衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14 電話441—5171
支店—東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 建材社
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目 (新朝日ビル5階)
電話大阪㉓3721(代)
本社及東京支店 東京都中央区八重洲三丁目七
営業所 名古屋市中区菅原町2丁目
(センタービル)
連絡所 広島・北陸・浜松

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀1丁目62 電話(441)代表2613・代表9431
出張所 東京都北区上十条1丁目10 電話(911) 3941
名古屋市中村区牧野町1の6 電話(54) 0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1 電話(4)1778・4386
広島市中町2番地の4 電話(2)7575・7588

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社 大阪市北区富田町16 代表(341)7031
支店 東京都千代田区小川町2丁目1 桧ビル (201)7751-3
福岡市養巴町22 (74)1158
出張所 名古屋市中区新栄町2丁目1 (97)1820
福井市宝永上町105 (2)1596
松江市東本町4丁目147 (2)5098
広島市紙屋町8 (21)4537

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
**高砂熱学工業株式会社**
大阪支店
大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話 大阪（312）4521（代表）
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
**東洋キヤリア工業株式会社**
大阪支店
大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話 大阪(341) 8356
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2(三井第二別館)
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360

暖冷房・水道衛生工事
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長 中山敏正
本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話 大阪 ㊾ 3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話 (351) 2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三、電話元町④3035番
仙台出張所 仙台市東四番丁四五 電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工
株式会社 **朝日工業社**
大阪市東淀川区加島町357 電話㊿2271～9(代)
東京支社 東京都港区芝浜松町2—7 電(431)7341～5
支店 北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
**第一工業株式会社大阪支店**
大阪市北区富田町30 電話大阪㊾ (代表)0977 / 0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内3—2(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561 (代)
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話 ⑨ 2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
**日本管工業株式会社**
代表取締役 市川繁雄
本社 京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話 ㉒ (代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話 ㉛ 8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工
**日本熱学工業株式会社**
社長 牛田正郎
本社 大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話 大阪 ㊾ 8671
大阪事業本部 大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話 大阪 ㊾ 8671
東京事業本部 東京都新宿区四ツ谷三条町18 日熱ビル
電話 ㊾ 4924～7
名古屋支店 名古屋市中区城代町7
電話 ㉓ 4690・3520
営業所・出張所 下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

暖・冷房、温湿度調整、衛生設備
設計・施工
**大嘉熱工業株式会社**
取締役社長 三木徳次郎
大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話 大阪 ㊾ 2530・2538～9・2085 (代) 5725
東京 東京都千代田区西神田一ノ八
電話 東京 ㉙ 8002～3
出張所 富山市衣服町十番地
電話 富山 ② 6623

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工
**第一企業株式会社大阪支店**
大阪市北区天満橋筋4—71
電話 ㉛ 2808・2809・2800・2134
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話 (811) (代表) 6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工
**理研鋼機株式会社**
大阪営業所 大阪市北区宗是町1（大ビル）
電 大阪代 ㊶ 8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電 東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電 東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

## 工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪 ㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話 (551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡・高松

各種電気工事設計施工

## 浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄

本社 大阪市北区老松町2丁目22
電話 大阪 (362) 8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話 (481) 8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事・計装工事
設計施工

## 栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区永楽町8番地 (日産生命館)
電話 大阪 ㊱ 代表 1234～9
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事全般設計施工

## 中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪代表 ㊱ 8131～7
東京支店 東京都港区芝金杉町二丁目十三番地
営業所 名古屋・神戸・新宮・御坊・松山・草津

空調衛生設備用各種自動制御盤
監視盤・グラフィック盤・指示計器盤
端子盤・高低圧受配電盤・分電盤
各種フロートスイッチ・其の他
各種自動装置用電気機器設計製作

## 森井電業株式会社

取締役社長 森井定勝
専務取締役 佐野春吉

本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京 (451) 代表9611
支店 大阪市北区常安町十六番地
電話 大阪 (441) 代表9516・夜間専用0502
出張所 名古屋・広島・福岡
工場 東京・大阪・福岡・名古屋

各種電気工事設計施工

## 株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長 山本龍太郎

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

## 三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社 大阪市北区絹笠町五〇 (堂ビル三階)
電話 (312) 1471 (代)
支店 東京都中央区西八丁堀四丁目十 (後関ビル三階)
電話 (552) 0591～4
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (99) 5131～3
出張所 小松市符津町オ四四ノ三
電話 (栗津) 237
出張所 堺市三宝町七丁目三六九

電気工事
設計・施工

## 朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三

本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話 大阪局 ㉙ 9531 (大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話 大阪局 ㊾ 5201番(代表)～3
出張所 京都市中京区西ノ京中合町二十八ノ十一
電話 京都局 ㉞ 3481番

電気工事設計施工

## 江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎

本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716) 4035 (代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京 (371) 6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

## 中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪 (931) 代表7341～5
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一—三
資材倉庫 電話 (931) 2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
**八千代電設工業株式会社**
取締役社長 梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊾ 6531（代）～6
支店 名古屋
出張所 東京・岡山・北九州

電気工事設計施工
株式会社 **三興社**
代表取締役 林 敏夫
本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊾ 3671（代）
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊻ 1478～1478
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工
**東光電気工事株式会社**
**大阪支社**
支社長 姉川正男
大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計 ㊞ 製作
**日本エレベーター工業株式會社**
本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所 東京都台東区長者町2－7（豊富ビル）
電話（832）5241代表
名古屋営業所 名古屋市中区宮出町58
電話（24）8416

社寺数奇屋用瓦…大仏瓦
耐風雨緩勾配用瓦…大和瓦
美術建築内外装用タイル…大仏タイル
**株式会社 大佛**
本社 京都市東山区大仏南瓦町709（56）3555
大阪営業所 大阪市北区空心町1丁目28（351）3725
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目30（88）0703
東京営業所 東京都渋谷区上原1丁目29の4（461）2703
1641

株式会社 **矢橋大理石商店**
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九 野村ビル五階
電話大阪 ㉙ 4257－8番

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㉙ 1756—7・東京 ㉘ 1335

床・壁・天井
内装材一式
㊒ **丸駒建材株式会社**
営業所 大阪市西区北堀江通1－10
電話（541）代6151・3947

鉄骨・加工
設計・施工
**新鋼建設工業株式会社**
取締役社長 吉田信武
本社 大阪市西区立売堀北通1—76
電話（531）0609・6575・7418
（541）8166・8349
夜間専用（531）2053
工場 大阪府大東市三箇425

工業用及建築用各種石灰製造販売
セメント
小野田 セレミコンク 特約販売店
ブロック
セントラル硝子特約販売店
**樫野石灰工業株式会社**
**大阪支店**
大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）電話大阪㊾1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

TKK

アルミニウム
ステンレス　　カーテンウオール
ブロンズ

**東京カーテンオール工業株式会社**
（旧社名東京鋼板工業株式会社）

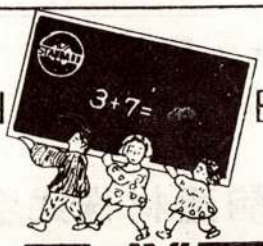
本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話（891）8131～8
大阪支店　大阪市北区富田町18番地島根ビル
電話（361）9154～7
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）⑭8825




陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・アンホール
株式会社
**三幸商會**
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話 大阪㊱4032

特許
**白蟻**
松平式白蟻殺滅予防所
奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639

**コペンハーゲンリブ**
商月報無料送呈
井田ベニヤ
**井田商事株式会社**
大阪市浪速区西円手町一〇一七番地　湊町駅貨物八号門前
電話　(562) 0800, 0808～9




Standard Board & Slate
**フタバ黒板**
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地電話 大阪 (741) 4692番

奉仕感謝の店
**タイル 衛生陶器**
㊫ 株式会社 **川岸窯業商店**
大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話大阪・㊫ 8467～9番



**素晴らしい花格子!!**
三次立体加工の決定盤
**クトクラッマー**
クトク
の新建材

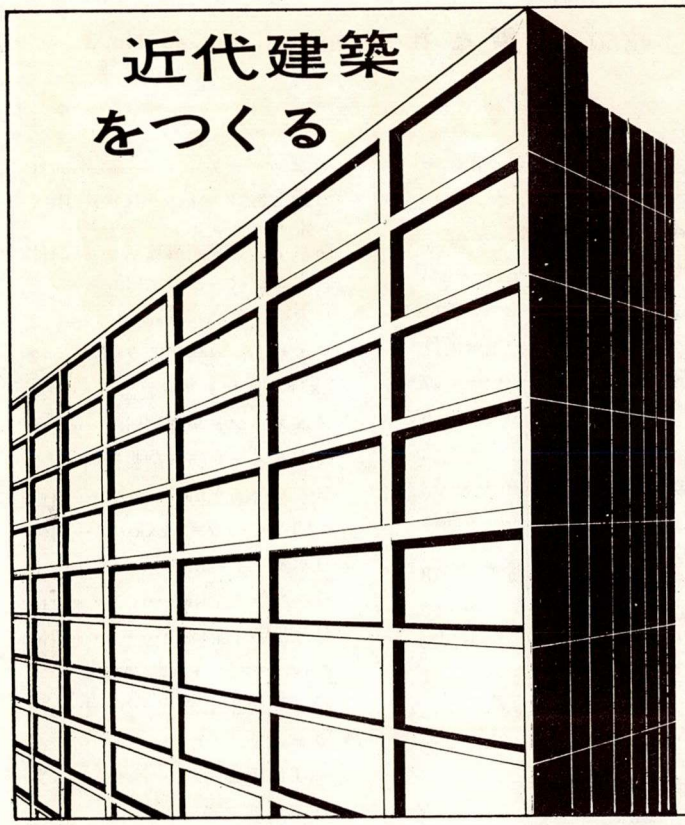
プリント合板
ビニオン
ビニライト
リズムウッド
美装パネル
九徳天井板
強力合成接着剤
**ブルータイン**

**浪速合板株式会社**
大阪市浪速区幸町通3の20　TEL 561 2201 代
東京出張所　東京都荒川区日暮里町8の618　TEL (807) 0250

# 広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和39年 Vol. 45 No. 3


ア アサヒカラコンkk……13
アスファルト同業会関西支部 19
アルケン工業kk……10
kk朝日工業社…… 3
朝日石綿工業kk…… 表4
浅海電気kk…… 4
井田商事kk…… 6
伊奈製陶kk……中挟
岩元工業kk……14
kkエバレヂン工業所……10
kk栄興商会…… 3
永和工業kk……15
オリエンタルメタル製造kk……前付
大阪瓦斯kk……前付
大阪機工kk…… 8
kk大阪城口研究所…… 2
大阪耐酸工業所……16
kk大阪電気暖房商会…… 2
大島応用化工業kk…… 1
kk奥村重兵衛商店……20・本文
奥山化工業kk……17
カ 樫野石灰工業kk…… 5
kk桂商会……前付
亀井kk……16
kk川岸窯業…… 6
関西煖房工業kk……16
関西三星タイル会…… 表4
クマガイ工業kk……前付
工藤電気kk…… 4
kk久保商店…… 1
栗原工業kk…… 4
(有)黒川化学工業所……15
kk建材社…… 2
江東電気kk…… 4
合同特許建材工業kk……本文
神戸製鋼所……前付
サ 斎久工業kk…… 2
kk斎藤省三商店…… 2
三栄建材工業kk……16
三機工業kk…… 2
kk三幸商会…… 6
kk三晃商会…… 2
kk三興社…… 5
三宝電機kk…… 4
敷島金物kk……前付
渋谷金属産業kk……前付
kk新興建材工業所……17
新鋼建設工業kk…… 5
須賀工業kk…… 2
kk鈴木シヤタア商会……13
住友金属工業kk……前付
石綿スレート同業会 関西事務所……18
タ ダイケンサッシkk……20
田島応用化工kk…… 表2
田中工業kk…… 1
kk田中風呂製作所……13
田辺工業kk……本文
第一企業kk…… 3
第一工業kk…… 3
大嘉熱工業kk…… 3
大日本硝子工業kk……14
kk大　仏…… 5
高砂熱学工業kk…… 3
kk武智工務所……本文
kk谷山製作所……前付
中央電気工業kk…… 4
朝陽電気kk…… 4
テイパ化工kk……前付
東京カーテンオール工業kk… 6
東光電気工事kk…… 5
東芝商事……本文
東洋キヤリア工業kk…… 3
東洋陶器kk……前付
東洋リノリュームkk……前付
ナ ナニワ瓦kk……14
内外建材kk……15
内外工業kk……13
中本電気kk…… 4
浪速建材工業kk……18
浪速合板…… 6
kkニッカナ……前付
日新工業kk……中挟
日本アスファルト防水工業会関西事務所……前付
日本エレベータ工業kk…… 5
日本管工業kk…… 3
日本サッシ協会関西支部……12
kk日本シヤッター製作所… 表3
日本スピンドル製造kk……前付
日本セメント防水剤製造所…表3
日本綜合防水kk……前付
日本ドアーチエツク製造kk……前付
日本熱学工業kk…… 3
日本冷熱工産kk……13
日瀝化学工業kk……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk西原衛生工業所…… 2
ハ kk林塗装店…… 5
kk美素工業所……本文
kk平川鉄工所……前付
平田タイル……15
広瀬ハウス工業kk……前付
フタバ黒板…… 6
二葉屋装備工業kk……14
マ 松平式白蟻殺滅予防所…… 6
丸駒建材kk…… 5
kk満点製作所……11
ミヅシマ工業kk……前付
kk三高製作所……11
水谷ペイントkk……本文
森井電業kk…… 4
ヤ kkヤマト電気商会…… 4
八千代電設工業kk…… 5
矢橋大理石商店…… 5
山田工業kk…… 2
山本建材社……前付
山本窯業kk……本文
kk油脂化工社…… 表3
kk吉田芳雄商店……14
吉野石膏kk…… 8
ラ 理研鋼機kk…… 3



近代建築
をつくる

# アルミ.サッシ

■サッシ・ドアー　■ルーバ
■カーテンウォール　■プレハブサッシ
■その他　特殊設計と製作

## 大阪機工株式會社
サッシ事業部

本社　大阪市大淀区豊崎西通1の4　電話（371）664～5
工場　兵庫県伊丹市北村猪名川製造所　電話伊丹(大代)5121
（福知山線北伊丹駅前）




TIGER BRAND

■待望の世界の建材
# ニュータイガーボード

燃えない建築資材！
■準不燃材料・難燃材料

■新時代の壁材
# YNプラスター

■60年の歴史・最大の生産
# 吉野の耐火ボード

■特性
長手の方向を表面の厚紙でヘリ折り被覆した強靱で美麗な新しい耐火ボード

カタログ進呈

石膏ラスボードを下地にすれば和洋壁が3－7日で出来る

石膏ラスボード
タイガートーン
アートボード
秋田杉耐火ボード

## 吉野石膏株式会社大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25（新大阪ビル）
電話（341）2557
本社　東京都千代田区丸ノ内2の6
営業所　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
工場　東京・福岡・四日市
（菱化吉野石膏）秋田・高砂

# 強力 ㊇ ギルソイドとアスタイト 防水

何よりも安心できる
年限仕様

**西アス '63改訂**

■伸び率が極めて大きい。下地の亀裂や動きに順応する。

■柔軟で折りたゝんでも丸めても損傷せず、裂けにくく、ねばりがあって、相当温度が下ってもこの性質がかわらない。

■腐らない。

■施工後変質や変形のおそれがなく長期間の防水効果を保証する。

| 地区 | 組合員名 | 住所 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 近畿（順不同） | (株)久保商店 | 大阪市北区真砂町5 | 大阪(341)0207～8・4836～7 |
| | (株)木下謹三商店 | 大阪市西区江戸堀南通5ノ35 | 大阪(441)5408・5486 |
| | (株)井上浄夫商店 | 大阪市西区江戸堀下通1ノ7 | 大阪(441)8531～5 |
| | (株)大和商会 | 大阪市南区高津町4番丁73 | 大阪(631)6221～4 |
| | (株)石田建材店 | 大阪市東淀川区今里北通り1ノ31 | 大阪(301)3340・3505 |
| | 内外工業株式会社 | 大阪市阿倍野区旭町1ノ51 | 大阪(641)3434～6 |
| | 旭化建工業株式会社 | 大阪市北区茶屋町38 | 大阪(371)6555～7 |
| | 日本瀝青工業(株)大阪支店 | 大阪市北区富田町40 | 大阪(361)5496～8 |
| | 石井建材有限会社 | 神戸市兵庫区荒田町1丁目 | 神戸(5)2140・2697 |
| | (株)中出商会 | 神戸市兵庫区上沢通6ノ9 | 神戸(5)4630・4650 |
| | タテバヤシ商店 | 京都市下京区四条大宮南入学校前 | 京都(81)0871～2 |
| | 田島応用化工(株)大阪出張所 | 大阪市西区京町堀1ノ74 | 大阪(441)5951代表 |
| 東海 | 岡田建材株式会社 | 名古屋市西区桜木町3ノ8 | 名古屋(57)7461～3 |
| | (株)名建商会 | 名古屋市中区富出町41ノ2 | 名古屋(24)1329・2817・2106 |
| | 高橋建材店 | 名古屋市中区材木町1ノ12 | 名古屋(23)3295 |
| | 日東物産株式会社 | 名古屋市中区東瓦町39 | 名古屋(24)6176～9 |
| 北陸 | 北川瀝青工業株式会社 | 金沢市西側町8 | 金沢(4)1131～5 |
| | 北川瀝青工業(株)富山出張所 | 富山市奥田新町23 | 富山(2)2218(3)1014 |
| | 北川瀝青工業(株)福井出張所 | 福井市大和中町70 | 福井(3)1134 |
| | (株)小島工務店 | 高岡市大坪旭町2丁目32ノ1 | 高岡(3)2463 |
| 中国・四国 | 青盛建材株式会社 | 広島市鉄砲町108 | 広島(21)2281～7 |
| | 青盛建材(株)岡山営業所 | 岡山市東田町3 | 岡山(3)8285～7 |
| | (有)小野甚商店 | 岡山市内山下30ノ10 | 岡山(2)4272 |
| | (株)浜原豊商店 | 尾道市吉和町新浜 | 尾道 2760 |
| | (株)浜原豊商店防府支店 | 防府市大林寺 | 防府(2)3611 |
| | 古市断熱工業株式会社 | 高松市宮脇町960 | 高松(3)5034 |
| | 正和商事株式会社 | 松山市1番町21 | 松山(2)8161～5 |
| 九州 | 青盛建材(株)福岡営業所 | 福岡市万行寺前町14 | 福岡(2)5566～8 |
| | 高稲工業株式会社 | 長崎市大橋町138 | 長崎(4)1726 |
| | 高稲工業(株)小倉営業所 | 小倉市西本町2 | 小倉(56)6177 |

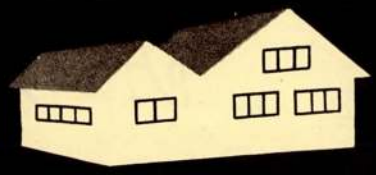
建設省阪建22号認可

## 三星 西日本アスファルト事業協同組合

| | | |
|---|---|---|
| 大阪 | 大阪市西区京町堀1－74 | TEL (441)代表5951 |
| 名古屋 | 名古屋市西区桜木町3－8 | TEL (57) 2732 |
| 広島 | 広島市鉄砲町108 | TEL (21) 2281 |
| 博多 | 福岡市万行寺前町14 | TEL (2) 2807 |
| 岡山 | 岡山市西古松299－5 | TEL (4) 2692 |
| 東京 | 東京都千代田区神田岩本町13(田島応用内) | TEL (866)代表6101 |

# 住友の アルミサッシ・ドア

押出し型材使用



アルミサッシ使用率　米国 70%　西独 26%　日本 6.5%

雨の多い日本には……
雨仕舞の良い気密な窓を
錆びない・軽るい・精度が高い



製造　取付

## アルケン工業株式会社

尼崎市汐江字ゴメウ1—1　電話(401) 6978

---

建築に／完全な E.P.防水工法 をご存じですか ?

合成樹脂防水剤

# EVER RESIN

エバレヂン

株式会社 エバレヂン工業所

大阪市北区鳴尾町10番地
電話（341）6260・（362）9575　6

エバレヂンチェインストアー

(東　京)東京都新宿区柏木5－1003 (369) 1036
(札　幌)札幌市南1条西8丁目2(菊池ビル)(61)0051
(北　陸)石川県小松市竜助町3小松1948
(名古屋)名古屋市中村区日置通4丁目12(33)5581
(三　重)三重県津市古河東松原279 (8)3926
(京　都)京都市上京区河原通荒神口下ル (23)2840
(神　戸)神戸市東灘区住吉町唐松67 (85)5723
(和歌山)和歌山市宇須365 (2) 8427
(岡　山)岡山市栄町14 (2) 5258
(広　島)広島市油屋町21 (28) 2943
(高　松)高松市3番町6－6 (2) 5310
(松　山)愛媛県松山市高砂町2丁目61 (3)1915
(徳　島)徳島市南佐古町10丁目35－1 (2)9595
(高　知)高知市金子橋10 (2) 8470
(福　岡)福岡市西中州11街区6号(三光ビル)(76)5972
(大　分)大分市大道町4丁目2組
(宮　崎)宮崎市和知川原町365
(沖　縄)那覇市壺屋町203 (8) 7279

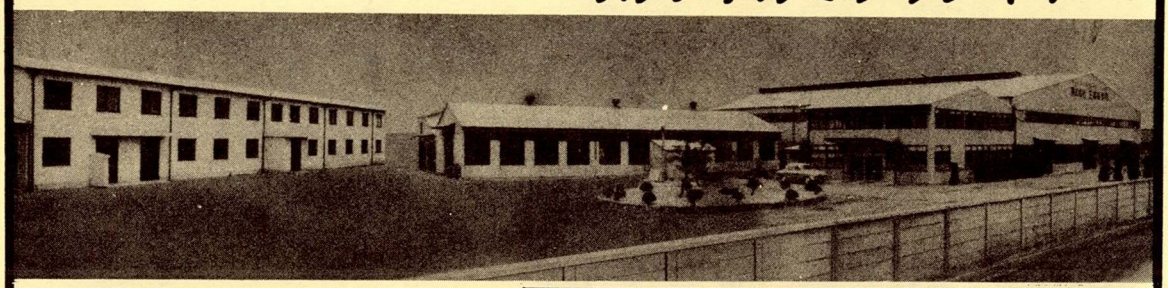
オートメーションでボンデー並びに完全焼付塗装に依る

錆びない ● 三高式

スチールサッシ・ドアー・シャッター

オペレーター・ドアーハンガー

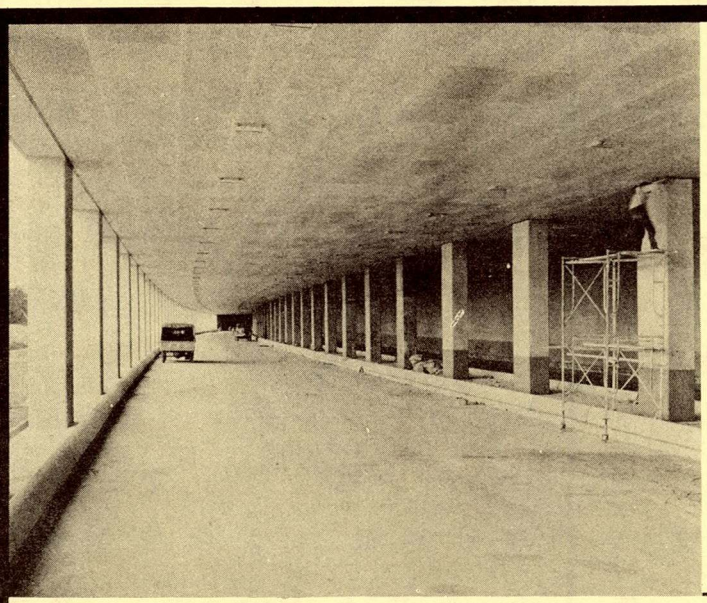
ステン・アルミサッシ・ドアー



TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ヶ崎市神崎五反田280 電話 大阪 (401) 6158・6159



マンテンの金属建材

金属下地材の決定版、あらゆる貼上材にマッチする各種タイプ有

SK式金属下地ネールロック

組立簡単、移設自由、デラックスな感じがする間仕切システム

可動間仕切ムービーパネル

吸音効果満点、仕上げが美しい、取付けが簡単

アルミ建材パラホン・スパンドレル

発売元 住友商事株式会社 物資部

■名神高速道路千里山トンネル施工現場・ネールロックはビル、工場、体育館などの他に地下街、トンネルなどにも大いに使用されております■

製造元 株式会社 満点製作所

本　社　大阪市南区日本橋筋3丁目2番地 電話 大阪(632) 1151(代)

東京営業所　東京都江東区亀戸町2丁目114番地 電話 東京(682) 3241(代)

建築金物
ドア錠……モノロック公団用MR錠
軽量ドアチェック……アルペット、ミゼット
特製窓金具……モノトコ、ホッパー
その他高級建築金物一切

新家庭金物
ハンガーボート架金具
飾り棚付金庫チャームセイフ
ハニースクリーン、マイハンガー

# サッシ・ドアの設計・施工は
## 伝統と信用のある下記協会員へ

西日本規格サッシ（株）
大阪市北区神山町26(富国信用ビル)　(361) 6501

朝日建材工業（株）
高松市木太町洲端2169　高松(3)3181

旭サッシ工業（株）
大阪市城東区野江西之町1ノ44　(931) 3561

尼鉄建材（株）
尼崎市西向島町270　(401) 6301

（株）石居工業所大阪営業所
大阪市北区老松町3ノ23(新老松ビル)　(361) 5965

岩住サッシ（株）
尼崎市守部字下河原15　(401) 6751

栄進鋼業（株）
大阪市城東区野江西之町2ノ2　(931) 8261

（株）栄進社大阪営業所
大阪市大正区南恩加島1　(551) 1718

大阪機工（株）
大阪市大淀区豊崎西通1ノ4　(371) 0664

ダイケンサッシ（株）
大阪市城東区野江東ノ町1ノ12　(931) 3351

（株）大阪鉄工所
大阪市西区本田町1ノ44　(531) 1254

大阪理研工業（株）
豊中市神州町2番21号　(391) 0661

加地シヤッター工業（株）
大阪市生野区中川町3ノ15　(731) 1020

川鉄建材工業（株）
神戸市東灘区魚崎町魚崎　神戸(85)4343

（株）関西鋼業製作所
大阪市城東区野江中之町2ノ5　(931) 6045

（株）建鋼社
広島市中広町1002　広島(31)7293

三機工業（株）大阪支店
大阪市東区北浜2ノ22(三井信託ビル)　(202) 3071

昭和工業（株）
大阪市城東区茨田横堤町39　(931) 8903

昭和鋼機（株）大阪支店
大阪市西淀川区佃町3ノ155　(471) 6051

田中工業株式会社大阪出張所
尼崎市南竹谷町2ノ89　(401) 6341

（株）高橋サッシュ製作所
新居浜市中村字西松木223　新居浜5111

谷山鋼機（株）
大阪市城東区茨田横堤町230　(931) 7191

中国金属（株）
広島市舟入川口町594　広島(31)9476

中国理研サッシュ（株）
広島市舟入幸町612ノ1　広島(31)2081

東京カーテンオール工業（株）大阪支店
大阪市北区富田町18(島根ビル)　(361) 9154

（株）中本鉄工所
大阪市福島区海老江下2ノ74　(458) 0931

浪速建材工業（株）
大阪市城東区茨田横堤町41　(931) 1171

日本建業（株）
大東市大字新田21　大東(72)1581

日本建材工業（株）
尼崎市久々知字山の口　(401) 5794

日本建鉄（株）大阪営業所
大阪市北区堂島上2ノ36(毎日産業ビル)(361) 6758

日本スピンドル製造（株）
大阪市東区備後町3(綿業会館)　(202) 7991

（株）汎建製作所
大阪市此花区西島町3ノ15　(462) 4661

不二サッシ工業（株）大阪支店
大阪市西淀川区御幣島中3ノ4　(471) 7651

（株）三高製作所
尼崎市神崎五反田280　(401) 6158

理研鋼機（株）大阪営業所
大阪市北区宗是町1(大阪ビル)　(441) 8621

六甲工業（株）
大阪市西成区旭北通2ノ2　(632) 2921

社団法人 **日本サッシ協会　関西支部**

支部長　福田好雄

大阪市北区神山町26（富国信用ビル）　(361) 6501

## 鈴木式防火シヤタア

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33　電話㊫0098・5837・8729・6810・8555
北陸営業所　金沢市長田町119　電話②2287

減らず・滑らず・美しい モルタル打と同時仕上る 美装床材

## カラコン ダイヤコン

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノロ汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（坪当り材料代¥ 950）仕上り厚さ約2㎜程度学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室、プール等に最適であります。

（カタログ進呈）

製造発売元
アサヒカラコン株式会社
大阪市此花区四貫島旭町1−3 TEL(461)3594・(462)0284
工場 大阪市此花区四貫島旭町1

## N.G.C.式

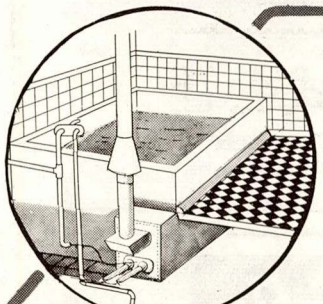
N.G.C.インシュライト工事責任施工
米国パブコ．コンパウンドアスファルト販売

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

## 内外工業株式会社

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話(641)3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.C.インシュライト断熱材製造発売元



## 田中のガス風呂

ミリオンポリバス浴槽

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵

大阪ガス会社指定

## 田中風呂製作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　(641)5313・8128

特約販売・工事店

東洋キヤリア工業株式会社
東洋ゴム工業株式会社
(株)大阪パッキング製造所
大洋産業株式会社

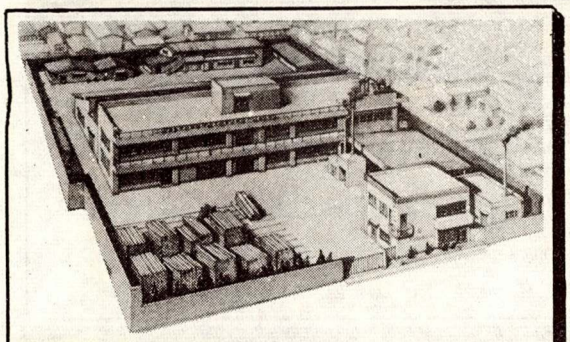
販売工事

各種保温保冷材料　冷暖房工事
各種冷暖房機器　防熱防音工事
冷凍機・石綿製品　各種配管工事
各種樹脂加工品　設計施工

## 日本冷熱工産株式会社

取締役社長 石川良興

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1の16（石川ビル）
電話大阪(443) 3661～5
九州支社及長崎営業所　長崎市茂里町13番地　電話(4)0092・0308
営業所及出張所　広島・福岡・小倉・大分・徳島・舞鶴・東京



FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具建具・室内装飾工事 設計施工
内外装飾織物・敷物類一式

（創業大正7年）

二葉屋装備工業 株式会社

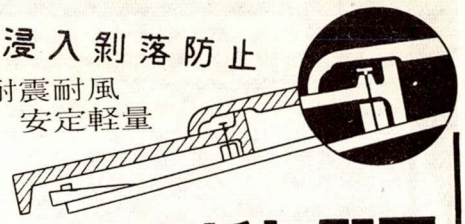
取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・大阪 (371) 3321～3・3630

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪(341)2403・3904

雨水浸入剝落防止
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目卅一番地 電話(641)番



耐震耐風
安定軽量

ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波） 長サ 965㍉ 1㍉

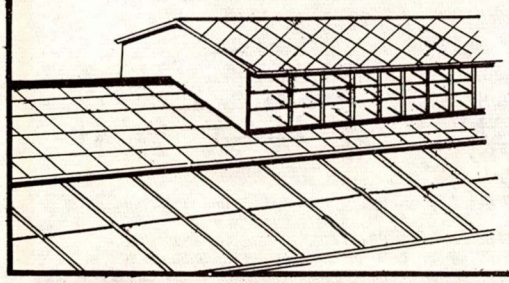
ダイニチ・アーモライト 波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波，寸法（長尺物有）

製造販売 大日本硝子工業株式会社

大阪支店　大阪市北区玉江町2ノ4（三菱倉庫ビル）電㈱1389・3389
本　社　神奈川県相模原市小山字久保224　電⑦3101～4

岩元式 スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工




カタログ進呈

岩元工業株式会社
本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618

製造発売元・責任施工

特許 ニッポン防水液
ニッポン防水液B号
ニッポン急結液壱号
ニッポン耐寒剤
ニッポン防水目地材
ビルコート
標準セメント防水剤

特許 ニッポン セメント防水剤
国立大阪工業試験所御墨付 ○強度増加 ○絶対防水 ○硬化促進

黒川化学のセメント防水

有限会社 黒川化学工業所
本店 工場 神戸市東灘区住吉町反高林 TEL (86) 2723

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

特許 内外式
電動ベンチレーター

安定したスマートな外観
モーターファンによる高率換気
内外の技術陣が生んだ傑作

内外建材株式会社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL(441)3983・4396
工場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL (962)1149

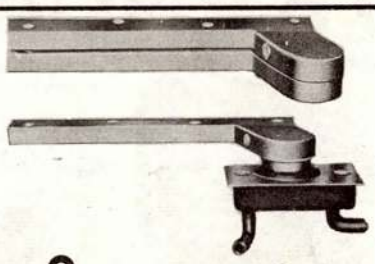
内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式 連続採光換気装置
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計 施工

タイル
衛生陶器
エスロンタイル
サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1
電話 (531)1003～5 (541)8731～3



ピボットヒンジ
ドアーヒンジ

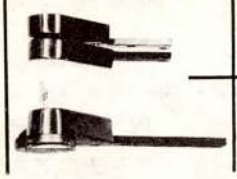
特徴
■軸はステンレスとデルリンで荷重を受け摩耗はない
■完全な防塵・防水構造
■木造・コンクリートの両面兼用式

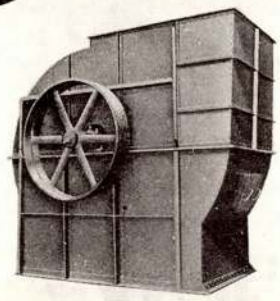
JIS規格表示許可工場
日本住宅公団指定メーカー

Art 永和工業株式会社

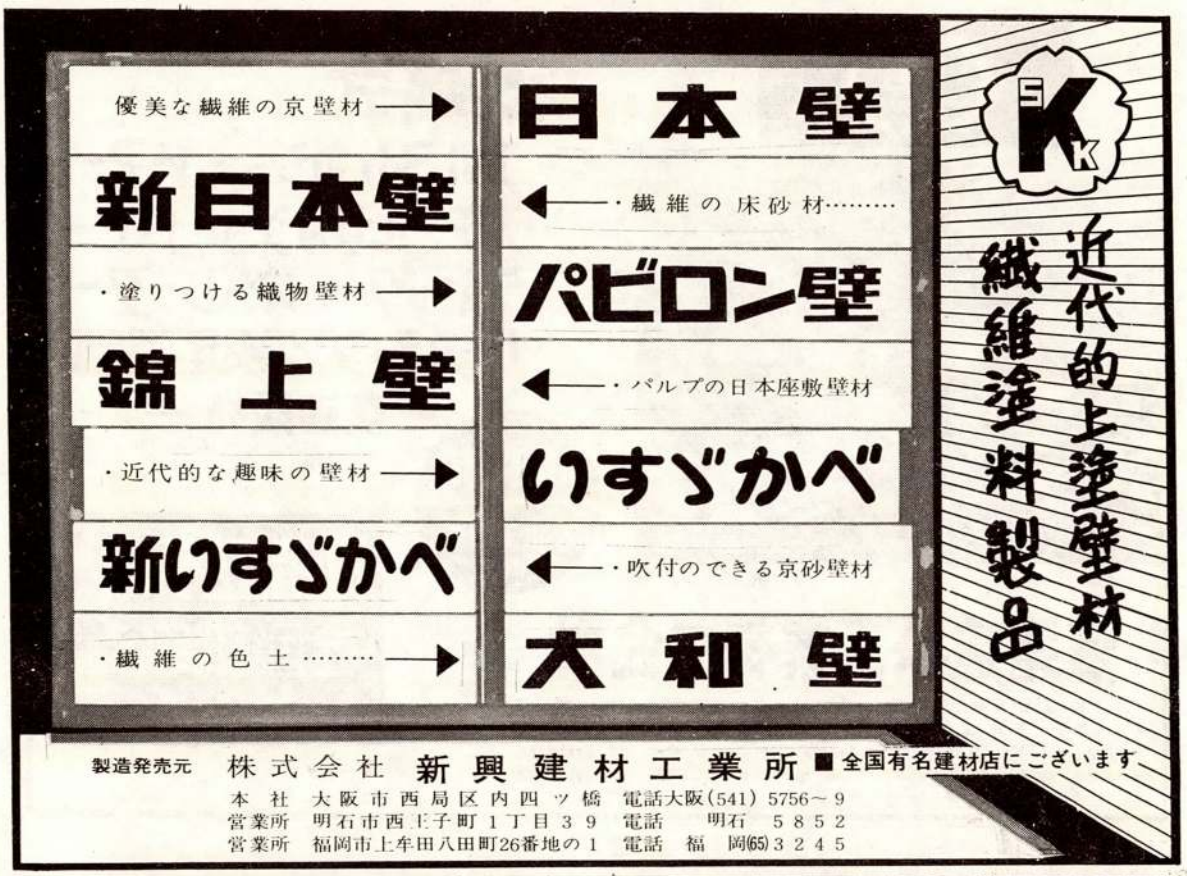
大阪市生野区巽矢柄町128
TEL (741) 代表1627

窓掛、緞帳、日際、壁紙 **室内装飾** 絨 氈、舗床材一般
東洋リノリユームの **東リカーペット** 発売元
# 亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話 大阪(251)1353(代)～6

ナイロンベアリングで扉の開閉が軽快！
555

**ピボットヒンジ**
■ボンデライジングによる完全防錆加工器
■回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久器
三榮建材工業株式会社
大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪(741)4655(716)0188～9

KANDAN
**煖冷房温湿度調整**
設計 施工

**各種送排風機**
設計 製作
## 関西煖房工業株式会社
本社 大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話 大阪(672)1281(大代表)～9
堺工場 堺市浜寺石津町中2丁目200番地
電話 堺③7301(代表)～3
出張所 名古屋・福岡・徳島

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事
**アスファルト専門工事**
アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事
# 大阪耐酸工業所
大阪市北区浮田町82番地 電話大阪(371)1333番







陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

# カッパー防水帯

コーパータイト

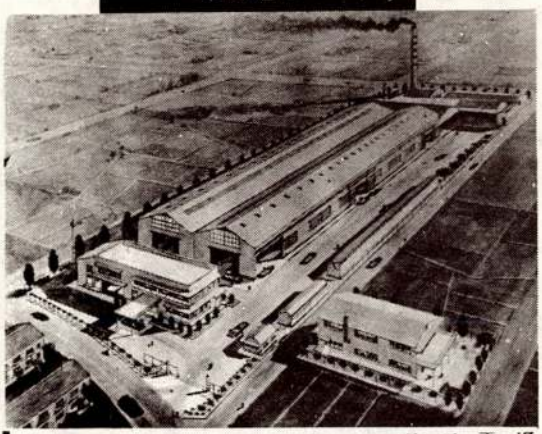
特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

## 奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3 電話(571)2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所 名古屋市南区若草町33 電話(81) 3660

●御申越次第カタログ進呈

(NK)



第二工場

# 浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地電話大阪(931)1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地電話大阪(931)6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目本換館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話 大分 1366番

## 浪建式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

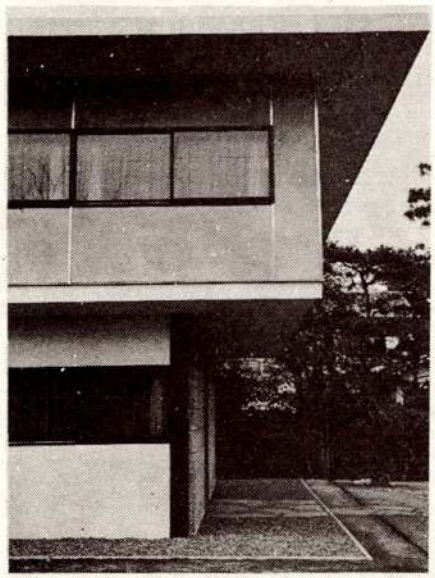
NANIWA
大正十四年
創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工



燃えない家で明るい暮し！

通商産業省認定工場 不燃 No.



建築基準法定不燃材料

## 石綿スレート

フレシキブル板
平　板・軟質板
パーライト板
孔あき板
サンドイッチパネル
小波板・大波板
（着色・化粧板他 各種加工品あり）

美しいカタログお送りします

石綿セメントボード協会
波形石綿スレート協会

東京都中央区銀座7—3朝日石綿ビル
電話（571）1359・6914

# アスファルト防水の材料と工事は

(五十音順)

◀製造業社

| | | |
|---|---|---|
| 協和建材工業K.K. | 大阪市東淀川区田川通5丁目91 | (301) 6437・6438 |
| K.K. 工英社 | 大阪市西成区橘通9丁目24 | (661) 8861～2 |
| K.K. 工盛社 | 大阪市城東区西鴫野6丁目43 | (961) 4460・8288 |
| 田島応用化工K.K.大阪出張所 | 大阪市西区京町堀1丁目74 | (441) 5951 |
| 大恵工業K.K. | 大阪市西淀川区姫島町1690 | (471) 3131～2 |
| 東亜工業K.K. | 八尾市宇太子堂629 | 八尾(2)2308・3039 |
| 日瀝化学工業K.K.大阪営業所 | 大阪市東淀川区堀上通3丁目39 | (391) 0924～5・2045 |
| 日新工業K.K. 大阪支店 | 大阪市西区新町北通1丁目18 | (531) 5281～3 |
| 関西化工K.K. | 堺市浜寺船尾町東4丁目270 | 堺(6)1788～9 |
| アオイ化学工業K.K. | 広島市出汐町22 | 広島(4)2931・3952 |

◀販売業社

| | | |
|---|---|---|
| 丸一石油K.K. | 大阪市福島区鷺州本通1丁目48ノ3 | (451) 7601～5 |
| 梅本石油K.K. | 大阪市東淀川区新高南通1丁目28 | (391) 2080・2207・0238 |
| 枝松商事K.K. | 大阪市北区道本町41 | (361) 5858～9・5850 |
| 朝日瀝青K.K. | 大阪市西区南堀江一番町14 | (531) 4520・8401 |
| 川崎物産K.K. 大阪営業所 | 大阪市北区絹笠町50(堂ビル2階) | (361) 0774 |
| 東京通商K.K.大阪支店 | 大阪市東区大川町1(勧銀ビル) | (202) 2291代 |
| 中西瀝青K.K. 大阪営業所 | 大阪市北区老松町2丁目7 | (341) 4305・6285 |
| 富士アスファルト販売K.K. | 大阪市西区京町堀3丁目20 | (441) 5195～6・2596 |
| 日本建設興業K.K. | 大阪市東区北浜4丁目19 | (231) 2771～2 |
| 前田商店 | 大阪市西区土佐堀通5丁目64 | (441) 5223～4 |
| 村井工業所 | 大阪市生野区生野田島町94 | (731) 2514 |
| 山文商事K.K. | 大阪市西区土佐堀通1丁目13 | (441) 0255代・5392代 |

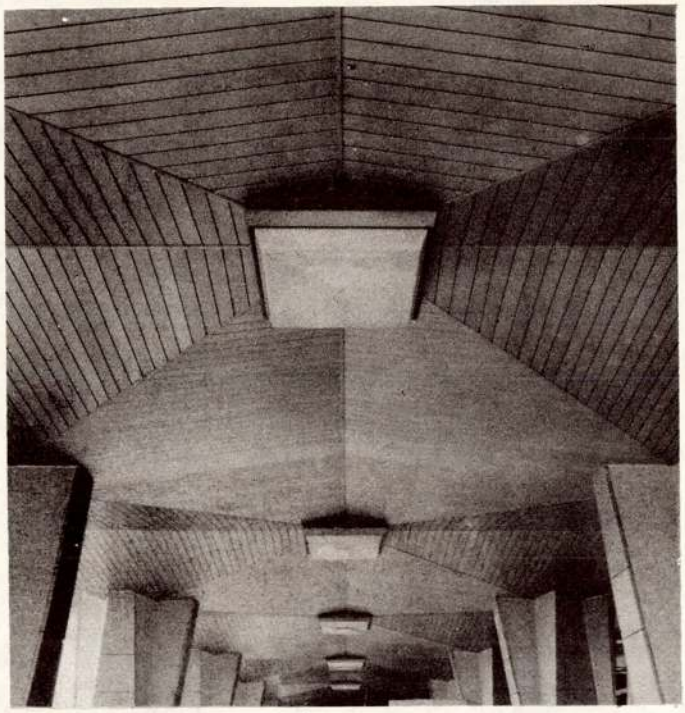
◀工事業社

| | | |
|---|---|---|
| 旭化建工業K.K. | 大阪市北区茶屋町38 | (371) 6301・8024 |
| K.K.井上浄夫商店 | 大阪市西区江戸堀下通1丁目7 | (441) 8531 |
| K.K.石田建材店 | 大阪市東淀川区元今里北通1丁目31 | (301) 3340・3505 |
| 大阪耐酸工業所 | 大阪市北区浮田町82 | (371) 1333 |
| 大島応用化学工業K.K. | 大阪市城東区野江東之町4丁目104 | (931) 7071～3 |
| K.K. カナヱ商会 | 大阪市北区空心町1丁目30 | (351) 2922 |
| 共栄瀝青工業K.K. | 大阪市東区船越町2丁目34 | (941) 5561～2 |
| K.K. 木下謹三商店 | 大阪市西区江戸堀5丁目5 | (441) 5408・5486 |
| K.K. 久保商店 | 大阪市北区真砂町5 | (341) 0207～8・4836～7 |
| 坂口興業K.K. | 大阪市北区神山町26 | (341) 1105・7541 |
| 清水興業K.K. | 大阪市北区鶴野町34 | (371) 0251～3 |
| 島崎興業所 | 大阪市北区西扇町扇町ビル | (312) 1895 |
| K.K. 新光商店 | 大阪市南区塩町通2丁目13 | (261) 7195代 |
| K.K. 大和商会 | 大阪市南区高津町四番丁73 | (631) 6221～4 |
| 高山工業K.K.大阪営業所 | 大阪市北区老松町2丁目19昭栄ビル | (341) 9015 |
| 友田工業K.K. | 大阪市都島区都島中通6丁目41 | (921) 0531～3・0971～3 |
| 内外工業K.K. | 大阪市阿倍野区旭町1丁目51 | (641) 3434～6 |
| 日新工材K.K. | 大阪市西区新町北通1丁目17 | (541) 3785～6 |
| 日本瀝青工業K.K.大阪支店 | 大阪市北区富田町40 | (361) 5496 |
| フタバ興業K.K. | 大阪市福島区上福島北4丁目49 | (458) 0267・0277・6089 |
| K.K. 双葉商会 | 大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6 | (301) 3855 |
| マルヱス工業K.K. | 大阪市福島区上福島南通1丁目152 | (451) 2360・2030 |
| 丸藤商店 | 大阪市北区天神橋筋2－1 | (351) 2150・6595 |
| 三星産業K.K.大阪連絡所 | 大阪市西区西京町堀1丁目74 | (441) 5951 |
| 関本建材K.K. | 高槻市田町通146 | 高槻(5)1646～7 |
| 谷中建材工業K.K. | 京都市下京区西七条掛越町54 | 京都(37)8228 |
| 石井建材有限会社 | 神戸市兵庫区荒田町1丁目 | 神戸(5)2697 |
| K.K. 中出商会 | 神戸市兵庫区上沢通6丁目9 | 神戸(5)4630 |
| 三信工業所 | 神戸市兵庫区神田町439 | 神戸(4)6930 |
| 中村瀝青工業K.K. | 神戸市生田区北長狭通6(神繊共栄ビル) | 神戸(4)5884 |
| 日建瀝青工業K.K. | 神戸市兵庫区水木町8丁目5 | 神戸(6)0505 |
| 有限会社 小野甚商店 | 岡山市内山下300ノ10 | 岡山(2)4272 |
| K.K. 浜原豊商店 | 尾道市吉和町新浜 | 尾道 2760 |
| 青盛建材K.K. | 広島市鉄砲町1089 | 広島(21)2281～7 |
| 古市断熱工業K.K. | 高松市宮脇町9600 | 高松(3)5034 |
| 正和商事K.K. | 松山市一番町甲21 | 松山(2)8161～5 |
| K.K. 山本商会 | 松山市萱町2丁目95 | 松山(2)2717 |

◀賛助会員

| | | |
|---|---|---|
| 丸善石油K.K. | 大阪市南区長堀橋筋3丁目 | (271) 1251代 |

アルミニウム天井　　鉄鋼会館

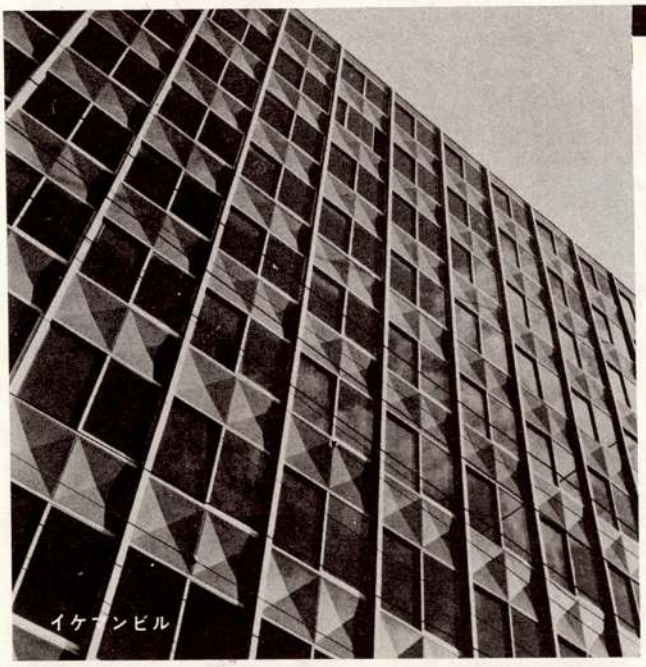


日進式ボード下地　　新阪急ビル



ボード下地や　アルミニウムの
仕事につきましては　何卒
**奥村重兵衛商店**に　ご照会下さい

大阪市北区木幡町60番地
**K.K.奥村重兵衛商店**
電話　大阪 ㊶ 4131(代)
福岡出張所 電話 福岡 ② 6460




空にむかって
ぐんぐん伸びる
それは
ダイケンの
**カーテンウォール**

アルミ
ステンレス　サッシ/ドア
スチール

■営業品目■
アルミ　防潮パネル
　　スパンドレル
スチールシヤッター

▶住友軽金属工業K.K.と提携◀

**ダイケンサッシ株式会社**
〈旧社名　大阪建材工業株式会社〉

| | | |
|---|---|---|
| 本社・工場 | 堺市松屋町1－6 | TEL(3)5241－9 |
| 鳳工場 | 堺市平岡町48 | TEL(7)0742 |
| 東京事務所 | 東京都千代田区平河町1－1 | TEL(331)6641 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市東区東新町4（イーストンビル） | TEL(97)7264<br>TEL(94)3911 |
| 金沢営業所 | 金沢市下新町13 | TEL(3)3427－8 |
| 長野代理店 | 長野市吉田東町1251 | TEL(3)2729 |

日本建築協会優良證明　　セメント増強防水剤




# ウォータイトB号

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東京（431）8648・名古屋㉜1331
ウォータイト式防水工事　仙台㉓0721・札幌⑤7171
代行店電話　大三工業 高松②8697 安藤工事　福岡③5765
豊永建材　広島⑥6371

型仕様書贈呈

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

# 特許特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京(781) 1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話(971)4765・0063

# 防火シヤッター　甲種　乙種

## パイプシヤッター

## 伸縮扉

電動式・手動式・バランス式

株式会社 日本シヤッター製作所

| | | |
|---|---|---|
| 本社工場 | 大阪市東淀川区田川通6丁目38番地 | 電話(301)（代）3656～9 |
| 東京工場 | 川崎市新丸子東3丁目1159 | 電話中原（044）②6325～7 |
| 九州工場 | 福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727 | 電話福岡㊺4779 |
| 千葉工場 | 千葉市沙見丘26 | 電話千葉②5544・4257 |
| 姫路工場 | 姫路市岡田249番地 | 電話㉓7173 |
| 名古屋工場 | 名古屋市中川区福川町1－1 | 電話㊱4351～2 |
| 岡山営業所 | 岡山市内山下77 | 電話③3524 |
| 高松営業所 | 高松市丸ノ内10番地（井筒ビル内） | 電話②4008 |
| 高知営業所 | 高知市朝倉町96 | 電話②7349 |
| 徳島営業所 | 徳島市伊月町2丁目27 | 電話②1915 |
| 和歌山営業所 | 和歌山市万町4 | 電話②4932・8937 |
| 神戸営業所 | 神戸市生田区加納町3丁目2 | 電話㊸4646～7 |
| 北九州営業所 | 北九州市小倉区砂津町東本町558 | 電話㊷3673 |
| 北陸営業所 | 金沢市勝尾町28 | 電話③0619 |

錆びない

八幡製鉄製亜鉛引
ボンデ帯鋼使用

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可
昭和三十九年三月二十日印刷
昭和三十九年三月廿五日発行（毎月廿五日発行）
売価　一部　金百八十円（送料共）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

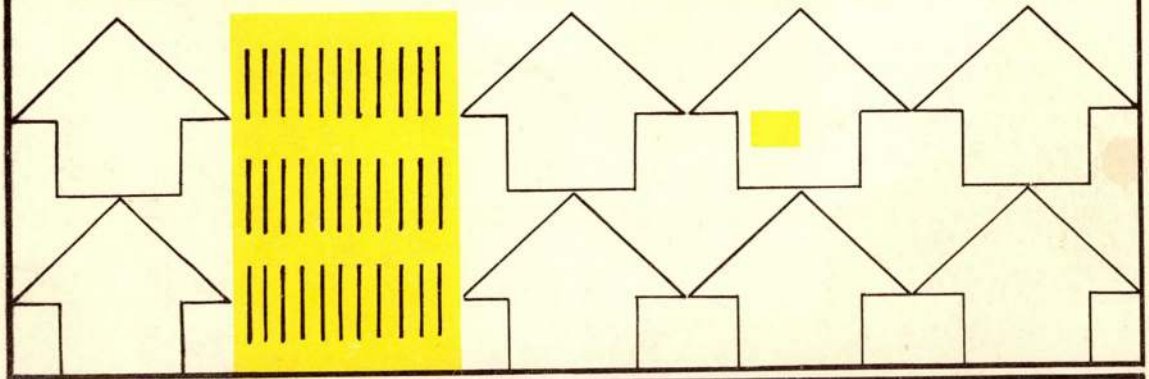
朝日フレキシブルボード
姉妹品　朝日カラーボード

朝日スレート
大浪7.5山・小浪

吹付石綿　朝日プロベスト

建設省認定不燃 NO.3012

ASK
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話大阪(312)8521代表
本　社　東京銀座七
営業所　東京、横浜、名古屋、岡山、新居浜、門司、札幌
工　場　東京、横浜、山梨、名古屋、大阪、岡山、門司、宮城



三星の床材
ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(441)5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(341)0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19　電話(541)6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)
電話(211)0571　4
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話㉓3299

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632)0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話⑤2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話㉞4468・㊶0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8　電話㊼7461～3

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話㉔1329・2106・2817

日東物産株式会社
本　社・名古屋市中区東瓦町39　電話㉔6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本　社・広島市鉄砲町108　電話㉑2281～7
岡　山・岡山市東田町3　電話③8285～7
福　岡・福岡市万行寺前町14　電話②5566
③1225～6

関西三星タイル会員

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人日本建築協会　大阪市東区北浜3－37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番